

三菱 地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

形名

エルシーディー エルビーダブルユー エイチ

LCD-65LBW6H



- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

AVCHD™



本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

安全上のご注意 6

各部のはたらき 12

テレビを見る
ための準備 18

接続・設定をわかりやすく説明しています

テレビを見る 40

テレビを
使いこなす 72

リアリンクで
録る/
予約する/見る 94

テレビをお好み
の設定にする 106

外付ハード
ディスクを使う 160

お知らせ 180

困ったとき 184

「困ったとき」は、裏表紙の
もくじから探すこともできます



もくじ

ページ

安全上の ご注意

安全のために必ずお守りください	6
ご使用上のお願い	10
●留意点	10
●本機の設置についてのお願い	11
●転倒防止についてのお願い	11

各部の はたらき

本体前面/側面	12
本体後面	14
リモコン	16

テレビを見るための 準備



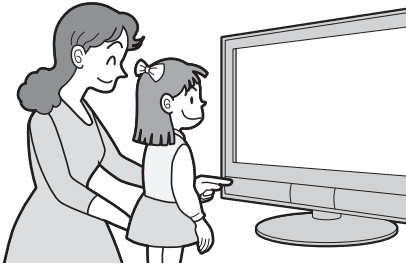
テレビを見るまでの準備の流れ	18
準備1 付属品を確認する	19
準備2 リモコンの準備をする	20
●乾電池を入れる	
●吊りひもをつけるとき	
準備3 B-CASカードを入れる	20
準備4 アンテナをつなぐ	21
●UHFアンテナ	21
●BS・110度CSアンテナ	22
●レコーダーを通して接続するとき	23
●CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき	23
準備5 他の機器とつなぐ	24
●ビデオとの接続	24
●DVDプレーヤーとの接続	24
●HDMI機器との接続	25
●デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続	27
●パソコンとの接続	28
準備6 LAN端子につなぐ	29
準備7 外付ハードディスクをつなぐ	32
準備8 電源を入れる	34
準備9 らくらく設定をする	35
屋内配線も重要です	39

次ページへつづく

このテレビは、誤操作防止機能を搭載しています。

	ページ
●使う人に合わせた設定に切り換える(使う人切換)	83
●本体のボタンを無効にする(本体操作部ロック)	125
●リモコンの一部のボタンを無効にする(リモコンキーロック)	126
●放送波無効設定をする	137
●リモコンコードを切り換える	147

テレビを見る



	ページ
デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル)	40
ケーブルテレビなどのアナログ放送を見る	42
データ放送を見る	43
他の機器の映像を見る(入力切換)	44
音声を切り換える	45
字幕を出す	46
自動的に電源を切る(オフタイマー)	47
時刻を表示する	47
いろいろな節電設定を選ぶ(節電アシスト)	48
節電画質設定にする	49
節電モニターで省エネ効果を確認する	50
チャンネル番号や節電メーターなどを表示する	52
画面サイズを選ぶ	54
SDカードの写真や動画を見る	56
番組表を見る	60
番組の詳しい情報(番組内容)を見る	62
「ネットワーク」で動画を楽しむ	64
•「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定	65
•利用するサービスを選び、専用画面を表示する	65
•文字入力のしかた	68
家庭内ネットワークで動画を楽しむ	70

テレビを使いこなす



メニューからの操作	
メニュー機能の使いかた	72
ヘッドホンの音量を調節する	74
「サラウンド」で聞く	75
ゲームモードにする	75
番組表を表示中に今すぐできること	
(文字サイズ切換/番組情報取得/表示形式切換)	76
SDカードのスライド時間を変更する	78
見たい番組を探す(ジャンル検索)	79
画面だけを消す(消画)	81
チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)	82
使う人に合わせた設定に切り換える(使う人切換)	83
オンタイマーで自動的に電源を入れる	84
本機や放送局からのお知らせを読む	86
ボード(110度CSデジタル放送からのお知らせ)を読む	88
B-CASカード情報と困ったときの問い合わせ先を確認する	89
デジタル放送の受信状況を確認する(アンテナ受信レベル)	90
リアリンク対応機器を操作する[リアリンク(REALINK)]	91

家電連携で当社製エアコンを操作する — 家電連携・HEMS編
HEMSを使う — 家電連携・HEMS編

家電連携・HEMS編は、当社ホームページ『取扱説明書ダウンロード』からご覧になれます。

http://www.mitsubishielectric.co.jp/lsg/kaden/ibim_contents/

※家電連携・HEMS編は当社ホームページへの掲載のみです。
冊子他の形態でのご提供はありません。

次ページへつづく

安全上の
ご注意

各部の
はたらき

テレビを
見るための
準備

テレビを
見る

テレビを
使いこなす

リアリンクで
録る/
予約する/
見る

テレビを
お好みの
設定にする

外付ハード
ディスク
を使う

お知らせ

困ったとき

リアリンクで 録る/予約する/見る

(録画にはリアリンク対応のレコーダーとの接続が必要です)

デジタル放送を一発録画で録る	94
予約について	95
●視聴予約とリンク録画予約について	95
●リンク録画予約の前に	95
番組表やジャンル検索から予約する	96
時刻を指定して予約する(時刻指定予約)	99
予約を確認する/取り消す	102
リアリンク対応機器の録画リストを表示する [リアリンク(REALINK)]	104
操作パネルでリアリンク対応機器を操作する [リアリンク(REALINK)]	105

テレビを お好みの設定にする

画質設定をする	106
「画質設定」画面の表示のしかた	106
●映像モードを切り換える	107
●画質調整をする	108
●さらに細かく画質調整をする(プロ調整)	109
●画質設定を初期化する	110
●ジャンルに合った画質にする(ジャンル適応)	110
●自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)	111
●視聴者に合わせた画面にする(視聴者設定)	111
●明るさ順応補正の設定をする	112
●倍速ピクチャーの設定をする	112
音声設定をする	113
「音声設定」画面の表示のしかた	113
●音声モードを切り換える	114
●音質調整をする	114
●音質設定を初期化する	115
●ジャンルに合った音質にする(ジャンル適応)	115
●ヘッドホンの音質調整や出力設定をする(ヘッドホン設定)	116
●安定した音量で聞く(おすすめ音量)	117
●声ハッキリの設定をする	117
●読み上げの設定をする	118
●操作音などの報知音量の設定をする	119
機能設定をする	120
「機能設定」画面の表示のしかた	120
●節約設定をする	121
●暗証番号を登録して視聴制限を設定する	122
●本体のボタンを無効にする(本体操作部ロック)	125
●リモコンの一部のボタンを無効にする(リモコンキーロック)	126
●リアリンクの設定をする	127
●一発録画で録画する機器を選ぶ	127
●画面の調整や画面サイズの設定をする	128
●PC入力端子につないだパソコンの画面を調整する	129
●PC設定を初期化する	130
●デジタル音声出力の設定をする	131
●外部入力のスキップ設定をする	131
●HDMI端子にパソコンをつなぐときの設定	132
●高速起動にする	133
●使う人設定をする	134

テレビを お好みの設定にする

	ページ
初期設定をする _____	136
「初期設定」画面の表示のしかた _____	136
●らくらく設定で再設定する _____	137
●放送波無効設定をする _____	137
●アナログ放送のチャンネル設定をする _____	138
●地上デジタル放送のチャンネル設定をする _____	142
●リモコンにデジタル放送のチャンネルを追加する _____	145
●チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する _____	146
●地デジ難視対策衛星放送を選局対象にする _____	146
●リモコンコードを切り換える _____	147
●チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える _____	148
●時刻を常時表示する _____	148
●アンテナ設定をする _____	149
●居住地域と郵便番号を設定する _____	151
●LAN端子を使用するときの設定(通信設定) _____	152
●放送時刻の変更に対応する(予約変更自動追従) _____	156
●地上デジタル放送のチャンネル再設定を変更する _____	156
●ダウンロード設定をする _____	157
設定を初期化する _____	158
●一部の設定を初期化する _____	158
●すべての情報を初期化する _____	159

外付ハードディスク を使う

(録画には市販の外付ハードディスクとの接続が必要です)

外付ハードディスクをつないで録画を楽しむ —	160
ハードディスクをつないでできる録画 _____	162
ハードディスクを登録する _____	164
ハードディスクへの録画機能を使用する _____	165
ハードディスクに一発録画をする _____	166
ハードディスクに予約録画をする _____	167
●番組表やジャンル検索から予約する _____	167
●時刻を指定して予約する(時刻指定予約) _____	169
●予約を確認する/取り消す/編集する _____	171
ハードディスクに録画した番組を見る(再生する) —	173
番組を消去する _____	176
ハードディスクを初期化する/登録を削除する _____	178
ハードディスクを取り外す _____	179

お知らせ

B-CASカードについて _____	180
デジタル放送について _____	180
地上デジタル放送のチャンネル一覧表 _____	182
仕様 _____	183

困ったとき

保証とアフターサービス _____	184
故障かな?と思ったら _____	185
メッセージ表示一覧 _____	192
お手入れのしかた _____	193
アイコン一覧 _____	194
用語の説明 _____	194
著作権等について _____	196
スタンドの取り付けかた _____	201
索引 _____	202
テレビの上手な使いかた _____	裏表紙

安全上の
ご注意

各部の
はたらき

テレビを
見るための
準備

テレビを
見る

テレビを
使いこなす

リアルタイムで
録画する/
予約する/
見る

テレビを
お好みの
設定にする

外付ハード
ディスク
を使う

お知らせ

困ったとき

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
---	------------------------------------	---	--------------------------------------

■図記号の意味は次のとおりです。

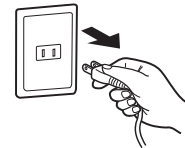
 絶対に行わない	 絶対に分解・修理はしない	 絶対に触れない
 絶対に風呂・シャワー室では使用しない	 絶対に水にぬらさない	 絶対にぬれた手で触れない
 必ず指示に従い行う	 必ず電源プラグをコンセントから抜く	 高圧注意 (本体後面に表示)

警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

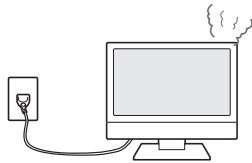
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。



煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

万一落としたり破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



水をかけない

水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと

本機の中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。

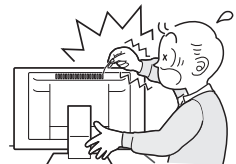
万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



異物を入れない 特にお子様にご注意ください

通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



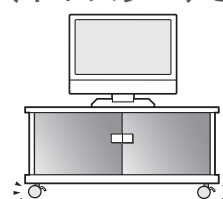
不安定な場所に置かない

ぐらついたり変形した台の上や傾いた所など。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



テレビ台の車(キャスター)を固定する

台が動くと本機が倒れ、けがの原因になります。



警告

本機にのったり、ぶらさがったりしない
特にお子様にご注意ください



禁止

落下してけがの原因になります。

乾電池、ネジなど小さな付属品やSDカード
などは幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する
原因になります。

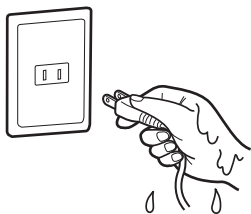
万一飲み込んだ場合は
医師に相談してください。



禁止

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

風呂場では使わない
機器を水滴のかかる場所に
置かないこと



風呂場禁止



水ぬれ禁止

水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない



接触禁止

火災・感電の原因になります。

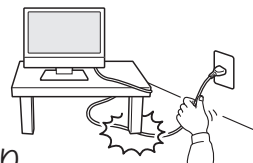
同梱スタンド以外での設置は
専門業者に依頼する



専門業者
に依頼

- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因になることがあります。
- 同梱スタンド以外での設置は必ず指定した金具と、金具に同梱のネジをご使用ください。指定以外のものご使用の場合は保証いたしません。
- 同梱スタンド以外での設置は金具同梱の取扱説明書の記載通り正しく取り付けてください。記載と異なるとテレビが落下し、けがの原因になります。死亡事故に結びつく恐れもあります。指定と異なる取付の場合は保証いたしません。

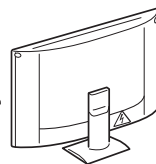
電源コードを傷つけない



傷つけ禁止

重いものをのせたり、
熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の
高い部分があり、さわると感電の
原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

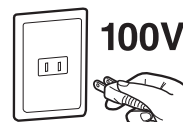
電源プラグにほこりが
ついたりコンセントの
差込みが不完全な場合は、
火災の原因になります。



ほこりを取る

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないでください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃と接続を点検してください。

電源は、交流100Vを使う



100V



100V

交流100V電源
以外で使用すると、
火災・感電の原因になります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

設置のときは次のことをお守りください

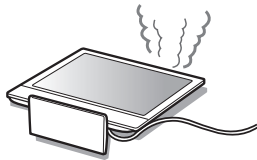
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴(通風孔)をふさがない



禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない



禁止

直射日光の当たるところや熱器具のそばに置かない



設置禁止

キャビネットが変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

押入れ、本箱などに入れない



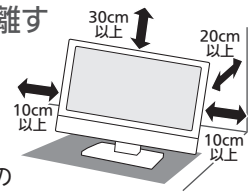
設置禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所、温泉地域の硫化水素ガスの多い所に置かない



設置禁止

据付の際は壁から離す



壁掛けや設置位置によっては、通風孔からの空気の流れて壁を汚す原因になることもあります。

接続線をつけたまま移動しない

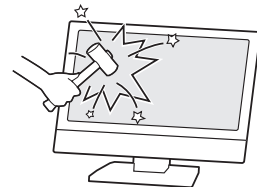
火災・感電の原因や、つまりいてけがの原因になります。



禁止

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

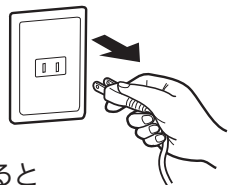
液晶画面に強い衝撃を加えない



禁止

パネルが割れて、けがの原因になります。

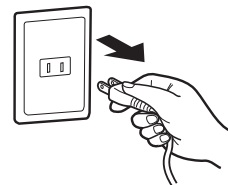
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

コードを引っ張ると傷がつき、感電・火災の原因になります。

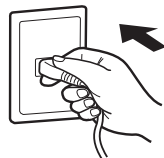
お手入れのときは、電源プラグを抜く



プラグを抜く

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む



根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

⚠ 注意

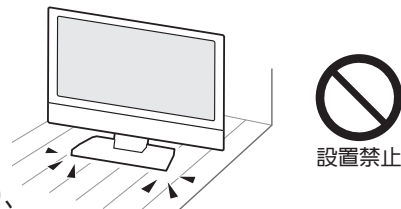
本機の上や近くにものを置かない
ローソクのような
裸火を本体の上や
近くに置かない



禁止

金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

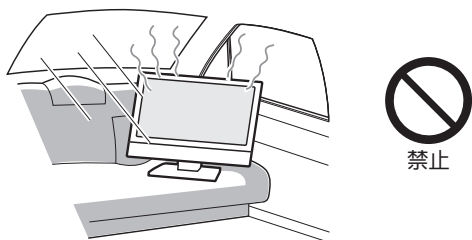
ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、
洗剤、溶剤により、
床材と本体底面のすべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

車の中で使用しない



禁止

熱・振動により壊れて、火災・感電の原因になります。

持ち運びは2人以上で行う

本機の落下や思わぬけがの原因になります。

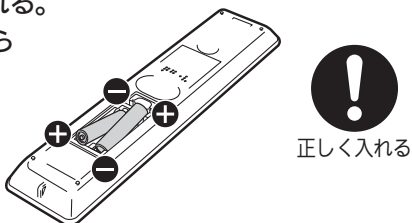


車(キャスター)付きのテレビ台ごと
移動させるときは、テレビ台のキャスター 2人以上で
固定手段を外して本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけが
の原因になることがあります。

乾電池取扱いの注意

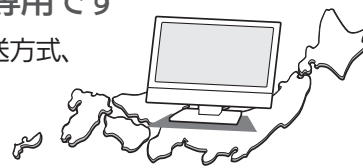
- プラス⊕とマイナス⊖の
向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から
入れる。



正しく入れる

日本国内専用です

外国では放送方式、
電源電圧が
異なるので
使えません。

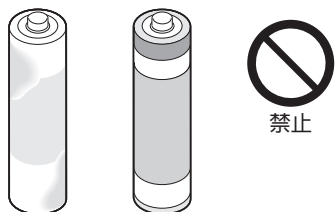


国内専用

また、アフターサービスもできません。

This television set is designed for use in Japan only and
can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に
投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて
使用しない。



禁止

電池の破裂、液漏れにより、
火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したとき
は、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医
師の治療を受けてください。

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

送配電線から離れた場所に
設置してください。

アンテナが倒れると
感電の原因になります。

販売店に
相談する

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので
確実に取り付けてください。

内部掃除は、販売店に依頼する

1年に一度
くらいを目安に
してください。

内部にほこりが
たまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。



内部掃除

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず電源プラグを抜いてください。

ご使用上のお願い

■電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

■搬送について

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱装箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

■壁に取付ける場合

危険ですからお客様ご自身で取り付けず、販売店にご相談ください。

■画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面サイズを「ノーマル」で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

■動作時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

■液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

- 液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」**P.159**により個人情報を消去されることをおすすめします。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧による故障および損傷は有料修理になります。

●留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

- 受信異常により、本機の操作ができなくなった場合は本体の電源ボタンで電源をいったん切ったあと、しばらくして再度本体の電源ボタンで電源を入れ直してください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンター **P.180**へご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(VHF:90~222MHz、UHF:470~770MHz、BS:1032MHz~1336MHz、CS:1595MHz~2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

●本体の電源ボタンで電源を頻繁に切らないことをおすすめします

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしたり、本体の電源ボタンで電源を切らないことをおすすめします。本機は電源オフ(待機)状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

●天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

●本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください

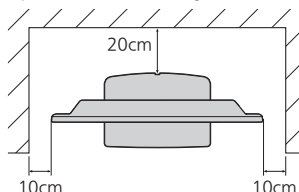
B-CASカード挿入口に、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

本機の設置についてのお願い

お願い!

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。
- 本機を高いところに置かないでください。
- 万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を置かないでください。

- 最低限、下図のスペースを取ってください。



- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

同梱スタンド以外での設置は専門業者に依頼してください。

- 同梱スタンド以外での設置は必ず指定した金具と、金具に同梱のネジをご使用ください。指定以外のものをご使用の場合は保証いたしません。
- 同梱スタンド以外での設置は金具同梱の取扱説明書の記載通り正しく取り付けてください。記載と異なるとテレビが落下し、けがの原因になります。死亡事故に結びつく恐れもあります。指定と異なる取り付けの場合は保証いたしません。

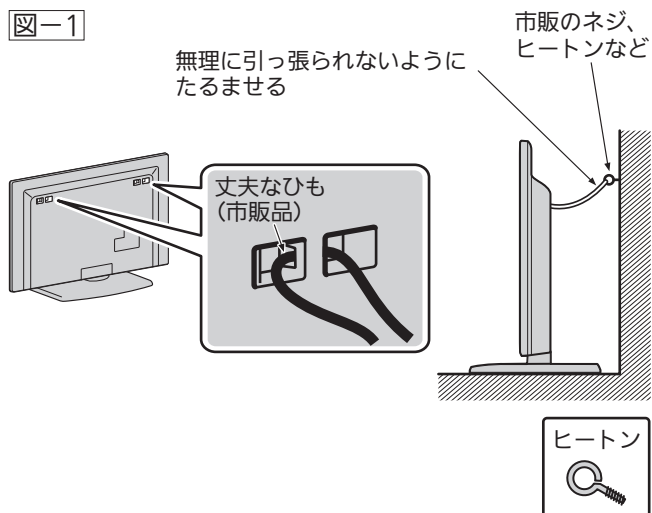
転倒防止についてのお願い

注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

壁や柱などの安定した場所への固定

図-1のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

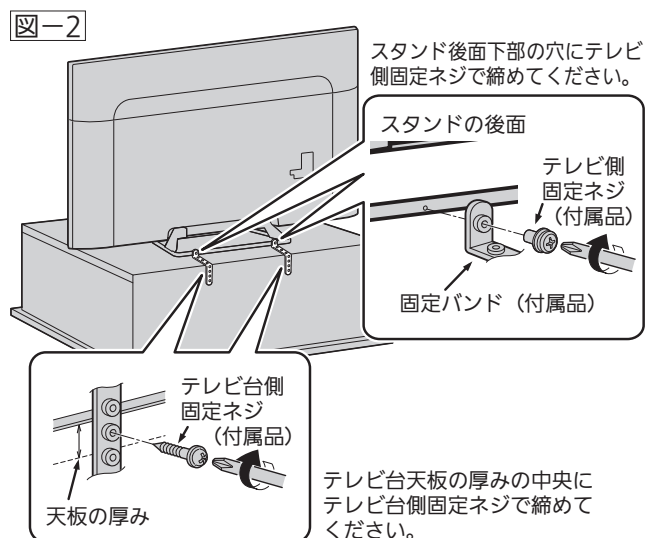


お願い! ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

テレビ台への固定

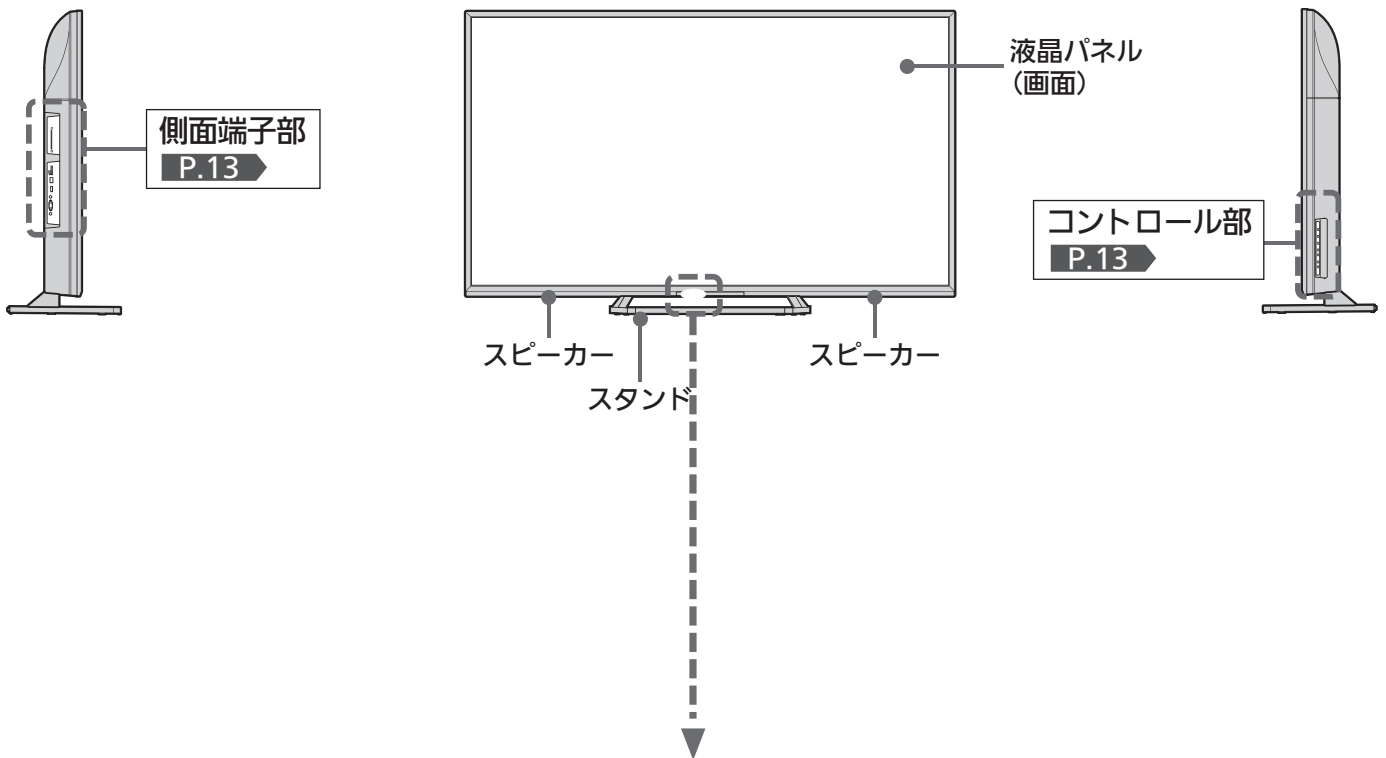
図-2のように、お使いの台の天板と液晶テレビのスタンド(2カ所)を付属の固定ネジで取り付けてください。

または、テレビ台への固定用部品(付属品)で、スタンド後面下部とお使いの台の強固な部分を、固定してください。



- お願い!
- 再び移動させるときはテレビ台への固定用部品をはずしてから行ってください。
 - テレビ台も可能な限り床や壁などに固定してください。

本体前面/側面



リモコン受光部
明るさセンサー
受光部

電源表示灯 P.40・42

緑……リモコンで電源を「入」にし、テレビが動作している状態

赤……本体の電源で「入」、リモコンの電源で「切」にした待機状態(スタンバイ)

※赤点滅…安全装置がはたらいています。本体の電源を入れ直してください。 P.185

無点灯…本体の電源で「切」にした機能停止状態または、電源プラグを抜いた非通電状態

外付ハードディスク録画を使用しているとき P.160、

緑・赤交互点灯……外付ハードディスクへ録画中

(テレビが動作中とスタンバイ時では、点灯する間隔が変わります。)

お知らせ

- 電源表示灯が無点灯のときは、本体の電源ボタン以外の操作はできません。
- リモコンの電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびデジタルチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は本体の電源を「切」にしないことをおすすめします。

- 操作できなくなったり、表示が正常でなかったりする場合は、しばらく本体の電源を「切」にしてみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

コントロール部

押すごとに、機能停止状態と動作状態とに切り換わります。機能停止状態(電源表示灯が無点灯)にすると、リモコンの電源ボタンで電源を「入」にできません。ほとんど全ての回路が停止するため、デジタル放送での必要な情報が取り込めなくなり、視聴予約なども動作しません。

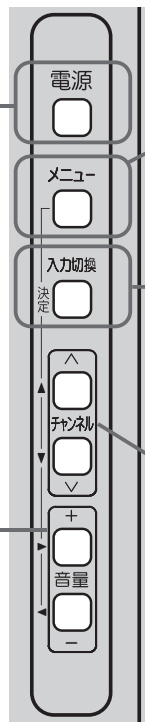
P.40・42

音量を調節する。

P.40・42

メニューなどを表示中はリモコンの◀▶と同じはたらきをする。

P.72~73



メニューを表示する。

P.72~73

ビデオやDVDなどを見るときに押す。

P.44

押すごとに、アナログ→地上デジタル→BS→CS1→CS2→ビデオ→D端子→HDMI1→HDMI2→PCの順に切り換わります。メニューなど表示中はリモコンの決定と同じはたらきをする。

P.72~73

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。

P.40・42

ビデオ入力やPC入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

メニューなどを表示中はリモコンの▲▼と同じはたらきをする。

P.72~73

お知らせ

入力切換、チャンネル、音量ボタンがリモコンの決定、▲▼◀▶と同じはたらきをしない画面(番組表など)があります。

側面端子部

付属のB-CASカードを入れる。

P.20



外付ハードディスクドライブ(HDD)を接続する。

P.32

HDMI機器を接続する。

P.25~26・28

HDMI入力2と接続した機器に音声出力がある場合に接続する。

P.25・28

アナログRGB出力パソコンを接続する。

P.28



SDカードを入れる。

P.56

ステレオのヘッドホンを差し込む。

スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。

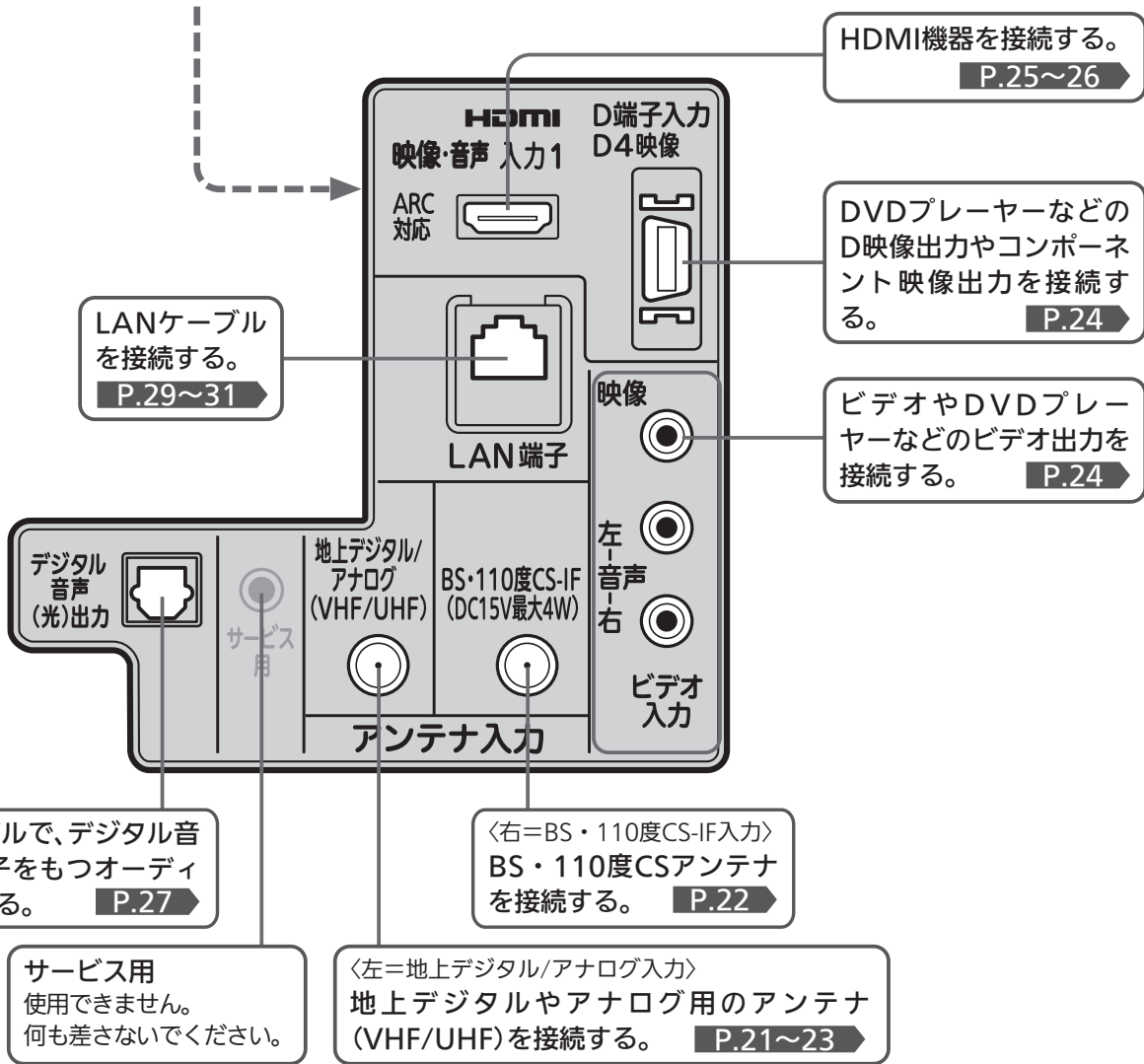
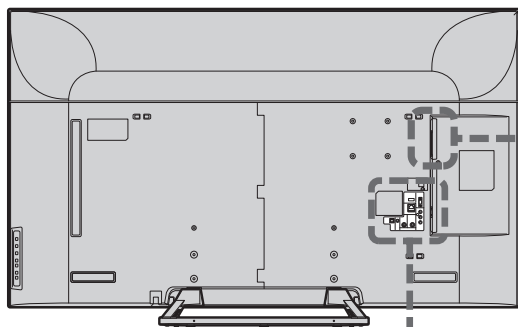
P.74

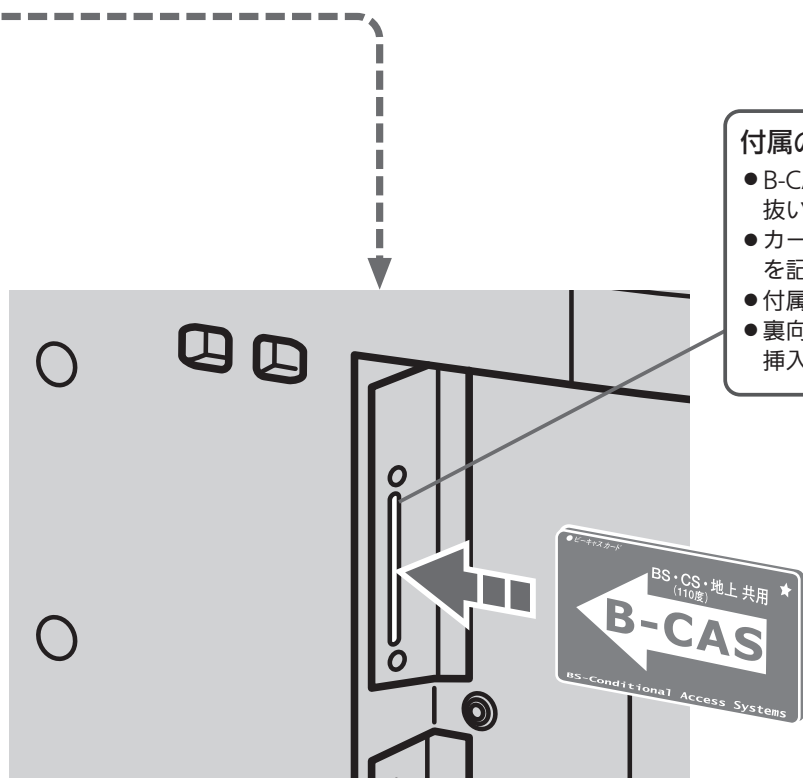
スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「スピーカー音声同時出力」を「入」に切り換えてください。

P.116

外部音声出力端子としてもお使いください。

本体後面





付属のB-CASカードを入れる。

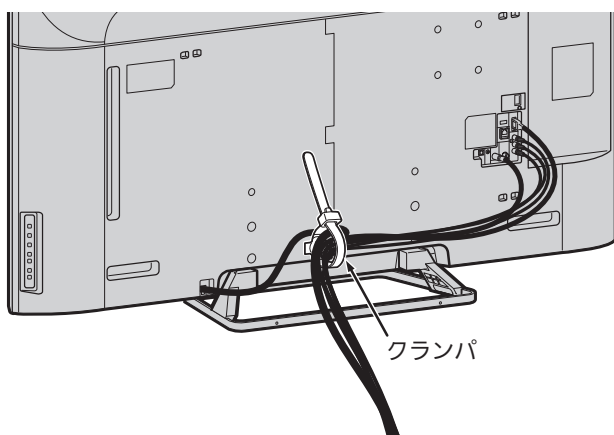
P.20

- B-CASカードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを抜いてください。
- カードを入れる前に、この説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- 付属のカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。

お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランプで固定してください。

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることもあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。



リモコン

● ふだんよく使うボタン

この製品はリモコンコードを変更できます。

当社製テレビがもう1台近くにあるときなどに切り換えると便利です。
くわしくはP.147をご覧ください。

押すごとに、ビデオ→D端子→HDMI1→HDMI2→PC→放送の順に切り換わる。
P.44

使用しない入力をスキップする(飛ばす)ことができます。
P.131

デジタル放送の番組表を表示する。
P.60
番組表から録画予約をする。
P.96・167

録画一覧を表示する。
P.104・173

テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。
P.43

サラウンド……サラウンドの設定をする。
P.75
画面サイズ……お好みの画面サイズを選ぶ。
P.54
消画……画面を一時的に消す。
P.81

放送波を切り換える。
P.40
地上……地上デジタル放送
BS……BSデジタル放送
CS……110度CSデジタル放送
押すごとに、CS1とCS2が切り換わります。
視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。
P.137

数字ボタン
チャンネルを直接選んだり、数字や文字を入力する。
P.40・42

チャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。
P.40・42
ビデオ入力やPC入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
視聴しないチャンネルをスキップすることができます。
P.146



電源を入/切する。
P.40・42

メニューの操作を始めるときと終わるときに押す。
P.72

不要な番組を消去する。
P.176

メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。
P.72
リンク機器の「操作パネル」表示中は、接続したリアリンク対応レコーダーの操作ができる。
P.105

メニューなどの画面を表示中に、1つ前の画面や元の画面に戻る。
P.72

番組表の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。
P.61
リンク機器の「操作パネル」表示中は、接続したリアリンク対応レコーダーの操作ができる。
P.105
「動画配信サービス」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
P.67
「家庭内ネットワーク」の操作パネルを表示中は、コンテンツの操作ができます。
P.71

デジタル放送のとき
P.40
このボタンに続けて3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。
アナログ放送のとき
P.42
このボタンに続けて2桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。

音量を調節する。
P.40・42

さらに便利に使いこなすボタン

「一発録画」でデジタル放送を録画する。

P.94

リアリンク対応機器または外付ハードディスクとの接続が必要です。接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

両方とも接続された場合は、あらかじめ一発録画する機器の設定が必要です。

P.127

時刻

画面上に時刻を表示する。 **P.47**

予約一覧

予約一覧画面を表示する。

P.102・171

ネットワーク

「ネットワーク」のサービスを選ぶ。

P.64

音声切換

複数の音声がある番組のときに、他の音声に切り換える。 **P.45**

字幕

デジタル放送のとき、字幕の言語や、表示の有無を設定する。 **P.46**

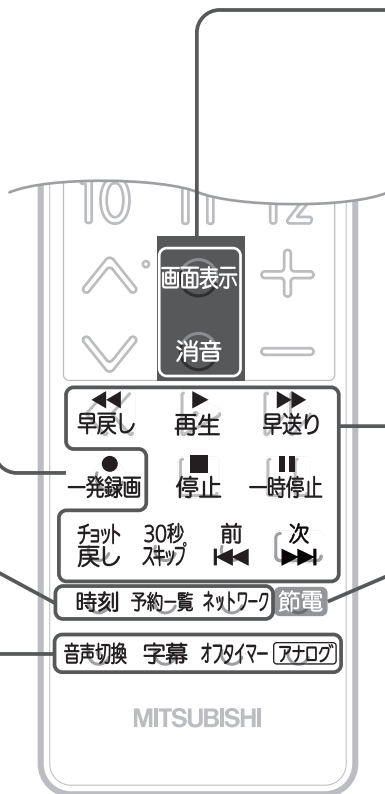
外付ハードディスクに録画したもの、家庭内ネットワークで視聴しているものでも字幕のある番組は操作ができます。

タイマー

押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。 **P.47**

アナログ

アナログ放送に切り換える **P.42**
視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。 **P.137**



画面表示…チャンネル番号、音声の種類、節電メーター、画面サイズ、未読お知らせの有無、現在時刻などを画面に表示する。 **P.52**

デジタル放送のとき

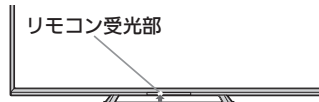
上記に加え、放送時間、番組名などを表示する。

消音…音を一時的に消す。

外付ハードディスクに録画した番組やSDカードの動画を見るときに使う。 **P.59・173**

電気を効率よく使うための各種設定をする。 **P.48**

リモコンの使用範囲



7m以内

リモコン受光部に正しく向けてください。使用範囲は角度により異なります。

お願い！ リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えない。



リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。



水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。



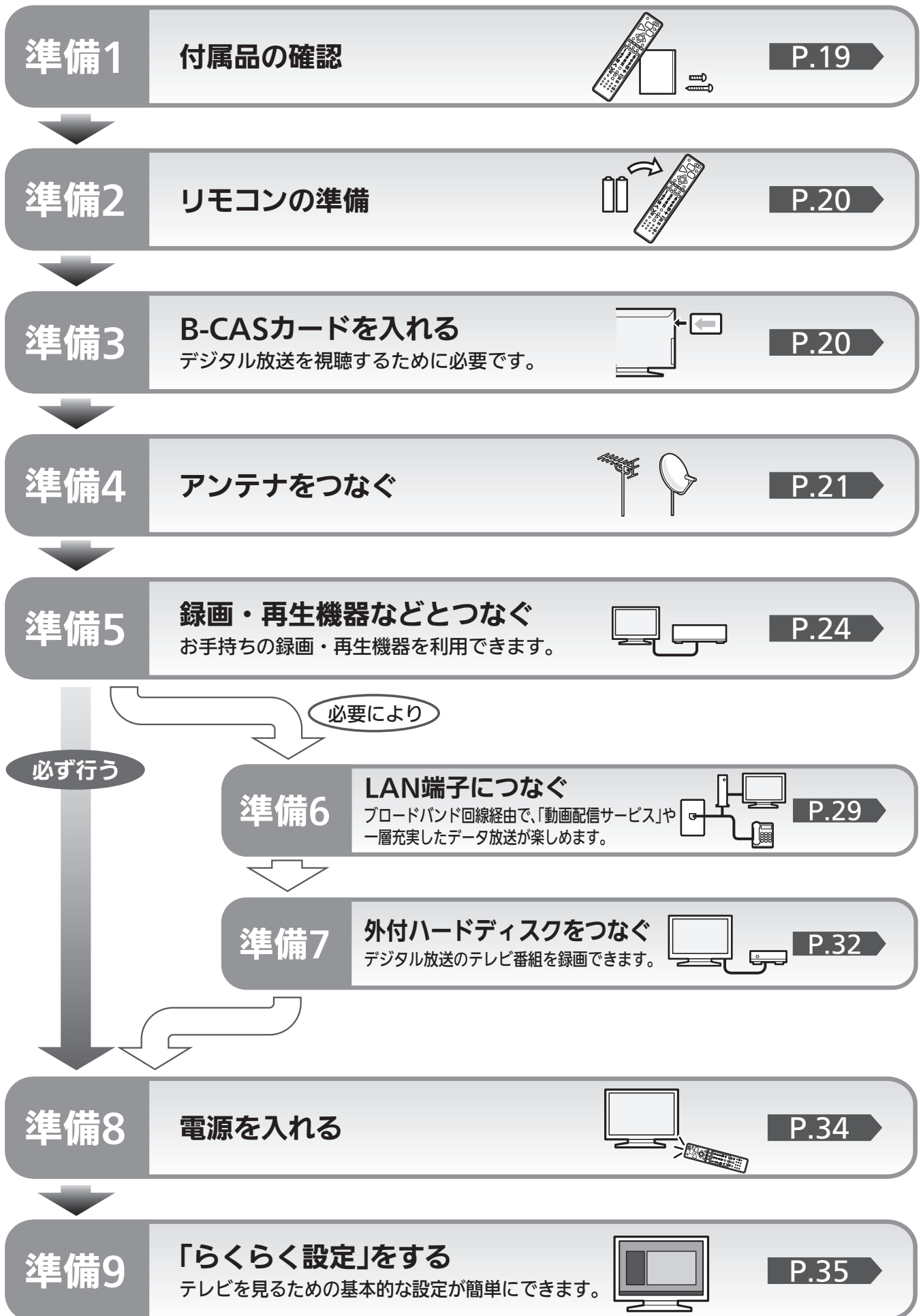
ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ボタンは、表示の真ん中あたりを真上から押してください。
- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。

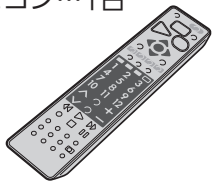
テレビを見るまでの準備の流れ



準備1 付属品を確認する

テレビを見るために

リモコン…1台



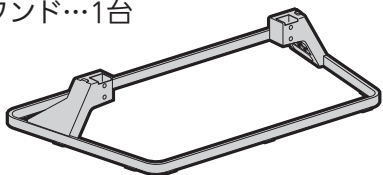
単4形乾電池…2個



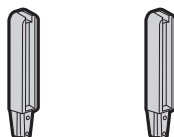
B-CASカード…1枚



※スタンド…1台

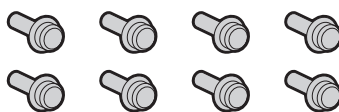


※支柱…2本



※スタンド用ネジ…8個

製品に同梱されているスタンド取り付け説明書「お客さまへ」に貼り付けられています。
 スタンドと支柱の固定に、8個のうち4個を使用
 スタンドとテレビ本体の固定に、8個のうち4個を使用

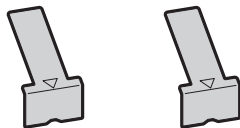


※最初に本体と付属品のスタンドをスタンド取り付けネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
 取り付け方法は、製品に同梱されているスタンド取り付け説明書「お客さまへ」をご覧ください。P.201にも記載しています。

背面カバー…2個

専用スタンドを使用せず壁に取り付ける場合に使用。
 ※取り付け方は下図を参照

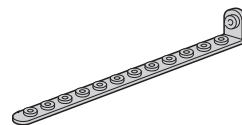


壁掛けでのご使用以外は**必ず専用スタンドをご使用ください。**
 転倒による怪我の原因になります。
 壁への取り付けは必ず業者に依頼してください。
 ご自分では絶対取り付けしないでください。

安全のために

テレビ台への固定用部品

固定バンド…2本



テレビ側固定ネジ…2個

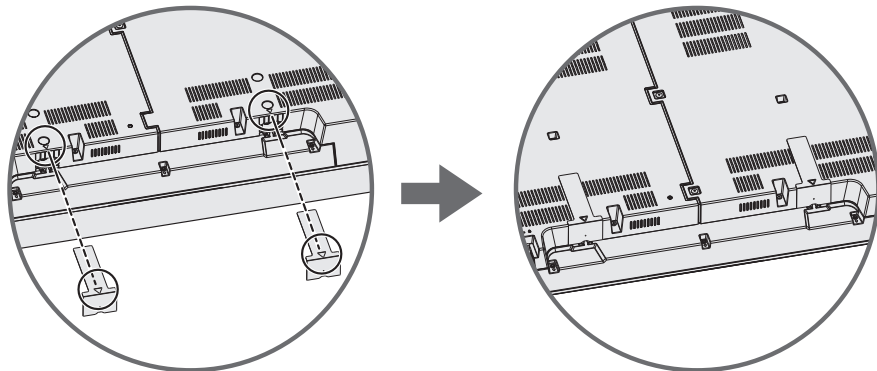


テレビ台側固定ネジ…2個



テレビを見るための準備
 付属品を確認する
 テレビを見るまでの準備の流れ

壁掛けでのご使用時は本体の専用スタンド取り付け箇所、必ず付属の背面カバーを取り付けてご使用ください。

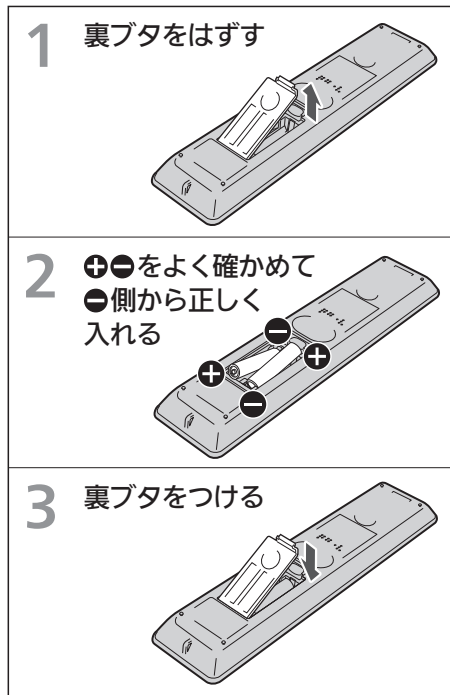


背面カバーの裏の剥離紙を剥がし、
 本体側の凸形状(△)と背面カバーの
 孔(△)を目印に貼り付ける。

準備2 リモコンの準備をする

● 乾電池を入れる

単4形乾電池 R03(UM-4)を2個使用



⚠ 警告

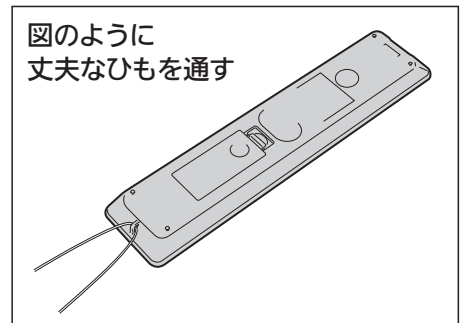
電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がる場所に置かない。

⚠ 注意

乾電池は●側から入れる。正しい向きに入れる。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

● 吊りひもをつけるとき

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。



⚠ 注意

吊りひもを持って振り回さない。
人に当たると、けがの原因になります。

- 乾電池の寿命は約半年です。(ご使用の状態によって寿命が変わります。)
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。

準備3 B-CASカードを入れる

本機には、B-CASカードを付属しています。B-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。番組の著作権保護のため、B-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。現在、デジタル放送をご覧にならなくてもB-CASカードを入れておかれることをおすすめします。B-CASカードの詳しい説明は、P.180 をご覧ください。

● B-CASカードの入れかた

※B-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課されることはありません。

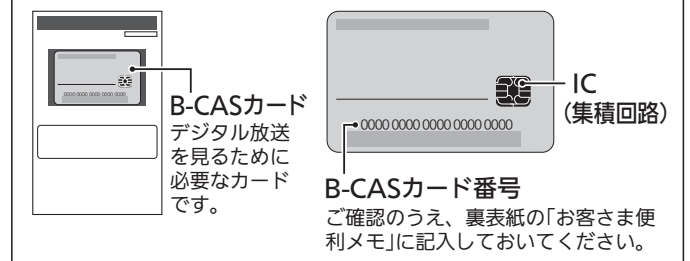
1 電源プラグをコンセントに差ししていないことを確認する
B-CASカードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

2 B-CASカードを入れる P.15
本体後面から見てB-CASカードの矢印の絵柄が見えるようにして、カードを挿入口方向に合わせ、カード絵柄の矢印の方向にゆっくりと突き当たるまで押し込んでください。(カードは一部分が見えた状態となります。)

🗣️ お願い!

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。

B-CASカードについて



■ B-CASカード取扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ B-CASカードを抜くとき

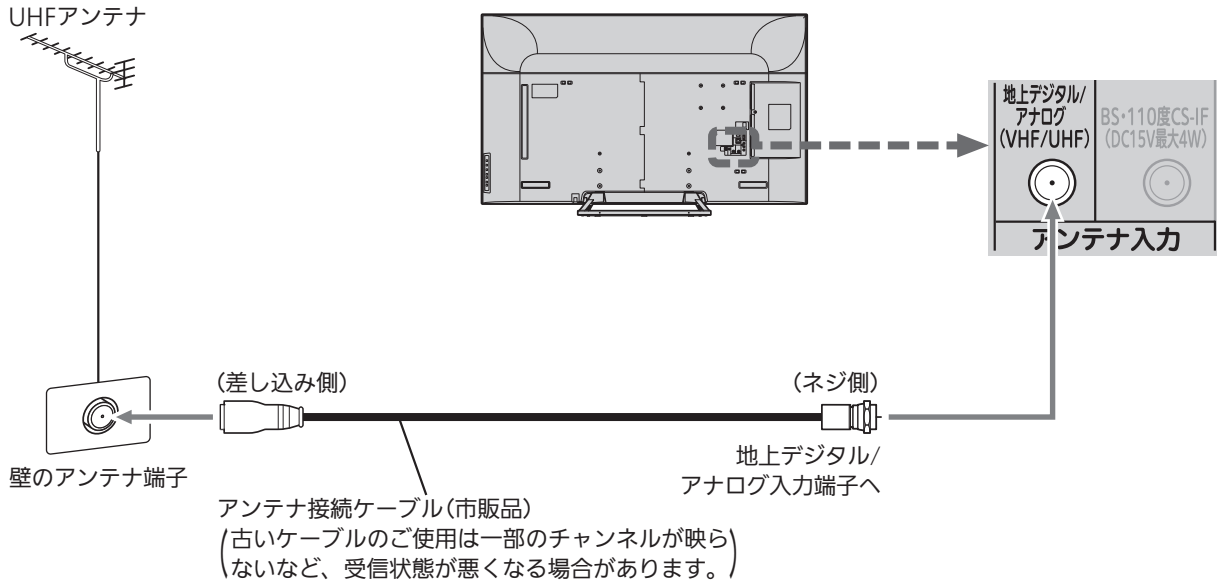
- 万一B-CASカードを抜く必要があるときは、電源プラグを抜いたあと、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

準備4 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。21ページから23ページの図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

● UHFアンテナ 地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。



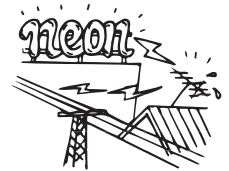
ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」

P.39 をご覧ください。

アンテナの場所

妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。

万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。



アンテナの定期的な点検・交換を

アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪い時は販売店にご相談ください。



テレビを見るための準備

アンテナをつなぐ
リモコンの準備をする / B・C・A・Sカードを入れる

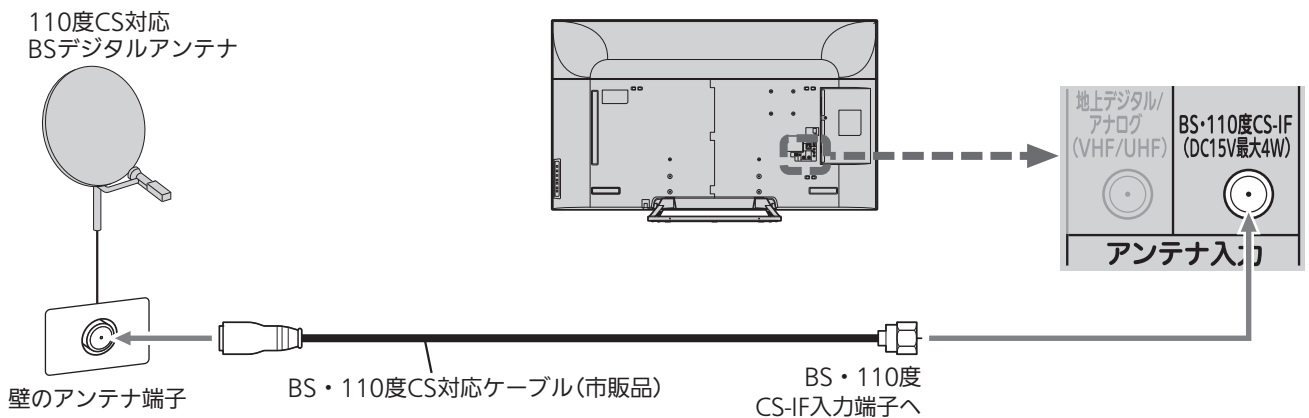
準備4 アンテナをつなぐ(つづき)

● BS・110度CSアンテナ BSデジタル・110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

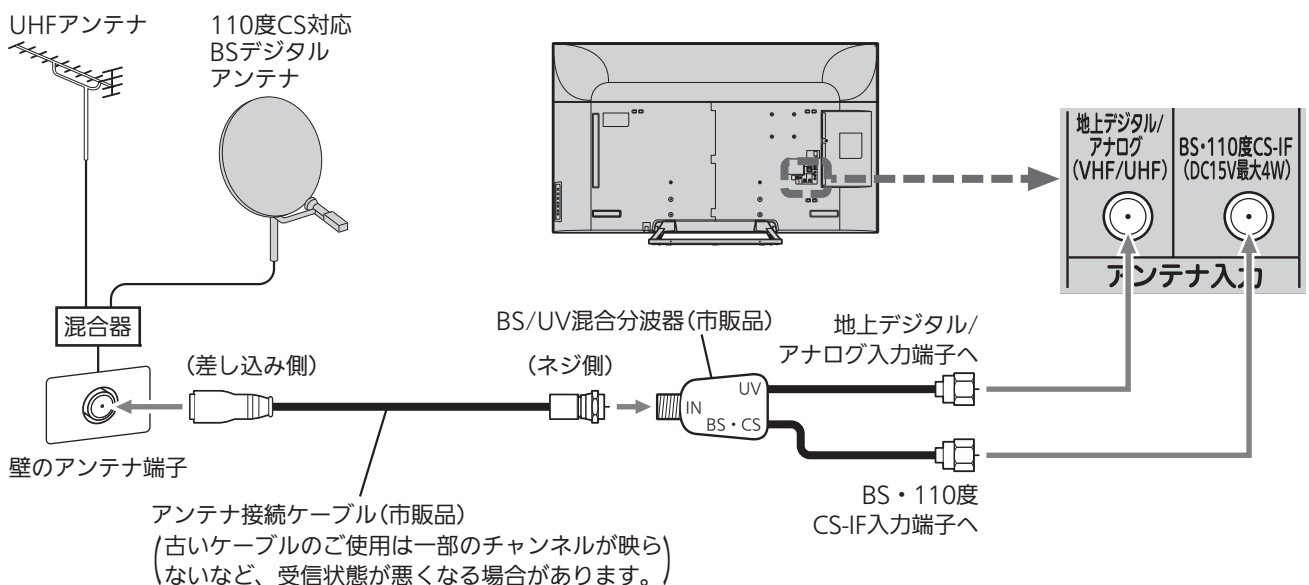
- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
BS・110度CSアンテナをお買い上げの販売店にご相談ください。
設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、電源プラグを抜いてください。**

お知らせ アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「テレビ連動」に設定 **P.150** すると、保護回路がはたらき、自動的に「供給しない」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。

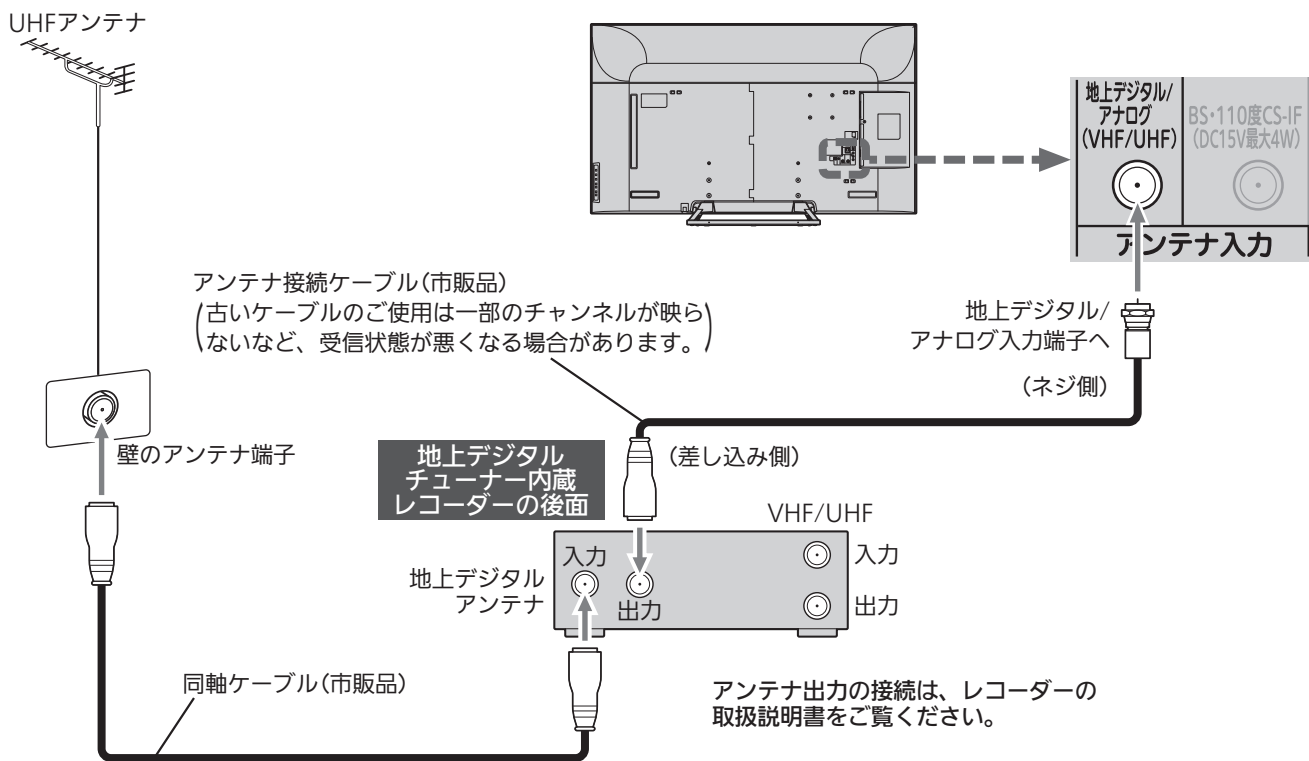


UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)



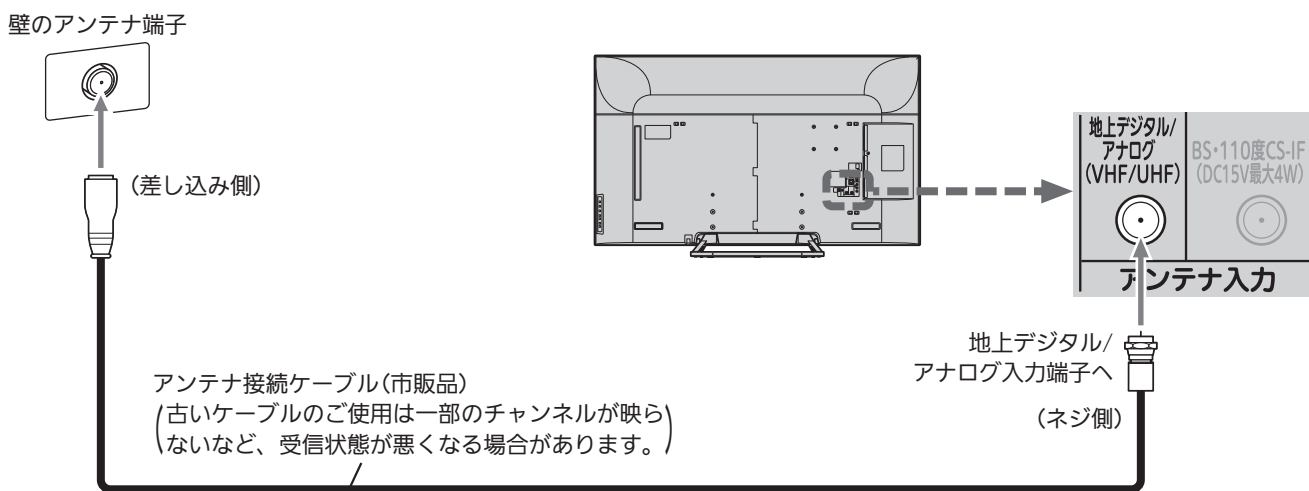
レコーダーを通して接続するとき



テレビを見るための準備

アンテナをつなぐ

CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき

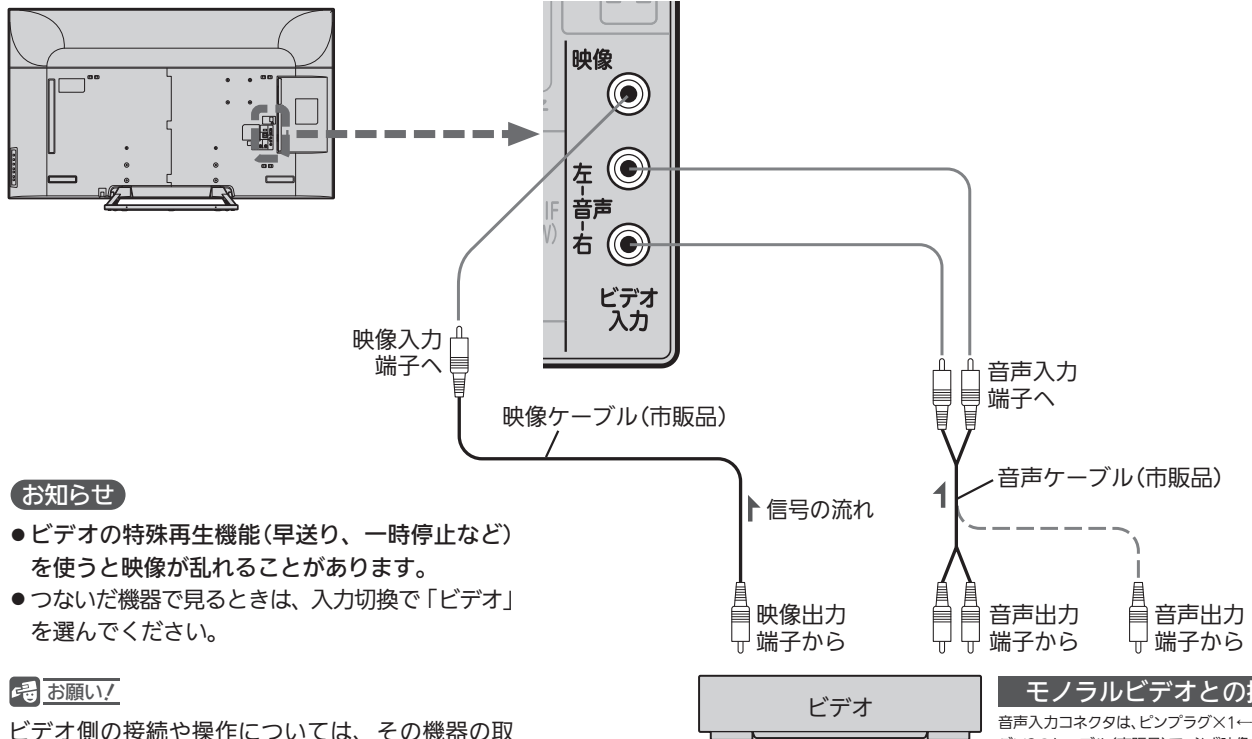


代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問い合わせください。

準備5 他の機器とつなぐ

● ビデオとの接続

例：「ビデオ入力」に接続する



お知らせ

- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ」を選んでください。

お願い!

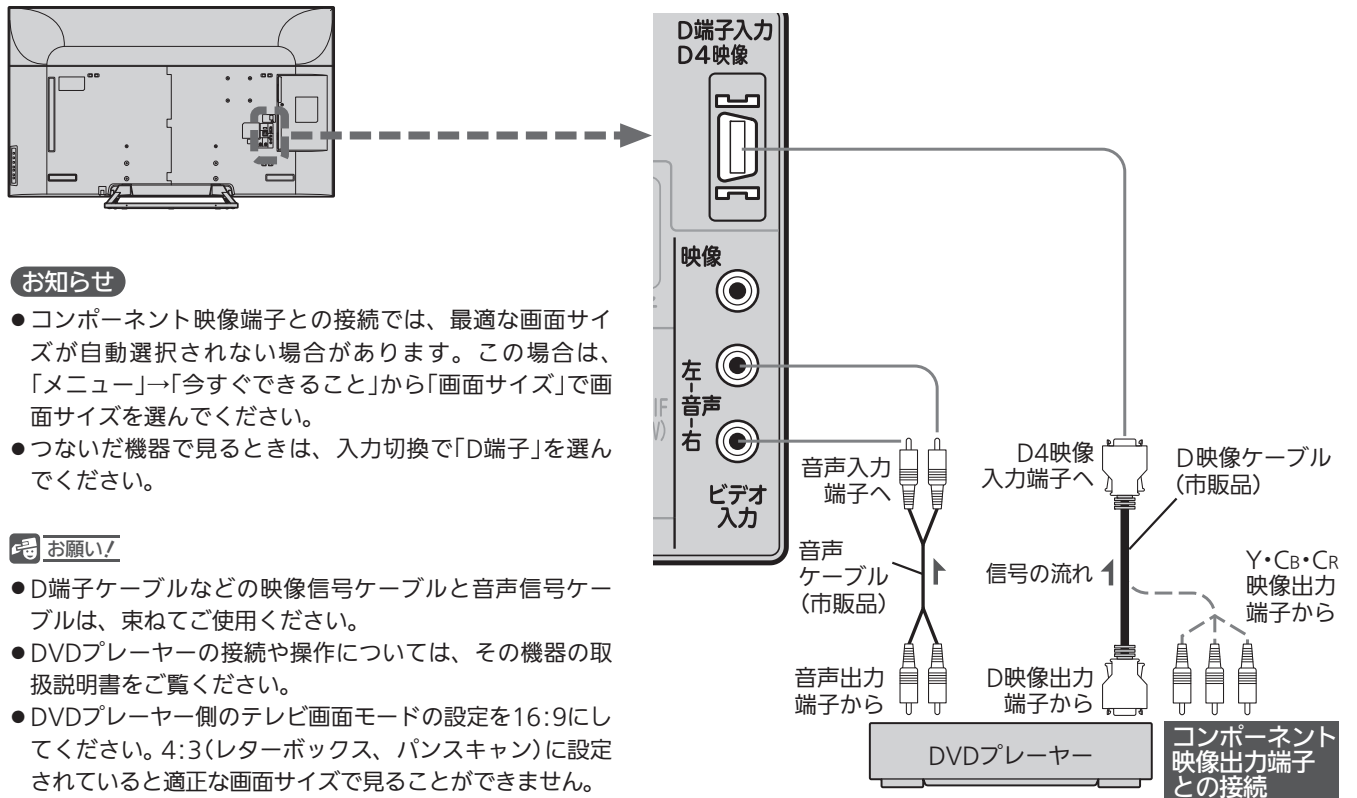
ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

モノラルビデオとの接続

音声入力コネクタは、ピンプラグ×1→ピンプラグ×2のケーブル(市販品)で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

● DVDプレーヤーとの接続

例：「D端子入力」に接続する



お知らせ

- コンポーネント映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、「メニュー」→「今すぐできること」から「画面サイズ」で画面サイズを選んでください。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「D端子」を選んでください。

お願い!

- D端子ケーブルなどの映像信号ケーブルと音声信号ケーブルは、束ねてご使用ください。
- DVDプレーヤーの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16:9にしてください。4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定されていると適正な画面サイズで見ることができません。

コンポーネント映像出力端子との接続

HDMI機器との接続

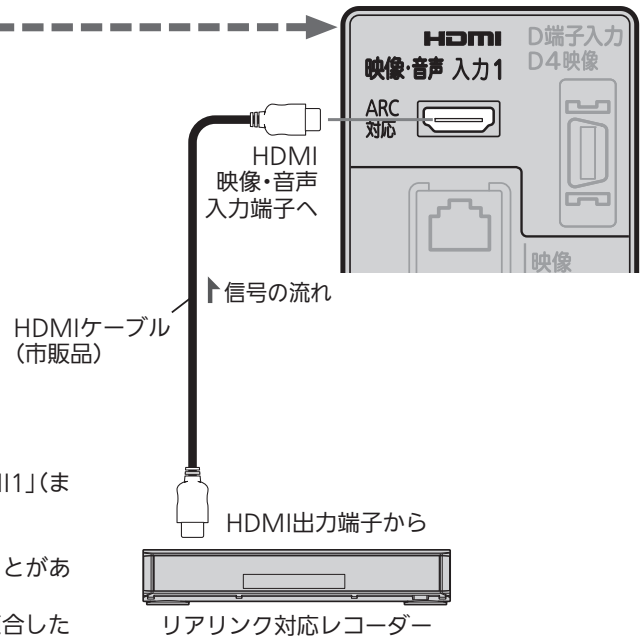
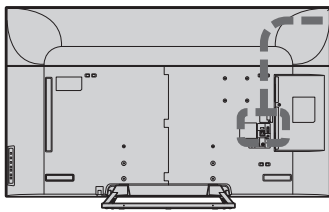
映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

リアリンク対応レコーダーでリンク録画 **P.94~97・99~100** 他リアリンク機能をお使いになるには、この接続を行ってください。

リアリンク機能については、下記の解説をご覧ください。

リアリンク対応レコーダーには、**REALINK** ロゴマークが付いています。

例：リアリンク対応レコーダーを「HDMI1入力」に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
480i、480p、1080i、720p、1080p
- 対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切替で「HDMI1」（または「HDMI2」）を選んでください。
- 「HDMI2入力」は画面に向かって左側面にあります。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- DVI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI-DVI変換ケーブル(市販品)でHDMI2入力に接続し、音声ケーブル(市販品)をすぐ下の音声入力に接続し、HDMI2アナログ音声入力 **P.132** を「入」に設定します。

お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

リアリンク(REALINK)について

HDMIケーブルで接続された機器間では、HDMIの制御信号規格(CEC：Consumer Electronics Control)に基づき、相互で操作を行う(リンク)ことができます。特に当社製機器相互で操作を行うことを「リアリンク(REALINK)」と称しています。

リアリンク対応のレコーダーをHDMI接続して、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」の「リンク制御」**P.127** を「入」に設定していると、本機のリモコンで次のような操作ができます。(仕様は予告なく変更することがあります。)

- メインメニューに「リンク機器操作」を表示し、その接続機器を操作できます。(操作できる内容は、接続した機器によって異なります。) **P.91**
- 「メニュー」→「リンク機器操作」→「操作パネル」を選ぶと画面に「操作パネル」を表示し、その接続機器を操作できます。 **P.105**
- 一発録画ボタンで視聴中のデジタル放送の録画を接続したレコーダーで開始できます。 **P.94**
- 本機の番組表などを使って、リアリンク対応レコーダーに録画予約ができます。 **P.96~97・99~100**

お知らせ

- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部(一発録画など)ができることがあります。その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI1~2入力共にリアリンク対応機器を接続したときは、番号の小さい方から優先されます。

お願い!

- HDMI端子の接続を変更した場合(HDMI1入力からHDMI2入力に差し替えた場合など)は、本機の電源を入れ直して入力切替で変更後のHDMI入力を選んで、リアリンク機器からの映像が映っていることを確認してください。
- 一発録画をする場合や本機の番組表を使って直接レコーダーに録画予約(リンク録画)する場合は、レコーダーで番組データを受信してレコーダーの番組表が利用できるようにしておいてください。
- リアリンク対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- リアリンク機能を中止するために「リンク制御」**P.127** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

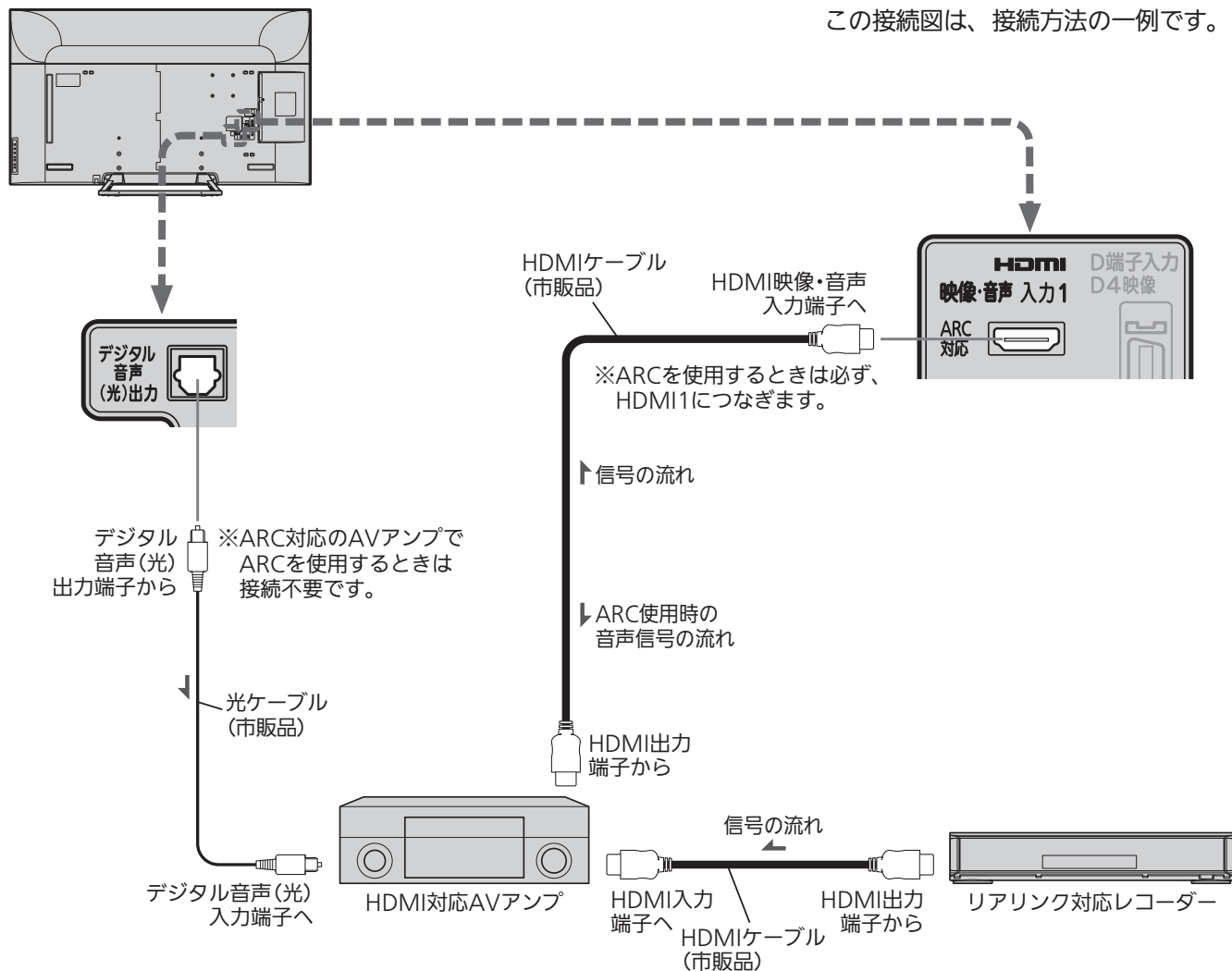
準備5 他の機器とつなぐ(つづき)

HDMI機器との接続(つづき)

例：HDMIコントロール対応AVアンプを「HDMI1入力」に接続する

本機のリモコンで、AVアンプの音量調節ができます。 **P.93**

本機はARC(オーディオリターンチャンネル) **P.195** に対応しています。接続後は、接続先に合わせて光音声出力設定が必要です。 **P.131**

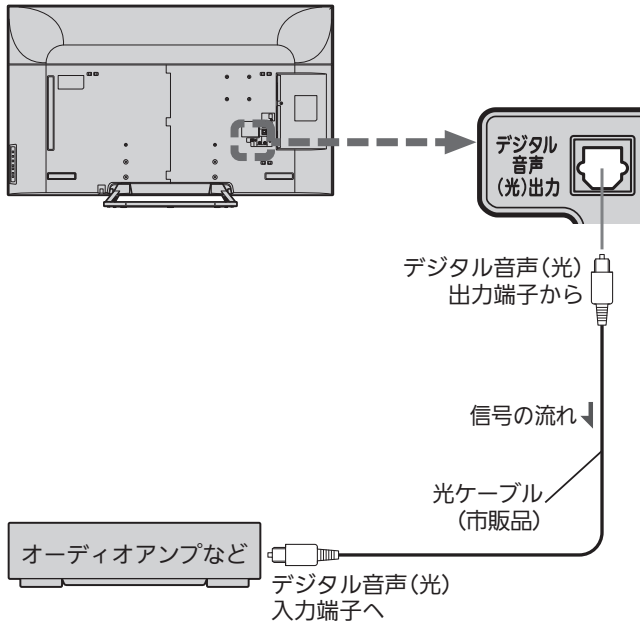


🗣️ お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声(光)出力もAVアンプと接続してください(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です)。 **P.27** AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI1につないでください。
- ARCを使用するときも、本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- AVアンプにリアリンク対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとリアリンク機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- AVアンプを含め、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMIコントロール対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力端子を持つオーディオ機器を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音することができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて光音声出力の設定が必要です。P.131



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くとときは、テレビの音量を「0」にしてください。

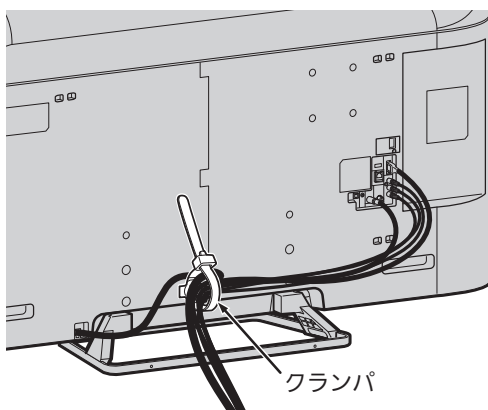
お願い!

- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

他の機器を接続したあとは…

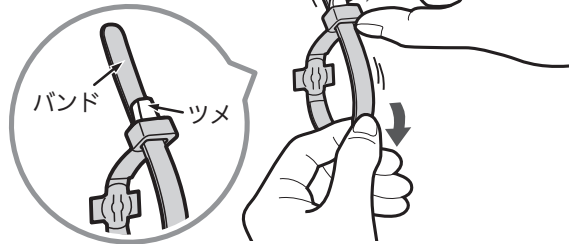
下図のように、ケーブルを後面のクランプで、しっかり固定してください。

電源コードを束ねているクランプをほどいて、接続線と電源コードを束ねてください。



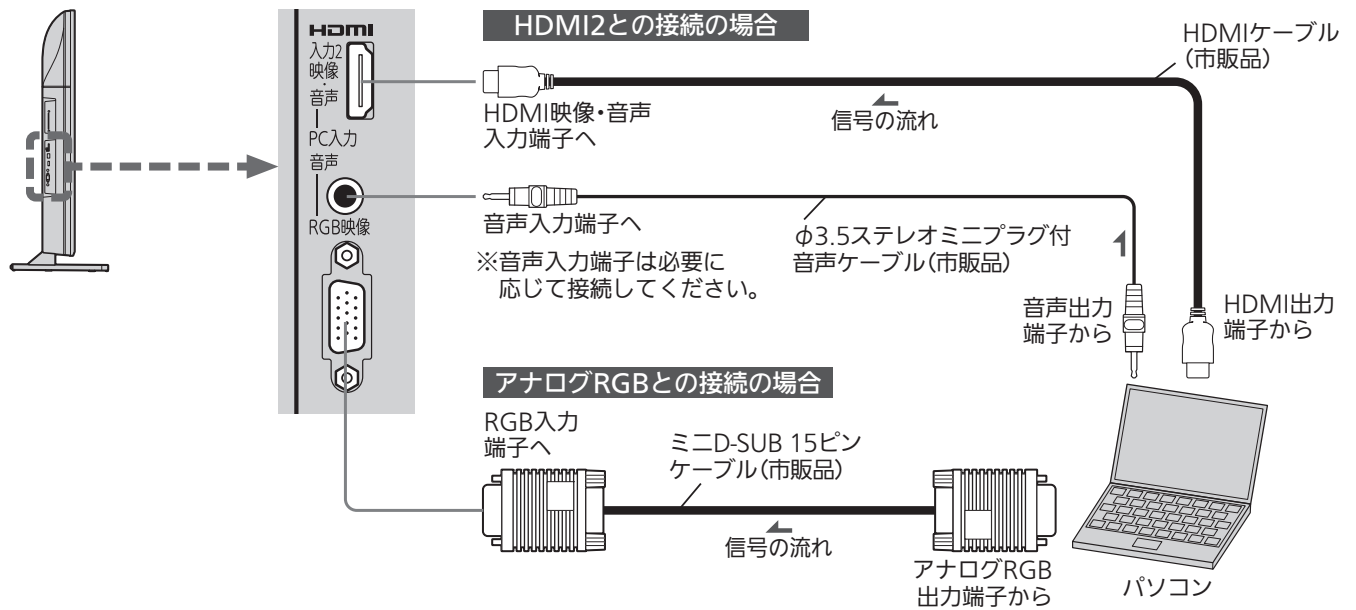
クランプのほどきかた

ツメを手前に倒しながら、バンドを引き抜きます。



準備5 他の機器とつなぐ(つづき)

● パソコンとの接続



お知らせ

- 画像をテレビに映すために、パソコン側の設定が必要な場合があります。パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続するパソコンの種類によっては、変換コネクタや出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 音声を接続する場合、パソコン側で先に音量を適当に調整してください。
- アナログRGB接続したパソコンを使うときは、入力切換で「PC」を、HDMI接続で使うときは、入力切換で「HDMI2」(HDMI1に接続した場合は「HDMI1」)を選んでください。
- TVの電源プラグを抜いた状態でPCの電源を先に立ち上げると、映像が正しく表示されない場合があります。
- アナログRGB接続のとき
 - ・画面の位置・大きさが適切でなかったり、文字のニジミがある場合は、「メニュー」→「設定」→「画面設定」の「PC設定」で調整してください。
 - ・PC入力端子に信号が入力されていない場合は、メニューの「PC設定」に入ることができません。
- HDMI接続のとき
 - ・HDMI接続時の音声は接続されるパソコンにより音声端子との接続が必要な場合があります。パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
 - ・音声接続をする場合は、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「入出力設定」→「HDMI2アナログ音声入力」を「入」に設定してください。

お願い!

- 接続前にテレビとパソコンの電源を必ず切ってください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続するパソコンの仕様によっては正常に表示できない場合があります。
- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI接続と同時に音声入力端子を使用するときは必ず、HDMI2につないでください。

アナログRGB入力対応信号表

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	同期極性	
				H	V
800×600 SVGA	60	37.879	60.317	P	P
1024×768 XGA	60	48.363	60.004	N	N
1280×720 720p	60	45.000	60.000	P	P
1280×800 WXGA	60	49.702	59.810	N	P
1280×1024 SXGA	60	63.981	60.020	P	P
1360×768 WXGA	60	47.712	60.015	P	P
1600×900 HD+	60	60.000	60.000	P	P
1920×1080 1080p	60	67.500	60.000	P	P

表の6項目すべてが一致していないと、表示位置が片寄ったり、画面がぼけることがあります。

HDMI入力対応信号表

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性	
					H	V
800×600 SVGA	60	37.879	60.317	40.000	P	P
1024×768 XGA	60	48.363	60.004	65.000	N	N
1280×720 720p	60	45.000	60.000	74.250	P	P
1280×1024 SXGA	60	63.981	60.020	108.000	P	P
1360×768 WXGA	60	47.712	60.015	85.500	P	P
1600×900 HD+	60	60.000	60.000	108.000	P	P
1920×1080 1080p	60	67.500	60.000	148.500	P	P

表の7項目すべてが一致していないと、表示位置が片寄ったり、画面がぼけることがあります。

準備6 LAN端子につなぐ

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境(FTTH、ADSL、CATVなど)をお持ちの場合、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。家庭内ネットワーク機能を利用するときも、LAN端子につながります。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどで設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

● FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線業者へお問い合わせください。

● ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

● CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線業者と別途ご契約(有料)をしていただく必要があります。くわしくは、プロバイダまたは回線業者にお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのもをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

● 本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、次の手順でご確認ください。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 ▲ ▼で「設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 ▲ ▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
- 4 ▲ ▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
- 5 表示されたウィンドウ内のMACアドレスを確認する

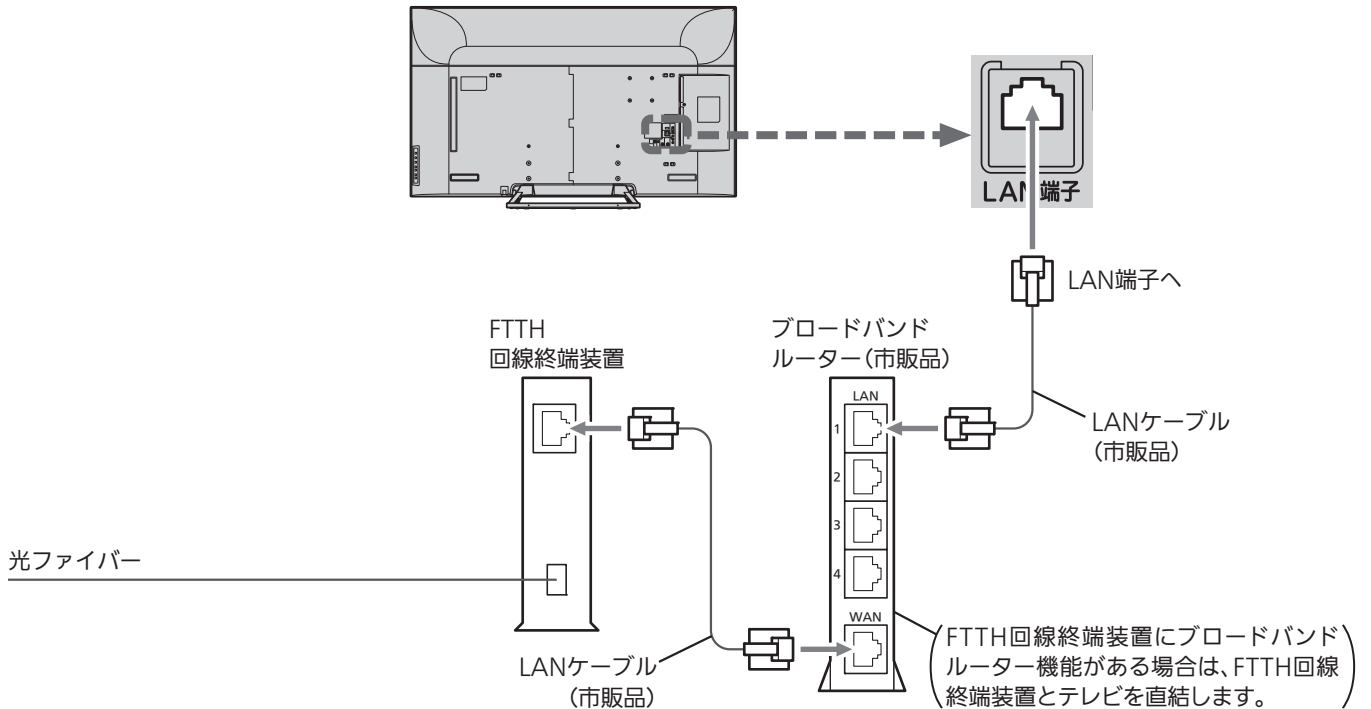
テレビを見る
ための準備

LAN端子につなぐ
他の機器とつなぐ

準備6 LAN端子につなぐ(つづき)

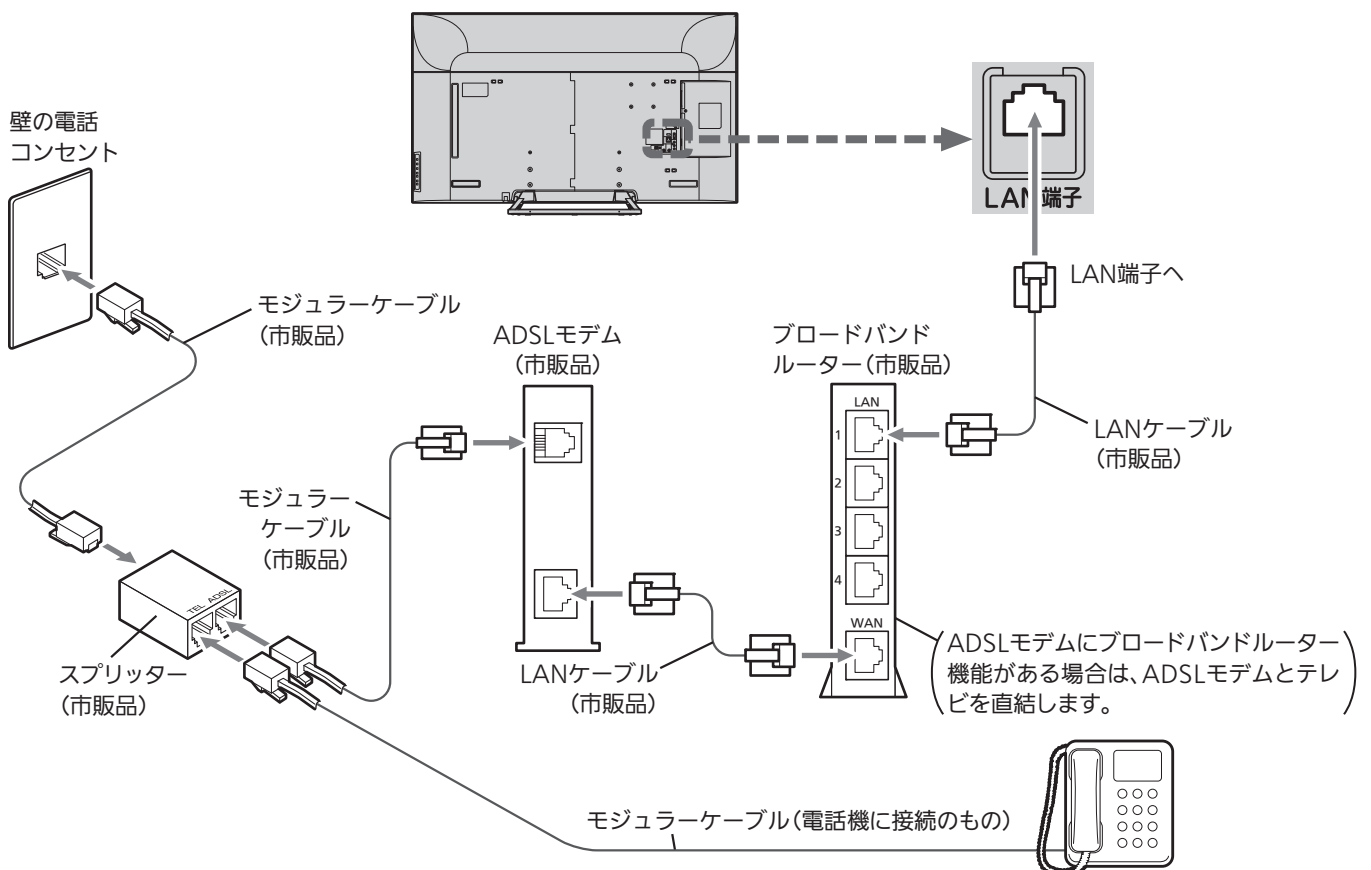
● FTTH(光ファイバー)回線

接続後は、「通信設定」P.152~155 を行ってください。



● ADSL回線

接続後は、「通信設定」P.152~155 を行ってください。



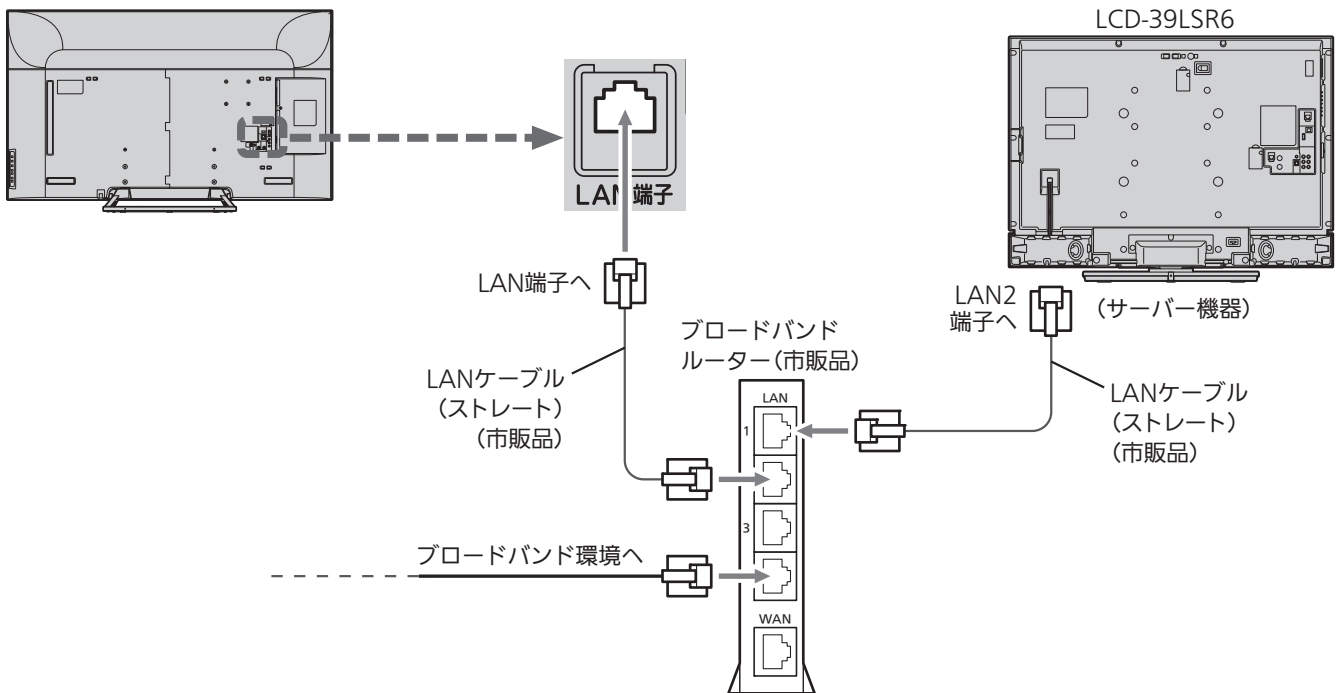
家庭内ネットワーク機能に対応したテレビなどの接続

本機能に対応したテレビ・レコーダーなどの当社製サーバー機器に接続して、それらの機器に録画された番組などを本機で視聴することができます。

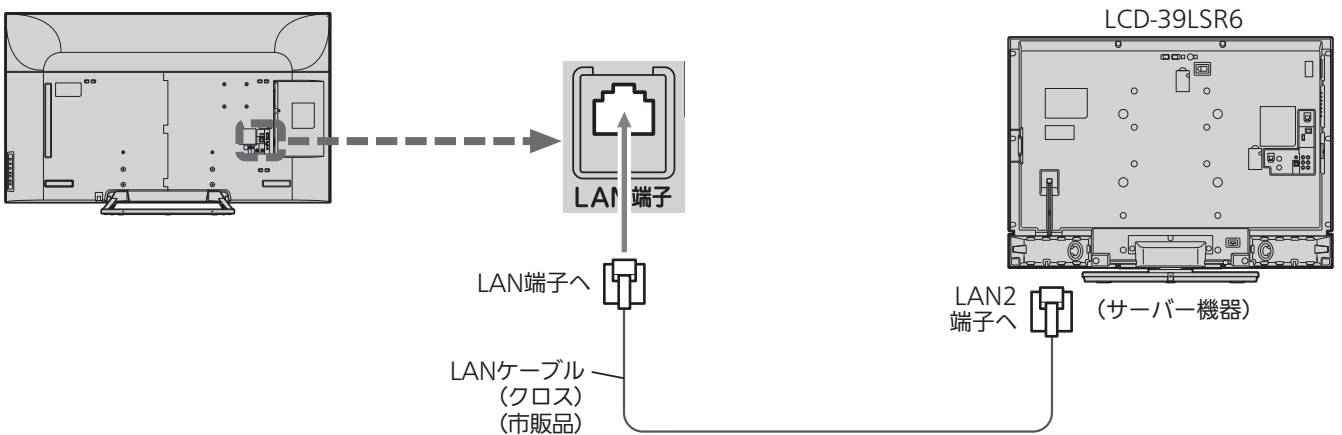
例：当社製HDD内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビ(LCD-39LSR6)を接続する

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

本機で「アクティブラ」[TSUTAYA TV]などの動画配信サービスも一緒に利用する場合の接続例です。
接続後は、「通信設定」 P.152~155 を行ってください。



直接接続する場合

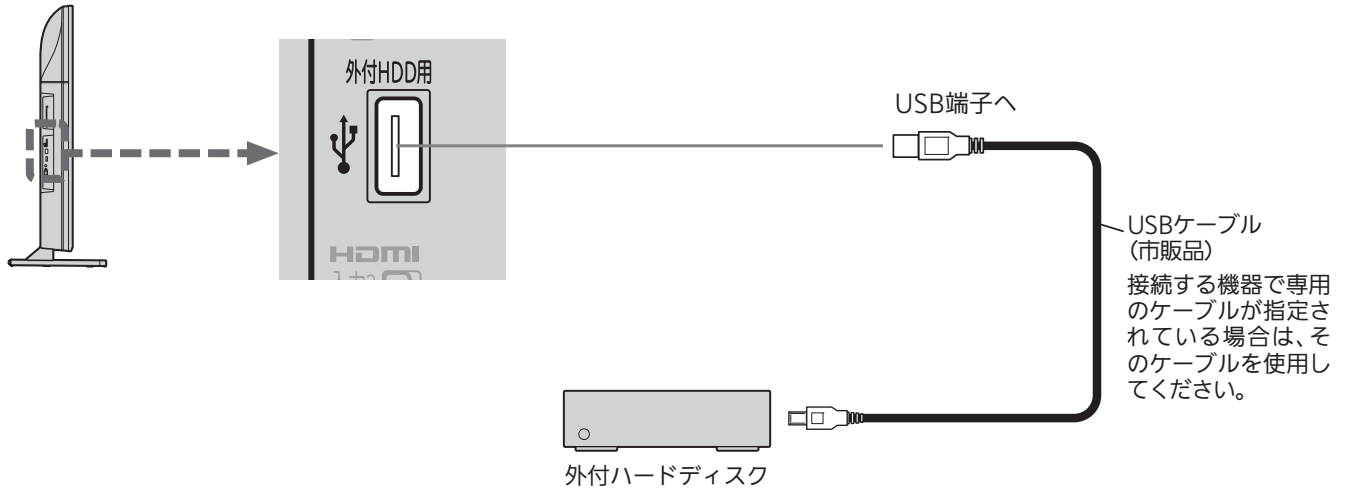


お願い!

- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LANケーブルは、カテゴリ5以上のものをご使用ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したサーバー機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が悪化したり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。

準備7 外付ハードディスクをつなぐ

本機に市販の外付ハードディスクを接続することで、デジタル放送のテレビ番組を録画できます。設定や操作については、**P.160~179**をご覧ください。



お知らせ

- 本機のUSB端子には、デジタル放送録画用ハードディスク以外のものを接続しないでください。
- 本機に接続できるハードディスクは1台だけですが、8台まで登録して取り替えることができます。
- USBハブ(ひとつのUSB端子を複数のUSB端子に変換する機器)は使用できません。
- 録画再生中やハードディスクが動作中は、ハードディスクを外さないでください。
- 本機に接続できるハードディスクは、USB2.0コネクタを持ち、USBマストレージクラスで、容量2TBまでです。
- 本機と接続テスト済みハードディスクのメーカーや型番については、当社のホームページ(http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/ctv/feature/external_hdd.html)やハードディスクのメーカーのホームページなどでご確認ください。

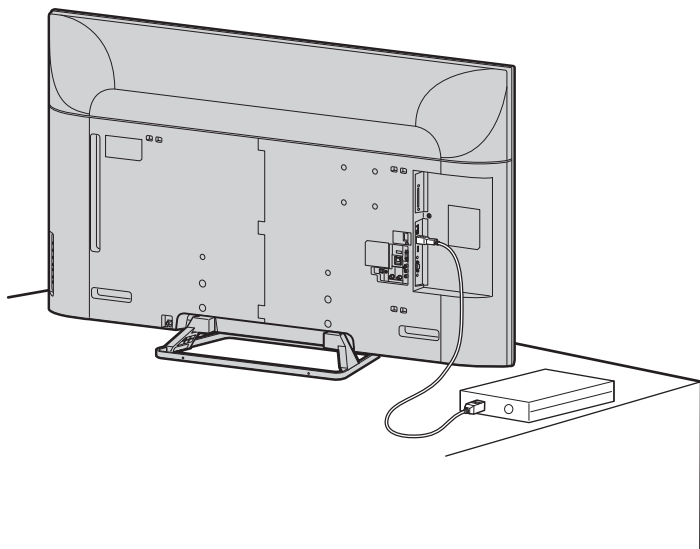
お願い!

- ハードディスクを設置するときは、当たり倒れたりしないよう、よく確かめながら設置してください。
- USBケーブルが長い場合は、ケーブルが引っ掛からないよう、よく確かめながら接続してください。
- USBケーブルは、ハードディスク同梱のものを使用してください。長さが合わないなどでやむを得ず同梱品以外のケーブルを使用する場合は、接続機器で指定・推奨されているケーブルを使用してください。USB規格に準拠していないケーブルは不具合の原因となりますので使用しないでください。
- ハードディスクの取り外しは、必ず次のようなときに行ってください。
 - ・本体の電源ボタンで電源「切」にしたとき **P.13**
 - ・「メニュー」→「テレビ操作」→「外付ハードディスク取外し」→「取外し」で決定ボタンを押し、画面の表示が「接続状態：接続中」から「接続状態：接続なし」に変わったあと **P.179**
- ハードディスクの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

- ハードディスクは非常に精密な機器です。衝撃や振動などが加わらないよう、丁寧にお取扱ください。特にハードディスクの動作中(ハードディスクの表示灯が点灯や点滅をしているとき)はご注意ください。
- USBケーブルは、余裕を持たせて接続してください。きつく折れ曲がる状態にすると、ケーブルが断線する恐れがあります。

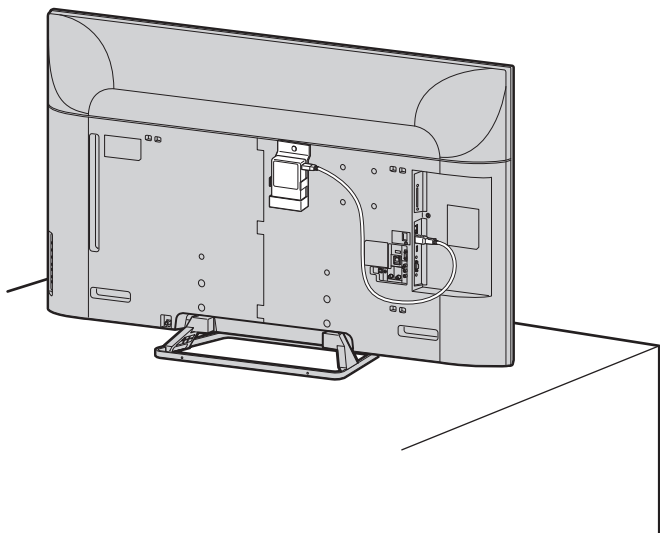
本体への取り付け例(据え置きタイプ)

据え置きタイプのハードディスクをご使用になられる場合の取り付け例です。



本体への取り付け例(ポータブルタイプ)

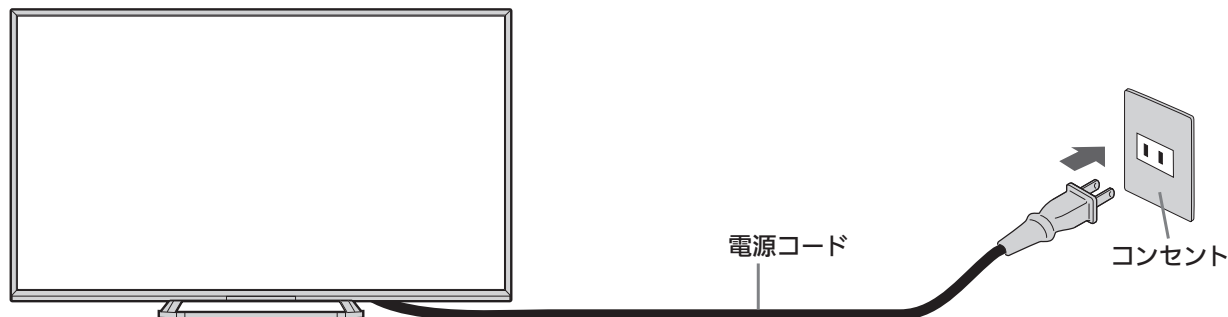
ポータブルハードディスクと、そのメーカーオプションの取付キットをご使用になられる場合の取り付け例です。
取付キット同梱ネジは、しっかり締まるサイズのあったものを必ずご使用ください。



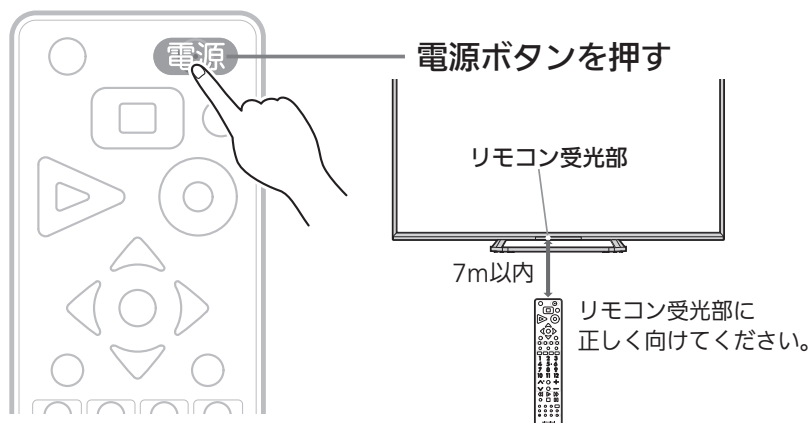
準備8 電源を入れる

● 電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。



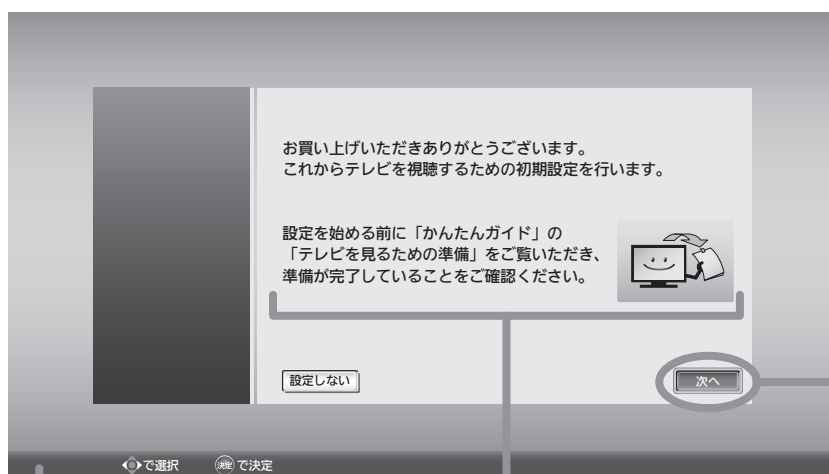
● リモコンで電源を入れる



お知らせ

- 電源が入らないときは、本体電源ボタンを押し電源を入れてください。
- リモコンの準備のしかたについては P.20 をご覧ください。

お買い上げ後、初めて電源を入れると下記の画面(らくらく設定)が表示されます。



選択されると、青色になり、読み上げられます。

画面表示中に使用できるリモコンのボタンです。

画面表示の内容が読み上げられます。読み上げ中は音量ボタンで音量調節したり、消音ボタンで音声を消したりすることができます。

準備9 らくらく設定をする

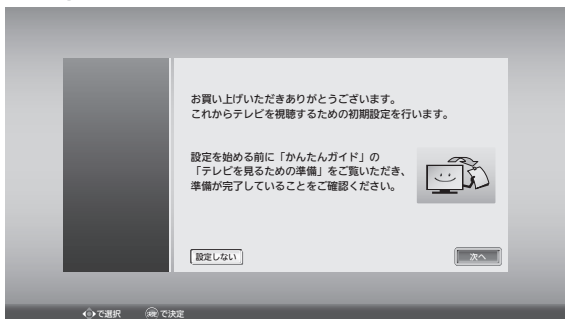
テレビを見るために必要な設定が簡単にできます。

お知らせ

らくらく設定中は、画面表示の内容が読み上げられます。読み上げ中は音量ボタンで音量調節したり、消音ボタンで音声を消したりすることができます。

設定開始

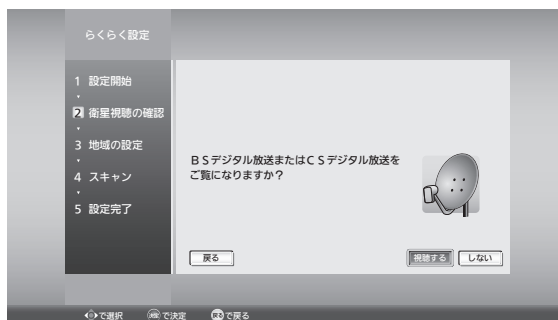
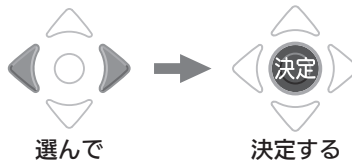
- 1 画面表示のように、本機後面に貼付けられた「かんたんガイド」、または本誌の「テレビを見るための準備」をご覧になり準備ができていないことを確認し、決定ボタンを押す



- 「らくらく設定」をしない場合は、で「設定しない」を選び、を押してください。

衛星視聴の確認

- 3 「視聴する」または「しない」を選ぶ

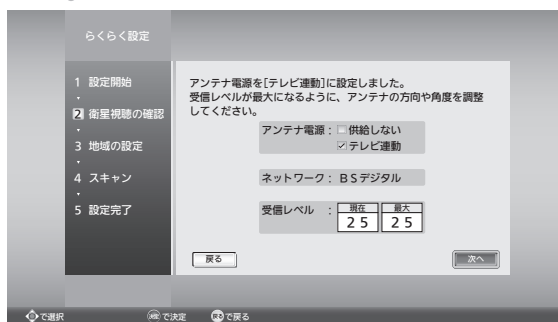


- BSデジタル放送やCSデジタル放送をご覧になるには専用アンテナの設置やCATV会社との契約、放送会社との契約などが必要です。

「視聴する」を選んだ場合は、手順4へ進みます。「しない」を選んだ場合は、手順5へ進みます。

テレビを見るための準備
らくらく設定をする
電源を入れる

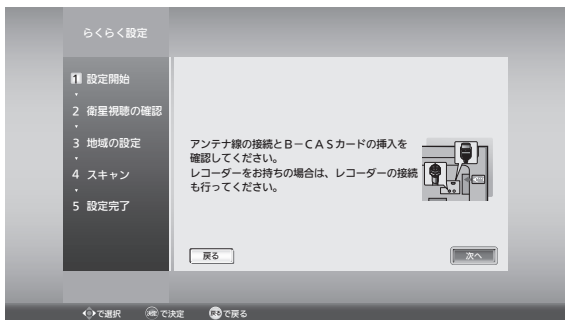
- 4 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す



お知らせ

受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。アンテナ電源の設定についてはP.150をご覧ください。

- 2 決定ボタンを押して、設定を始める



- アンテナ線の接続のしかたについては P.21~23 をご覧ください。
- B-CASカードの入れかたについては P.20 をご覧ください。

お知らせ

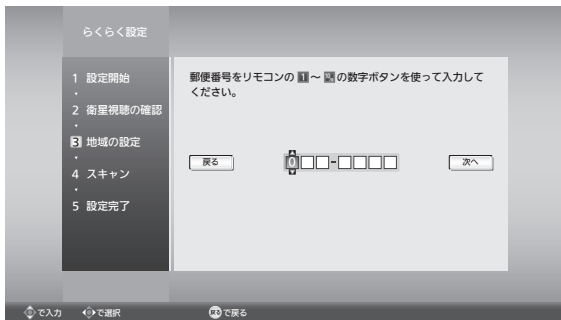
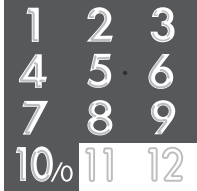
「△B-CASカードが挿入されていません」と表示されたときは、このまま電源プラグを抜き、B-CASカードを入れてから、電源プラグを差しください。デジタル放送を見ない場合は、「次へ」が選ばれている状態で、もう一度決定ボタンを押して手順3へ進んでください。

次ページへつづく


準備9 らくらく設定をする(つづき)


地域の設定

5 7桁の郵便番号を入力する

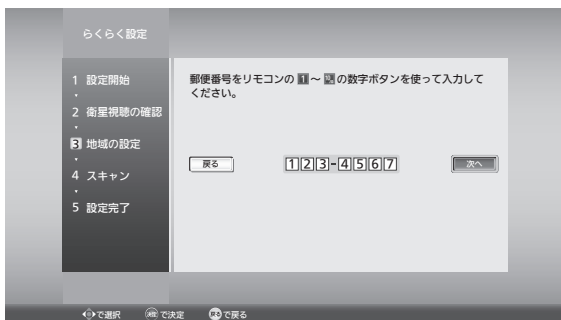


●間違えたときは  で戻り、入力し直してください。

●  でも入力できます。

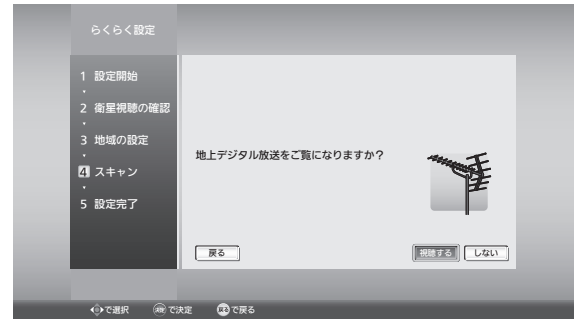
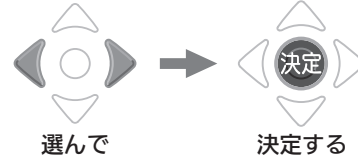
この場合、7桁目を入力したあとで  を押して「次へ」を選んでください。

6 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す

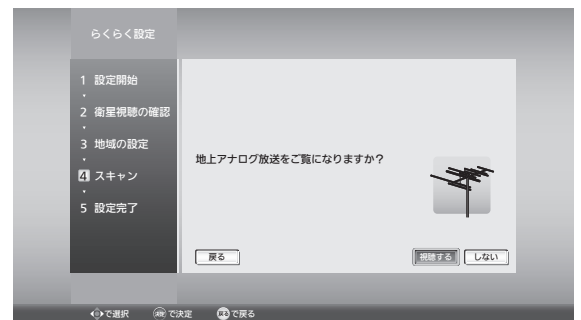
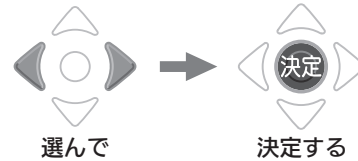


スキャン

7 「視聴する」または「しない」を選ぶ

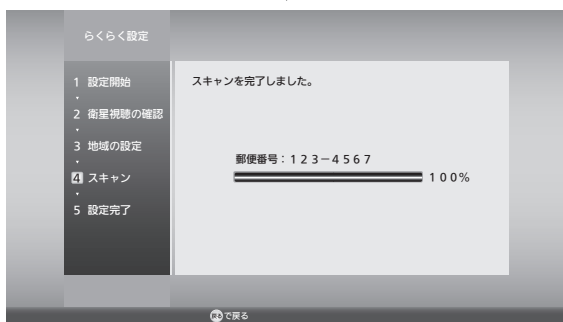
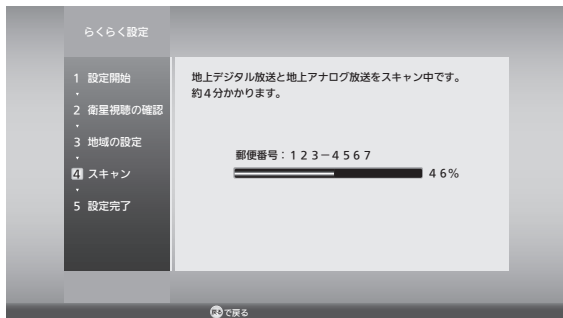
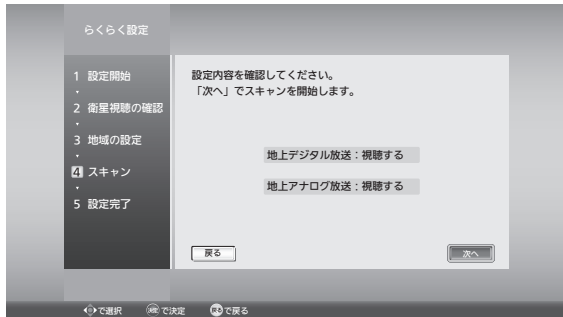


8 「視聴する」または「しない」を選ぶ



次ページへつづく

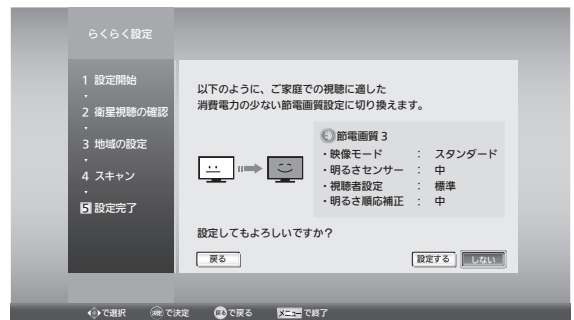
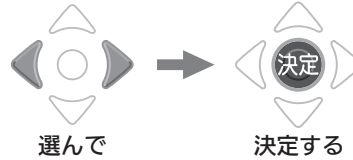
9 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す



節電画質設定

「変更する」を選んで節電画質に切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

10 「設定する」または「しない」を選ぶ



お知らせ

- この手順で節電画質設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、節電ボタンを押して「節電アシスト設定」→「節電画質設定」で切り換えることができます。節電画質設定については **P.49** をご覧ください。
- 節電画質を設定すると、画面がそれまでと比べやや暗くなります。

テレビを見る
ための準備

設定ボタンを押す

お知らせ

「△放送が受信できません」などが表示されたときは、**P.21~23** をご覧になり、アンテナ接続を確認してください。正しく接続し直したあとは、決定ボタンを押してスキャンし直してください。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」**P.39** をご覧ください。

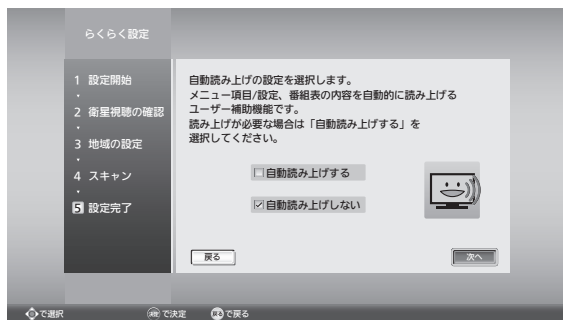
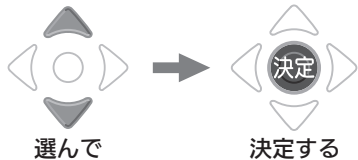
次ページへつづく

準備9 らくらく設定をする(つづき)

読み上げ設定

メニュー、番組表、番組内容、予約一覧などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。

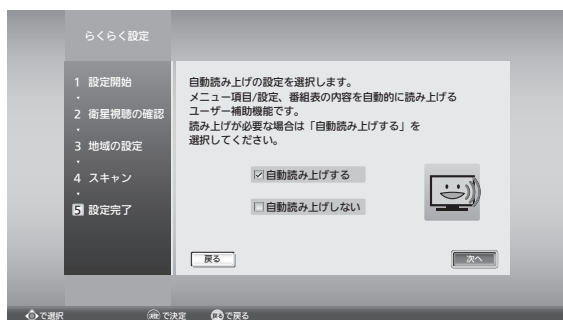
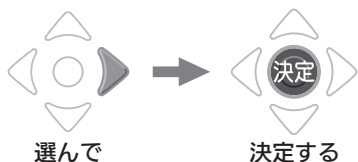
11 「自動読み上げる」または「自動読み上げしない」を選ぶ



お知らせ

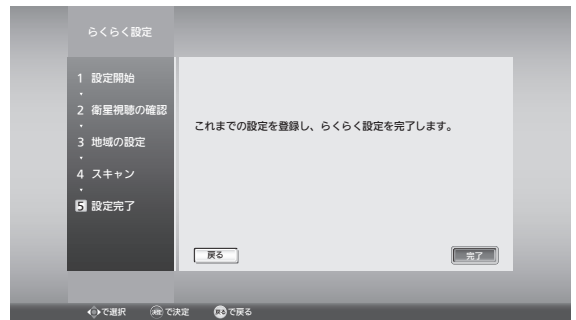
この手順で読み上げ設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、「メニュー」→「設定」→「音声設定」→「読み上げ設定」→「自動読み上げ」で切り換えることができます。読み上げ設定については P.118 をご覧ください。

12 「次へ」を選んで、決定ボタンを押す



設定完了

13 「完了」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



らくらく設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。

地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。

[**720**]を押してケーブルテレビなどのアナログ放送に切り換える P.42 など、これまでご覧になっていた放送に切り換えてください。

■ テレビの見かたについては

デジタル放送(地上・BS・110度CSデジタル)は P.40 をご覧ください。

ケーブルテレビなどのアナログ放送は P.42 をご覧ください。

■ お好みの番号にお好みの放送を割り当てるには

- ・ケーブルテレビなどのアナログ放送の場合は P.140 「『地上アナログ手動』で設定する」をご覧ください。
- ・地上デジタル放送の場合は P.145 「リモコンにデジタル放送のチャンネルを追加する」をご覧ください。

■ 外付ハードディスクを接続されている場合は

引き続きハードディスクを本機で使うための登録を行います。他のテレビやパソコンで使用されていたハードディスクを登録すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。くわしくは P.164 をご覧ください。

外付ハードディスク登録

ハードディスクが接続されました。
録画用のハードディスクとして登録しますか？

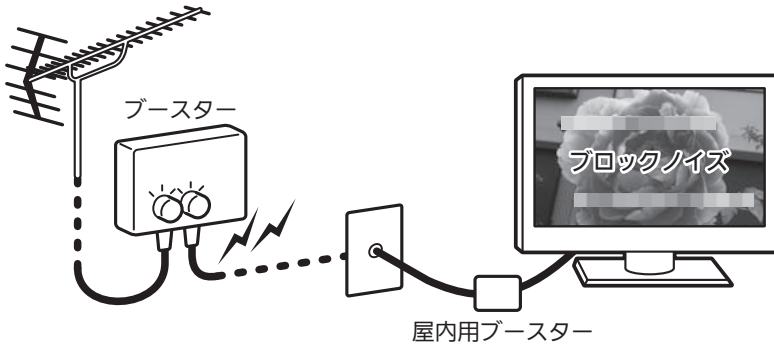
登録する

しない

屋内配線も重要です

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、屋内配線を確認してみましょう。

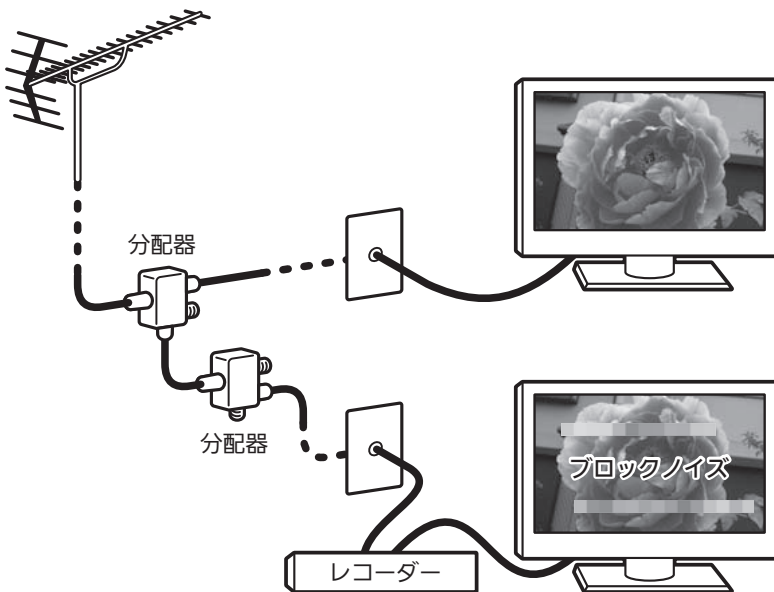
アナログ放送のときに使っていたブースターをそのまま使っていると、電波が強すぎて、映りが悪くなる場合があります。



➡ **屋内用ブースターを外してみましょう。**

屋内用ブースターは、アンテナから壁の端子の妨害も一緒に増幅し、映りを悪くする場合があります。

分配器や録画機器を通っていると、電波が弱くなり、映りが悪くなります。

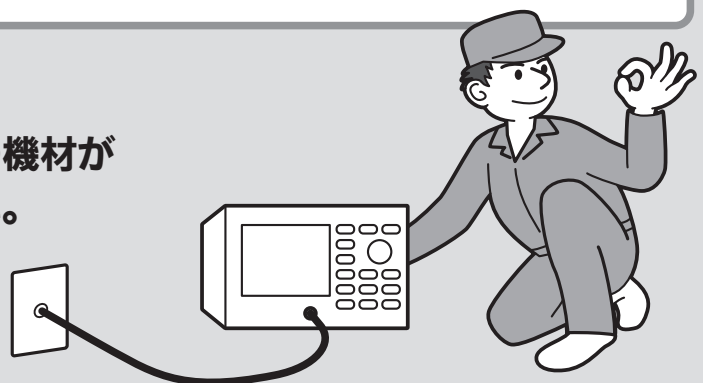


➡ **アンテナレベルを確認しましょう。**

「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」で受信レベルを確認できます。

安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

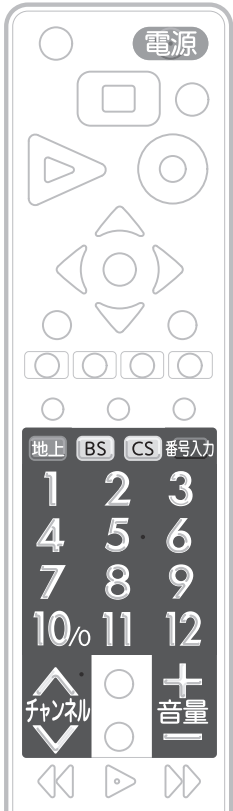
電波状況の確認については、専用の機材がそろった工事業者にご相談ください。集合アンテナをご利用の場合は、管理者にご相談ください。



テレビを見るための準備

屋内配線も重要です
しっかりと設定をする

デジタル放送を見る (地上・BS・110度CSデジタル)



お知らせ

- リモコン電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。
一部の回路が通電しています。
- 暗証番号を登録して視聴制限を設定している場合 **P.122** は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときや、ネットワークを利用するときに、暗証番号入力画面が表示されます。 **P.41**
- 受信状況 (受信レベル) の確認ができます。 **P.90**
- 外付ハードディスクに録画中は、視聴している番組から他の番組へ変更することができません。録画を停止する必要があります。

お願い!

携帯電話の通話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」

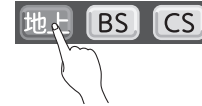
P.39 をご覧ください。

1 電源を入れる



- 電源表示灯が赤から緑に変わります。
- 電源表示灯が無点灯のときは、リモコンの電源ボタンはたараきません。本体の電源ボタンを押し電源を入れてください。

2 デジタル放送の種類を選ぶ



- **CS** は押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。 **P.137**

3 チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルは、「チャンネル設定」→「地上デジタル手動」により変えることができます。 **P.145**

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す



- BS・110度CSデジタル放送の工場出荷時に設定されているチャンネルについては、 **P.41** をご覧ください。

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

番号入力ボタンを押した後、数字ボタンで3桁入力する
5秒以内に次の番号を押してください。

例：103チャンネルを選ぶとき



「0」を入力するときは **10%** を押します。

- 110度CSデジタル放送では、CS1、CS2のどちらからでも選べます。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネル **▲▼** ボタンを押す



- 視聴しないチャンネルを飛び越し (スキップ) できます。 **P.146**
- 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。

4 音量を調節する



- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。
- スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。

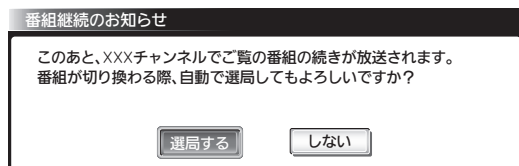
P.117

イベントリレーで番組の続きを見るとき

視聴中の番組の放送時間が延長される時などは、別のチャンネルで番組の放送が継続されることがあります。このようなときは、番組終了時刻の約30秒前に「番組継続のお知らせ」画面が表示されます。

「選局する」または「しない」を選ぶ

◀▶ で選び、決定 を押す



「選局する」…元のチャンネルでの番組終了後、続きの放送をするチャンネルに自動で切り換わります。

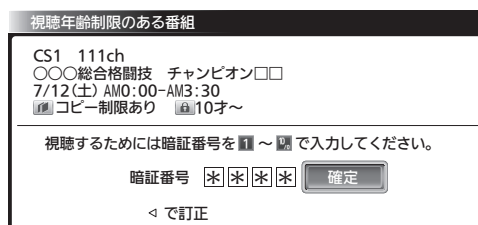
「しない」……チャンネルを自動で切り換えません。

- 外付ハードディスクへの録画では、自動的に選局し直して録画を続けます。

視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢 **P.123** で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときや、ネットワークを利用するとき(ネットワーク利用制限 **P.123** を設定している場合)は、暗証番号の入力が必要です。

1 1 ~ 10 で4桁の暗証番号を入力する



- 入力した数字は「*」で表示されます。
- 「0」を入力するときは **10** を押します。
- 間違えたときは ◀▶ を押して、1文字消すことができます。

2 「確定」が選ばれていることを確認し、決定 を押す

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

工場出荷時に設定されているチャンネル (2014年8月現在)

BS BSデジタル放送			CS CS1(110度デジタル放送)			CS CS2(110度デジタル放送)		
1	101	NHK BS1	1	001	放送休止中	1	100	スカパー！プロモ 100
2	102	NHK BS1(マルチ)	2	---		2	---	
3	103	NHK BSプレミアム	3	---		3	---	
4	141	BS日テレ	4	---		4	300	日テレプラス
5	151	BS朝日 1	5	055	ショップチャンネル	5	---	
6	161	BS-TBS	6	---		6	---	
7	171	BSジャパン	7	---		7	---	
8	181	BSフジ・181	8	---		8	---	
9	191	WOWOWプライム	9	---		9	---	
10	200	スター・チャンネル 1	10	---		10	---	
11	211	BS11	11	---		11	---	
12	222	TwelV(トゥエルビ)	12	---		12	---	

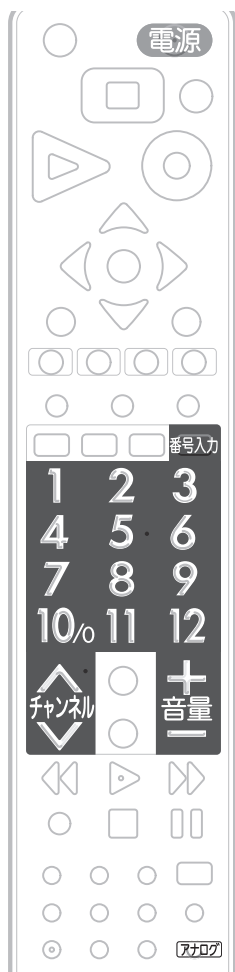
お問い合わせ先

■「WOWOW」お客さまサポート
 TEL：フリーダイヤル 0120-580-807
 受付時間 9：00～20：00 (年中無休)
<http://www.wowow.co.jp/>

■「スター・チャンネル」お問い合わせ
 TEL：0570-013-111
 または、045-650-4724
 受付時間 10：00～18：00 (年中無休)
<http://www.star-ch.jp/>

■スカパー！カスタマーセンター(総合窓口)
 TEL：0120-039-888
 受付時間 10：00～20：00 (年中無休)
<http://www.skyperfectv.co.jp/>

ケーブルテレビなどのアナログ放送を見る



お知らせ

- リモコン電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。
一部の回路が通電しています。
- 外付ハードディスクに録画中は、視聴している番組から他の番組へ変更することができません。録画を停止する必要があります。

お願い!

携帯電話の通話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

CATV(ケーブルテレビ)放送について

このテレビではCATV13チャンネルから63チャンネル(C13~C63)の放送を受信することができます。(受信はサービスの行われている地域のみ可能です。)CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブル放送の受信には、ホームターミナル(アダプター)が必要です。くわしくはCATV会社にお問い合わせください。

1 電源を入れる



- 電源表示灯が赤から緑に変わります。
- 電源表示灯が無点灯のときは、リモコンの電源ボタンははたらきません。本体の電源ボタンを押し電源を入れてください。

2 アナログ放送を選ぶ



- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。P.137

3 チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルと画面に表示されるチャンネル番号は、「チャンネル設定」→「アナログ手動」により変更することができます。P.140~141

1~12チャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す



ボタン13~36のチャンネルを選ぶ

番号入力ボタンを押した後、数字ボタンで2桁入力する
5秒以内に次の番号を押してください。

例：ボタン15を選ぶとき



お知らせ

お好みのボタンにお好みの放送を割り当てることができます。「チャンネル設定」→「アナログ手動」
P.140~141

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネル▲▼ボタンを押す



- 視聴しないチャンネルを飛び越し(スキップ)できます。P.146

4 音量を調節する



- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。
- スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。P.117

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。データ放送では、本機の日本語変換機能 **P.68** は使用できません。



テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。 **P.29・152**

1 デジタル放送を見ているときに **データ d** を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青・赤・緑・黄)や▲▼◀▶、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

連動データ放送を見ているときに「d」ボタンをもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。

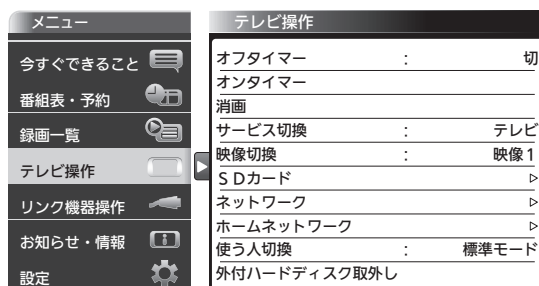
お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、番組内容ボタンを押して「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面右下に「**d**」が表示されます。表示が消えたら、再度「d」ボタンを押してください。

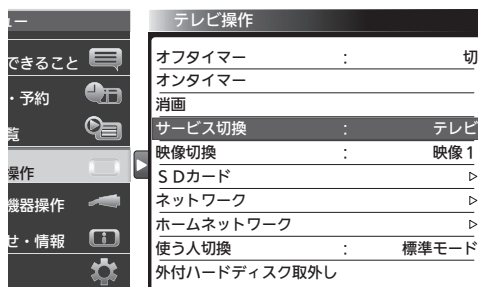
独立データ放送を見る

1 デジタル放送を見ているときに **メニュー** を押す

2 ▲▼で「テレビ操作」を選び、**決定** を押す



3 ▲▼で「サービス切換」を選び、**決定** を押す



4 ▲▼で「データ」を選び、**決定** を押す

5 チャンネル▲▼を押して、チャンネルを選ぶ

番組表 **P.60** から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。

6 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン(青・赤・緑・黄)や▲▼◀▶、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

お知らせ

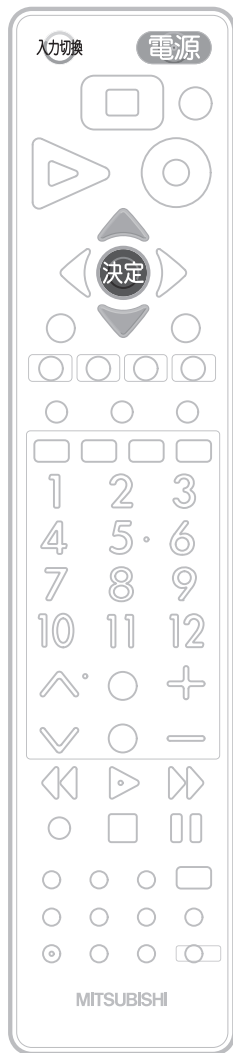
- 独立データ放送に切り換えたあと番組表を表示すると、独立データ放送チャンネルのみの番組表が表示されます。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面右下に「**d**」が表示されます。表示が消えたら、再度「d」ボタンを押してください。

テレビを見る

データ放送を見る
ケーブルテレビなどのアナログ放送を見る

他の機器の映像を見る (入力切換)

他の機器との接続方法については、**P.24~28** をご覧ください。



例：D端子に接続したDVDプレーヤーの映像を見る場合 **P.24**

- 1 本機とDVDプレーヤーの電源を入れる
- 2 リモコンの **入力切換** を押して、「D端子」に切り換える

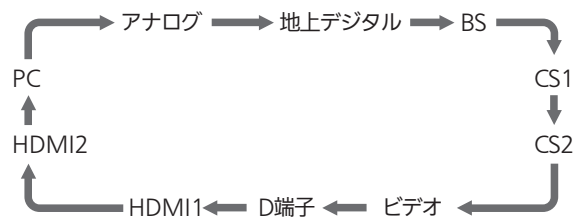


入力切換 を押すごとに次のように切り換わります。



入力切換 の方向キーで項目を選び、**決定** を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。



● 視聴しない放送波を無効にする (飛ばす) ことができます。 **P.137**

お知らせ

- 「入力スキップ設定」 **P.131** によりすべての入力は、スキップする (飛ばす) ことができます。
- お買い上げ時は、ビデオとD端子は、ケーブルを接続していない入力を自動でスキップします。ケーブルが接続されていない入力を選択できるようにするには、「入力スキップ設定」 **P.131** で「しない」に設定してください。
- HDMI1、HDMI2、PC入力をスキップするには、「入力スキップ設定」 **P.131** で「する」に設定してください。

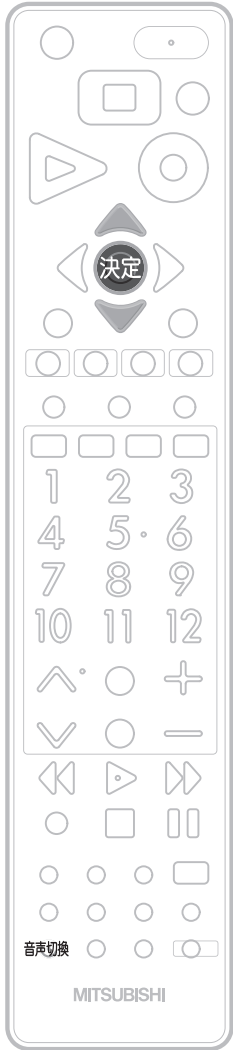
お願い!

ビデオやDVDプレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

3 DVDの再生をする

音声を切り換える

テレビの音声にはモノラル・二重音声(二カ国語)・ステレオ・サラウンドなどがあり、自動的に切り換わります。二重音声(二カ国語)放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切り換えることができます。



番組を見ているときに

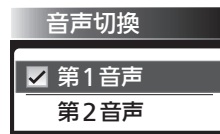
音声切換を押す

押すごとに音声が切り換わります。

 で項目を選び、 を押しても切り換わります。

切り換わる音声の種類は、デジタル放送とアナログ放送とで異なり、また番組によっても異なります。

デジタル放送の場合

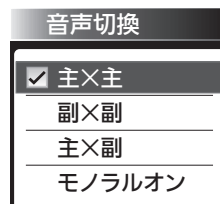


音声切換を押すごとに音声信号が切り換わります。



二重音声放送の場合は、主音声→副音声→主/副音声と切り換わってから、次の音声信号に切り換わります。

アナログ放送の場合



音声切換を押すごとに切り換わります。



※モノラルオン…ステレオ放送で雑音が多い場合は、「モノラルオン」に設定すると聞こえやすくなります。

- 二重音声放送でないときは、主/副音声、副音声は出ません。音声切換ボタンを押すと、画面表示だけが変わります。
- 音声切換の状態は、電源を切ってもチャンネルごとに記憶されています。

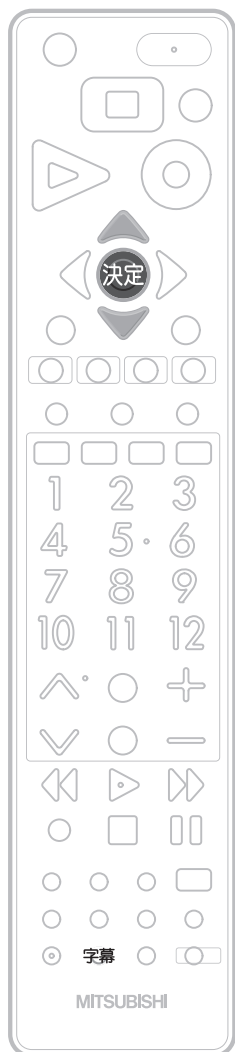
お知らせ

- 外付ハードディスクに録画したもの、家庭内ネットワークで視聴しているものでも切り換える音声信号がある番組は操作ができます。
- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切換をしてください。
- ステレオ放送などで「モノラルオン」を選んでいるときは、ステレオ放送・二重音声放送を受信しても、モノラル音声・主音声が出ます。
- 外部入力の場合は、音声切換ボタンで音声を切り換えられません。
- メニューの「今すぐできること」でも設定できます。「メニュー」→「今すぐできること」から「音声切換」を選んで、設定を切り換えることができます。

P.72

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示/非表示や言語を設定できます。



字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに

字幕を押す



● 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。

- ・ **画面表示** を押す

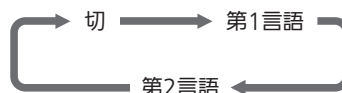
字幕表示できる番組では、画面右上に「字幕あり」と表示されます。

- ・ **番組内容** を押す

字幕表示できる番組では、番組内容の詳細画面に **字** マークが表示されます。

くり返し押して「第1言語」または「第2言語」を選ぶと字幕が表示されます。

押すごとに次のように切り換わります。



で項目を選び、**決定** を押しても切り換わります。

「第1言語」…… 番組の第1言語の字幕を表示します。

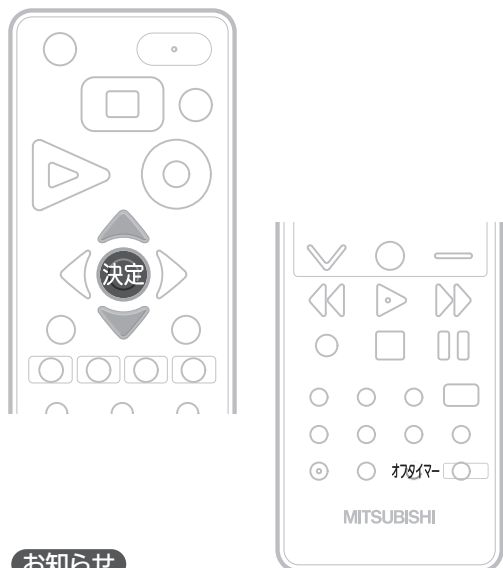
「第2言語」…… 番組の第2言語の字幕を表示します。

「切」…………… 字幕や文字スーパーを表示しません。

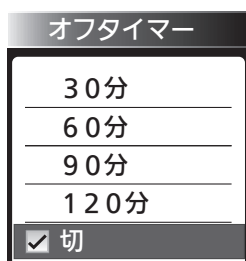
お知らせ

- 外付ハードディスクに録画したもの、家庭内ネットワークで視聴しているものでも字幕のある番組は操作ができます。
- 日本語の字幕が、必ずしも第1言語ではありません。番組によって異なります。
- メニューの「今すぐできること」でも設定できます。「メニュー」→「今すぐできること」から「字幕」を選んで、設定を切り換えることができます。 **P.72**

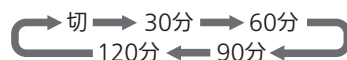
自動的に電源を切る (オフタイマー)



オフタイマーを押す



ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。



◀▶ で項目を選び、決定 を押しても切り換わります。

表示が消えて、オフタイマーがスタートします。

- オフタイマーを取消したいときは
オフタイマー「切」が選択されるまでオフタイマーを押す
- 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは
オフタイマーを1回押す
2回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。
- 電源が切れる1分前になると
「オフタイマー 1分前」の表示が出ます。

お知らせ

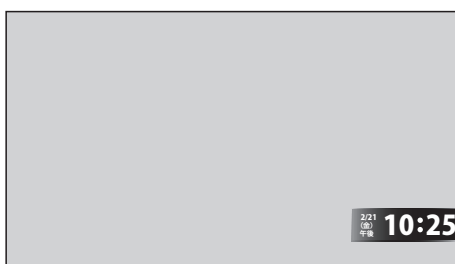
- 「メニュー」→「テレビ操作」→「オフタイマー」でも設定することができます。メニューについては、[P.72](#) をご覧ください。
- オンタイマーについては、[P.84~85](#) をご覧ください。

時刻を表示する



時刻を押す

時刻が画面に表示されます。



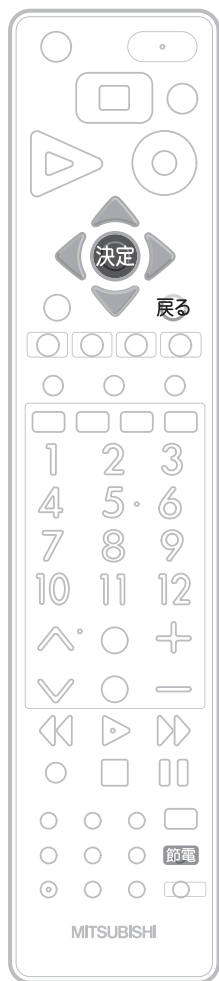
自動読み上げを「入」、自動読み上げ詳細設定で「時刻」を「読み上げる」に設定していると時刻表示を読み上げます。 [P.118](#)

お知らせ

放送から時刻を取得しますのでアンテナを繋いでください。

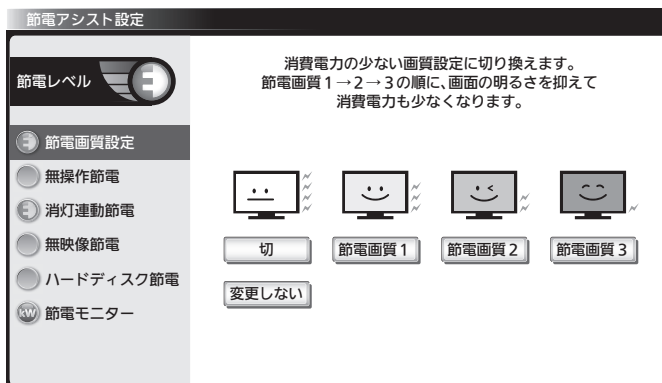
いろいろな節電設定を選ぶ (節電アシスト)

電気を効率よく使うための各種設定をまとめてできます。
画面のガイダンスをお読みになり、ご自分にあった節電内容に設定してください。



1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。



- 次の画面を表示中は、節電ボタンを押しても節電アシスト設定画面は表示されません。
らくらく設定、メニュー、SDカード再生、外付ハードディスク再生
- 節電アシスト設定画面を表示中にSDカードを挿入すると、節電アシスト設定を終了します。

2 ▲ ▼ で節電項目を選び、決定 を押す

● 各項目のくわしい説明は、下記の参照ページをご覧ください。

- 節電画質設定 P.49
- 無操作節電 P.121
- 消灯連動節電 P.121
- 無映像節電 P.121
- ハードディスク節電 P.121
- 節電モニター P.50

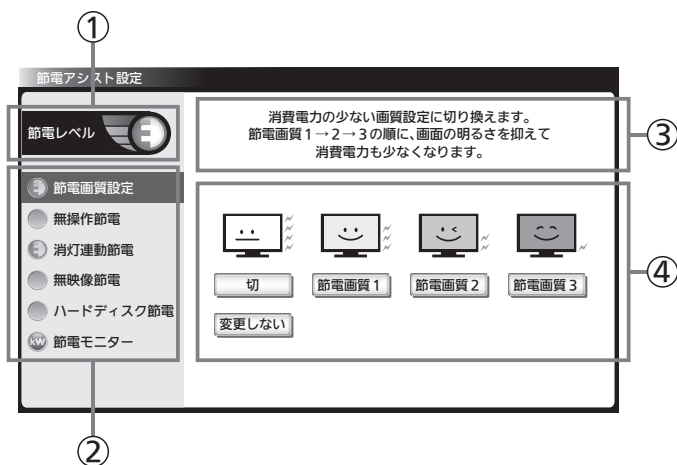
3 ◀ ▶ で設定を選び、決定 を押す

4 設定が終わったら、節電 を押す

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」でも設定することができます。メニューについては、P.72 をご覧ください。

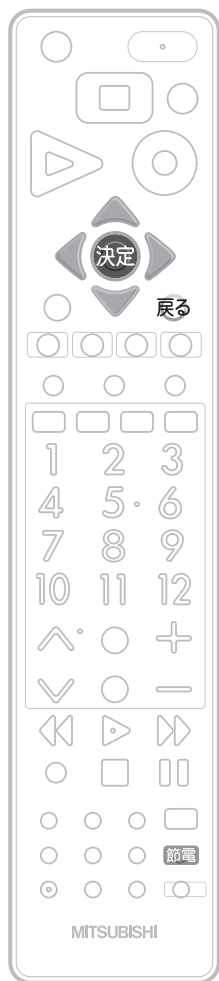
節電アシスト設定画面の見かた



- ① 節電レベル**
各節電項目の設定状態に応じて4段階で表示します。節電レベルが上がると点灯します。
- ② 節電項目**
設定が「切」以外の場合に E が表示されます。
▲ ▼ で選ぶと、③に機能の説明が表示されます。
- ③ 機能説明エリア**
- ④ 設定変更エリア**
◀ ▶ で選び、決定 を押して設定を変更します。

節電画質設定にする

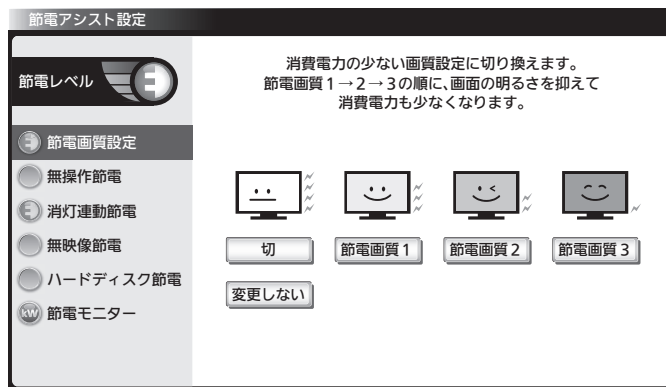
節電画質設定にすると、一度に「映像モード」「バックライト」「コントラスト」「明るさセンサー」「視聴者設定」「明るさ順応補正」を、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質の設定に切り換えることができます。



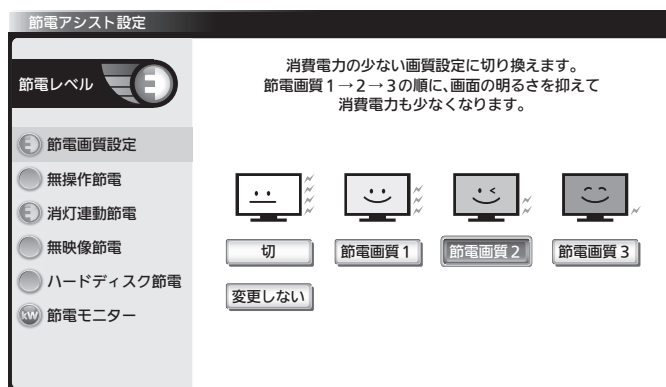
1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。
節電アシスト設定については、P.48 をご覧ください。

2 ▲▼ で「節電画質設定」を選び、決定 を押す



3 ◀▶ で設定を選び、決定 を押す



- 工場出荷時の状態に戻したい場合は、「切」を選んでください。
- 現在の設定のまま終了する場合は、「変更しない」を選んでください。

4 節電 を押す

お知らせ

- 主に画面の明るさを変更する機能です。設定によっては画面を暗く感じることがあります。
- 「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」でも設定することができます。メニューについては、P.72 をご覧ください。
- 節電画質設定により、バックライトでの消費電力を削減します。節電画質設定にすることで、工場出荷設定の状態のままでもお使いになる場合と比べ、消費電力が削減されます。次の条件では約36%削減されます。(削減量はお部屋の明るさや画面表示内容などの条件により変わります。)平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件において、節電画質設定を行ったときの消費電力：約108 W
工場出荷状態のときの消費電力：約169 W
⇒ $36\% = (1 - 108/169) \times 100$

お知らせ

- 各節電画質の設定は次のようになります。

節電画質 1

- ・映像モード : ハイブライト
- ・明るさセンサー : 中
- ・視聴者設定 : 切
- ・明るさ順応補正 : 切

節電画質 2

- ・映像モード : ナチュラル
- ・明るさセンサー : 中
- ・視聴者設定 : 標準
- ・明るさ順応補正 : 切

節電画質 3

- ・映像モード : スタンダード
- ・明るさセンサー : 中
- ・視聴者設定 : 標準
- ・明るさ順応補正 : 中

切

- ・映像モード : ハイブライト
- ・明るさセンサー : 切
- ・視聴者設定 : 切
- ・明るさ順応補正 : 切

消費電力を少なくする効果の順序は、各映像モードの画質設定を工場出荷状態のままとした場合を基準としています。

映像モードの画質設定を変更された場合は順序が前後する場合があります。

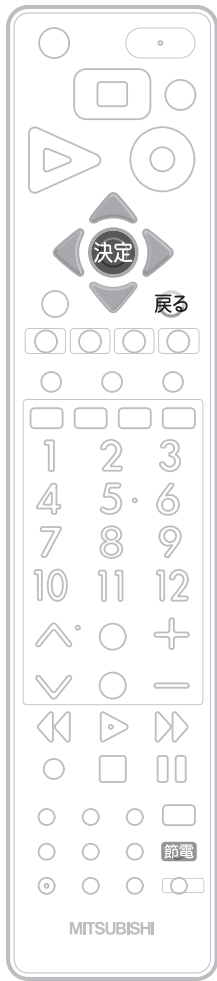
テレビを見る

節電画質設定にする
いろいろな節電設定を選ぶ

節電モニターで省エネ効果を確認する

節電モニター画面では、ご使用を開始されてからの電力・CO₂排出の削減量や電気代の節約量を確認することができます。省エネの目安として参考にしてください。

また、リセットできますので、月々の節約量をチェックする、といった使いかたもできます。電力単価、CO₂排出原単位はご契約の電力会社に合わせて設定を変更することができます。



お知らせ

- 電力・CO₂排出の削減量や電気代の節約量は目安として表示します。
- 電気代は消費電力と電気代の単価を元に算出していますが、電気代の単価は電力会社の契約によって異なります。ご契約の電気代の単価については、電力会社にご確認ください。本機に設定されている電気代の単価を変更する場合は、P.51 手順 6 「電力単価」で変更してください。
- CO₂排出量は消費電力とCO₂排出原単位を元に算出していますが、CO₂排出原単位は電力会社によって異なります。CO₂排出原単位については、ご契約の電力会社にご確認ください。本機に設定されているCO₂排出原単位を変更する場合は、P.51 手順 7 「CO₂排出原単位」で変更してください。

1 節電 を押し、内容を確認する

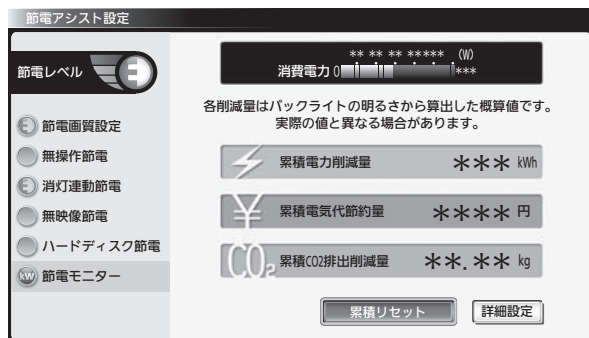


※消費電力の目盛は機種により異なります。

- 累積値をリセットする場合は、手順 2 へ進みます。
- 電力会社との契約内容にあわせて電気代の単価やCO₂排出原単位を変更する場合は、手順 6 へ進みます。
- そのまま終了する場合は、手順 8 へ進みます。

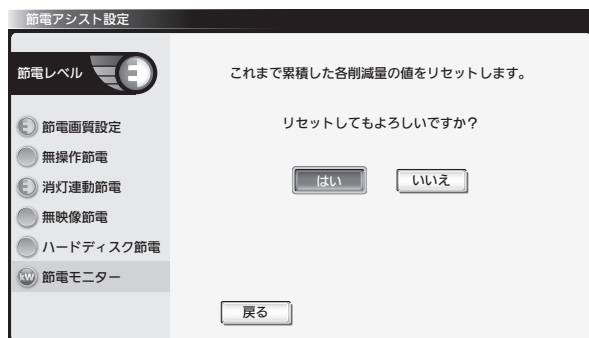
累積値をリセットする場合

2 ◀▶ で「累積リセット」を選び、決定 を押す



※消費電力の目盛は機種により異なります。

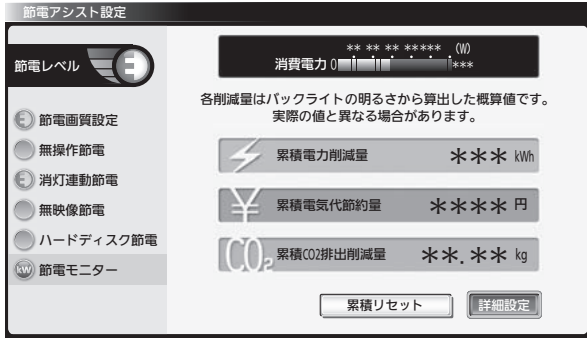
3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す



累積値がリセットされ、手順 1 の画面に戻ります。

画面表示の有無と、電力単価やCO₂排出原単位を変更する場合

4 ◀▶ で「詳細設定」を選び、決定を押す



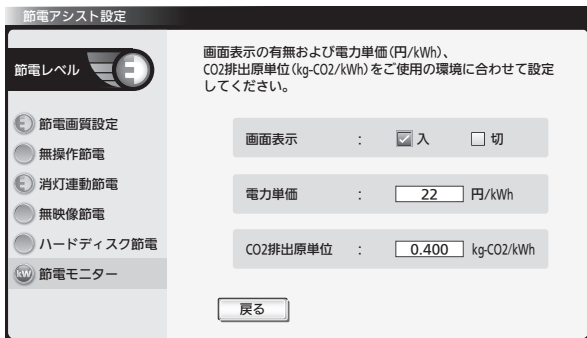
※消費電力の目盛は機種により異なります。

5 画面表示の有無を設定する

画面表示 P.52 に節電メーター、消費電力メーターを表示するかどうかを設定します。

① ◀▶ で「入」または「切」を選び、決定を押す

- 「入」にすると、画面表示を出したときに節電メーターまたは消費電力メーターが表示されます。

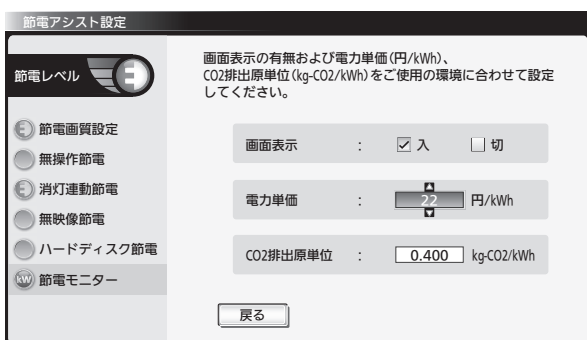


6 電気代の単価を変更する

① ▼ で「電力単価」を選び、決定を押す

② ▲▼ で1時間あたりの電気料金を選び、決定を押す

- 工場出荷時は「22円/kWh」に設定されています。

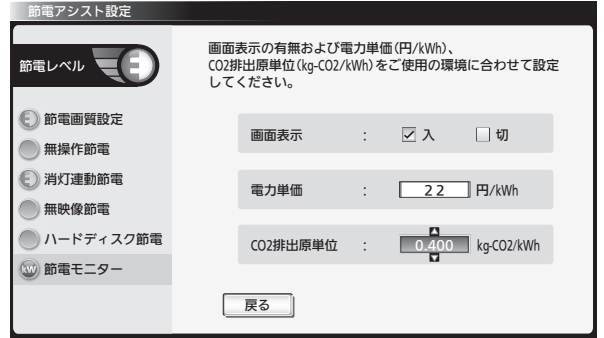


7 CO₂排出原単位を変更する

① ▼ で「CO₂排出原単位」を選び、決定を押す

② ▲▼ でCO₂排出原単位を選び、決定を押す

- 工場出荷時は「0.400kg/kWh」に設定されています。



8 節電を押す

お知らせ

- 累積電力削減量は、バックライトでの消費電力削減量の累積です。バックライトでの節電に効果のある設定*になっている間、削減された電力を加算していきます。バックライトでの消費電力削減量は、工場出荷設定のまま(最もバックライトが明るい状態)のバックライトでの消費電力から、
 - ・バックライトでの節電に効果のある設定*にすることによりバックライトの明るさを抑えたときのバックライトでの消費電力を引いたものです。
- *:バックライトでの節電に効果のある設定とは、「明るさセンサー」、「視聴者設定」P.111 が「切」以外の設定をいいます。節電画質設定を「切」以外にするとかんたんに設定できます。バックライトでの節電に効果のある設定中では、
 - ・「バックライト」P.108 を調整する(映像モードを切り換えても「バックライト」の値は変わりません)
 - ・「明るさ順応補正」P.112 を「切」以外にすることによるバックライトでの消費電力削減量も加算されます。
- 節電モニター表示内容の一例として、平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件で、1日4.5時間、1年間使用時に「節電画質設定」P.49 を行った場合、節電モニター表示値は次のようになります。

<例>

[消費電力の削減量 約61 W (=約169 W - 約108 W P.49)] × 4.5 h × 365 ÷ 100 kWh]

累積電力削減量 約100 kWh

累積電気代節約量 約2200 円 (電力単価=22 円/kWh)

累積CO₂排出削減量 約40.00 kg (排出原単位=0.4 kg/kWh)

- 累積電力削減量は、バックライトの明るさからの算出値です。実際のテレビ全体の消費電力の差分と数値は異なります。
- 表示される電気代は、計量法で定められた算出方法とは異なるため、公的な取引に用いることはできません。
- 「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」→「節電モニター」でも設定することができます。メニューについては、P.72 をご覧ください。

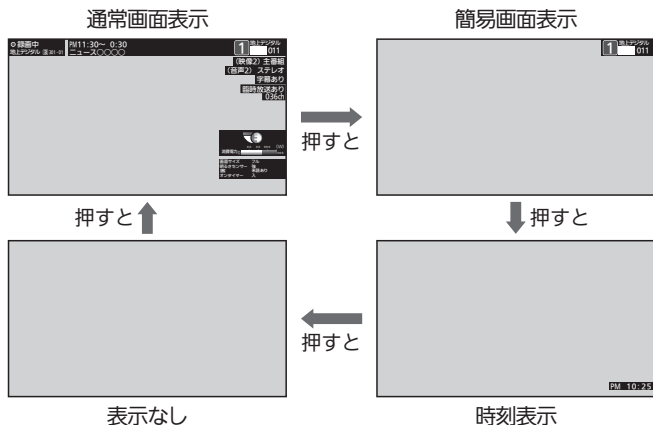
チャンネル番号や節電メーターなどを表示する

現在見ている番組のチャンネル番号、映像や音声の種類、節電メーター、画面サイズ、現在時刻などを確認できます。表示の内容は、アナログ放送とデジタル放送とで異なります。また、読みやすいように表示文字を大きくすることができます。 **P.148**



画面表示 を押す

押すごとに次のように切り換わります。

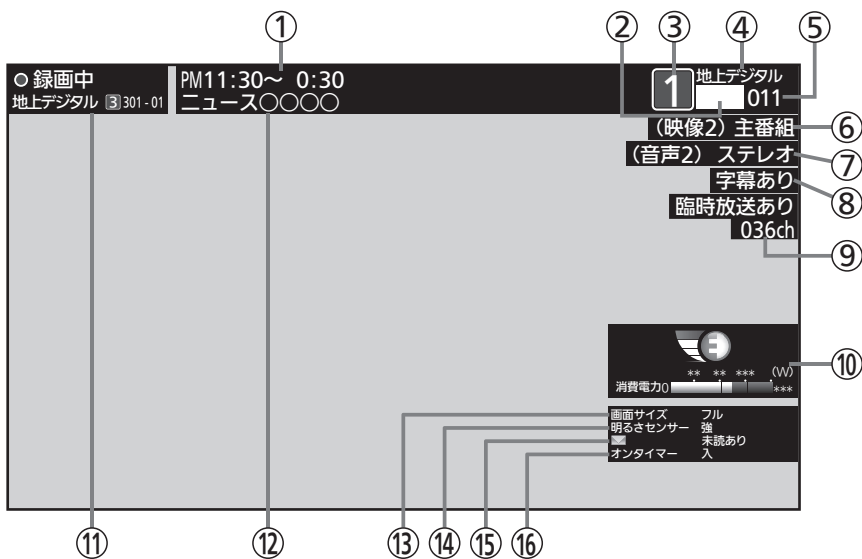


- 「通常画面表示」は約8秒で自動的に消えますが、すぐに消えたいときは、表示が消えるまで **画面表示** を数回押してください。
- 「簡易画面表示」と「時刻表示」は、**画面表示** を数回押して「表示なし」にするまで表示し続けます。焼き付け(映像内容が変わっても画像が消えずに残る)防止のため、電源を切ると表示は消えます。時刻表示が消えないようにするには **P.148**

画面表示の見かた

※表示文字サイズを「大」に設定しているとき

デジタル放送の場合

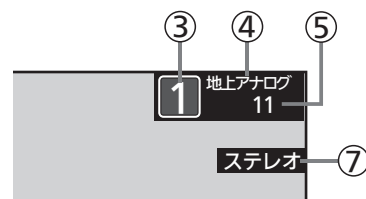


デジタル放送の音声表示の種類には、主副、ステレオ、3/1サラウンド、3/2サラウンド、5.1サラウンドがあります。

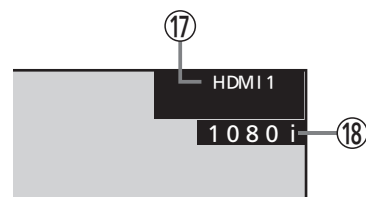
- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| ① 放送時間 | ⑪ 外付ハードディスクへ録画状態と録画している番組のチャンネル番号など |
| ② チャンネルロゴ | ⑫ 番組名 |
| ③ リモコンのボタン番号 | ⑬ 画面サイズ P.54 |
| ④ 放送の種類 | ⑭ 明るさセンサー P.111 |
| ⑤ チャンネル番号 | ⑮ 未読のお知らせの有無 P.86 |
| ⑥ 映像の種類 P.82 | ⑯ オンタイマー P.84 |
| ⑦ 音声の種類 P.45 | ⑰ 視聴中の入力 |
| ⑧ 字幕の有無 P.46 | ⑱ 解像度 |
| ⑨ 臨時放送表示 | ⑲ 現在時刻 |
| ⑩ 節電メーター P.53 | |

※目盛は機種により異なります。

アナログ放送の場合



外部入力の場合



時刻表示にしたとき



節電メーターについて

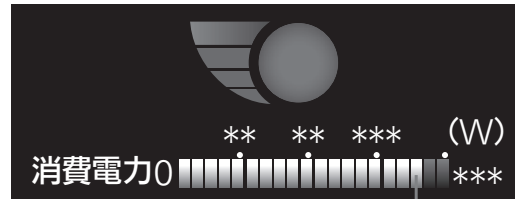
画面表示ボタンを押して表示される節電メーターは、節電アシスト設定に表示されている各設定が節電設定になっているとき(各設定の一つ以上が「切」「節電しない」以外のとき)に表示されます。節電レベルと消費電力値が表示されます。節電設定になっていないとき(各設定の全てが「切」及び「節電しない」のとき)、節電メーターではなく、電源プラグマークの消えた消費電力メーターとなります。

節電メーター



電源プラグ
マーク

消費電力メーター



消費電力値

※目盛は機種により異なります。

節電レベル

節電アシスト設定に表示されている各設定の状態に応じ0~4の4段階の節電レベルを表示します。節電レベルが上がると緑の部分がが増えていきます。また、節電設定になっているとき(節電レベルが「0」以外のとき)電源プラグマークを表示し、節電状態であることをお知らせします。

● 節電レベルについて

各設定には下記の節電ポイントが設けてあります。ポイントの合計に応じて節電レベルが決まります。

ポイント

[節電画質]…節電画質 3=3ポイント、節電画質 2=2ポイント、節電画質 1=1ポイント、切=0ポイント

[その他]……節電する=1ポイント、しない=0ポイント

レベル換算

節電ポイント0ポイント = レベル0

節電ポイント1ポイント = レベル1

節電ポイント2~3ポイント = レベル2

節電ポイント4~5ポイント = レベル3

節電ポイント6~7ポイント = レベル4

消費電力値

現在の消費電力をバーグラフで表示します。

お知らせ

- メニューを表示中でも、右下に消費電力値を表示します。設定の変更による消費電力の変化を見ることができます。
- 消費電力値は算出値で、使用状況、個体差などの条件により、実際と異なります。
- 節電メーター、消費電力メーターを表示されないように設定できます。リモコンの節電ボタン、または「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」から「節電モニター」を選んで設定してください。 **P.51**

画面サイズを選ぶ

映像に合わせた画面サイズを選べます。
 選べる画面サイズは、見ている番組や放送の種類によって異なります。



画面サイズを押す

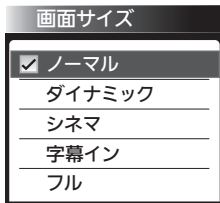
押すごとに画面サイズが切り換わります。

で項目を選び、 を押しても切り換わります。

切り換わる画面サイズの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

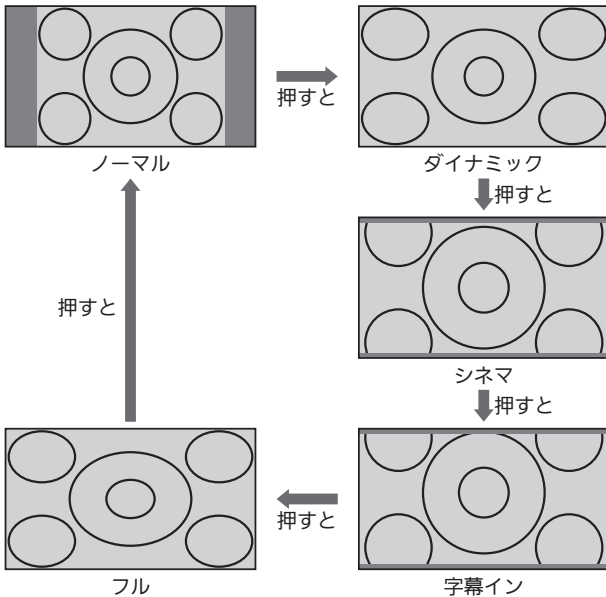
アナログ放送の番組、ビデオ、DVDなどの場合

標準映像(480i、480p)



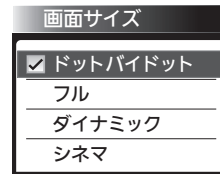
画面サイズ を押すごとに次のように切り換わります。

各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。



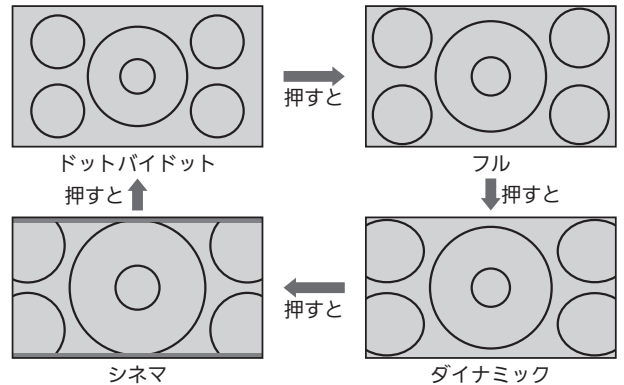
ハイビジョン番組、ブルーレイディスクプレーヤーなどの場合

ハイビジョン映像(1080i、1080p)



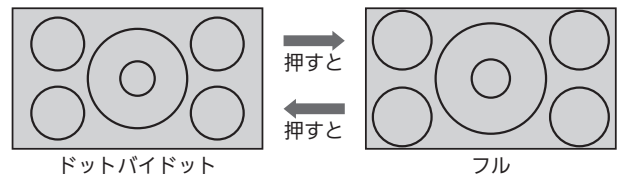
画面サイズ を押すごとに次のように切り換わります。

各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。



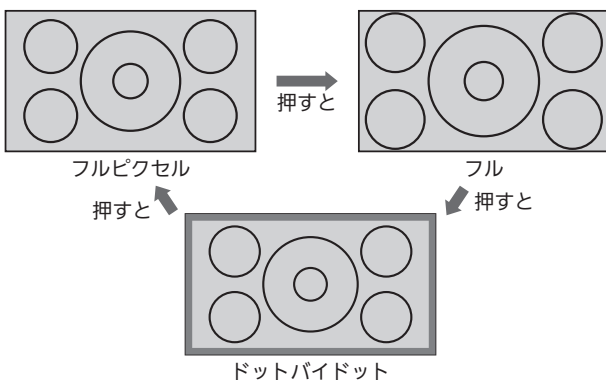
720pのハイビジョン映像の場合

画面サイズ を押すごとに次のように切り換わります。
 各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。



HDMI (パソコンの映像)、PC入力の場合

で項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
 各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。



お願い!

- 本機は、各種の画面サイズ切替機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるサイズを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切替機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- D4映像端子(画面サイズ制御信号があるとき)につないで映像を見るときは、自動的に次のように切り換わります。
 - ・16:9の映像 → 「フル」(画面の横と縦の比が16:9の映像)

- ビデオ入力では、DVDなどの画面サイズ識別信号(ID-1)により、自動で画面サイズを切り換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です。設定のしかたについては、P.123をご覧ください。D端子接続時は、はたらきません。)
- PC入力するとき、720p信号のときは、画面サイズを選ばません。
- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.128
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているサイズにより画面サイズが切り換わることがあります。
- 番組やビデオソフトにより、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。
- メニューの「今すぐできること」でも設定できます。「メニュー」→「今すぐできること」から「画面サイズ」を選んで、設定を切り換えることができます。P.72
- HDMI入力(パソコンの映像)、PC入力するとき
 - ・入力信号によりドットバイドットまたはフルピクセルが選べない場合があります。

画面サイズについて

ノーマル

4:3の画面サイズで見ると

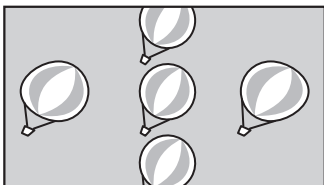
横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。



ダイナミック

4:3の映像をワイド画面で見ると

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。



- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

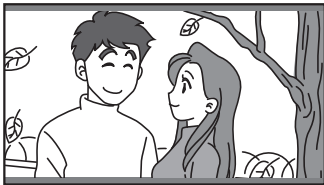
4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

シネマ

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。



字幕イン

字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

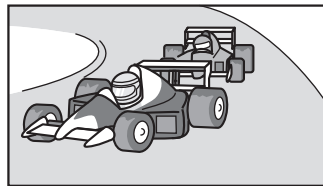


フル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像を見る

画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- アナログ放送など4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

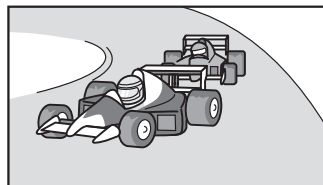


フルピクセル

ハイビジョン番組を見る

画面からはみ出した部分がなく、映像がちょうど全画面になるように表示します。

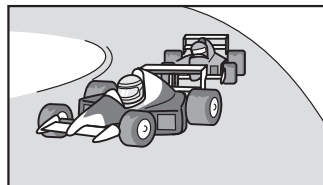
- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。



ドットバイドット

画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。



SDカードの写真や動画を見る

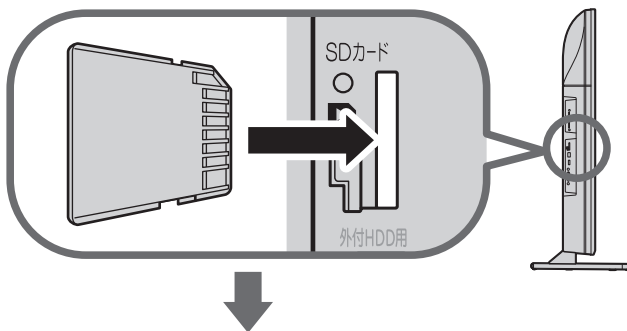
SDカードに保存された写真や、ハイビジョン画質の動画を再生します。

写真や動画を表示する

表示する

本機の電源が「入」のときに
SDカードを入れる

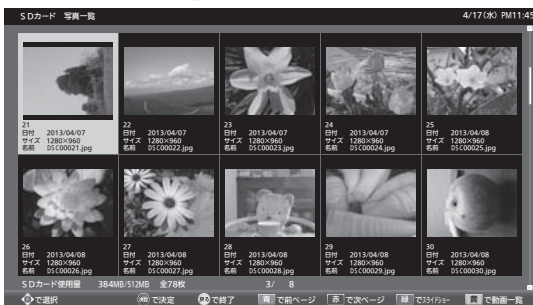
挿入口は本体左側面にあります。
本体正面から見て、SDカードの裏面が見えるようにして、金属端子側から挿入します。



SDカードに保存されている再生可能なデータの種類によって、表示される画面が異なります。

写真のみのとき

SDカード画面の「写真一覧」が表示されます



詳しい操作方法については **P.57~58** をご覧ください。

動画のみのとき

SDカード画面の「動画一覧」が表示されます



詳しい操作方法については **P.58~59** をご覧ください。

写真と動画があるとき

「選択画面」が表示されます



● 写真を見る場合は、
このまま **決定** を押す

● 動画を見る場合は、

決定 を押す

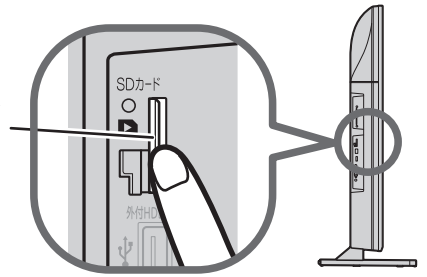
写真や動画の表示を消す

「写真一覧」または「動画一覧」を表示中に
戻る を押す

SDカード画面が消えます。

SDカードを取り出すときは

挿入中のSDカード
を軽く押して、出て
きた部分を指でつま
んで取り出してくだ
さい。
急に指を離すと、SD
カードが勢いよく飛
び出して、けがの原
因になります。



お知らせ

- デジタルカメラで撮影された写真データとデジタルビデオカメラで撮影された動画ファイルを再生することができます。
 - ・ 写真は、拡張子が下記のうちいずれかになっている画像データが表示できます。
 - “JPG”、“JPEG”、“jpg”、“jpeg”
 - ・ ブログレスシブ形式のJPEGファイル、Motion JPEGには対応していません。
 - ・ 画像データのサイズにより表示に時間がかかる場合があります。
 - ・ 動画は、AVCHD規格に準拠したディレクトリに保存された動画ファイルのみ再生できます。
 - ・ リニアPCM音声は再生できません。
 - ・ バーチャルプレイリストには対応していません。
 - ・ 1080/60p、50pと3Dのフォーマットには対応していません。(2014年8月現在)
- 最大で999枚の写真と4000ファイルの動画を表示できます。
- SDカードへのデータの書き込みはできません。
- miniSDカードやmicroSDカードを使用される場合は、市販のSDカード変換アダプタが必要です。
- miniSDカードやmicroSDカードの入っていないSDカード変換アダプタを挿入した状態で電源を「入」にすると、画面が出てテレビが操作できるようになるまでに時間がかかるようになります。(高速起動が「入」設定時の電源「入」やそれに類する状態からの電源「入」では時間は変わりません)
- アダプタを使うときはカードが入っていることを確かめてください。
- パソコンで書き込み、編集された画像や動画は見ることができない場合があります。
- 記録状態などによっては、正常に見ることができない場合があります。また、リストに表示されても見ることができないことがあります。
- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式及びFAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- SDXCカードには対応していません。
- 動画ファイルに複数の映像や音声がある場合は、最初の1つを再生しますが、切り換えることはできません。
- SDカード画面表示中は、「メニュー」→「今すぐできること」でも操作できます。 **P.72**
- 写真一覧(または動画一覧)からテレビ放送などの画面に戻り、再び写真一覧(または動画一覧)を表示したいときは、「メニュー」→「テレビ操作」→「SDカード」から「写真再生」(または「動画再生」)を選ぶと再び表示できます。



お願い!

- SDカードの認識読み込み中は、画面上部に「SDカード読み込み中…」と表示されます。読み込み中に本機の電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。カードの破損や本機の故障の原因となります。
- SDカードの写真一覧、動画一覧、全画面表示、スライドショーを表示中は、SDカードを抜かないでください。万一抜いてしまったら誤動作となった場合は、本体の電源ボタンで電源を入れ直してください。

写真一覧の見かた

カーソル：選択された画像は青く表示されます。



で選択します。



サムネイルがないデータ、再生できないデータはアイコン表示されます。

写真を見る

写真一覧の続きを見る

1ページ単位で表示を切り換えることができます。

青 を押す：前のページを表示します。

赤 を押す：次のページを表示します。

画像を選ぶ

拡大表示や回転させたい画像を選択します。



でカーソルを移動させる

選択された画像は青く表示されます。

拡大する

画像を選んで、**決定** を押す

「全画面表示」になります。



■「写真一覧」に戻りたいときは
戻る を押す。

■前後の画像に切り換えたいときは
で押す。

■回転させたいときは
緑 を押す。

次ページへつづく

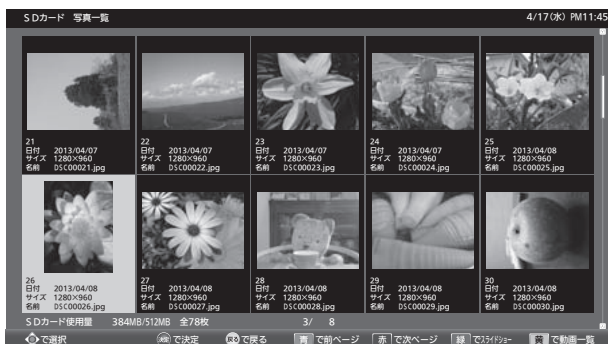
SDカードの写真や動画を見る(つづき)

写真を見る(つづき)

回転する

画像を選んで、下記操作を行う

- ① **メニュー** を押す
- ② **▲▼** で「画像回転」を選び、**決定** を押す



- 押すごとに90度ずつ回転します。
- 拡大表示した画像を回転することもできます。

写真をスライドショーで見る

スライドショーを開始する

SDカードに保存された画像を、自動で順に全画面表示していきます。

「写真一覧」を表示中に

緑 を押す

カーソルで選択された画像から全画面表示を開始します。

- 表示時間は変更できます。くわしくは「SDカードのスライド時間を変更する」**P.78** をご覧ください。

■ 一時停止したいときは

青 を押す。

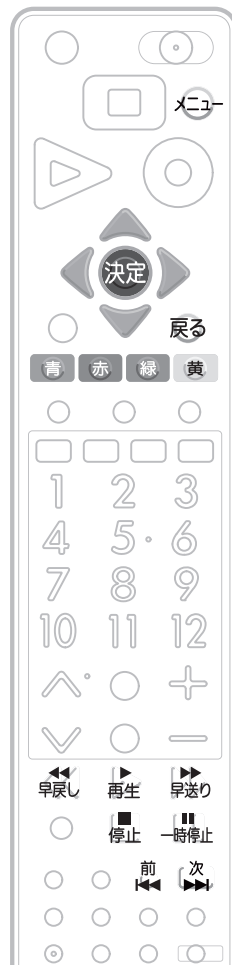
もう一度押すと再開します。

スライドショーを終了する

戻る を押す

「写真一覧」に戻ります。

もう一度押すと、SDカード画面を終了します。



動画一覧の見かた

カーソル：選択された動画ファイルは青く表示されます。

◀▶ で選択します。



撮影した時間帯によって、絵が変わります。

縮小画面：
選択中の動画ファイルが再生されます。

選択された動画ファイルの総時間に対する再生中時間の比率をバーグラフで表示します。

◀▶ で全画面再生時の再生開始位置を指定できます。

動画を見る

動画一覧の続きを見る

1ページ単位で表示を切り換えることができます。

青 を押す：前のページを表示します。

赤 を押す：次のページを表示します。

動画ファイルを選ぶ

再生したい動画ファイルを選択します。



でカーソルを移動させる

選択された動画ファイルは青く表示し、右の縮小画面で再生されます。

動画一覧を並べ替える

工場出荷時の設定では撮影日時が古い順番に表示されますが、新しい順に並べ替えることもできます。

- ① **メニュー** を押す
- ② ▲▼ で「並べ替え」を選び、**決定** を押す

拡大画面で再生する

動画ファイルを選んで、**決定** を押す

全画面で再生を開始します。



全画面再生を操作する

操作する

◀◀、▶▶、▶▶、■、⏸、前、次
早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、前、次
で操作する

繰り返し再生する

- 再生中に「メニュー」→「今すぐできること」→「繰り返し再生」→「入」を選ぶ
その番組を繰り返し再生します。
■ を押すなど再生を停止する操作をすれば、解除されます。

全画面表示中に前の動画または次の動画を見る

- 再生中に「メニュー」→「今すぐできること」→「前の動画」または「次の動画」を選ぶ
再生中の動画から前または次の動画に切り換わります。

動画一覧に戻る

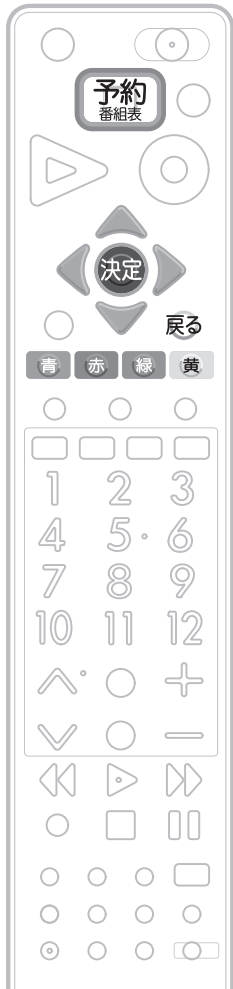
■ を押す
停止

お知らせ

- 動画ファイルの再生が終わると自動的に停止し、「動画一覧」に戻ります。
- 動画ファイルを再生中に停止させると、「動画一覧」に戻ります。

番組表を見る

放送局から送信されるデジタル放送の番組情報を、新聞などのテレビ欄のように表示します。番組表は最大8日分まで表示できます。アナログ放送の番組表は表示できません。



番組表を表示する/消す

表示する

デジタル放送を見ているときに

予約番組表 を押す

見ていた放送 (BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送) の番組表が表示されます。

- 番組表を表示中に放送の種類 (地上デジタル、BS、CS1、CS2) を切り換えることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。
- テレビ放送とデータ放送の間で番組表を切り換えるときは、「メニュー」→「テレビ操作」→「サービス切換」で放送の種類を変えてから、再び番組表を表示してください。

消す

予約番組表 を押す

番組表が消えます。

- チャンネルを切り換えても番組表が消えます。

お知らせ

番組表を表示中に放送波を切り換えると、切り換わった先の放送波の番組表を見ることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。

番組表の見かた

- ① 番組の情報
カーソルで選んでいる番組の情報です。
- ② 放送の種類
- ③ 日付
- ④ アイコン **P.194**
- ⑤ 現在の日時
- ⑥ 時間表示
- ⑦ 番組名
- ⑧ チャンネル番号
- ⑨ 予約した番組 **P.96**
視聴予約した番組は青、録画予約した番組は赤になります。
- ⑩ カーソル
で番組を選びます。
- ⑪ 予約状況バー
予約のある時間帯を、視聴予約が青、録画予約が赤、予約重複部分が黄で表示。

番組表を使う

表示を切り換える



でカーソルを移動させる

ボタンを長く押し続けると、高速でスクロールすることができます。番組欄の表示はいったん消えますが、ボタンを離すと再び表示されます。



表示されているボタンを使うと、対応した操作が行えます。

カーソル(水色の番組欄)
上下左右に移動させることで、番組表の表示を切り換えます。(スクロール)

他の日の番組表を見る

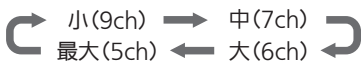
青(前日)または**赤**(翌日)を押す

たとえば、3日先の番組表を見たいときは、**赤**を3回押します。

番組表の文字の大きさを変える/表示する番組数を変える

緑を押す

押すごとに次のように切り換わります。



番組表を読み上げる

黄を押す

次の内容を読み上げます。

放送局名、番組名、放送日、開始・終了時刻

・読み上げ中に**黄**を押すと、読み上げを終了します。

- ボタンを押さずにカーソルを合わせるだけで読み上げるようにできます。**P.118**
- 読み上げ速度、読み上げ音量を選べます。**P.118**

お知らせ

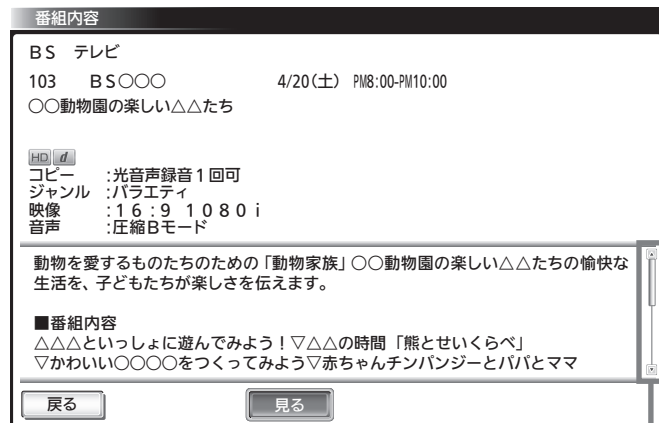
- 「メニュー」→「番組表・予約」→「番組表」でも呼び出せます。メニューについては、**P.72**をご覧ください。
- 本機は、待機状態(電源表示灯が「赤」)で、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。(その際「カチッ」という音があります。)電源を切るときは、本体の電源ボタンを押したり電源プラグを抜かないで、リモコンの電源ボタンでお切りください。
- 地上デジタル放送の番組表について
地上デジタル放送では、放送局ごとにその放送局の番組情報のみを送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選局してしばらくお待ちください。
番組表を表示して、「メニュー」→「今すぐできること」→「番組情報取得」で、全チャンネルの番組情報をまとめて取得できます。**P.77**
BS・110度CSデジタル放送では、どの放送局を選局しても全ての放送局の番組情報を受信することができます。「メニュー」→「今すぐできること」→「番組情報取得」でも取得できます。
- 受信状態がよくないときは、番組情報を受信できないことがあります。受信状態は、「メニュー」→「お知らせ・情報」→「アンテナ受信レベル」で確認できます。**P.90**
- 読み上げ機能について
人名、地名等で複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。
- BS放送の番組表に、地デジ難視聴対策衛星放送チャンネルを表示するには、BS放送を視聴中に「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定(BS)」→「地デジ難視聴対策放送」で「視聴する」を選んでください。**P.146**

番組の詳しい情報(番組内容)を見る

デジタル放送を視聴中、番組表 **P.60**、ジャンル検索結果画面 **P.79** を表示中に、選んでいる番組の詳しい情報を確認することができます。



番組内容画面が表示されます。

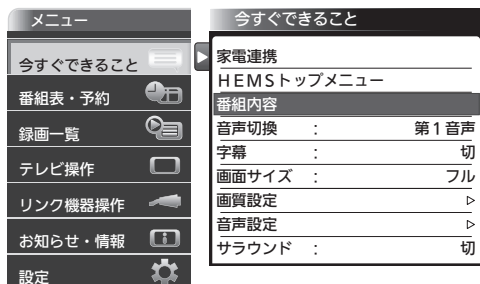


番組内容を表示する/消す

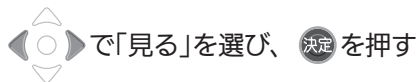
表示する

デジタル放送を見ているときに

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「今すぐできること」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で「番組内容」を選び、**決定** を押す



■ 視聴中の番組をもう一度見るには、



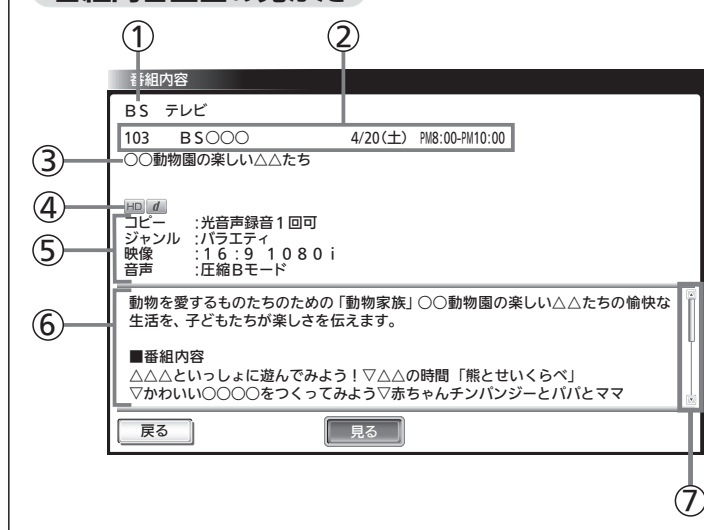
消す

戻る を押す

番組内容画面が消えます。

スクロールバーが表示されているときに **◀▶** を押すと、番組内容の続きが表示されます。

番組内容画面の見かた



- ① 放送の種類
- ② チャンネル番号
放送局名
放送日
開始・終了時刻
- ③ 番組名
- ④ アイコン **P.194**
- ⑤ 番組情報
- ⑥ 番組内容
- ⑦ スクロールバー
番組内容に続きがあるときに表示されます。

番組内容を読み上げる

黄 を押す

次の内容を読み上げます。

- ①放送局名、番組名、開始・終了時刻
- ②表示しているページの番組内容
 - ・①を読み上げ中に黄 を押すと、中断して②の読み上げを始めます。
 - ・②を読み上げ中に黄 を押すごとに、次の項目へスキップします。

お知らせ

- 番組内容を表示するだけで読み上げるように設定できます。
P.118
- 読み上げ速度、読み上げ音量を選べます。 P.118

お知らせ

- 初めて使用したときや、約1週間以上、本体の電源ボタンで電源を「切」(電源表示灯が無点灯)にした場合は、番組表の内容が表示されなかったり、表示されるまでに時間がかかったりします。最新の番組表を利用するために、ふだんは本体の電源ボタンはお使いにならないでください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。
- 番組表などから番組内容を表示したときは、画面右下に「予約」と表示され、簡単に予約の設定ができます。くわしくは P.96 をご覧ください。
- 読み上げ機能について
人名、地名などで複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。

番組表やジャンル検索から表示するとき

番組表 P.60 またはジャンル検索(検索後)画面 P.79 より表示したい番組を選び、

決定 または番組内容 を押す

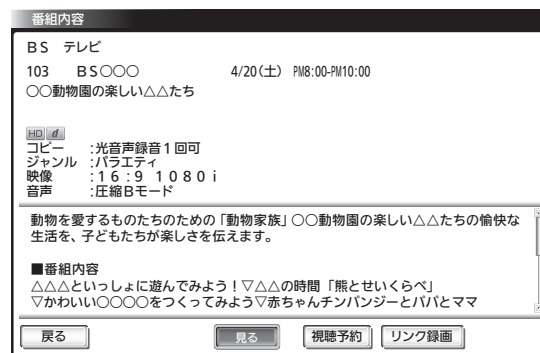
番組内容画面が表示されます。

今すぐ見る

現在放送中の番組を選択したとき、



で「見る」を選び、決定 を押す



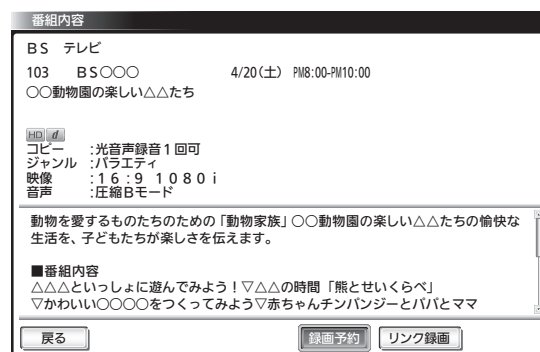
外付ハードディスク録画設定 P.165 が「使用する」のときは録画予約が表示されます。視聴予約は表示されません。外付ハードディスクへ録画 P.166~172 中に 見る は表示されません。

予約する

これから放送される番組を選択したときは、視聴予約や録画予約ができます。



で希望の予約を選び、決定 を押す



外付ハードディスク録画設定 P.165 が「使用しない」のときは視聴予約が表示されます。録画予約は表示されません。これ以降、画面の表示にしたがい予約に必要な操作を行ってください。(本機だけでは録画できません。) P.96・168 手順3

番組表/ジャンル検索に戻る

戻る または 番組内容 を押す

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。

本機では「アクトビラ」「TSUTAYA TV」の動画配信サービスをお楽しみいただけます。

各サービスの利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

「アクトビラ」に関するお問い合わせは

アクトビラ・カスタマーセンター

受付：10：00～19：00 年中無休(元旦除く)

TEL：0570-09-1017

「アクトビラ」の最新情報は

アクトビラ公式情報サイト <http://actvila.jp/>
(2014年8月現在)

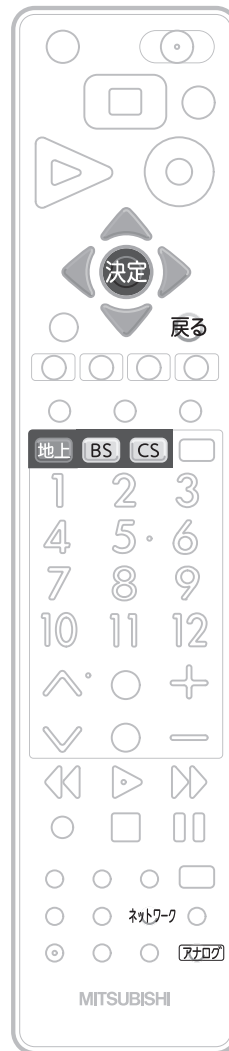
「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせは

TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。

または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認ください。

「TSUTAYA TV」の最新情報は

TSUTAYA TV公式情報サイト <http://tsutaya-tv.jp/>
(2014年8月現在)



お知らせ

■ 全般

- 視聴予約の開始時刻になると、各サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- 本機に記録されたネットワーク履歴情報は、本機を譲渡または廃棄される場合、「ネット情報初期化」または「全情報の初期化」を行って消去してください。 **P.158~159**

■ 接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、各サービスをご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。
- 無線LANで各サービスをご利用の場合は、設置環境や設定内容により、映像が途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。LANケーブルでの接続をおすすめします。

■ 各サービスについて

- サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境(FTTH、ADSL、CATVなど)が必要です。

▶ P.29~30 で本機のLAN端子を接続したあと、▶ P.152~155 で通信設定を行ってください。



- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するサービスを選び、専用画面を表示する

- 1 放送や外部入力を視聴中に
ネットワークを押す





※外部入力視聴中は「外部入力」

- 2  で見たいサービスを選び、
 を押す

- 「ネットワーク利用制限」を「する」に設定している場合は


▶ 1 ~▶ 10。で暗証番号の入力が必要です。▶ P.41

- 3 選択したサービスの画面が表示されます。画面に沿って操作してください。
主に使用するのは  と  です。





ここからは各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点等は各サービスへお問い合わせください。

放送や外部入力視聴に戻るとき

- 4 ネットワークを押す

- 5  で放送または外部入力を選び、

 を押す

- 、、、 のいずれかを押すと手順5の画面を出さずに放送画面に変わります。

- 「メニュー」→「今すぐできること」→「ネットワーク終了」でも手順5の画面を出さずに放送画面に変わります。

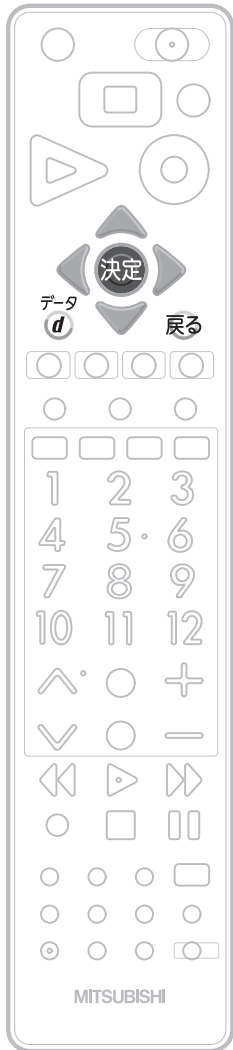
お知らせ

- 各サービス利用中に文字入力が必要となった場合は、▶ P.68 の手順をご覧ください。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。

「ネットワーク」の閲覧制限について

本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に、暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、▶ P.122~124 をご覧ください。)

「ネットワーク」で動画を楽しむ(つづき)



ツールバー(便利機能)を表示して操作するとき









各サービスを利用中、配信された映像を全画面表示していないときは、ツールバーを表示させて便利な操作ができます。

- 1 各サービスを視聴中に
データ **d** を押す

画面下に「ツールバー」が表示されます。

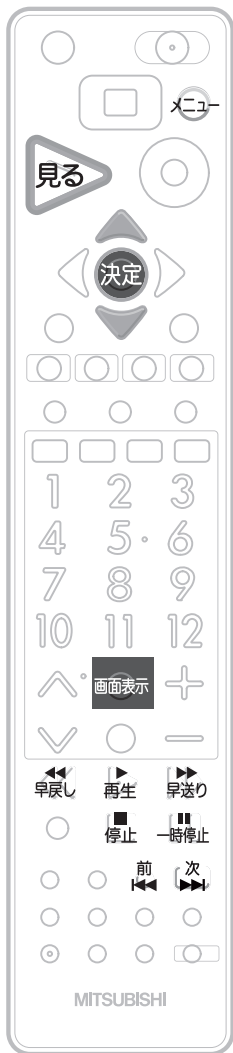


- 2  で項目を選び、**決定** を押す

項目	機能
 戻る	1つ前のページへ移動する。
 進む	1つ先のページへ移動する。
 中止	ページの読み込みを中止する。 (ページの読み込み中のみ表示されます。)
 再読み込み	表示中のページを再度読み込む。 (ページの読み込み中は表示されません。)
 ホーム	ホーム画面に戻る。
 お気に入り	気に入ったページを「お気に入り一覧」に登録したり、一覧から呼び出したりする。
 表示履歴	表示履歴の一覧を表示する。
 メニュー	表示する文字の大きさや各種設定を行う。

- 3 操作が終わったら、データ **d** を押す

「ツールバー」が消えます。



全画面表示で動画コンテンツを操作するとき

全画面表示で動画コンテンツを視聴中は、本機のリモコンで一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。

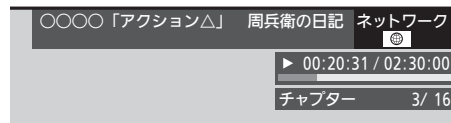
早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、動画コンテンツによって対応していない場合があります。

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に

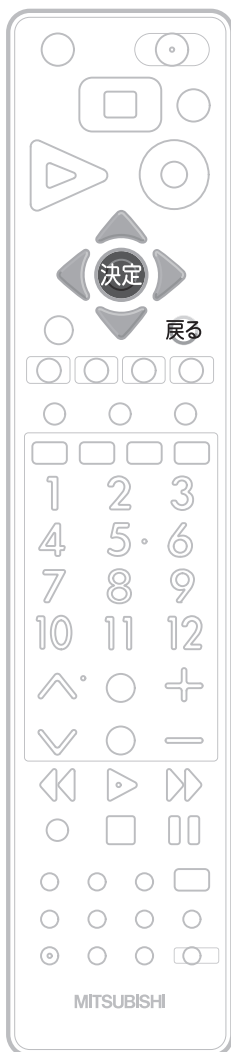
早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、前、次で操作する

■ 動画コンテンツを視聴中に **画面表示** を押すと

視聴中のコンテンツの題名、長さや経過時間、全チャプター数と現在チャプターが確認できます。



「ネットワーク」で動画を楽しむ(つづき)



お知らせ

- ボタンエリアに表示されない文字は入力できません。
- 変換できる漢字は、漢字コードJIS第1水準、第2水準に含まれる漢字のみです。
- データ放送では、日本語変換は使用できません。

文字入力のしかた

「ネットワーク」を利用中は、文字入力が必要になることがあります。本機では、画面にキーボードを表示させて、リモコンのボタンを使って入力をします。

基本的な使いかた

- 1** 検索文字入力欄など、文字の入力ができる場所を選び、**決定**を押す

「キーボード画面」が表示されます。



- 2** ▲▼◀▶ でカーソル(黄色い部分)を移動し、キーボード画面のボタンエリアに表示される文字の中から入力したい文字を選び、**決定**を押す

文字を入力していくごとに、キーボード画面の候補エリアに変換する候補の文字列が表示されます。

- 3** 変換候補文字列が表示されたら、▲を何度か押してカーソルを候補エリアに移動し、変換したい文字列を▲▼◀▶ で選び、**決定**を押す

- 4** 続けて入力したい文字があるときは、手順**2****3**の操作を行う

- 5** 入力したい文字をすべて確定したら、▲▼◀▶ でボタンエリア内の「完了」を選び、**決定**を押す

元の画面に戻ります。

■ 文字入力を途中でやめて元の画面に戻るときは

▲▼◀▶ でボタンエリア内の「中止」を選び、**決定**を押す
入力エリアに文字がないときは **戻る** を押す

文字の削除

最後に入力した文字を消す場合

戻るを押す

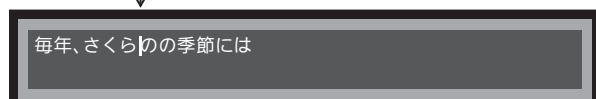
または、▲▼◀▶でボタンエリア内の「削除」を選び、決定を押す

入力エリアの文字列の途中の文字を消す場合

▼でカーソルを入力エリアに移動し、
◀▶でキャレット(文字と文字の間の白い縦線)を消したい文字の左横に移動させ、
戻るを押す

または、▼でボタンエリア内の「削除」を選び、決定を押す

キャレット



入力した文字をすべて消す場合

▲▼◀▶でボタンエリア内の「全削除」を選び、決定を押す

かな以外の文字の入力

▲▼◀▶で入力したい文字の種類をボタンエリア内の左端の文字種類ボタンから選び、決定を押す

ボタンエリアが選ばれた文字種類ボタンに応じて切り換わります。

家庭内ネットワークで動画を楽しむ

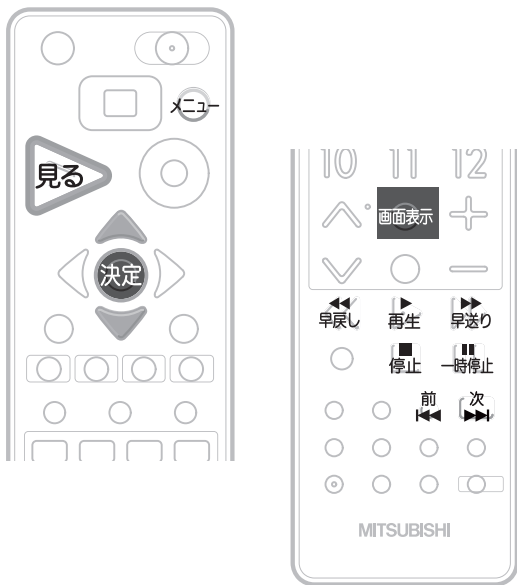
本機は家庭内ネットワーク機能対応テレビです。家庭内ネットワーク機能対応テレビとは、テレビのLAN端子を家庭内のネットワーク回線につなぎ映像と音声を通信用のデジタルメディアプレーヤー・デジタルメディアサーバーと呼ばれる機器です。本機はデジタルメディアプレーヤーです。

当社製HDD内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビやブルーレイディスクレコーダーに録画した番組を家庭内ネットワーク機能を使って本機で視聴することができます。(デジタルメディアサーバーであるテレビ・レコーダーに限ります。) 当社家庭内ネットワーク機能対応(デジタルメディアサーバー)機種は当社ホームページ(http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/ctv/feature/d_client.html)をご覧ください。

■ 本機で家庭内ネットワーク機能を使うには、次の設定になっている必要があります。

本機 …ご家庭内の当社製サーバー機器と接続し **P.31**、通信設定 **P.152~155** を行ってください。直接接続するときは、「DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合」をご覧ください。

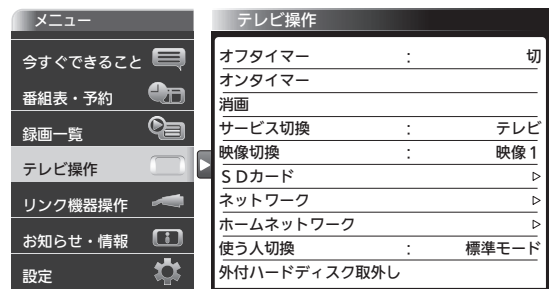
接続機器 …サーバー側を家庭内ネットワーク使用可能な設定にします。くわしくはサーバー側製品の取扱説明書をご覧ください。



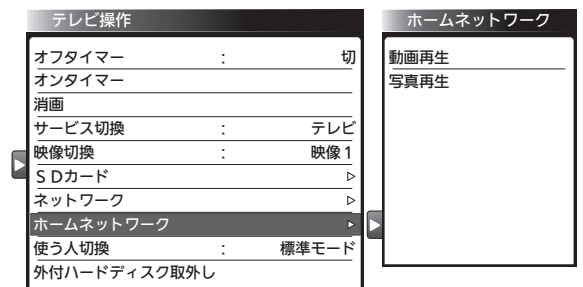
例：家庭内ネットワークで接続した当社製HDD内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビ(サーバー)に保存している番組を見る

1 **メニュー** を押す

2 **▲▼** で「テレビ操作」を選び、**決定** を押す

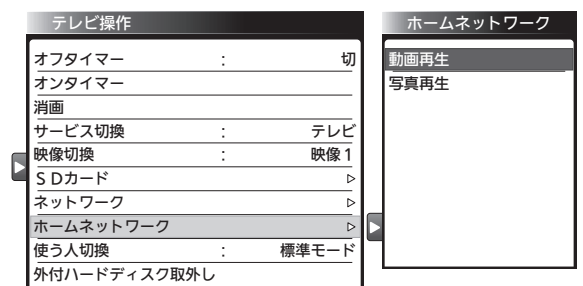


3 **▲▼** で「ホームネットワーク」を選び、**決定** を押す



※外付ハードディスクへ録画 **P.166~172** しているときはこの項目は選べません。録画を停止するには **P.168**

4 **▲▼** で「動画再生」を選び、**決定** を押す



本機から視聴できる当社製サーバー機器の録画の種類

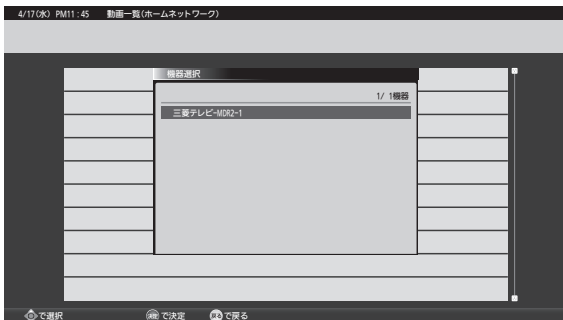
- 放送：録画モード：DR、AF、AN、AE(5.5倍、12倍)、XP、SP、LP、EP(6時間、8時間)
- ビデオ2入力または側面入力：録画モード：XP、SP、LP、EP(6時間、8時間)
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)：ハイビジョン画質番組、標準画質番組
- DVDからの取り込み(ダビング)：AVCREC方式、VR方式
- デジタルビデオカメラなどからの取り込み(ダビング)：AVCHD方式
- BD-RE/-Rからの取り込み(ダビング)

記載した全ての種類の録画について視聴を保証するものではありません。録画状態、他の条件により、見ることができない場合があります。

次の番組やコンテンツは見るできません

- アクトビラ/TSUTAYA TVのダウンロードしたコンテンツ
- サーバー機器で録画中の番組
- サーバー機器と本機で、同一の番組を同時に見る
- 他のデジタルメディアプレーヤーで同じサーバー機器のコンテンツ再生中

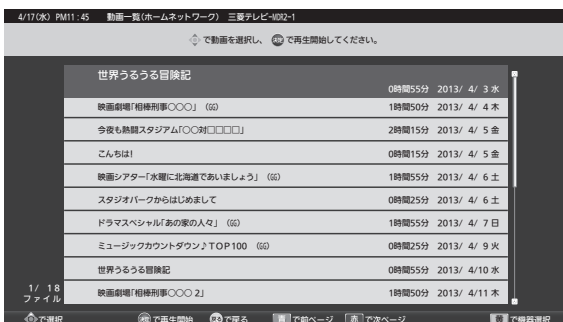
5 ▲▼で機器を選び、決定を押す



- 機器選択画面に表示できるのは10台までです。それ以上は表示されません。
- 「ネットワークに接続されていません。」と表示される時 LANケーブルが抜けていないか、通信設定が間違っていないか確認してください。
- 「接続機器がありません。」と表示される時 対応するサーバー機器が接続されているか、機器側が対応する設定になっているか確認してください。
- 「選択された機器が存在しません。」と表示される時 前回利用したサーバー機器の主電源が切れていないか、設定が変わっていないか確認してください。
- 一度機器を選択すると次からはその機器の録画一覧が表示され、機器選択画面は表示されません。機器を選択しなおすには、**黄**を押す、または「メニュー」→「今すぐできること」→「機器変更」から機器選択画面を表示することができます。 **P.73**

6 当社製サーバー機器の場合、フォルダ「contents」が選ばれているので決定を押す (2014年8月現在)

7 ▲▼で見たい番組(動画)を選び、決定を押す



再生が始まります。

- 続きから再生したいときは、「メニュー」→「今すぐできること」→「続きから再生」で見ることができます。
- 最初から再生したいときは、「メニュー」→「今すぐできること」→「最初から再生」で見ることができます。

操作するとき

再生中は、一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。

早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、番組(動画)によって対応していない場合があります。

全画面表示で番組(動画)を視聴中に



繰り返し再生する

- 再生中に「メニュー」→「今すぐできること」→「繰り返し再生」→「入」を選ぶ

その番組を繰り返し再生します。

■を押すなど再生を停止する操作をすれば、解除されます。

動画一覧(ホームネットワーク)に戻る

■を押す

お知らせ

- 動画ファイルの再生が終わると自動的に停止し、「動画一覧」に戻ります。
- 動画ファイルを再生中に停止させると、「動画一覧」に戻ります。

■番組(動画)を視聴中に画面表示を押すと

視聴中の録画時間、番組名、再生時間と総時間、音声の種類と字幕の有無が確認できます。



- 音声の種類や字幕の有無についての表示は、音声切替や字幕表示ができる番組の再生時のみ表示されます。

お知らせ

- 他社製のデジタルメディアサーバー機器を接続し、家庭内ネットワーク機能を使って番組(動画)や静止画の再生ができますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- お客様のネットワーク環境やその状況、本機の動作状況により、視聴中に画像や音声の乱れや、視聴できない場合があります。
- 本機はDTCP-IP※規格に対応しています。サーバー機器に録画された録画回数制限のある番組を視聴することができます(録画回数制限のある番組全ての視聴を保証するものではありません)。

※ DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol) : ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

- 外付ハードディスク録画中はこの機能は使えません。

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すだけで、いろいろな機能呼び出せます。
自動読み上げ P.118 を「入」にしておくと、
選択された項目を読み上げます。

基本的な使いかた

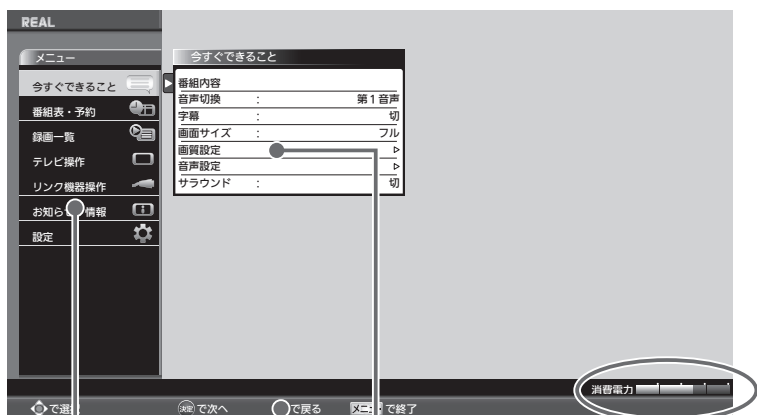
1 メニュー画面を表示する
メニューを押す
メニュー画面表示中に押すと、メニューを終了します。

2 メインメニュー欄から項目を選ぶ
選んで 決定する

3 サブメニュー欄から項目を選ぶ
選んで 決定する

1つ前の画面に戻る

メニュー画面



メインメニュー欄

※「リンク機器操作」は、リアリンク対応機器とHDMI接続して、メニューの「リンク制御」P.127 を「入」に設定しているときに選べます。

サブメニュー欄

メインメニュー欄で選んでいる項目の細かい設定項目を一覧で表示します。

ガイド欄

この画面で使うリモコンのボタンや解説文などを表示します。

消費電力メーター

消費電力値を表示します。
設定の変更による消費電力の変化を見ることができます。

各項目で操作できる内容

今すぐできること

いろいろな状況に応じた操作ができます。

映像	
●アナログ放送を見ているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
家電連携 ※9	
HEMストップメニュー ※9	
音声切換	P.45
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
サラウンド ※2	P.75
●デジタル放送を見ているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
家電連携 ※9	
HEMストップメニュー ※9	
番組内容	P.62
音声切換	P.45
字幕	P.46
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
サラウンド ※2	P.75
●外部入力(PC除く)で見ているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
家電連携 ※9	
HEMストップメニュー ※9	
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
サラウンド ※2	P.75
ゲームモード	P.75
●PC入力で見ているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
家電連携 ※9	
HEMストップメニュー ※9	
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
サラウンド ※2	P.75
●動画配信サービスを見ているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
画質設定	P.106
音声設定	P.113
ネットワーク終了	P.65
●SDカードの動画一覧を表示しているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
再生開始	P.59
前のページ	P.59
次のページ	P.59
並べ替え	P.59
写真一覧	P.57
SDカード終了	P.56
●SDカードの動画を再生しているとき	
ヘッドホン音量 ※1	P.74
繰り返し再生	P.59
前の動画	P.59
次の動画	P.59
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
動画一覧	P.58
SDカード終了	P.56

節電アシスト

●節電アシスト設定画面を表示しているとき
元の画面

※1: 「スピーカー音声同時出力」が「入」に設定されていて、ヘッドホンを挿入している場合のみ表示されます。
※2: スピーカー音声出力時のみ表示されます。
※3: フォルダ表示の場合は表示されません。また、動画件数が1件以上の場合のみ表示されます。
※4: 動画件数が1件以上の場合のみ表示されます。

番組表・番組内容・番組情報取得

●地上・BSデジタル放送の番組表を表示しているとき

番組内容	P.62
文字サイズ切換	P.76
番組情報取得	P.77
表示形式切換	P.77
ジャンル検索	P.79
予約一覧	P.102
元の画面	

●110度CSデジタル放送の番組表を表示しているとき

番組内容	P.62
文字サイズ切換	P.76
表示形式切換	P.77
ジャンル検索	P.79
予約一覧	P.102
元の画面	

●番組内容画面を表示しているとき

番組表	P.60
ジャンル検索	P.79
予約一覧	P.102
元の画面	

●番組情報取得画面を表示しているとき

元の画面	
------	--

ホームネットワーク

●動画一覧を表示しているとき

機器変更	P.71
ヘッドホン音量 ※1	P.74
続きから再生 ※3	P.71
最初から再生 ※3	P.71
前のページ ※4	P.71
次のページ ※4	P.71
写真一覧	
ホームネットワーク終了	

●動画を見ているとき

ヘッドホン音量 ※1	P.74
音声切換	P.45
字幕	P.46
繰り返し再生	P.71
画面サイズ	P.54
画質設定	P.106
音声設定	P.113
動画一覧に戻る	P.71
ホームネットワーク終了	

外付ハードディスクを使っているとき

●録画一覧画面を表示しているとき

ヘッドホン音量 ※1	P.74
続きから再生	P.174
最初から再生	P.173
この番組を保護 ※5	P.175
この番組を保護解除 ※5	P.175
この番組を消去	P.176
前のページ	P.173
次のページ	P.173
絞り込み	P.173
番組消去画面へ	P.176
元の視聴画面	

●番組消去画面を表示しているとき

消去対象に追加 ※6	P.176
消去対象から外す ※6	P.176
選択番組を一括消去 ※7	P.176
前のページ	P.176
次のページ	P.176
元の画面	

検索

●ジャンル検索(検索後)画面を表示しているとき

番組内容	P.62
番組表	P.60
予約一覧	P.102
元の画面	

●ジャンル検索(検索前)画面を表示しているとき

番組表	P.60
予約一覧	P.102
元の画面	

SDカードの静止画を見る時

●写真一覧で表示しているとき

全画面表示	P.57
前のページ	P.57
次のページ	P.57
画像回転	P.58
スライドショー	P.58
スライド時間	P.78
動画一覧	P.58
SDカード終了	P.56

●全画面で表示しているとき

前の画像	P.57
次の画像	P.57
画像回転	P.58
画質設定	P.106
写真一覧	P.57
SDカード終了	P.56

●スライドショーで表示しているとき

一時停止	P.58
再開	P.58
写真一覧	P.57
SDカード終了	P.56

予約

●予約一覧を表示しているとき

時刻指定予約	P.99
予約取り消し ※8	P.103
番組表	P.60
ジャンル検索	P.79
元の画面	

●時刻指定予約画面を表示しているとき

元の画面	
------	--

番組表・予約

番組表などの表示や、見たい番組の検索・予約などができます。

番組表	P.60
ジャンル検索	P.79
予約一覧	P.102
時刻指定予約	P.99

録画一覧

外付ハードディスクの録画一覧を表示したり、録画した番組の消去などができます。

録画一覧	P.173
番組消去	P.176

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

オフタイマー	P.47
オンタイマー	P.84
消画	P.81
サービス切換	P.43
映像切換	P.82
SDカード	P.56
ネットワーク	P.64
ホームネットワーク	P.70
使う人切換	P.83
外付ハードディスク取外し	P.179

リンク機器操作

リアリンク対応機器を、本機のリモコンで主な操作ができます。

操作パネル	P.105
機能一覧	P.91
録画リスト	P.104
ディスク切換	P.91
一発録画	P.94
録画停止	P.94
レコーダー電源オフ	P.92
外部アンプ連動	P.93
レコーダー初期化 ※	P.91

※2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用のときに表示します。

お知らせ・情報

機器内部や放送局からのお知らせ、B-CASカード、アンテナ受信レベルなどの情報を表示します。

テレビからのお知らせ	P.86
家電からのお知らせ ※9	
HEMSからのお知らせ ※9	
放送局からのお知らせ	P.86
ボード(CS)	P.88
B-CASカード情報	P.89
アンテナ受信レベル	P.90
困ったときは	P.89

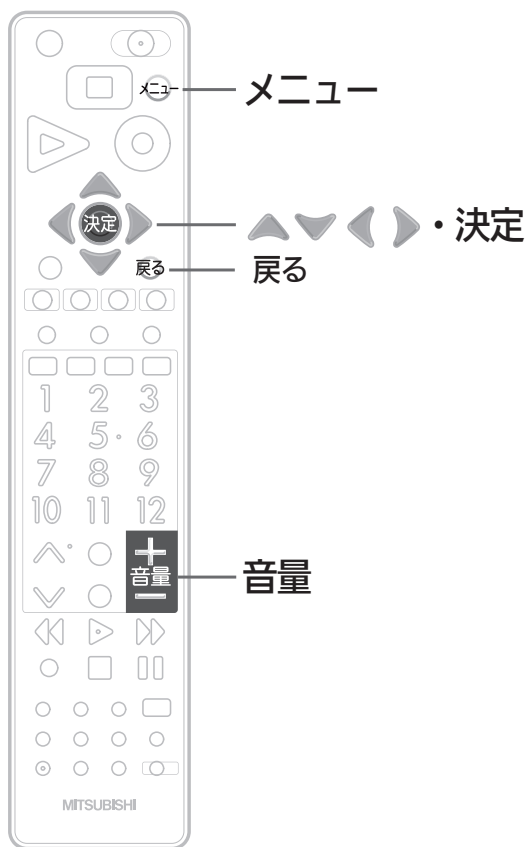
設定

下記項目を詳細に設定することができます。

画質設定	P.106
音声設定	P.113
機能設定	P.120
初期設定	P.136
節電アシスト設定	P.48
設定初期化	P.158

- ※5: 選択されている番組の保護設定に応じて、どちらか一方が表示されます。
- ※6: 選択されている番組が消去対象かどうかでどちらか一方が表示されます。消去できる番組がない場合は表示されません。
- ※7: 番組が選択されていないと表示されません。
- ※8: 外付ハードディスク録画設定が録画機器を「使用する」になっているときは「予約取り消し/編集」P.172
- ※9: 当社ホームページ掲載本機取扱説明書「家電連携/HEMS編」P.3をご覧ください。

ヘッドホンの音量を調節する



ヘッドホンを入れた状態で
音量 \pm を押す



スピーカーとヘッドホンの音声を同時出力しているとき

スピーカーとヘッドホンの音声を同時出力しているときの、ヘッドホンの音量を調節します。

「音声設定」の「ヘッドホン設定」より「スピーカー音声同時出力」を「入」に設定して、ヘッドホンを入れている場合に操作することができます。

1 メニュー を押す

2 「今すぐできること」が選ばれている状態で
 決定 を押す



3 決定 を押す
 決定 を押す



4 音量 \pm で音量を調節する

決定 でも調節できます。



「サラウンド」で聞く/ゲームモードにする

「サラウンド」で聞く

「サラウンド」を「入」にすると、スピーカーからの出力で、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。ご覧になる番組や再生するソフトに合わせて設定してください。

サラウンドを押す



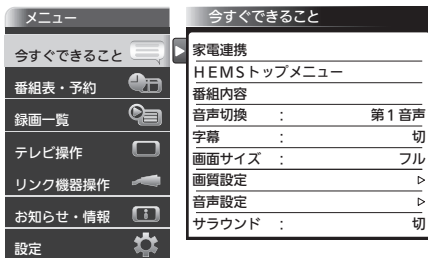
ボタンを押すごとに切り換わります

メニューから設定する場合

1 メニューを押す

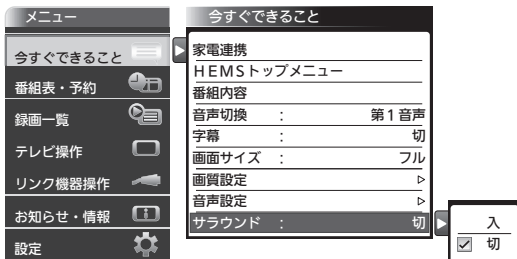
2 「今すぐできること」が選ばれている状態で

決定を押す

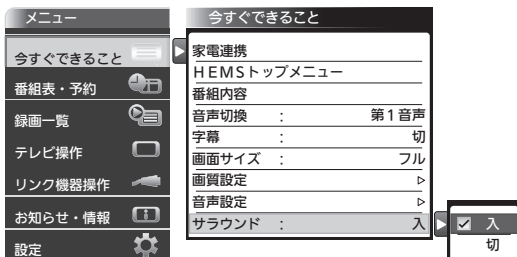


3 ▲▼で「サラウンド」を選び、

決定を押す



4 ▲▼で「入」を選び、決定を押す



2.0ch音源でも包み込むようなサラウンド感覚で楽しめます。センター定位がしっかりした自然なサラウンド感です。

お知らせ

- モノラル音声や二重音声を左右同じ音で聞いているときにはスピーカーでの効果がありません。

ゲームモードにする

画質処理を最小限に抑えて、信号の入力から画面に表示されるまでの遅れを低減します。画面の変化に対して素早い反応を必要とされるようなゲームをするときに便利です。

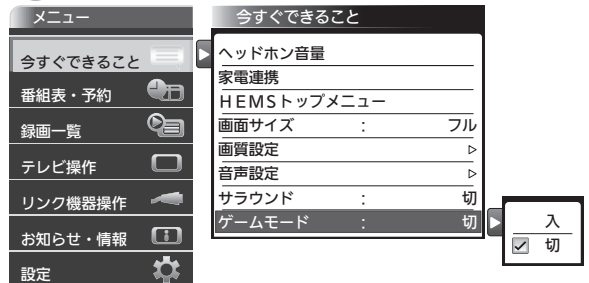
1 ゲーム機を接続した外部入力選ばれている状態でメニューを押す

2 「今すぐできること」が選ばれている状態で決定を押す

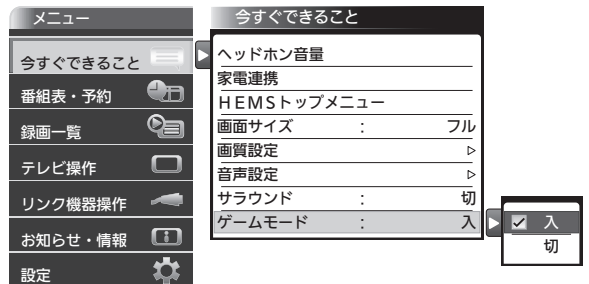


3 ▲▼で「ゲームモード」を選び、

決定を押す



4 ▲▼で「入」を選び、決定を押す



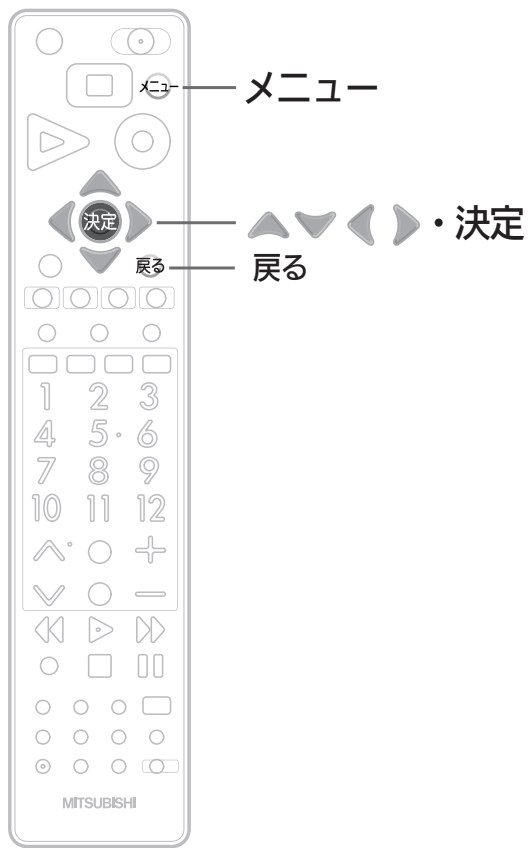
お知らせ

ゲームモードは、各入力(ビデオ、D端子、HDMI、PC入力)ごとに選ぶことができます。

テレビを
使いこなす

「サラウンド」で聞く/ゲームモードにする
ヘッドホンの音量を調節する

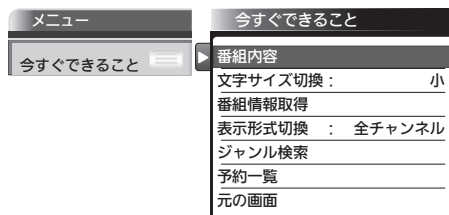
番組表を表示中に今すぐできること



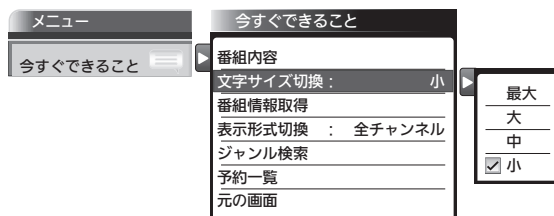
文字の大きさを切り換える

番組表の文字の大きさを変更できます。表示するチャンネル数も変わります。

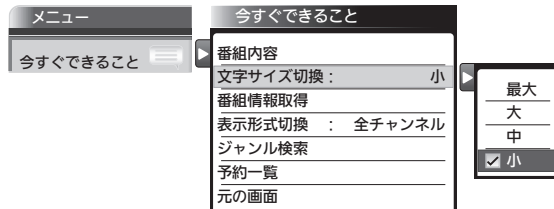
1 番組表を表示中にメニューを押す



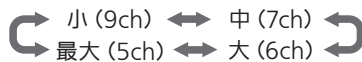
2 ▲▼で「文字サイズ切換」を選び、決定を押す



3 ▲▼で文字の大きさを選び、決定を押す



選択した文字サイズによって表示できるチャンネル数が変わります。



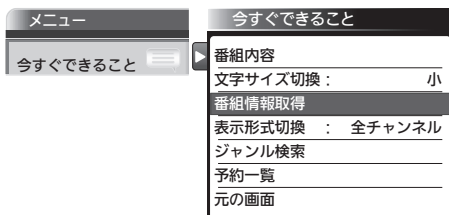
番組情報を取得する

地上デジタル放送の番組情報は、視聴中の放送局の情報しか取得できません。

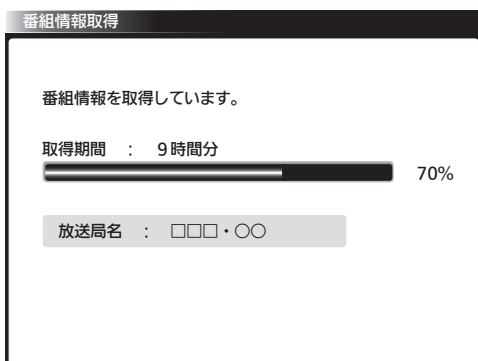
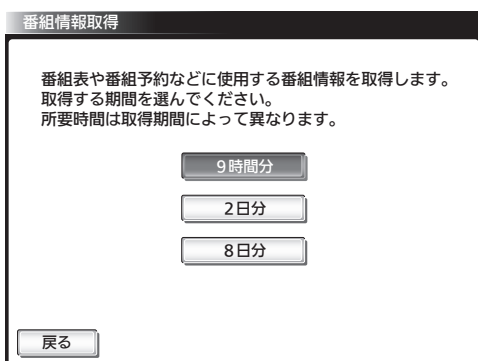
次の設定を行うと、他の放送局の番組情報を取得できます。

1 番組表を表示中にメニューを押す

2 ▲▼で「番組情報取得」を選び、決定を押す



3 ▲▼で取得期間を選び、決定を押す

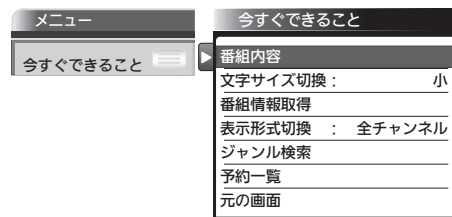


- 番組情報の取得には数分かかります。
- 取得中に 戻る を押すと、番組情報の取得を中止できます。
- 取得が完了すると「番組情報の取得が完了しました。」と表示されます。
- 番組情報の取得にかかる時間は、情報量、受信状態により長くなる場合があります。
- 放送局ロゴなど一定期間ごとにしか送られていない情報は、この操作を行うタイミングにより取得できない場合があります。
- 外付ハードディスク録画中はこの機能は使えません。

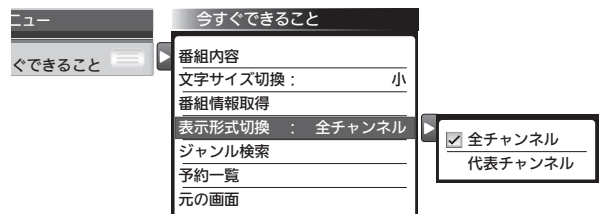
表示形式を切り換える

番組表に表示されるチャンネルを、全チャンネルか放送局の代表チャンネルだけにするかを選ぶことができます。

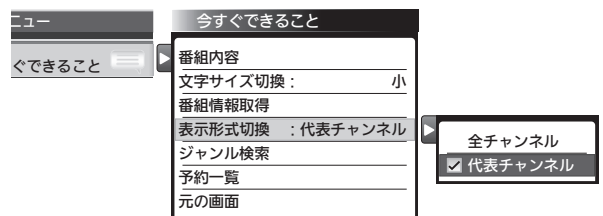
1 番組表を表示中にメニューを押す



2 ▲▼で「表示形式切替」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



お知らせ

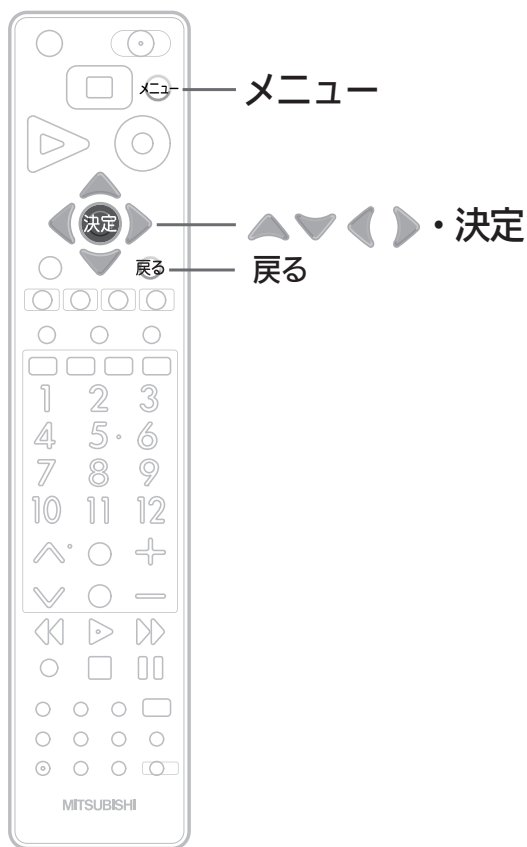
- 常に表示させないようにするには、「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルスキップ」P.146 でスキップするように設定します。
- 「表示形式切替」は、地上デジタルテレビ放送とBSデジタルテレビ放送だけで有効です。

テレビを
使いこなす

番組表を表示中に今すぐできること

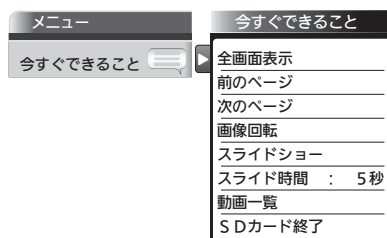
SDカードのスライド時間を変更する

スライドショーで1枚の画像が表示され、次の画像に切り換わるまでの時間を変更できます。
時間は5秒、10秒、15秒、30秒、60秒から選べます。

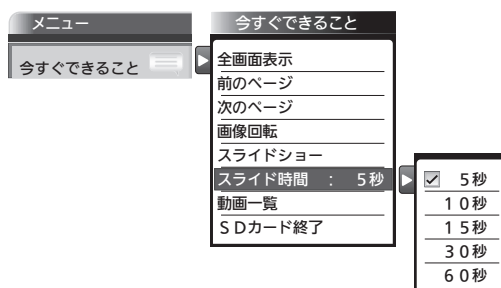


1 SDカードの写真一覧を表示中に **メニュー** を押す

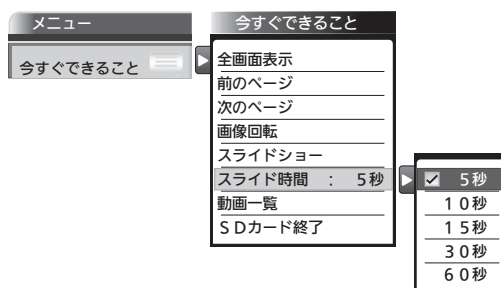
2 「今すぐできること」が選ばれている状態で **決定** を押す



3 **決定** を押す



4 **決定** を押す

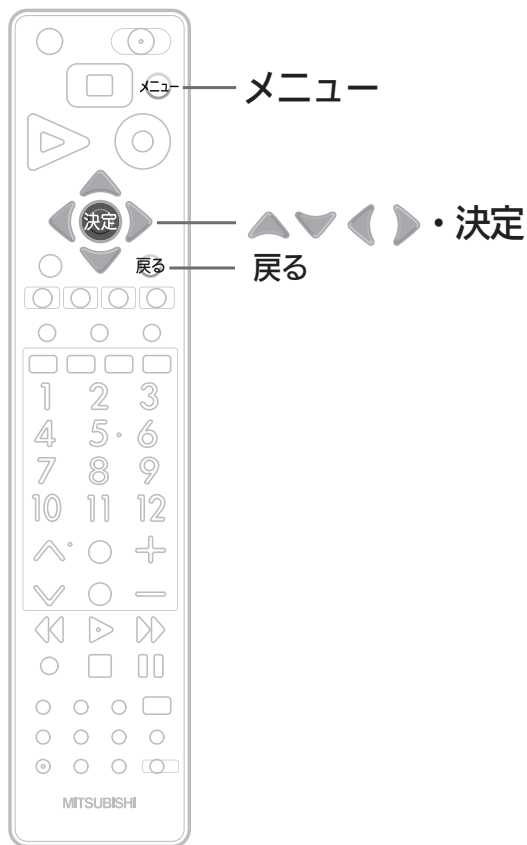


お知らせ

画像データのサイズにより、画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

見たい番組を探す (ジャンル検索)

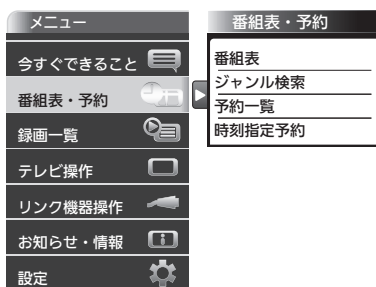
番組表のデータを検索して、お好みの番組を探すことができます。
地上デジタル、BS、CS1、CS2にわたり検索します。



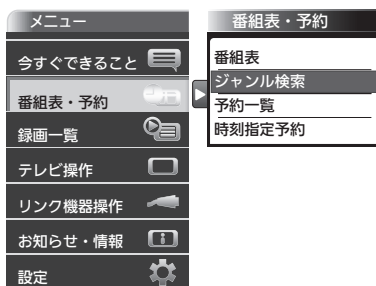
例：ジャンル別に探す

1 デジタル放送を見ているときに
メニューを押す

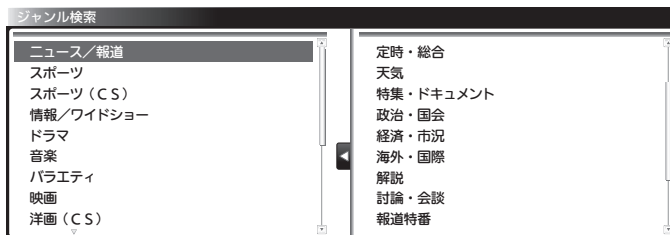
2 ▲▼で「番組表・予約」を選び、
決定を押す



3 ▲▼で「ジャンル検索」を選び、
決定を押す



4 ▲▼で画面左の大ジャンルを選ぶ



お願い!

電源が「切」の間に検索に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。

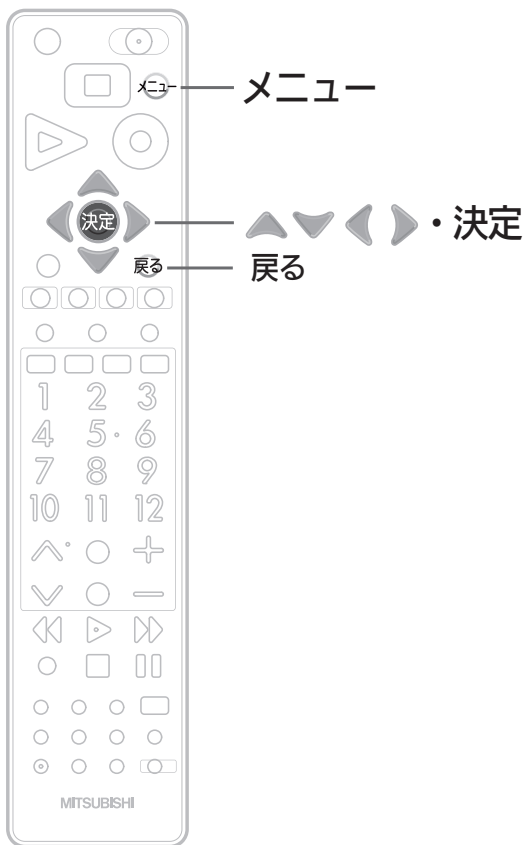
本体の電源ボタンで電源を「切」(電源表示灯が無点灯)にするとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

次ページへつづく

テレビを
使いこなす

見たい番組を探す
SDカードのスライド時間を変更する

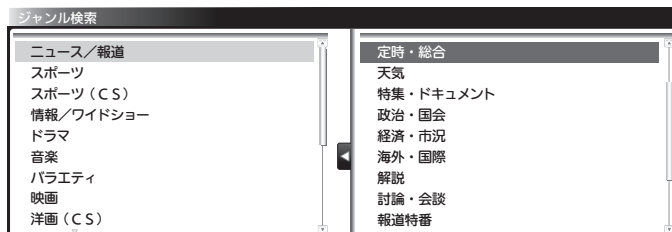
見たい番組を探す (ジャンル検索) (つづき)



さらに絞り込む場合

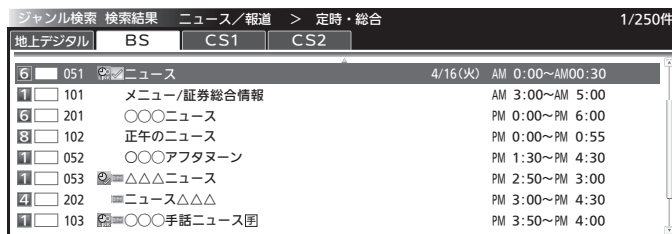
ジャンルを絞り込む必要がない場合は、手順6に進んでください。

- 5** ▶ でカーソルを画面右に移動し、
▲▼ で小ジャンルを選ぶ



- 6** 決定 を押す

検索結果一覧が表示されます。



- 放送の種類を変えて表示したいときは

◀▶ を押す

- 7** ▲▼ で番組を選び、決定 を押す

その番組の番組内容画面が表示されます。 P.62

- 条件を変えて、もう一度検索するときは

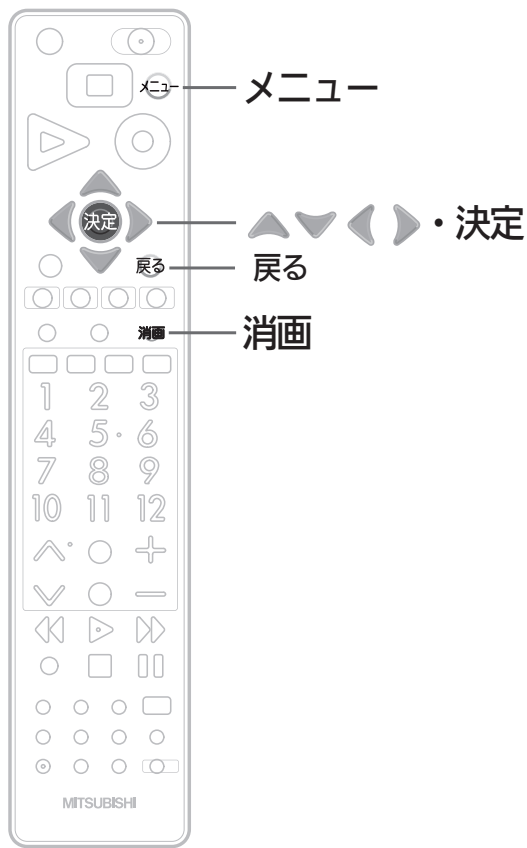
戻る を押す

お知らせ

ジャンル検索後の画面から、視聴予約やリンク録画、外付ハードディスクへの録画予約ができます。くわしくは P.96・167 をご覧ください。

画面だけを消す(消画)

何かをしながらテレビを見るときなど、音声を聞ければいいというときは、消画にすると電力の節約にもなります。



消画を押す

画面だけが消えます。

■ 画面を戻したいときは

電源以外の、何かボタンを押す。
消画以外のボタンを押すと、消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

メニューから設定する場合

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「テレビ操作」を選び、**決定** を押す

メニュー	テレビ操作
今すぐできること	オフタイマー : 切
番組表・予約	オンタイマー
録画一覧	消画
テレビ操作	サービス切換 : テレビ
リンク機器操作	映像切換 : 映像1
お知らせ・情報	S Dカード
設定	ネットワーク
	ホームネットワーク
	使う人切換 : 標準モード
	外付ハードディスク取外し

- 3 **▲▼** で「消画」を選び、**決定** を押す

メニュー	テレビ操作
今すぐできること	オフタイマー : 切
番組表・予約	オンタイマー
録画一覧	消画
テレビ操作	サービス切換 : テレビ
リンク機器操作	映像切換 : 映像1
お知らせ・情報	S Dカード
設定	ネットワーク
	ホームネットワーク
	使う人切換 : 標準モード
	外付ハードディスク取外し

お知らせ

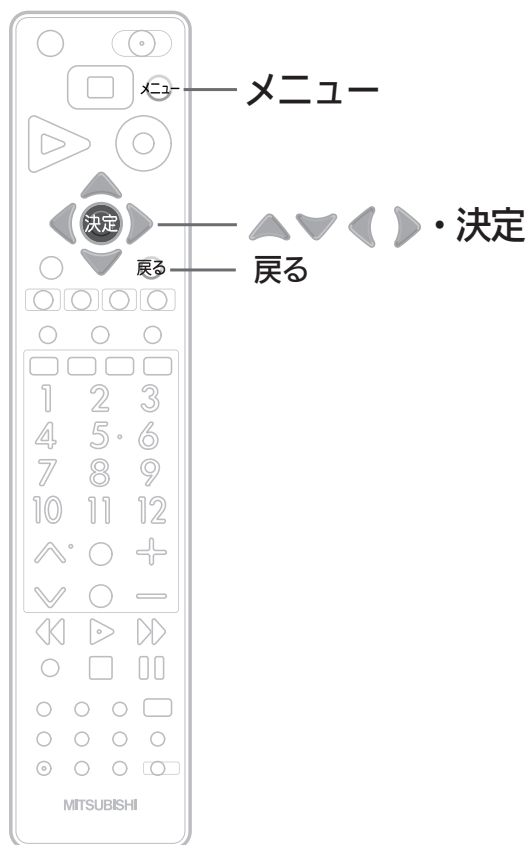
消画中に予約が開始されると、消画が解除されます。

テレビを
使いこなす

画面だけを消す
見たい番組を探す

チャンネル内の映像を切り換える (映像切換)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。



1 デジタル放送を見ているときに
メニューを押す

2 ▲▼で「テレビ操作」を選び、決定を押す

メニュー	テレビ操作
今すぐできること	オフタイマー : 切
番組表・予約	オンタイマー
録画一覧	消画
テレビ操作	サービス切換 : テレビ
リンク機器操作	映像切換 : 主番組
お知らせ・情報	S Dカード
設定	ネットワーク
	ホームネットワーク
	使う人切換 : 標準モード
	外付ハードディスク取外し

3 ▲▼で「映像切換」を選び、決定を押す

メニュー	テレビ操作
今すぐできること	オフタイマー : 切
番組表・予約	オンタイマー
録画一覧	消画
テレビ操作	サービス切換 : テレビ
リンク機器操作	映像切換 : 主番組
お知らせ・情報	S Dカード
設定	ネットワーク
	ホームネットワーク
	使う人切換 : 標準モード
	外付ハードディスク取外し

主番組
 副番組 1
 副番組 2

4 ▲▼で映像の種類を選び、決定を押す

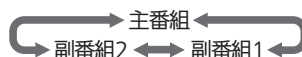
メニュー	テレビ操作
今すぐできること	オフタイマー : 切
番組表・予約	オンタイマー
録画一覧	消画
テレビ操作	サービス切換 : テレビ
リンク機器操作	映像切換 : 副番組 1
お知らせ・情報	S Dカード
設定	ネットワーク
	ホームネットワーク
	使う人切換 : 標準モード
	外付ハードディスク取外し

主番組
 副番組 1
 副番組 2

お知らせ

- マルチビュー放送とは
ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。たとえば、主番組と副番組1、副番組2が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。

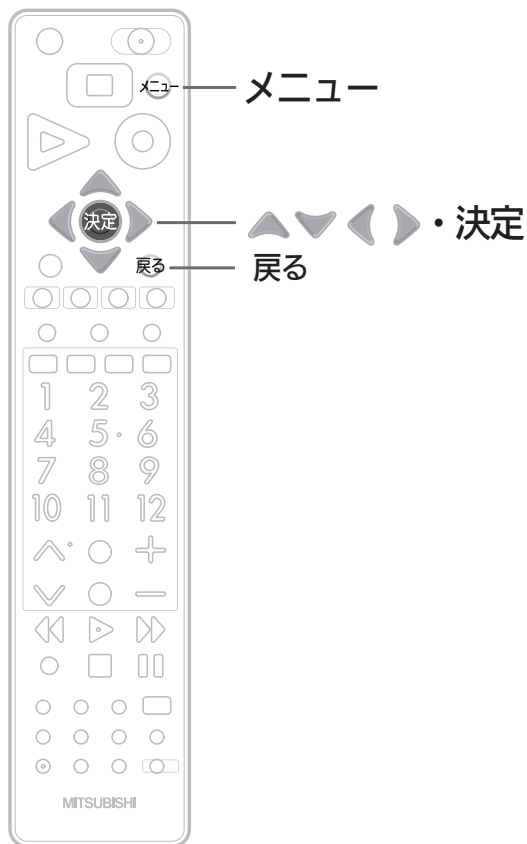


使う人に合わせた設定に切り換える (使う人切換)

本機を使用する人に適した設定に一括で切り換えることができます。

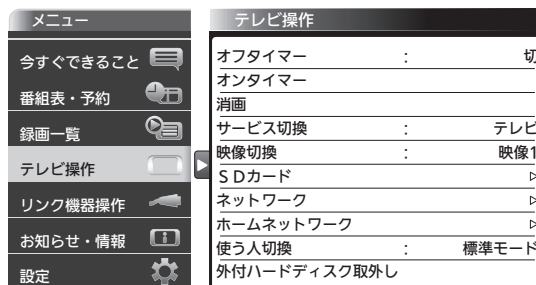
設定は3つのモードから選べます。

それぞれのモードの設定内容は、お好みで変更することもできます。 P.135

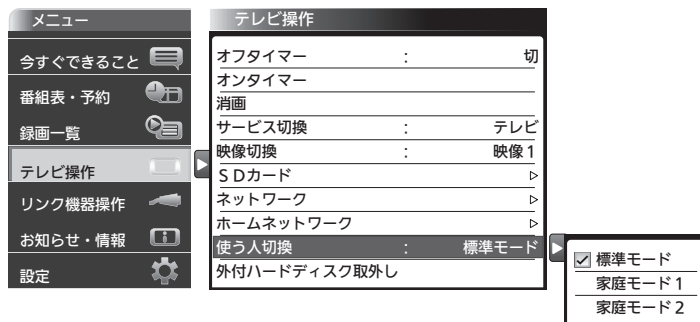


1 **メニュー** を押す

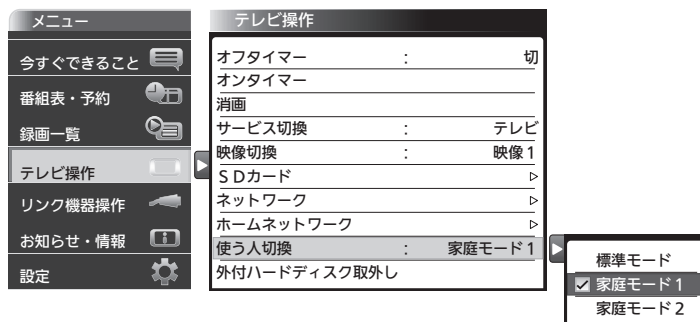
2 **▲▼** で「テレビ操作」を選び、 **決定** を押す



3 **▲▼** で「使う人切換」を選び、 **決定** を押す



4 **▲▼** でお好みのモードを選び、 **決定** を押す



3つのモードと工場出荷時の設定内容

項目	工場出荷時の設定		
	標準モード	家庭モード1	家庭モード2
視聴者設定	切	シニア	ジュニア
字幕	切	切	切
声ハッキリ	切	入	切
自動読み上げ	切	入	切
操作音・報知音	小	標準	切
リモコンキーロック	すべてしない	すべてしない	すべてしない

お知らせ

それぞれのモードの設定内容の変更方法については、 P.135 をご覧ください。

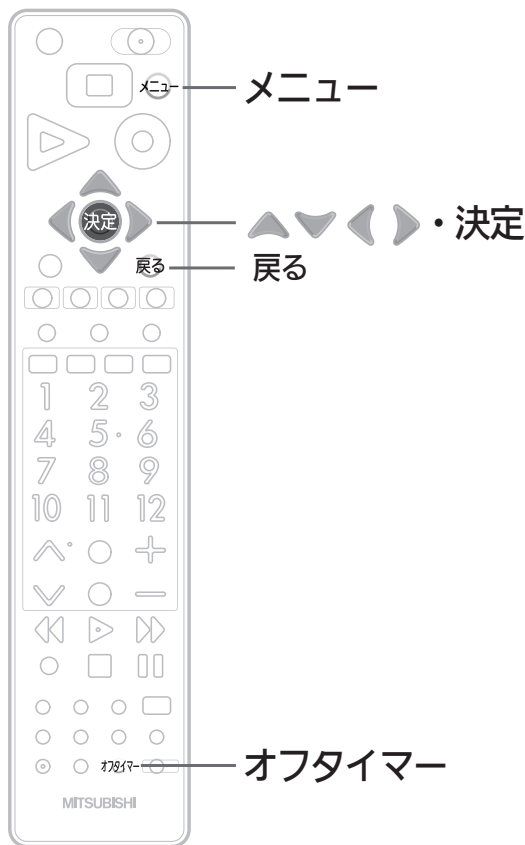
テレビを
使いこなす

使う人に合わせた設定に切り換える
チャンネル内の映像を切り換える

オンタイマーで自動的に電源を入れる

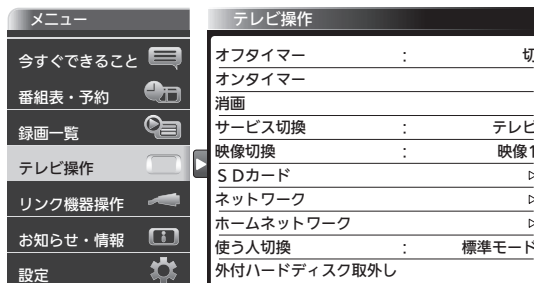
自動的に本機の電源を入れることができます。

また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

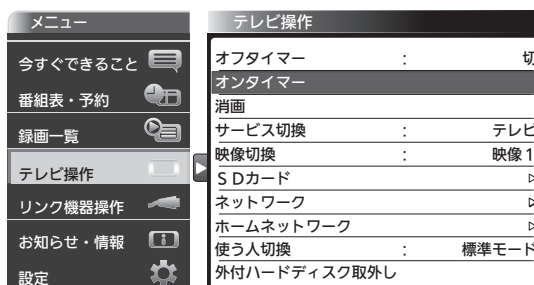


1 **メニュー** を押す

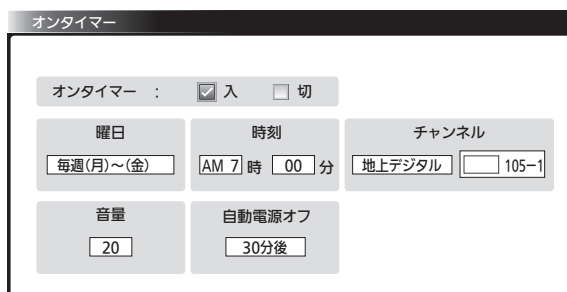
2 **▲▼** で「テレビ操作」を選び、**決定** を押す



3 **▲▼** で「オンタイマー」を選び、**決定** を押す



4 **◀▶** で「入」を選び、**決定** を押す



お知らせ

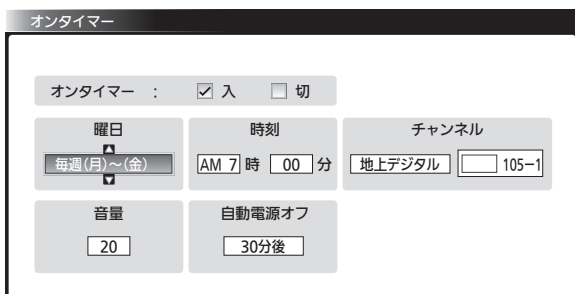
- オンタイマーを利用するためには、デジタル放送の受信が必要です。
時刻情報をデジタル放送から取得しますので、アナログ放送のみの受信ではオンタイマーを利用することはできません。
- オンタイマーを設定後は、本体の電源ボタンで電源を「切」(電源表示灯が無点灯)にしないでください。電源を切るときはリモコンの電源ボタンを押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順9で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。
- オンタイマーを利用されるときは、電源表示灯が赤か確認してください。無点灯のときは本体の電源ボタンを押して電源を入れた後リモコンで「切」にしてください。

- オンタイマーを使う曜日、時刻、チャンネル、音量など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順5へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順10へ進みます。
- オンタイマーを使わない場合は、**◀▶** で「切」を選び、**決定** を押したあと、手順10へ進みます。
- 「オンタイマー 切」では手順5～9の内容を変更することができません。

次ページへつづく

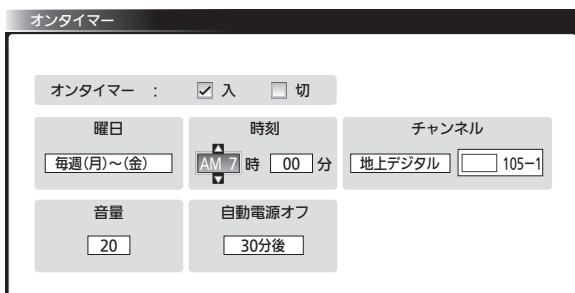
5 オンタイマーを使う曜日を選ぶ

- ① 「曜日」が選ばれている状態で、**決定**を押す
- ② ▲▼でオンタイマーを使う曜日を選び、**決定**を押す
 - 工場出荷時は「毎日」が選ばれています。



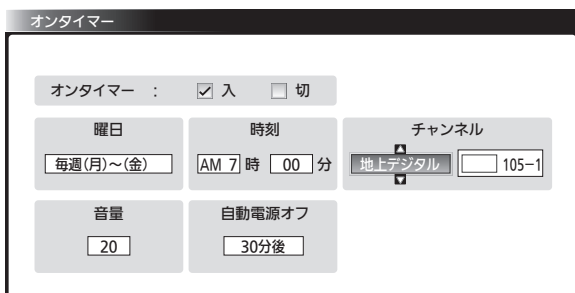
6 電源「入」にする時刻を選ぶ

- ① ▶でカーソルを「時刻」へ動かし、**決定**を押す
- ② ▲▼▶で時刻を選び、**決定**を押す
 - 工場出荷時は「AM7時00分」が選ばれています。



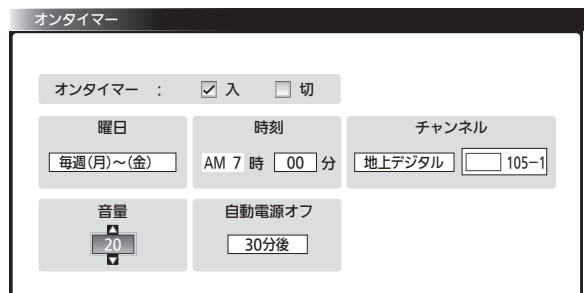
7 放送波とチャンネルを選ぶ

- ① ▶でカーソルを「チャンネル」へ動かし、**決定**を押す
- ② ▲▼で放送波を選び、▶を押す
 - 放送波無効設定されている放送波は選ばれません。
- ③ ▲▼でチャンネルを選び、**決定**を押す



8 音量を選ぶ

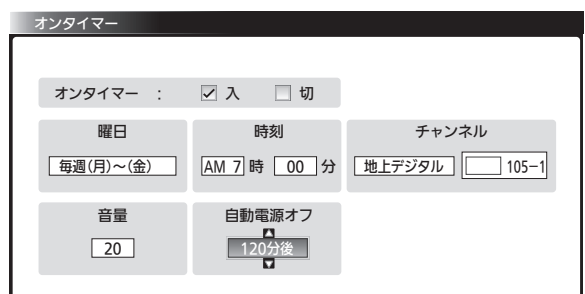
- ① ▼でカーソルを「音量」へ動かし、**決定**を押す
- ② ▲▼で音量を選び、**決定**を押す
 - 工場出荷時は、オンタイマー画面を表示したときの音量が選ばれています。



9 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマー **P.47** が設定された状態になります。電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

- ① ▶でカーソルを「自動電源オフ」へ動かし、**決定**を押す
- ② ▲▼で自動で電源「切」にするまでの時間を選び、**決定**を押す
 - 工場出荷時は「30分後」が選ばれています。



● 「自動電源オフ」にしたい場合は、オンタイマーで電源「入」になったあと、オフタイマーを解除してください。

<オフタイマー解除のしかた>

- ① 対応キーを押す
- ② 対応キーをくり返し押して「切」を選ぶ
または、▲▼で「切」を選び、**決定**を押す

10 戻るを押す

お知らせ

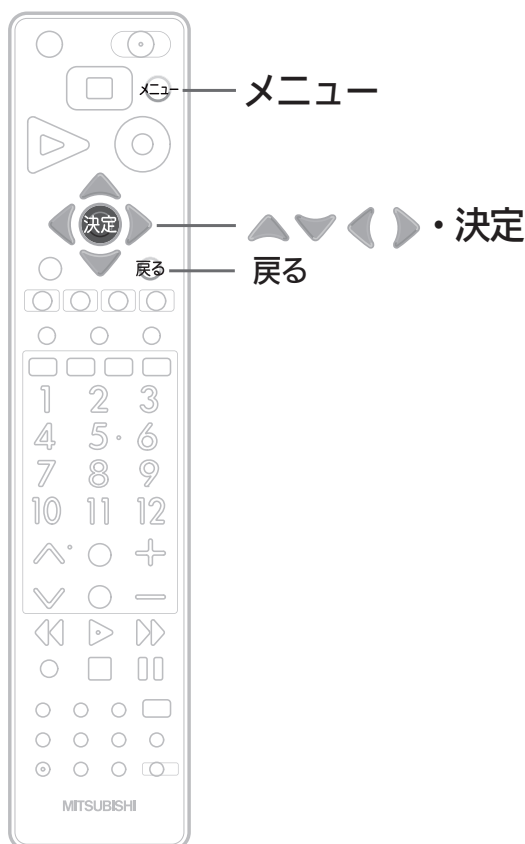
予約(外付ハードディスクへの予約録画含む)と重複したときは、予約が優先されます。予約されたチャンネルが選局されます。

本機や放送局からののお知らせを読む

「テレビからののお知らせ」は、ダウンロードや開局など本機からお知らせするメッセージです。

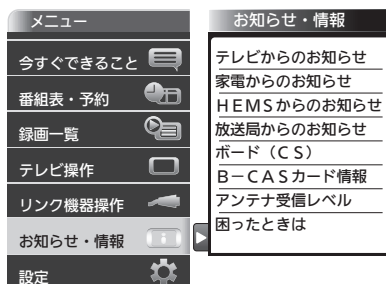
「放送局からののお知らせ」は、デジタル放送の放送局から送られてくる、番組などの情報です。

本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「 未読あり」が表示された場合は、まだ読んでいない(未読)のお知らせがありますので、以下の手順でお知らせの内容を確認してください。

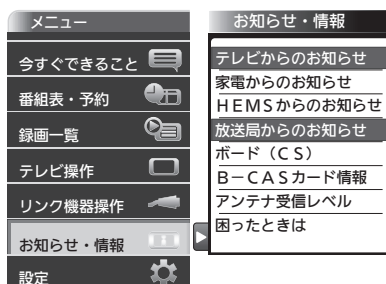


1 **メニュー** を押す

2 ▲▼で「お知らせ・情報」を選び、**決定** を押す



3 ▲▼で「テレビからののお知らせ」または「放送局からののお知らせ」を選び、**決定** を押す



お知らせ

● テレビからののお知らせは

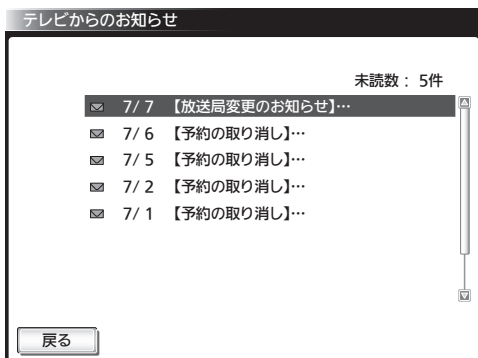
- ・10通まで表示できます。
- ・10通以上のお知らせが蓄積すると、まず古い既読のお知らせが削除されます。既読のお知らせがないときは、古い未読のお知らせから削除されます。
- ・テレビからののお知らせは、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。テレビからののお知らせの内容は、必ずご確認ください。

● 放送局からののお知らせは

- ・31通まで表示できます。
- ・31通以上のお知らせが蓄積すると、まず古い既読のお知らせが削除されます。既読のお知らせがないときは、古い未読のお知らせから削除されます。

次ページへつづく

4 ▲▼で読みたい項目を選び、
決定を押す



既読か未読かは、各お知らせ画面のアイコンで確認できます。

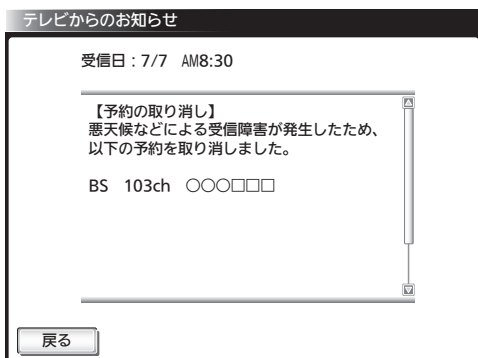
 未読のお知らせ

 既読のお知らせ

■ 画面の続きがあるときは

▲▼でスクロールする

5 内容を確認する



■ お知らせ本文の続きがあるときは

▲▼でスクロールする

■ 他のお知らせを読みたいときは

戻るを押す

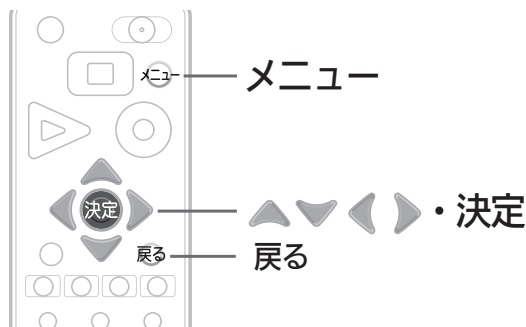
6 読み終わったら、
メニューを押す

お知らせ

放送局からのお知らせには、チャンネル再設定が必要となる内容のものもあります。チャンネル再設定については **P.142** をご覧ください。

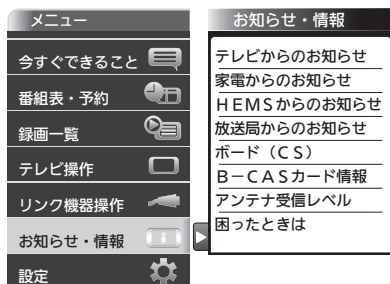
ボード (110度CSデジタル放送からのお知らせ) を読む

ボードとは、110度CSデジタル放送を受信している場合のみ送られてくるメッセージです。
以下の手順でボードの内容を確認してください。

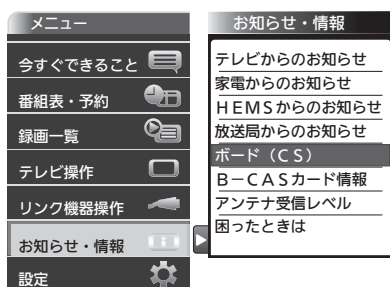


1 **CS** を押して110度CSデジタル放送を
選んだ状態で **メニュー** を押す

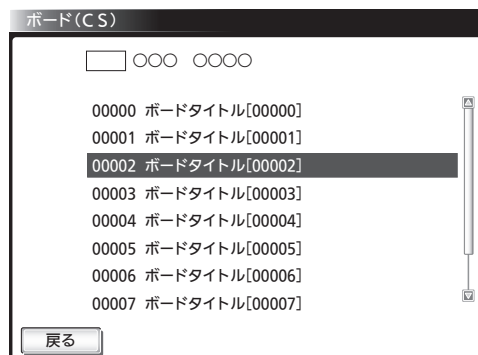
2 **▲▼** で「お知らせ・情報」を選び、
決定 を押す



3 **▲▼** で「ボード (CS)」を選び、
決定 を押す



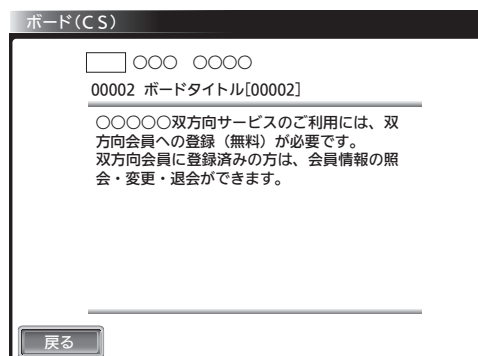
4 **▲▼** で読みたいボードを選び、
決定 を押す



■ ボード画面の続きがあるときは
▲▼ でスクロールする

お知らせ
ボードは最大50個まで表示できます。

5 内容を確認する



■ ボード本文の続きがあるときは
▲▼ でスクロールする

■ 他のボードを読みたいときは
戻る を押す

6 読み終わったら、
メニュー を押す

お知らせ
外付ハードディスク録画中はこの機能は使えません。

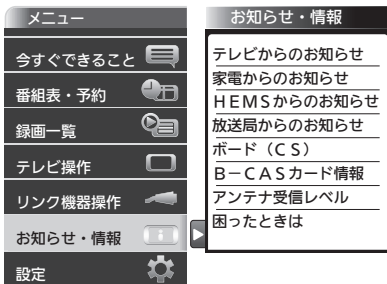
B-CASカード情報と 困ったときの問い合わせ先を確認する

B-CASカードの情報を確認する

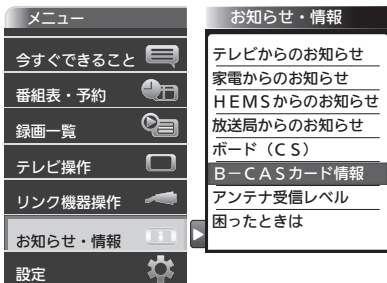
B-CASカードのカード識別、カードID、グループIDを確認できます。

1 **メニュー** を押す

2 ▲▼で「お知らせ・情報」を選び、
決定 を押す



3 ▲▼で「B-CASカード情報」を選び、
決定 を押す



4 情報を確認する



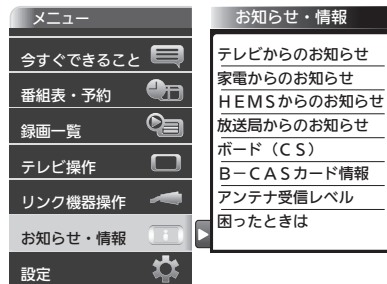
5 確認したら、**メニュー** を押す

困ったときの問い合わせ先を確認する

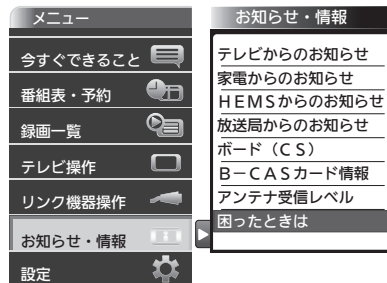
「お客さま相談センター」の電話番号を表示します。

1 **メニュー** を押す

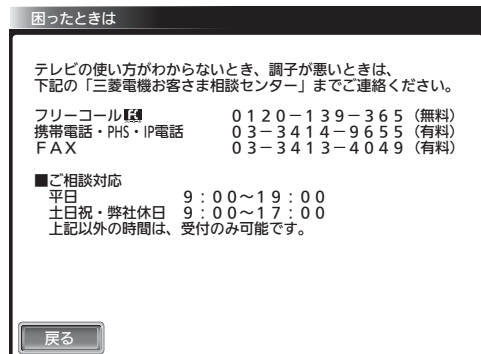
2 ▲▼で「お知らせ・情報」を選び、
決定 を押す



3 ▲▼で「困ったときは」を選び、
決定 を押す



4 問い合わせ先を確認する



5 確認したら、**メニュー** を押す

テレビを
使いこなす

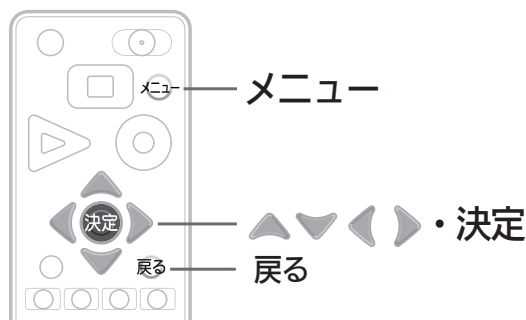
B-CASカード情報と困ったときの問い合わせ先を確認する
ボードを読む

デジタル放送の受信状況を確認する (アンテナ受信レベル)

映らないチャンネルがあるとき、デジタル放送視聴中に画質が低下したときや画面がモザイク状になるとき、番組情報が取れないときなどは、受信状況を確認することができます。受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。

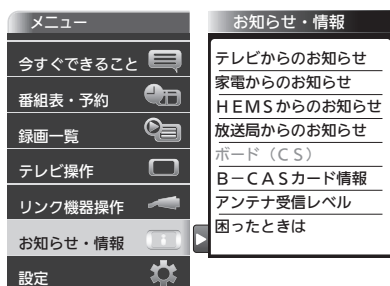
お知らせ

受信レベルで表示される数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きく外れることがあります。地上デジタル放送の受信可能地域については、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター **P.180** へお問い合わせください。

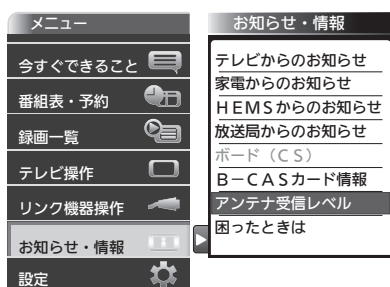


1 メニューを押す

2 ▲▼で「お知らせ・情報」を選び、決定を押す



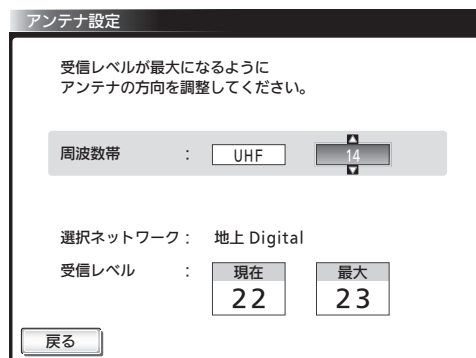
3 ▲▼で「アンテナ受信レベル」を選び、決定を押す



ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」**P.39** をご覧ください。

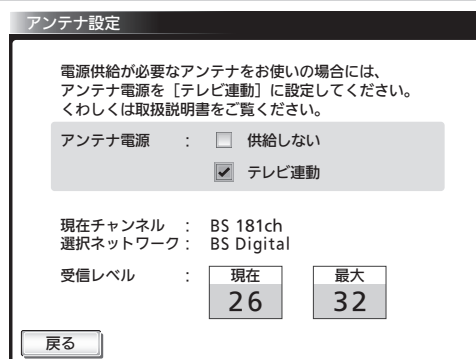
4 受信レベルを確認する

地上デジタル放送の場合



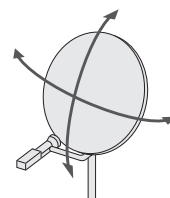
安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

BS・110度CSデジタル放送の場合



最大
受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。受信レベルが26以上になると、表示が緑色に変わります。これを目安にしてアンテナの方向を決めます。
最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

現在
この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。



お知らせ

アンテナ電源については **P.150** をご覧ください。

5 メニューを押す

お知らせ

- 受信レベルが低い状態でご覧になっている場合、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)により受信状態が悪化し、映像がモザイク状に乱れたり映らなくなることがあります。
- 外付ハードディスク録画中はこの機能は使えません。

リアリンク対応機器を操作する [リアリンク(REALINK)]

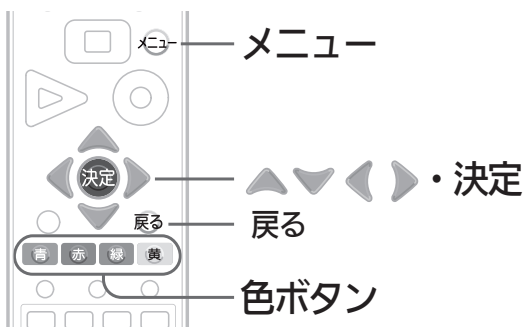
リアリンク機能は、リアリンク対応機器にて使用可能です。

リアリンク対応機器(REALINK ロゴマークのあるブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなど)を本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作(再生など)ができます。リアリンク対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。(仕様は予告なく変更することがあります。)

■ 本機でリアリンク機能を使うには、次の設定になっていることが必要です。

本機 …「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。くわしくは **P.127** をご覧ください。

接続機器 …接続機器側もリンク使用可能な設定にします。くわしくはリアリンク対応の当社製品の取扱説明書をご覧ください。



リアリンク対応機器の操作のしかた

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「リンク機器操作」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で操作したい項目を選び、**決定** を押す

お知らせ

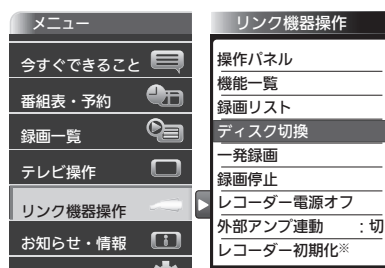
- 次のような場合は、「リンク機器操作」のサブメニューは選べません。
 - ・「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」が「切」に設定されているとき **P.127**
 - ・接続したHDMI機器が、リアリンクに対応していないとき
- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部ができることがあります。その動作につきましては保証の対象ではありません。
- リアリンク対応機器の操作に使える本機のリモコンボタンは、下表のようになります。

本機のリモコンボタン	操作パネル表示中	操作パネル非表示中
▲	再生	上
▼	停止	下
▶	早送り	右
◀	早戻し	左
戻る	操作パネル終了	戻る
決定	—	決定
青	一時停止	青
赤	録画停止※	赤
緑	戻し方向へスキップ	緑
黄	送り方向へスキップ	黄

※一発録画を停止します。予約録画の停止はできません。

お願い!

リアリンク機能を中止するために「リンク制御」**P.127** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。



- 操作パネル** ……操作パネルを表示して、本機のリモコンで接続機器の再生などをします。 **P.105**
- 機能一覧** ……接続機器の設定などを行う画面が表示されます。
- 録画リスト** ……レコーダーの「録画リスト画面」を表示します。 **P.104**
- ディスク切換** ……接続機器が複数の記録媒体を持つ場合、再生や録画をする媒体を切り換えます。
- 一発録画** ……視聴中のデジタル放送を今すぐ録画開始します。 **P.94**
- 録画停止** ……一発録画を停止します。 **P.94**
- レコーダー電源オフ** ……本機のリモコンで接続機器の電源を切ります。 **P.92**
- 外部アンプ連動** ……本機のリモコンで、対応するAVアンプの音量を調節できます。 **P.93**
- レコーダー初期化※** ……レコーダーの「らくらく設定画面」を表示します。

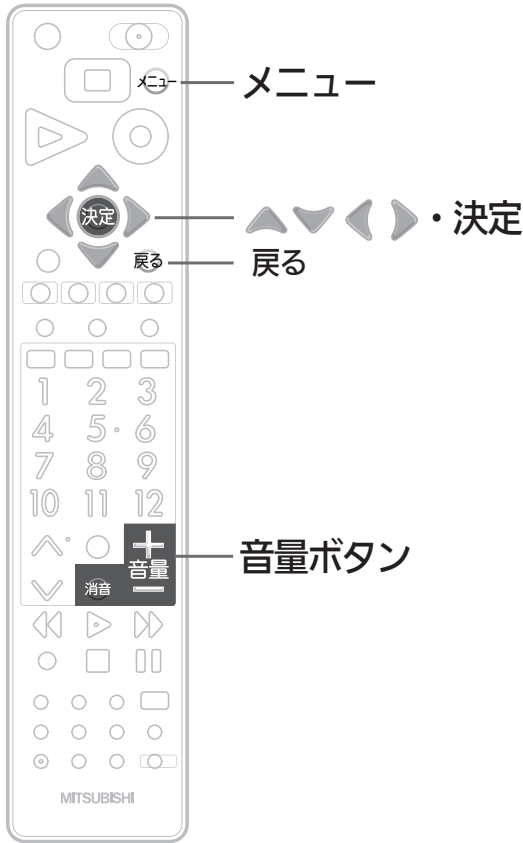
※2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用の場合は、「レコーダー初期化」も表示されます。

テレビを
使いこなす

リアリンク対応機器を操作する
デジタル放送の受信状況を確認する

4 本機のリモコンで操作する

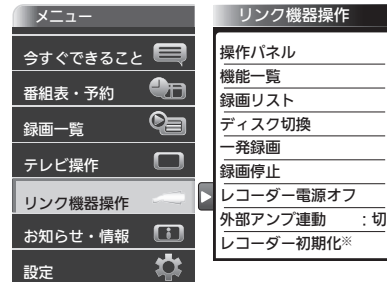
リアリンク対応機器を操作する [リアリンク(REALINK)] (つづき)



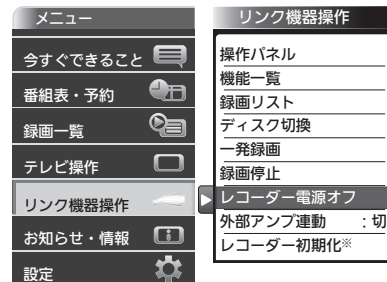
例：HDMIで接続したリアリンク対応レコーダーの電源を切る

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「リンク機器操作」を選び、決定 を押す



3 ▲▼で「レコーダー電源オフ」を選び、決定 を押す



※2008年以降発売のリアリンク対応機器（DVR-DS120を除く）をご使用の場合は、「レコーダー初期化」も表示されます。

リアリンク対応レコーダーの電源が「切」になります。

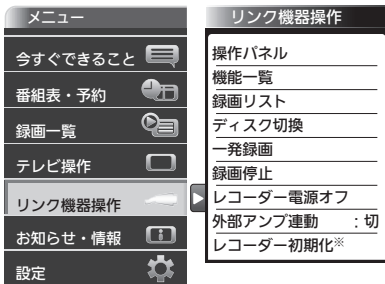
お知らせ

- 次のような場合は、「リンク機器操作」のサブメニューは選べません。
 - ・ 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」が「切」に設定されているとき **P.127**
 - ・ 接続したHDMI機器が、リアリンクに対応していないとき
- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部ができることがあります。その動作につきましては保証の対象ではありません。
- リアリンク対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

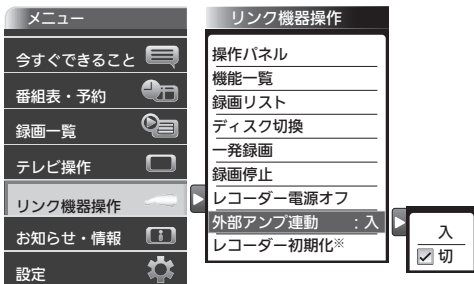
例：HDMIで接続したHDMIコントロール対応AVアンプの音量を調節する

1 **メニュー** を押す

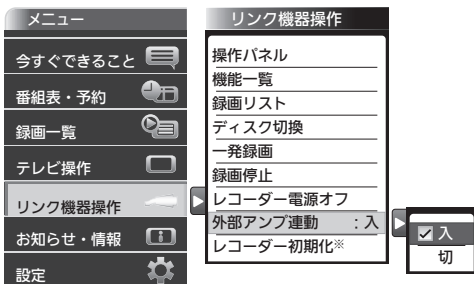
2 **▲▼**で「リンク機器操作」を選び、**決定**を押す



3 **▲▼**で「外部アンプ連動」を選び、**決定**を押す



4 **▲▼**で「入」を選ぶ



「入」で本機は消音され、AVアンプの電源が「入」になり、本機のリモコンで音量を調節できるようになります。

※2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用の場合は、「レコーダー初期化」も表示されます。

5 本機のリモコンの音量**+**、**-**、**消音**で音量を調節する

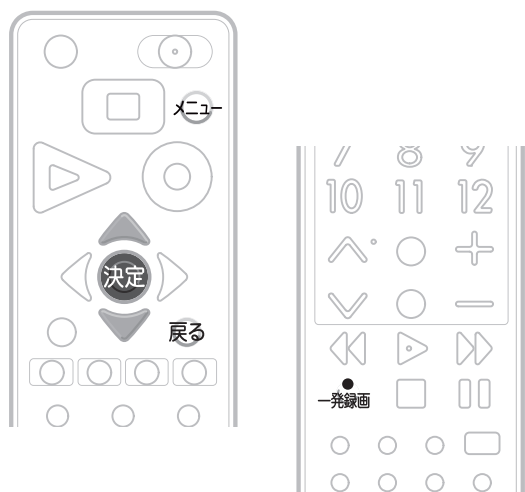


お知らせ

- 外部アンプ連動「入」にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
- 音量**+**を押した直後に「アンプ音量 +」(または-)の表示が出る場合があります。
- 音量**+**を押し続けて音量調整すると画面表示の数字が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示が変わりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。スピーカー音声同時出力「入」のときは、本機でヘッドホンをご使用中でも、外部アンプから本機の音が出ます。

デジタル放送を一発録画で録る [リアリンク(REALINK)を使って録る]

一発録画とは、リアリンク機能または外付ハードディスクを使って、テレビから簡単にデジタル放送の録画を開始できる機能です。視聴中のデジタル放送を今すぐ録画したいときに便利です。
(本機に接続したリアリンク対応レコーダーに録画する機能です。本機のみでは録画できません。)



お知らせ

- リアリンク機能は、リアリンク対応機器にて使用可能です。リアリンク対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。仕様は予告なく変更することがあります。
- デジタル放送をご覧になるときは、「一発録画」機能をいつでも、すぐにご利用いただけるように、リアリンク対応レコーダーの電源を「入」にしておくことをおすすめします。「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「テレビ電源入連動」と「テレビ電源切連動」を「入」にしておくとう便利です。 **P.127**
- 本機のチューナーでデジタル放送を見ているときは、視聴中のデジタル放送の番組情報をレコーダーに送り、レコーダーでチャンネルを切り換えて録画します。
- レコーダー側のチューナー(HDMI1~HDMI2)でデジタル放送を見ているときは、レコーダーが選局している番組をそのまま録画します。レコーダーの録画ボタンを押した場合と同じ動作となり、録画停止をするまで最長8時間録画を継続します。
- 録画モード(画質)は、レコーダー側で設定されているモードになります。くわしくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部(一発録画など)ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- リアリンク機能を使用するときは接続機器側もリンク使用可能な設定にします。設定方法は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組情報を受信してからご使用ください。
- 契約が必要なチャンネルの番組を一発録画するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードが入っていることを確認してください。
- リアリンク対応レコーダーと外付ハードディスクを併用される場合は、どちらに一発録画するか設定が必要です。 **P.127**

レコーダーがデジタルチューナー内蔵の場合、レコーダー側のデジタルチューナーを使って簡単にデジタル放送を録画することができます。

1 一発録画を押す またはメニューから「一発録画」を選ぶ

メニューからの選びかた

- ① メニューを押す
- ② ▲▼で「リンク機器操作」を選び、決定を押す
- ③ ▲▼で「一発録画」を選び、決定を押す

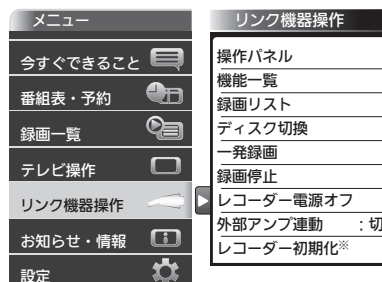
画面に「この番組の録画が開始されました」の表示が出て、録画を開始します。
レコーダーが電源「切」の状態でも自動で電源が「入」になり録画が始まります。

2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)をご使用の場合、一発録画中の番組が終了すると自動的に録画を停止します。レコーダーの電源を「入」にして録画を始めた場合、録画停止後自動的に電源「切」にします。

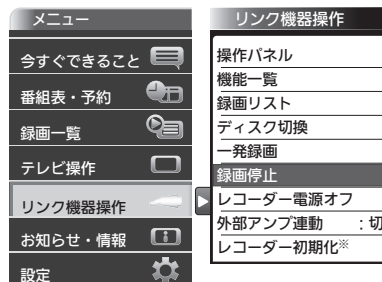
録画を停止したいときは

2 メニューを押す

3 ▲▼で「リンク機器操作」を選び、決定を押す



4 ▲▼で「録画停止」を選び、決定を押す



※2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用の場合は、「レコーダー初期化」も表示されます。

録画を停止します。

- 「操作パネル」を表示させて、停止させることもできます。くわしくは **P.105** をご覧ください。

予約について

本機では、デジタル放送の視聴予約と、リアリンク機器とつないでリンク録画予約ができます。ハードディスクを外付けすると、ハードディスクへの録画予約もできます。くわしくは **P.160** をご覧ください。

視聴予約とリンク録画予約について

視聴予約

番組開始時刻の数十秒前になると、自動で予約したチャンネルに切り換えます。

見逃したくない番組があるときに設定しておくとう便利です。

予約設定後、本体の電源ボタンで「切」(電源表示灯が無点灯:機能停止状態)にしていると、視聴予約は実行されません。本機の電源が「切」(電源表示灯が赤:待機状態)でも、自動で本機の電源が「入」になり、画面に「このまま視聴するときは、電源以外のボタンを押してください」と表示されます。この間に何も操作がないと、15分後に自動で本機の電源が切れます。何か操作をして15分以上視聴を続けると、予約番組終了後も本機の電源は切れません。

続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(電源表示灯が赤:待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

※外付ハードディスクへ録画をする場合は視聴予約はできません。

リンク録画予約

HDMI入力端子に接続したリアリンク対応レコーダーに録画予約する機能です。(本機のみでは録画できません。)

お知らせ

「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回)番組 **P.194** の録画についてリンク録画ではレコーダーでのダビング10動作となります。(ただし、デジタル放送番組によってはダビング10動作にならない場合もあります。)

重複した予約の優先順位について

※リンク録画予約の場合はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

視聴予約の場合

■ 放送時間が重なったり連続しているときは

先に始まる番組が優先されます。

また、予約は重複していなくても、前の番組が延長され、それに対応する設定 **P.156** の場合で、結果的に予約が重なってしまった場合も同じです。

■ 開始時刻が同じときは

次の優先順位で予約されます。

- ・番組指定予約が時刻指定予約より優先されます。
- ・指定日予約、毎週予約、毎日予約の順で優先されます。
- ・CS1、CS2、BS、地上デジタルの順で優先されます。
- ・CS1、CS2、BSデジタル放送の場合は、3桁番号の小さい方が優先されます。
- ・地上デジタル放送の場合は、「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネルスキップ」 **P.146** において上に表示されるチャンネルが優先されます。

リンク録画予約の前に

本機に接続したリアリンク対応レコーダーの録画予約を、本機の予約登録画面を使ってします。レコーダーのHDD(ハードディスク)に録画されます。

リアリンク対応レコーダーには、**REALINK** ロゴマークが付いています。

お願い!

● リアリンクで録画予約するためには、事前に次の接続と設定が必要です。

- ・本機とリアリンク対応レコーダーをHDMIケーブル(市販品)で接続してください。 **P.25**
- ・「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定して、リアリンク機能を使える状態にしておいてください。 **P.127**
- ・レコーダー側もリアリンク機能を使える設定にしておいてください。また、デジタル放送を受信できるようにアンテナ接続などの準備も必要です。くわしくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用の場合は、録画予約時に予約の重複、HDD残量が少ない、などをお知らせします。リアリンクを使って本機から録画予約した番組も本機の番組表、予約一覧画面で確認や取り消しができます。それ以外の機器の場合は、レコーダーの予約一覧画面で確認してください。

予約録画に関するご注意

リンク録画予約するときは、以下の点にご注意ください。

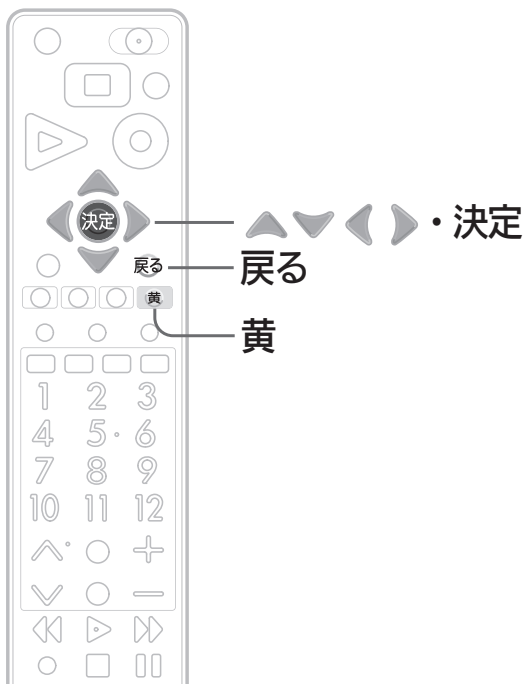
- 本機に接続したレコーダーに録画する機能です。本機のみでは録画できません。
- 予約した時刻が重なっていると正しく録画/視聴できません。レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- DVDレコーダーに録画する場合は、ディスクの状態、種類により正しく録画できないことがあります。くわしくはDVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーの電源が「切」のときでも「入」にして設定できます。
- 2007年以前発売のリアリンク対応レコーダーおよびDVR-DS120のとき、予約内容はレコーダー側で確認してください。2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)のとき、予約内容は本機の番組表、予約一覧画面で確認や取り消しができますが、レコーダー側で予約した内容は反映されませんので、レコーダー側で確認してください。
- 録画時の字幕、イベントリレー、音声切替は録画機器側の設定によります。一発録画のときも同様です。
- 契約が必要なチャンネルの番組を予約録画するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードが入っていることを確認してください。一発録画のときも同様です。

リアリンクで録画する/見る

予約について
デジタル放送を一発録画で録る

番組表やジャンル検索から予約する

番組表やジャンル検索から番組を選んで、リンク録画予約や視聴予約、外付ハードディスクへの予約録画ができます。外付ハードディスクへの録画予約については **P.167** をご覧ください。
 「録画」は、本機に接続したレコーダーやハードディスクに録画する機能です。本機のみでは録画できません。
 視聴予約の繰り返し予約(毎日や毎週の予約)は、**時刻指定予約 P.99** で行います。



リアリンク対応レコーダーで録画する場合

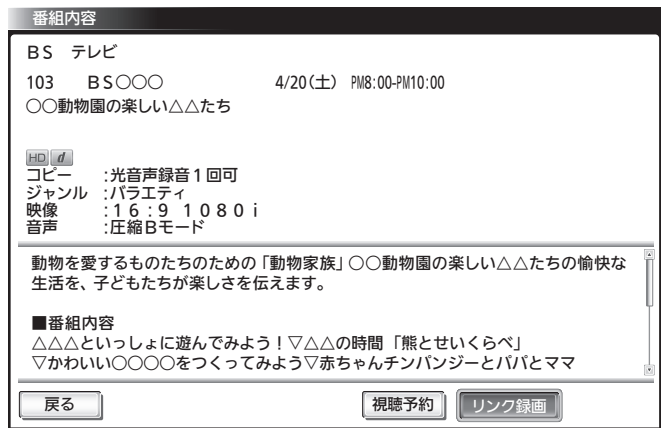
準備 番組表 **P.60** または
 ジャンル検索(検索後)画面 **P.80** を表示する

1 ▲▼◀▶ で録画したい番組を選んで、
決定 を押す



その番組の「番組内容画面」が表示されます。

2 ▶ で「リンク録画」を選び、**決定** を押す



- **黄** を押すと、次の内容を読み上げます。
 - ① 放送局名、番組名、放送日、開始・終了時刻
 - ② 詳細な番組内容
 - ①を読み上げ中に **黄** を押すと、中断して②の読み上げを始めます。
 - ②を読み上げ中に **黄** を押すと、次の項目を読み上げます。最後の項目を読み上げ中に **黄** を押すと、読み上げを終了します。

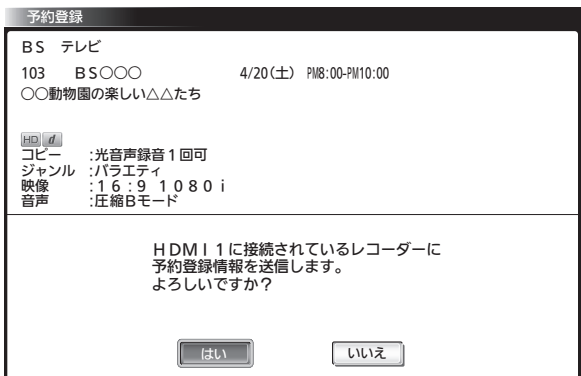
お知らせ

- リンク録画予約のあとは、念のためレコーダー側の「予約一覧」画面で予約内容を確認してください。2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)をご使用の場合、本機の「予約一覧」画面で本機から予約した内容の確認や取り消しができます。 **P.102**
- レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。
- 「今すぐできること」でも予約できます。番組表やジャンル検索画面を表示中に、「メニュー」→「今すぐできること」から「この番組を予約」を選び決定ボタンを押したあと、手順**2**から手順**4**を行ってください。
- **読み上げ機能について**
 人名、地名などで複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。

お願い!

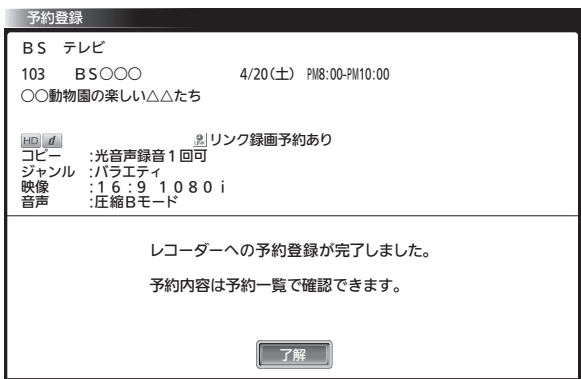
予約が重複または連続していないかの確認は、レコーダー側の「予約一覧」画面で確認してください。2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)へ本機から予約した場合は、本機の「予約一覧」画面で確認できます。レコーダー側で予約された番組との重複・連続の確認はレコーダー側の「予約一覧」画面で行ってください。

3 「はい」が選ばれている状態で、決定を押す



レコーダーに電源が入っていないときは、「レコーダーを起動中です」と画面に表示し、自動的に電源が入ります。

4 下の画面が表示されたら、決定を押す



予約登録を完了し、番組表またはジャンル検索の画面に戻ります。

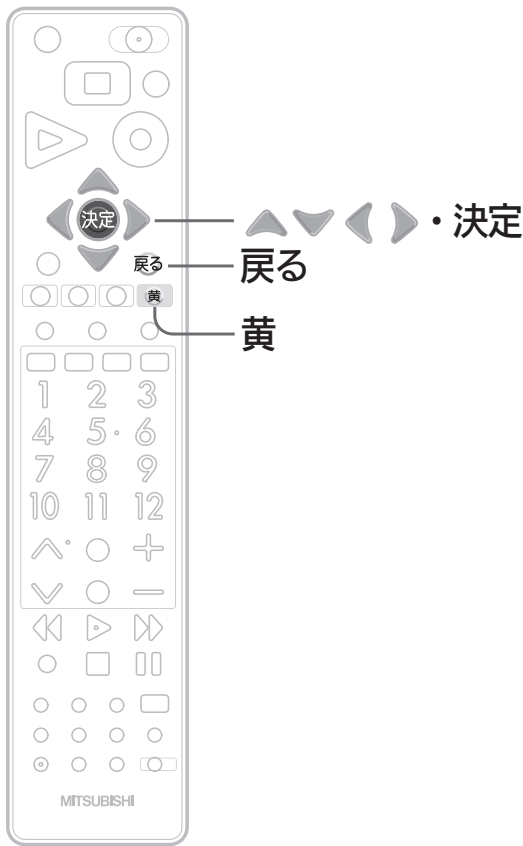
読み上げ中に押すと、読み上げが終了して、予約登録を完了し、番組表またはジャンル検索の画面に戻ります。

2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)では次のようにレコーダーの状況をお知らせします。

- 「予約が重複しています。」と表示されたときは
正しく番組を録画できません。
予約の変更などは、予約設定完了後にレコーダー側の「予約一覧」画面で行ってください。
- 「レコーダーの容量が少なくなっています。」と表示されたときは
レコーダーの「録画リスト」から視聴済み番組などを削除してください。

5 戻るを押す

番組表やジャンル検索から予約する(つづき)



予約した時刻になると

開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。リモコンで電源を「切」(電源表示灯が赤:待機状態)にしている場合、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(電源表示灯が赤:待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

お願い!

- 予約したときは、本体の電源ボタンで「切」(電源表示灯が無点灯:機能停止状態)にしないでください。
- 予約が時間的に重なっていると、正しく番組を視聴できません。 **P.95**
「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。 **P.102**

お知らせ

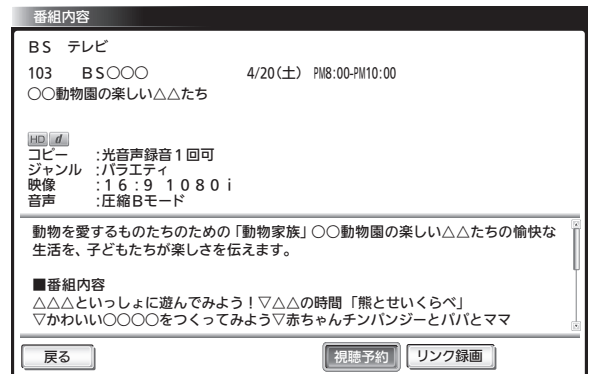
- 1週間先までの番組を選んで、視聴予約は最大15件まで(時刻指定予約 **P.99** を含む)予約できます。
- 読み上げ機能について
人名、地名などで複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。
- 外付ハードディスクへ録画する場合は視聴予約はできません。 **P.95**

視聴予約する場合

準備 番組表 **P.60** または
ジャンル検索(検索後)画面 **P.80** を表示する

1 ▲▼◀▶ で視聴したい番組を選んで、**決定** を押す

2 ◀ で「視聴予約」を選び、**決定** を押す



■ 視聴年齢制限のある番組を選んだときは

1 ~ **10** で暗証番号の入力が必要です。 **P.41**

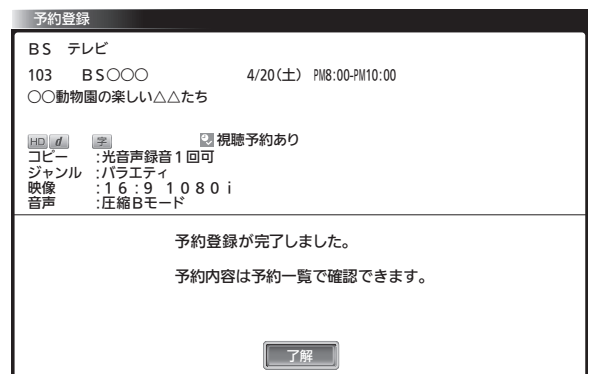
■ 予約が時間的に重なっているときは

「予約が重複しています」と表示されます。

◀ で「はい」を選び、**決定** を押して予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。

P.102

3 下の画面が表示されたら、**決定** を押す



予約登録を完了し、番組表またはジャンル検索の画面に戻ります。

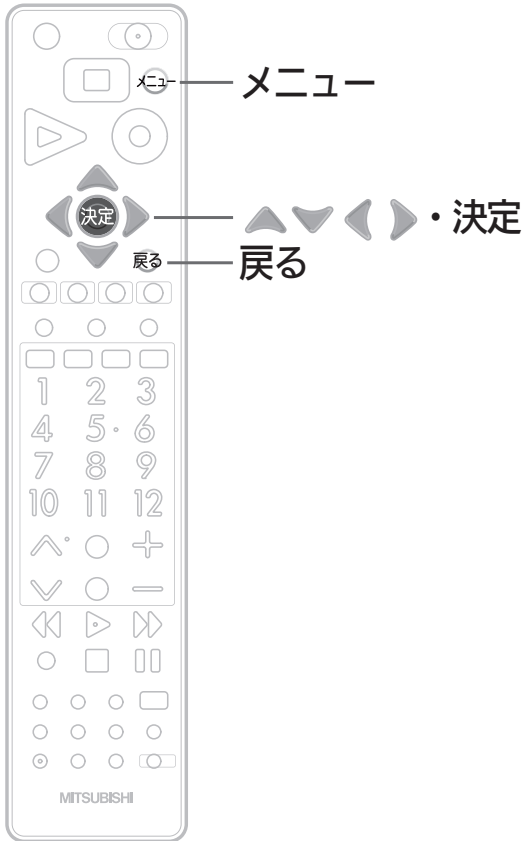
読み上げ中に押すと、読み上げが終了して、予約登録を完了し、番組表またはジャンル検索の画面に戻ります。

4 戻る を押す

時刻を指定して予約する (時刻指定予約)

時刻とチャンネルを指定して、デジタル放送の番組をリンク録画予約や視聴予約、外付ハードディスクへの予約録画ができます。外付ハードディスクへの録画予約については **P.169** をご覧ください。

「録画」は、本機に接続したレコーダーやハードディスクに録画する機能です。本機のみでは録画できません。

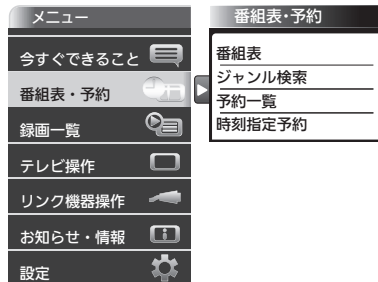


リアリンク対応レコーダーで録画する場合

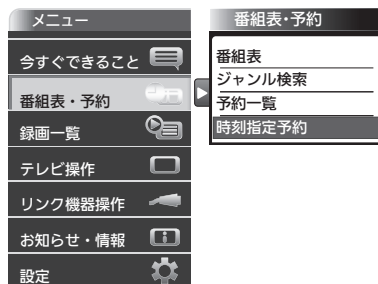
1 デジタル放送を見ているときに

1 メニュー を押す

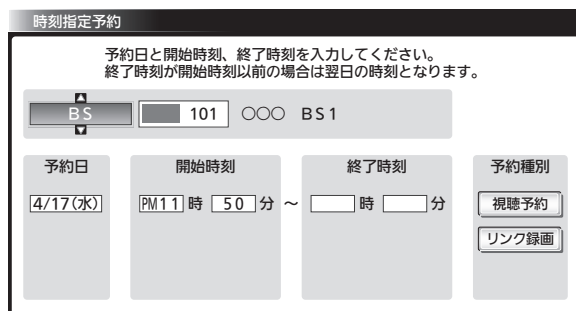
2 ▲▼で「番組表・予約」を選び、決定を押す



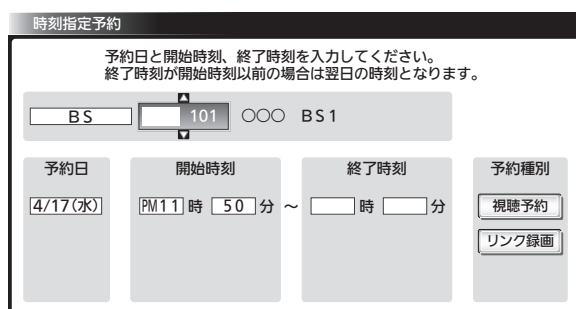
3 ▲▼で「時刻指定予約」を選び、決定を押す



4 もう一度決定を押し、▲▼で放送波を選ぶ



5 ▶でカーソルを動かし、▲▼でチャンネルを選ぶ



お知らせ

- 時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
 - 予約登録完了後、レコーダー側の「予約一覧」画面で正しく予約できているかどうかを確認してください。予約の変更や取り消しもレコーダー側の「予約一覧」画面で行ってください。
- 2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)をご使用の場合、本機の「予約一覧」画面で本機から予約した内容の確認や取り消しができます。 **P.102**

リアリンクで録画する番組表やジャンル検索から予約する

時刻を指定して予約する(つづき)

- 6 ▶ でカーソルを動かし、
▲▼で予約日を選ぶ

- リンク録画で定期的な録画予約をするときは一旦日付指定のまま予約を完了し、レコーダー側の予約一覧から行ってください。

- 7 ▶ でカーソルを動かし、▲▼で
「開始時刻」と「終了時刻」を選ぶ

- 8 ▶ でカーソルを「予約種別」へ動かし、
▲▼で「リンク録画」を選び、
決定を押す

- 9 「はい」が選ばれている状態で、決定を押す

レコーダーに電源が入っていないときは、「レコーダーを起動中です」と画面に表示し、自動的に電源が入ります。

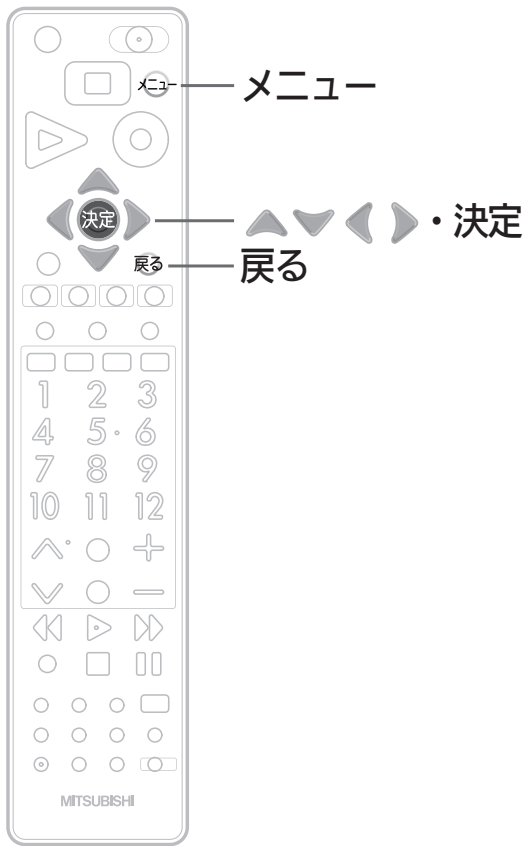
- 10 下の画面が表示されたら、決定を押す

予約登録を完了し、手順4の画面に戻ります。読み上げ中に押すと、読み上げが終了して、予約登録を完了し、手順4の画面に戻ります。

2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー(DVR-DS120を除く)では次のようにレコーダーの状況をお知らせします。

- 「予約が重複しています。」と表示されたときは
正しく番組を録画できません。
予約の変更などは、予約設定完了後にレコーダー側の「予約一覧」画面で行ってください。
- 「レコーダーの容量が少なくなっています。」と表示されたときは
レコーダーの「録画リスト」から視聴済み番組などを削除してください。

- 11 戻るを押す



予約した時刻になると

開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。リモコンで電源を「切」(電源表示灯が赤:待機状態)にしている場合、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(電源表示灯が赤:待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

お願い!

- 予約したときは、本体の電源ボタンで「切」(電源表示灯が無点灯:機能停止状態)にしないでください。
- 予約が時間的に重なったり連続していると、正しく番組を視聴できません。 **P.95**
「予約が重複または連続しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。 **P.102**

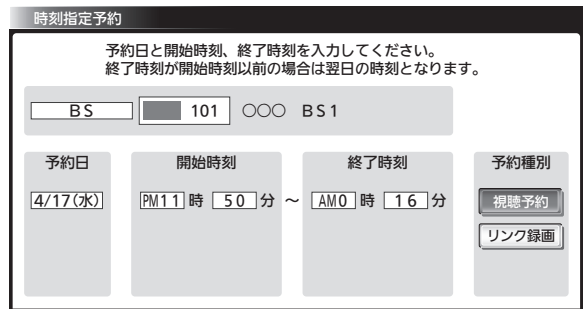
お知らせ

- 時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
- 31日先までの番組を選んで、視聴予約は最大15件まで(番組表やジャンル検索からの予約 **P.98** を含む)予約できます。
- 予約日を選び、▼をくり返し押しすると曜日指定が表示されるので、毎週同じ時間・同じチャンネルの番組を定期的に視聴するような予約もできます。
- 外付ハードディスクへ録画する場合は視聴予約はできません。 **P.95**

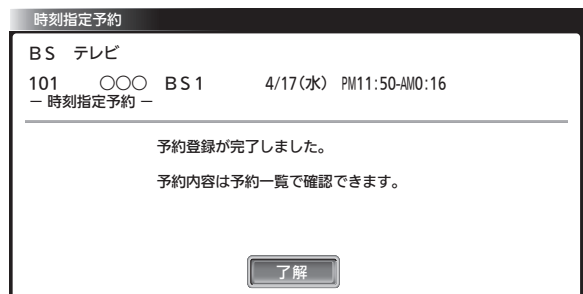
視聴予約する場合

1 99ページの手順**1**~**7**を行う

2 ▶でカーソルを「予約種別」へ動かし、▲▼で「視聴予約」を選び、決定を押す



3 下の画面が表示されたら、決定を押す



予約登録を完了し、99ページの手順**4**の画面に戻ります。読み上げ中に押すと、読み上げが終了して、99ページの手順**4**の画面に戻ります。

4 戻るを押す

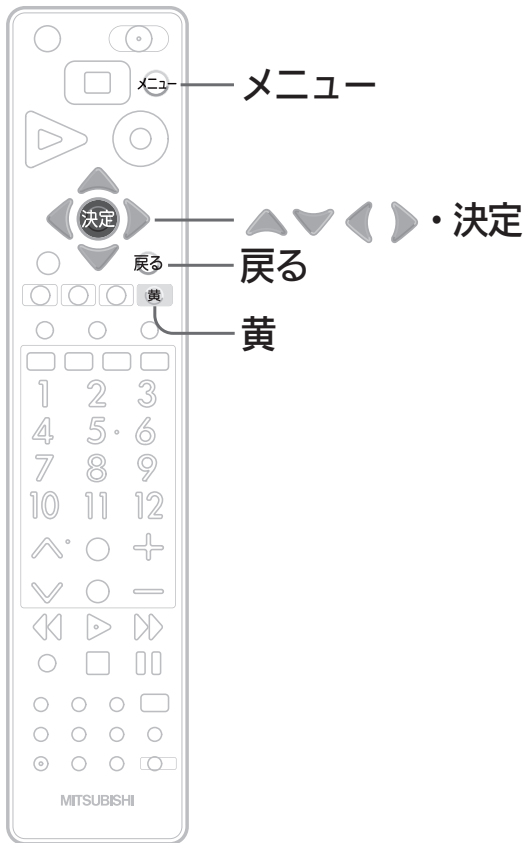
予約を確認する/取り消す

次の予約登録内容は、予約一覧画面で確認できます。

- 視聴予約
- リンク録画予約※
- 外付ハードディスク

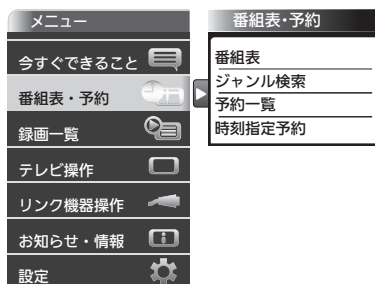
予約が重複したり連続しているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり削除したりできます。

※本機の予約一覧画面で確認できるリンク録画予約は、2008年以降発売のリアリンク対応レコーダー（DVR-DS120を除く）へ本機から録画予約した場合のみです。

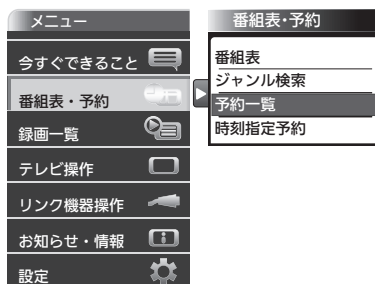


1 **メニュー** を押す

2 **▲▼** で「番組表・予約」を選び、**決定** を押す



3 **▲▼** で「予約一覧」を選び、**決定** を押す



4 **▲▼** で予約状況を確認する

予約一覧		残量 40時間32分	登録数 11件
BS	101 BSニュース△△△△	録画	4/18(木) PM 2:30~PM 3:00
BS	101 ビックアップ△△「会議内容で社員自身が…」	録画	PM 3:00~PM 4:00
BS	104 映画「テツオの庭」	録画	PM 3:30~PM 6:30
BS	101 ○○○サスペンス劇場「○○○の□□シリ…」	録画	PM 9:30~PM11:30
BS	102 アニメ「□□□□□□□□」	録画	PM11:30~PM11:40
BS	103 △△△△カップ20×× 日本V S ○○○○…	録画	4/19(金) PM 8:30~PM 9:30
BS	101 □□□ドラマ どっこいしょ (133)	録画	PM 9:30~PM10:30
CS1	002 プロ野球「○○○○○X□□□□□□」…	録画	PM 9:35~PM11:30

予約の種類によってアイコン **P.194** が表示されます。

視聴予約が時間的に重なっていると、**重複**が表示されます。リンク録画予約では表示されません。

- **黄** を押すと、次の内容を読み上げます。

放送局名、番組名(番組指定予約時のみ)、放送日、開始・終了時刻

・読み上げ中に **黄** を押すと、読み上げを終了します。

お知らせ

- 2007年以前に発売されたリアリンク対応機器およびDVR-DS120への「リンク録画」の場合、予約の確認や取り消しはレコーダー側で行ってください。本機の「予約一覧」ではできません。
- 番組表やジャンル検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画/視聴できません。 **P.95**
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く(約1分)終了し、正しく録画されません。この場合は「予約一覧」画面に **重複** と表示されませんので、ご注意ください。
- **読み上げ機能について**
人名、地名等で複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。

次ページへつづく

重複している視聴予約を取り消す場合

確認だけして通常画面に戻る場合は、手順5~7は必要ありません。手順8に進んでください。

5 ▲▼で取り消す番組を選び、**決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分	登録数	11件
BS 101 BSニュース△△△△	録	4/18(木) PM 2:30~PM 3:00		
BS 101 ビックアップ△△「会議内容で社員自身が...	録	PM 3:00~PM 4:00		
BS 104 映画「手ツオの腹」	録	PM 3:30~PM 6:30		
BS 101 ○○サスペンス劇場「○○の□□シリ...	録	PM 9:30~PM11:30		
BS 102 アニメ「□□□□□□」※	録	PM11:30~PM11:40		
BS 103 △△△△カップ20XX 日本V5○○○○...	録	4/19(金) PM 8:30~PM 9:30		
BS 101 □□ドラマ どっこいしょ(133)	録	PM 9:30~PM10:30		
CS 1 002 プロ野球「○○○○○×□□□□□」...	録	PM 9:35~PM11:30		

6 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分
BS 101 ○○ BS1 □□ドラマ どっこいしょ(133)		4/19(金) PM 9:30~PM10:30

予約を取り消しますか?

7 **決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分
BS 101 ○○ BS1 □□ドラマ どっこいしょ(133)		4/19(金) PM 9:30~PM10:30

予約を取り消しました。

8 戻るを押す

リンク録画予約を取り消す場合

確認だけして通常画面に戻る場合は、手順5~7は必要ありません。手順8に進んでください。

5 ▲▼で取り消す番組を選び、**決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分	登録数	11件
BS 101 BSニュース△△△△	録	4/18(木) PM 2:30~PM 3:00		
BS 101 ビックアップ△△「会議内容で社員自身が...	録	PM 3:00~PM 4:00		
BS 104 映画「手ツオの腹」	録	PM 3:30~PM 6:30		
BS 101 ○○サスペンス劇場「○○の□□シリ...	録	PM 9:30~PM11:30		
BS 102 アニメ「□□□□□□」※	録	PM11:30~PM11:40		
BS 103 △△△△カップ20XX 日本V5○○○○...	録	4/19(金) PM 8:30~PM 9:30		
BS 101 □□ドラマ どっこいしょ(133)	録	PM 9:30~PM10:30		
CS 1 002 プロ野球「○○○○○×□□□□□」...	録	PM 9:35~PM11:30		

6 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分
BS 103 BS○○ △△△△カップ20XX 日本V5○○○○		4/19(金) PM 8:30~PM 9:30

HDMI 1 に接続されているレコーダーに予約取消し情報を送信します。よろしいですか?

7 **決定**を押す

予約一覧	残量	40時間32分
BS 103 BS○○ △△△△カップ20XX 日本V5○○○○		4/19(金) PM 8:30~PM 9:30

レコーダーの予約を取り消しました。

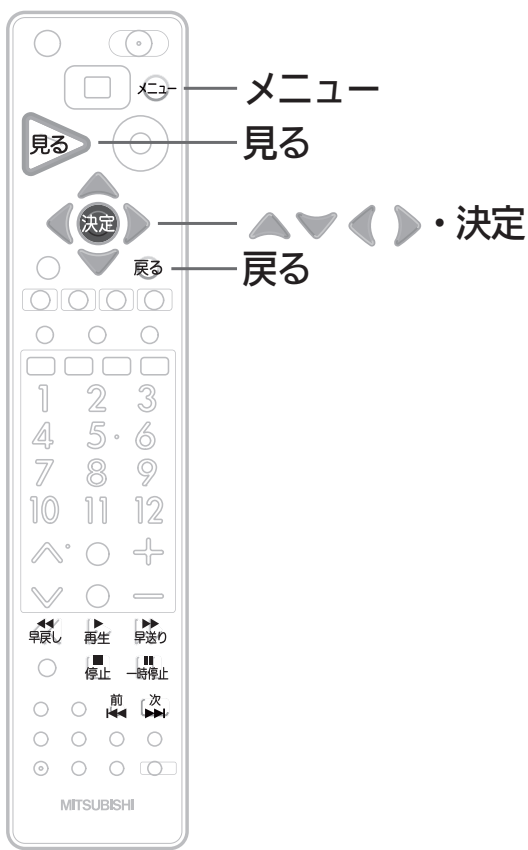
8 戻るを押す

お知らせ

「今すぐできること」からも予約を取り消すことができます。
「予約一覧」の取り消す番組を選び、「メニュー」→「今すぐできること」→「予約取消し」で手順6から操作してください。

リアリンク対応機器の録画リストを表示する [リアリンク (REALINK)]

リアリンク対応機器の録画リストを、本機のリモコンで表示することができます。

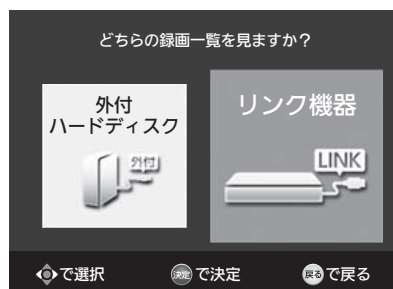


1 見る を押す

● 録画リスト (リンク機器) 画面が表示されます。

■ 外付ハードディスク/リンク機器の
選択画面が表示されるときは

▶ で「リンク機器」を選び 決定 を押す



- リアリンク対応機器が自動的に電源「入」になります。
- リアリンク対応機器が接続されているHDMI(1~2)入力に切り換わります。
- リアリンク対応機器の「録画リスト画面」が表示されます。
2007年以前に発売されたリアリンク対応機器およびDVR-DS120では、機器で選択されているディスク(HDDやDVDなど)の録画リストを表示します。2008年以降に発売されたリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)では、HDDの録画リストを表示します。

録画リスト画面例



お知らせ

- 「メニュー」→「リンク機器操作」→「録画リスト」でも表示させることができます。
- 本機のリモコンで「録画リスト画面」を表示するときは、必ず「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。 **P.127**
- 本機のリモコンで「録画リスト画面」を表示するときは、接続機器側もリンク使用可能な設定にします。
- くわしくはリアリンク対応の当社製品の取扱説明書をご覧ください。

お願い!

リアリンク機能を中止するために「リンク制御」 **P.127** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

2 ▲ ▼、決定 または 再生 で操作する

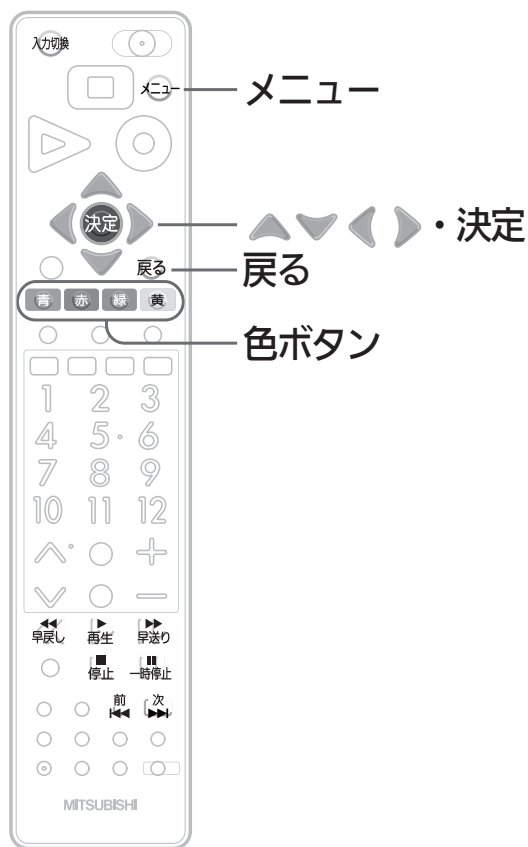
■ 確認だけして通常画面に戻る場合は
戻る を押す

「録画リスト画面」が消えます。入力はHDMI1~2のままです。

- 本機のリモコンの ▲ ▼ ▲ ▼、決定、見る、戻る、早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、前、次 でリアリンク対応機器を操作できます。

操作パネルでリアリンク対応機器を操作する [リアリンク(REALINK)]

有効なHDMI機器を接続すると、本機のリモコンで再生などの操作ができます。

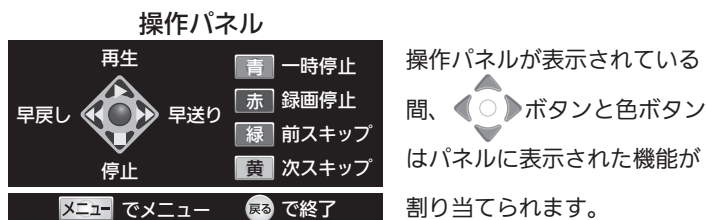


例：HDMI1に接続したリアリンク対応機器の再生を行う

- 1 リモコンの **入切換** を押して、「HDMI1」に切り換える
- 2 **メニュー** を押す
- 3 **▲▼** で「リンク機器操作」を選び、**決定** を押す
- 4 「操作パネル」が選ばれている状態で **決定** を押す

画面左下に「操作パネル」が表示されます。

- リアリンク対応機器が電源「切」の状態でも、数秒後に自動的に電源「入」になり「操作パネル」を表示します。



- 5 **▲** を押す

再生が始まります。

操作	操作パネル表示中	操作パネル非表示中
再生	▲	▶再生
停止	▼	■停止
早送り	▶	▶▶早送り
早戻し	◀	◀◀早戻し
操作パネル終了	戻る	—
一時停止	青	一時停止
録画停止*	赤	—
戻し方向へスキップ	緑	◀◀前
送り方向へスキップ	黄	▶▶次
本機のメニュー画面を表示	メニュー	メニュー

※一発録画を停止します。予約録画の停止はできません。

- 6 操作が終わったら、**戻る** を押す

「操作パネル」が消えます。

お知らせ

- 「操作パネル」を使用するときは、必ず「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。 **P.127**
- 「操作パネル」は、「メニュー」→「リンク機器操作」→「操作パネル」でも表示させることができます。メニューについては、**P.72** をご覧ください。
- 「操作パネル」は、操作せずに約30秒経つと自動的に消えます。
- HDMI機器で選択されているディスク(HDDやDVDなど)が再生されます。
- 他社製の機器をHDMI接続した場合、リアリンク対応機器と認識し、「操作パネル」が表示され、接続機器側の操作の一部ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- 「操作パネル」を使用するときは、接続機器側もリンク使用可能な設定にします。
- 「操作パネル」を表示していないときでも **▲▼◀▶** ボタン、決定ボタン、戻るボタンでリアリンク対応機器のメニューや録画リストなどの操作ができます。
- くわしくはリアリンク対応の当社製品の取扱説明書をご覧ください。

お願い!

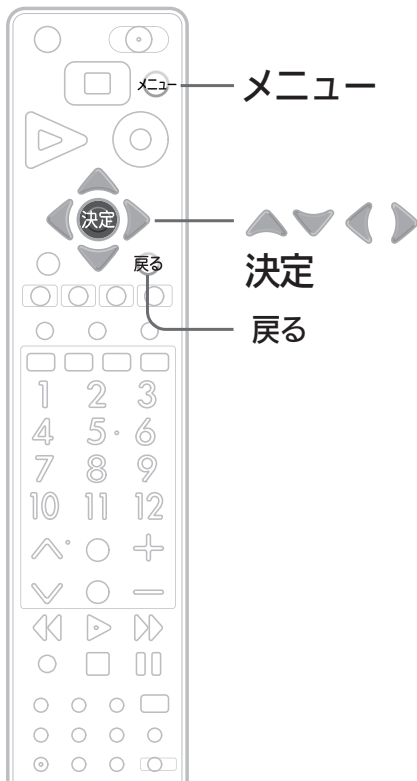
リアリンク機能を中止するために「リンク制御」**P.127** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

リアリンクで録画予約する/見る

操作パネルでリアリンク対応機器の録画リストを表示する

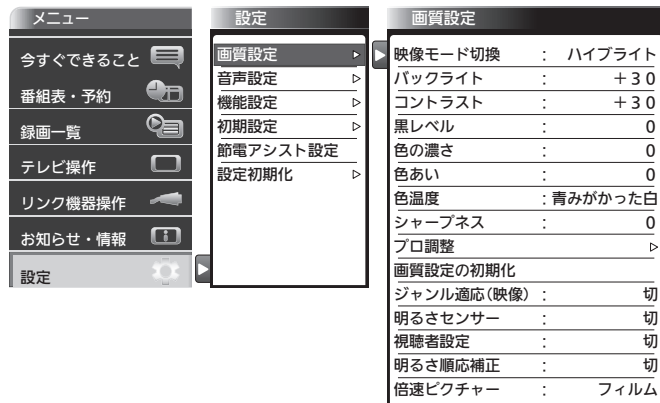
画質設定をする

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。



「画質設定」画面の表示のしかた

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で「画質設定」を選び、**決定** を押す



お知らせ

「今すぐできること」でも設定できます。
「メニュー」→「今すぐできること」→「画質設定」で「画質設定」画面を表示できます。

P.72

「画質設定」画面について

画質設定	
映像モード切換	: ハイブライト
バックライト	: +30
コントラスト	: +30
黒レベル	: 0
色の濃さ	: 0
色あい	: 0
色温度	: 青みがかった白
シャープネス	: 0
プロ調整	:
画質設定の初期化	
ジャンル適応(映像)	: 切
明るさセンサー	: 切
視聴者設定	: 切
明るさ順応補正	: 切
倍速ピクチャー	: フィルム

映像モード切換 P.107

映像に合った画質設定を、いくつかあるモードの中から選ぶことができます。

バックライト P.108

バックライトの明るさを調整します。

コントラスト P.108

映像コントラストを調整します。

黒レベル P.108

黒レベルを調整します。

色の濃さ P.108

色の濃さを調整します。

色あい P.108

色あいを調整します。

色温度 P.108

白の青み赤みを切り換えます。

シャープネス P.108

シャープネスを調整します。

プロ調整 P.109

画質設定をさらに細かく調整できます。

画質設定の初期化 P.110

現在選ばれている映像モードの画質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ジャンル適応(映像) P.110

コンテンツに応じて、画質を自動的に切り換えます。

明るさセンサー P.111

お部屋の明るさに応じて、バックライトの明るさを自動で調整します。

視聴者設定 P.111

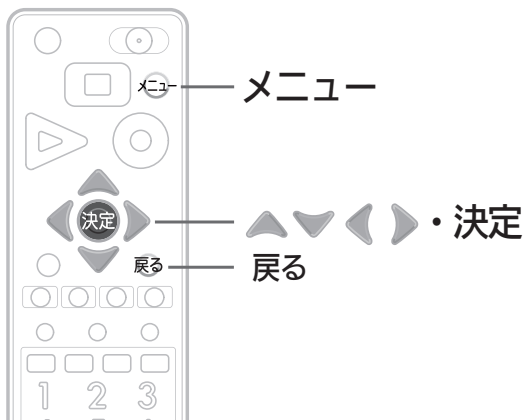
視聴者の画面輝度に対する視覚特性に応じて、バックライトの明るさと色温度を自動で調整します。

明るさ順応補正 P.112

視聴時間に対する目の順応特性に応じてバックライトの明るさを自動で調整します。

倍速ピクチャー P.112

動画の残像感を軽減します。



お知らせ

映像モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

映像モードの種類

- **ハイブライト**
色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
標準的な画面です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
より自然で、落ちついた色合い、画質に補正された画質になります。
- **シネマ**
お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適した画質です。
- **PC**
パソコンの映像を表示するのに適したモードです。
※HDMI1～2入力時のみ選択できます。
- **マイベスト**
各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに、お好みに合わせて細かい調整ができます。 **P.108～109**
- **PCデータ**
通常のPC画面を見るモニターモードです。
- **PC映像HD**
PCでHDV(1280×720以上)相当の動画(配信ビットレート5Mbps相当以上)を全画面で見るときに最適なモードです。テレビ映像並みのくっきり鮮やかな画質でご覧いただけます。
- **PC映像SD**
PCでSD(768×480)相当の動画(配信ビットレート1Mbps相当)を全画面で見るときに最適なモードです。
- **PC映像LD**
PCで320×240サイズなどSDよりさらに粗い画像(500Kbpsなど)を全画面で見るときに最適なモードです。

映像モードを切り換える

いくつかある映像モードから選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。

P.108～109

1 「画質設定」画面を表示する **P.106**

2 ▲▼で「映像モード切換」を選び、決定を押す

例：地上デジタル放送選局時

画質設定	
映像モード切換	ハイブライト
バックライト	— + 30
コントラスト	— + 30
黒レベル	— 0
色の濃さ	— 0
色あい	— 0
色温度	青みがかった白
シャープネス	— 0
プロ調整	▷
画質設定の初期化	
ジャンル適応(映像)	切
明るさセンサー	切
視聴者設定	切
明るさ順応補正	切
倍速ピクチャー	フィルム

<input checked="" type="checkbox"/> ハイブライト
スタンダード
ナチュラル
シネマ
マイベスト(地デジ)*

※HDMI1～2入力の場合は、「マイベスト」の上に「PC」が表示されます。

3 ▲▼で設定を選び、決定を押す

PC入力以外のとき

映像モード切換	
映像モード切換:	ハイブライト
	<input checked="" type="checkbox"/> ハイブライト
	スタンダード
	ナチュラル
	シネマ
	マイベスト(地デジ)

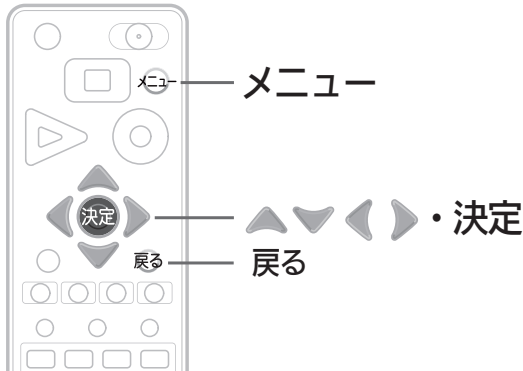
PC入力するとき

映像モード切換	
映像モード切換:	PCデータ
	<input checked="" type="checkbox"/> PCデータ
	PC映像HD
	PC映像SD
	PC映像LD

4 メニューを押す

画質設定をする
テレビをお好みの設定にする

画質設定をする(つづき)



お知らせ

PC入力の場合は、シャープネスの調整はできません。

画質調整の調整項目

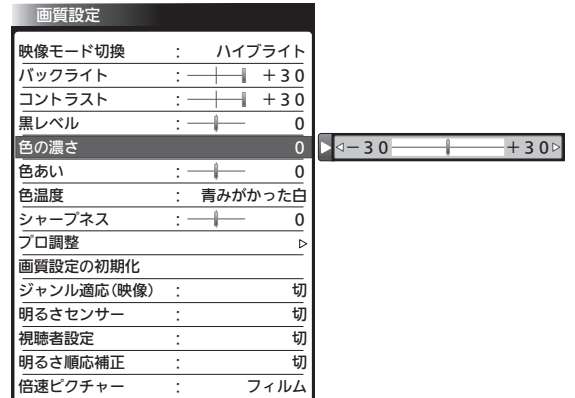
バックライト	バックライト: +30	◀ -30 +30 ▶	暗く ← → 明るく
コントラスト	コントラスト: +30	◀ -30 +30 ▶	暗く ← → 明るく しっとりする ← → メリハリがでる
黒レベル	黒レベル: 0	◀ -30 +30 ▶	← → 黒が暗くなる 黒が明るくなる →
色の濃さ	色の濃さ: 0	◀ -30 +30 ▶	← → 色が淡く 色が濃く →
色あい	色あい: 0	◀ -30 +30 ▶	← → 肌色が紫がかる 肌色が緑がかる →
色温度	色温度: 青みがかった白	<input checked="" type="checkbox"/> 青みがかった白 <input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 赤みがかった白	
シャープネス	シャープネス: 0	◀ -30 +30 ▶	← → やわらかく くっきり →

画質調整をする

映像モード **P.107** は、それぞれお好みの画質に調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する **P.106**

2 ▲▼で調整項目を選び、**決定**を押す



3 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネスの場合

◀ ▶で調整し、**決定**を押す



色温度の場合

▲▼で設定を選び、**決定**を押す



4 **メニュー**を押す

より美しい映像で見るために

- お部屋の明るさに応じて
「バックライト」または「明るさセンサー」で画面の明るさを調整してください。
- テレビに近づいて見るときは
「バックライト」や「明るさセンサー」で画面をやや暗めに、「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。
- 暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは
「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。
- ノイズの多いビデオなどを再生するときは
「色の濃さ」で色を淡く調整してください。

さらに細かく画質調整をする(プロ調整)

「プロ調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.106

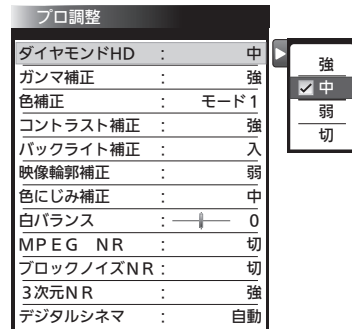
2 ▲▼で「プロ調整」を選び、決定を押す

3 ▲▼で調整項目を選び、決定を押す

お知らせ

- PC入力の際は調整できません。
 - 「プロ調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「画質調整」P.108を変更して確認しながら設定していくと、比較的早く好みの最良画質にすることができます。
- 「プロ調整」項目を変更した場合は、通常の「画質調整」の変更で、更に画質が向上する場合があります。

4 ▲▼で設定を選び、決定を押す



5 メニューを押す

プロ調整の調整項目

ダイヤモンドHD	<input type="radio"/> 強 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	解像度感をアップします。
ガンマ補正	<input checked="" type="radio"/> 強 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。 強 …… 暗部のコントラスト感が強調されます。 中 …… 標準の設定状態です。 弱 …… 明部のコントラスト感が強調されます。
色補正	<input checked="" type="radio"/> モード1 <input type="radio"/> モード2 <input type="radio"/> 切	自然に見えるように色あいを補正します。 モード1 …… モード2よりも自然さと落ちつきを重視した設定です。 モード2 …… 原色を鮮やかに補正します。自然の風景などを見る場合におすすめします。
コントラスト補正	<input type="radio"/> 強 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	画面全体が暗い映像において、コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。
バックライト補正	<input checked="" type="radio"/> 入 <input type="radio"/> 切	「入」で、画面全般が暗い映像において、バックライトの輝度をおさえて、黒の締まりを改善します。
映像輪郭補正	<input type="radio"/> 強 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	急峻で切れ味のよい輪郭にします。

色にじみ補正	<input type="radio"/> 強 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	色境界部分の色にじみを改善します。
白バランス	<input type="text" value="-3"/> <input type="text" value="3"/>	お好みの白色に補正します。 赤みがかかる ← → 緑がかかる
MPEG NR	<input type="radio"/> 強 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	デジタル放送のブロック状のノイズを軽減します。
ブロックノイズNR	<input type="radio"/> 強 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	デジタル映像のブロックノイズを少なくします。
3次元NR	<input type="radio"/> 強 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 弱 <input type="radio"/> 切	細微なノイズを減らします。
デジタルシネマ	<input type="radio"/> 自動 <input checked="" type="radio"/> 切	「自動」で、映画番組や映画ソフトであることを自動的に検出し、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。

画質設定をする
テレビをお好みの設定にする

画質設定をする(つづき)

画質設定を初期化する

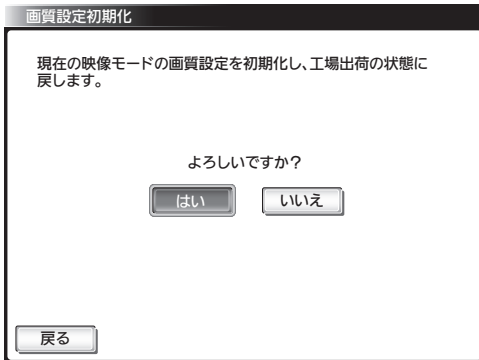
選んでいる映像モードの画質調整 **P.108** とプロ調整 **P.109** に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。映像モードごとに初期化できます。

1 「画質設定」画面を表示する **P.106**

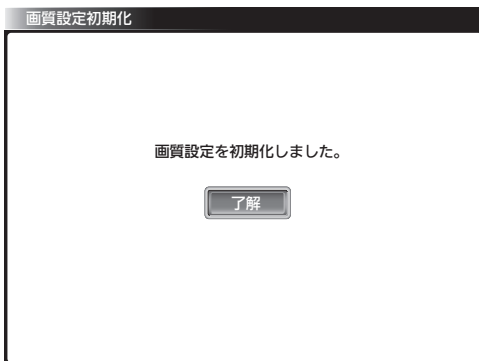
2 ▲▼で「画質設定の初期化」を選び、**決定**を押す

画質設定	
映像モード切換	: ハイブライト
バックライト	: — — +30
コントラスト	: — — +30
黒レベル	: — — 0
色の濃さ	: — — 0
色あい	: — — 0
色温度	: 青みがかった白
シャープネス	: — — 0
プロ調整	▷
画質設定の初期化	
ジャンル適応(映像)	: 切
明るさセンサー	: 切
視聴者設定	: 切
明るさ順応補正	: 切
倍速ビクチャー	: フィルム

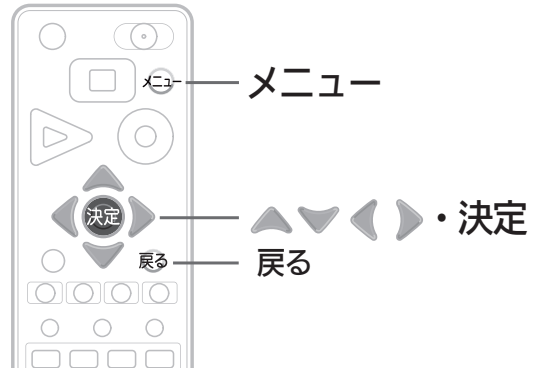
3 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す



4 下の画面が表示されたら、**決定**を押す



5 メニューを押す



ジャンルに合った画質にする(ジャンル適応)

視聴中の番組のジャンルに合わせて、画質を自動的に切り換えます。

1 「画質設定」画面を表示する **P.106**

2 ▲▼で「ジャンル適応(映像)」を選び、**決定**を押す

画質設定	
映像モード切換	: ハイブライト
バックライト	: — — +30
コントラスト	: — — +30
黒レベル	: — — 0
色の濃さ	: — — 0
色あい	: — — 0
色温度	: 青みがかった白
シャープネス	: — — 0
プロ調整	▷
画質設定の初期化	
ジャンル適応(映像)	: 切
明るさセンサー	: 切
視聴者設定	: 切
明るさ順応補正	: 切
倍速ビクチャー	: フィルム

3 ▲▼で「入」を選び、**決定**を押す

ジャンル適応(映像)	
ジャンル適応(映像)	: 入
	: <input checked="" type="checkbox"/> 入
	: 切

4 メニューを押す

お知らせ

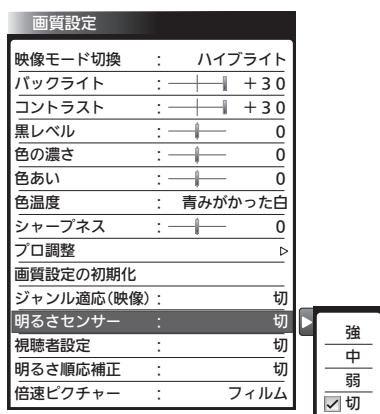
- 番組やソフトの内容に合わせて自動で画質を選びます。
- ジャンル適応(音声)については、**P.115**をご覧ください。

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)

本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、お部屋が暗いとき画面がまぶしくないように、自動で画面の明るさをおさえます。消費電力も節約します。

1 「画質設定」画面を表示する P.106

2 ▲▼で「明るさセンサー」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「強」「中」「弱」… 本機までの距離でお選びください。近いときは「強」がおすすめです。「強」では画面の明るさを強くおさえるので、画面を暗く感じる場合があります。

「切」…………… 明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

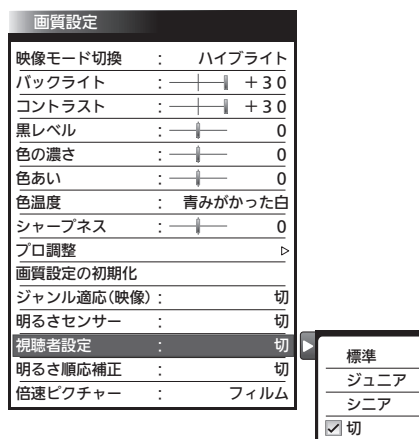
4 Xメニューを押す

視聴者に合わせた画面にする(視聴者設定)

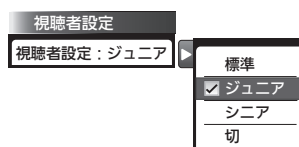
視聴される方に合わせて、目にやさしい画面の明るさを選ぶことができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.106

2 ▲▼で「視聴者設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「標準」…………… まぶしさをおさえつつクッキリした画面にします。

「ジュニア」……… テレビを長時間ご覧になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。

「シニア」…………… 画面全体が明るいときのまぶしさをおさえます。

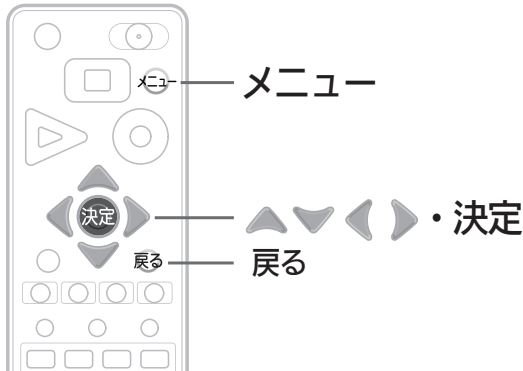
「切」…………… 視聴者設定は、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

4 Xメニューを押す

画質設定をする

テレビをお好みの設定にする

画質設定をする(つづき)

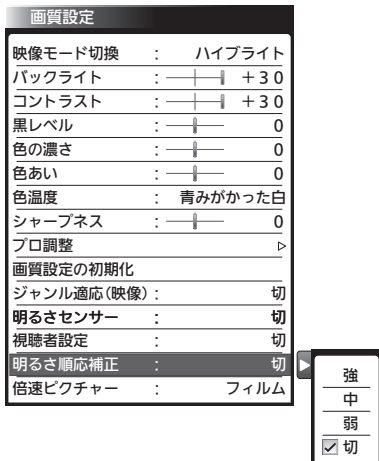


明るさ順応補正の設定をする

視聴時間に応じて目の順応に適した輝度に徐々に下げます。

1 「画質設定」画面を表示する P.106

2 ▲▼で「明るさ順応補正」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選ぶ



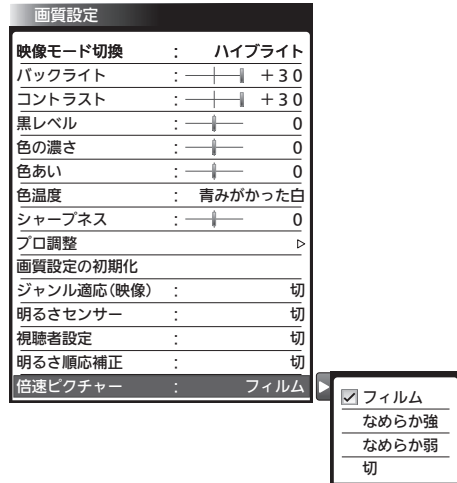
4 メニューを押す

倍速ピクチャーの設定をする

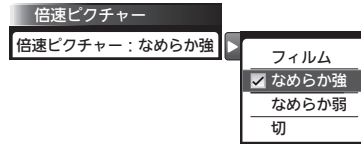
動きの早い画像の残像感を軽減します。

1 「画質設定」画面を表示する P.106

2 ▲▼で「倍速ピクチャー」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「フィルム」……………フィルム映像の動きを忠実に再現します。
 「なめらか強」「なめらか弱」… フィルム映像の動きをスムーズに表示
 します。

「切」……………倍速ピクチャーは、はたらきません。

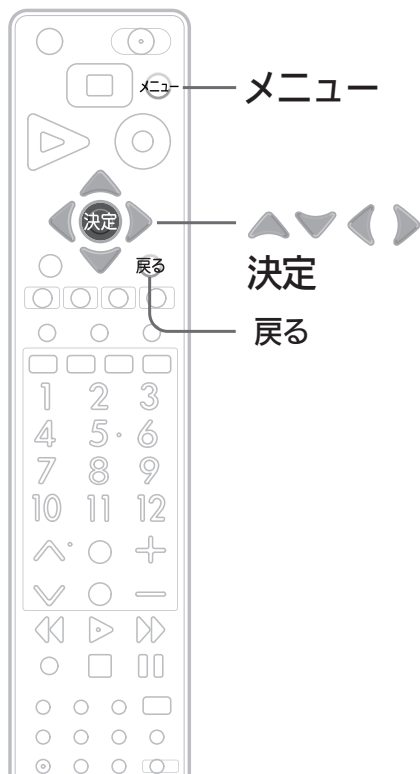
4 メニューを押す

お知らせ

- 入力ごとに設定できます。
- PC入力的时候は設定できません。
- 倍速ピクチャーは映像により効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「切」にしてください。

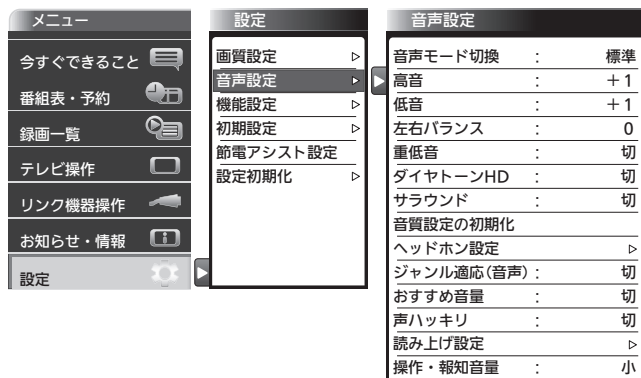
音声設定をする

音声の設定をお好みにしたいときに調整できます。



「音声設定」画面の表示のしかた

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で「音声設定」を選び、**決定** を押す



お知らせ

「今すぐできること」でも設定できます。
「メニュー」→「今すぐできること」→「音声設定」で「音声設定」画面を表示できます。

P.72

音声設定をする
画質設定をする

「音声設定」画面について

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	+1
低音	+1
左右バランス	0
重低音	切
ダイヤトーンHD	切
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▷
ジャンル適応(音声)	切
おすすめ音量	切
声ハッキリ	切
読み上げ設定	▷
操作・報知音量	小

音声モード切換 P.114

映像に合った音質設定を、3つのモードの中から選ぶことができます。

高音 P.114

スピーカーの高音を調整します。

低音 P.114

スピーカーの低音を調整します。

左右バランス P.114

スピーカーの左右バランスを調整します。

重低音 P.114

スピーカーの重低音レベルを調整します。

ダイヤトーンHD P.114

スピーカーの音を臨場感のある音にします。

サラウンド P.75

音の広がり感を切り換えます。

音質設定の初期化 P.115

現在選ばれている音声モードの音質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ヘッドホン設定 P.116

ヘッドホンの音質を調整します。
また、ヘッドホン使用中にスピーカーからも音を出すように設定することができます。

ジャンル適応(音声) P.115

デジタル放送のジャンル情報に応じて、音質を自動的に切り換えます。

おすすめ音量 P.117

番組内容やシーン、入力内容で異なる音量を、自動で補正します。

声ハッキリ P.117

お年寄りに聞きやすい音にします。

読み上げ設定 P.118

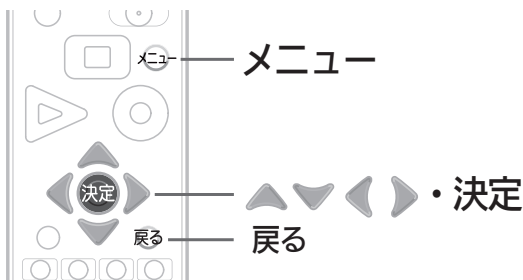
番組表などの読み上げに関する設定ができます。

操作・報知音量 P.119

操作音などの報知音の音量を切り換えます。

テレビをお好み
の設定にする

音声設定をする(つづき)



音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を3つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。調整方法については、右側の「音質調整をする」をご覧ください。

1 「音声設定」画面を表示する P.113

2 ▲▼で「音声モード切換」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



4 メニューを押す

お知らせ

音声モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

音声モードの種類

- **標準**
標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **音楽**
低音、高音を強調した設定になっています。音楽番組や音楽ソフトを聞くときにおすすめします。
- **映画**
聞きとりやすい音質になっています。映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。

音質調整をする

音声モードは、それぞれお好みの音質に調整することができます。

1 「音声設定」画面を表示する P.113

2 ▲▼で調整項目を選び、決定を押す

3 高音、低音、左右バランスの場合

◀▶で調整し、決定を押す



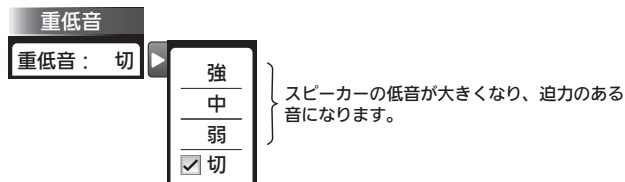
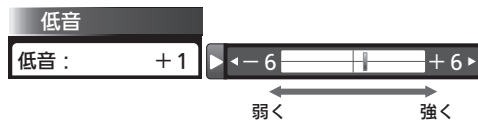
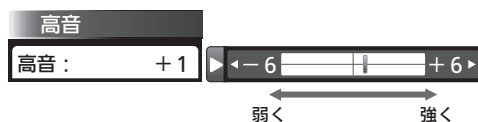
重低音の場合

▲▼で設定を選び、決定を押す



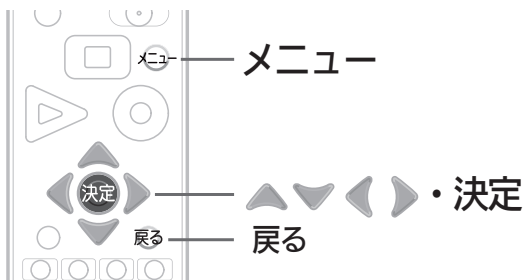
4 メニューを押す

音質調整の調整項目



DIATONE BASS テレビのスピーカーでは出しきれない低音を合成し、豊かな重低音を再現します。





音質設定を初期化する

選んでいる音声モードの音質調整 [P.114](#) とサラウンド [P.75](#) に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。音声モードごとに初期化できます。

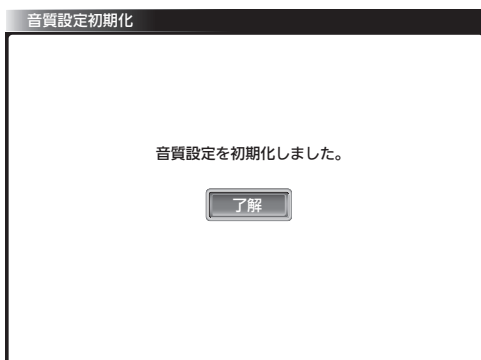
1 「音声設定」画面を表示する [P.113](#)

2 ▲▼で「音質設定の初期化」を選び、決定を押す

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	— — +1
低音	— — +1
左右バランス	— — 0
重低音	切
ダイヤトーンHD	切
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▷
ジャンル適応(音声)	切
おすすめ音量	切
声ハッキリ	切
読み上げ設定	▷
操作・報知音量	小

3 ◀ ▶で「はい」を選び、決定を押す

4 下の画面が表示されたら、決定を押す



5 メニューを押す

ジャンルに合った音質にする(ジャンル適応)

視聴中の番組のジャンルに合わせて、音質を自動的に切り換えます。

1 「音声設定」画面を表示する [P.113](#)

2 ▲▼で「ジャンル適応(音声)」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「入」を選び、決定を押す

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	— — +1
低音	— — +1
左右バランス	— — 0
重低音	切
ダイヤトーンHD	切
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▷
ジャンル適応(音声)	入
おすすめ音量	切
声ハッキリ	切
読み上げ設定	▷
操作・報知音量	小

4 メニューを押す

お知らせ

- デジタル放送のときは、次のようになります。
 - ・ジャンル情報が「映画」のとき、音声モードを自動的に「映画」に切り換えます。
 - ・ジャンル情報が「音楽」のとき、音声モードを自動的に「音楽」に切り換えます。
- デジタル放送以外のときは、音質は切り換わりません。
- ジャンル適応(映像)については、[P.110](#)をご覧ください。

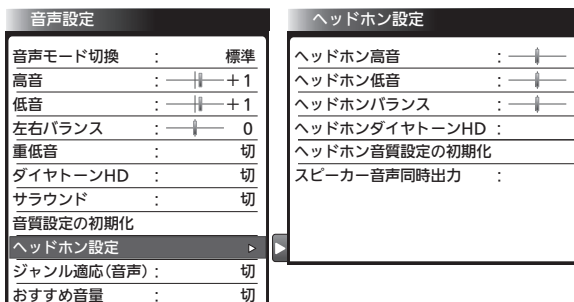
音声設定をする(つづき)

ヘッドホンの音質調整や出力設定をする(ヘッドホン設定)

ヘッドホンも高音、低音、バランスを調整できます。また、ヘッドホン使用中にスピーカーからも音を出すように設定することができます。

1 「音声設定」画面を表示する P.113

2 ▲▼で「ヘッドホン設定」を選び、決定を押す



ヘッドホンの音質調整をするとき

3 ▲▼で調整項目を選び、決定を押す



4 ◀▶で調整し、決定を押す



ヘッドホン設定の調整項目

ヘッドホン高音



ヘッドホン低音



ヘッドホンバランス

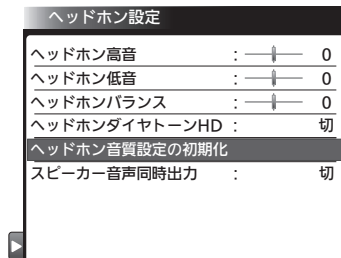


ヘッドホンダイヤトーンHD



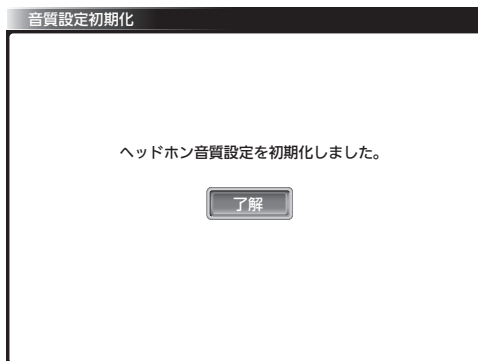
ヘッドホンの音質設定を初期化するとき

5 ▲▼で「ヘッドホン音質設定の初期化」を選び、決定を押す



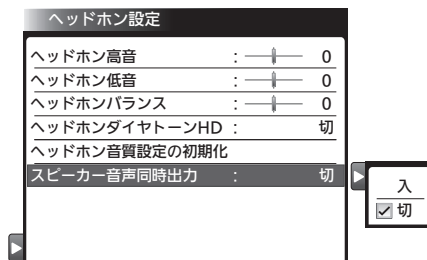
6 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

7 下の画面が表示されたら、決定を押す

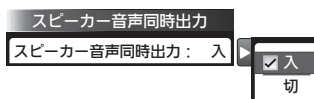


ヘッドホン使用中にスピーカーからも音が出ないようにしたいとき

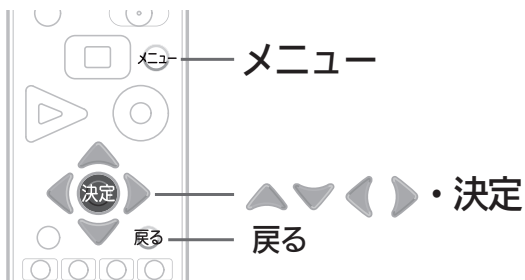
8 ▲▼で「スピーカー音声同時出力」を選び、決定を押す



9 ▲▼で「入」を選び、決定を押す



10 Xメニューを押す



安定した音量で聞く(おすすめ音量)

CMになったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量感が大きく変わることをおさえ、音量調節頻度を減らします。

- 1 「音声設定」画面を表示する P.113
- 2 ▲▼で「おすすめ音量」を選び、決定を押す
- 3 ▲▼で設定を選び、決定を押す

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	— —+1
低音	— —+1
左右バランス	— —0
重低音	切
ダイヤトーンHD	切
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▷
ジャンル適応(音声)	切
おすすめ音量	標準
声ハッキリ	切
読み上げ設定	▷
操作・報知音量	小

<input checked="" type="checkbox"/> 標準
<input type="checkbox"/> ナイトモード
<input type="checkbox"/> 切

- 「標準」…………… 通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果です。
- 「ナイトモード」… 補正効果が強くなります。夜間など音量を絞っているとき向きです。
- 「切」…………… おすすめ音量がオフになります。

- 4 メニューを押す

お知らせ

- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くなるので雑音聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。
- 「ナイトモード」設定で、外部入力(音楽DVDなど)再生する場合、音量補正効果により、音が小さく感じることがあります。

声ハッキリの設定をする

高音を強調して人の声をより聞きやすくします。ニュース番組などに有効です。

- 1 「音声設定」画面を表示する P.113
- 2 ▲▼で「声ハッキリ」を選び、決定を押す
- 3 ▲▼で「入」を選び、決定を押す

音声設定	
音声モード切換	標準
高音	— —+1
低音	— —+1
左右バランス	— —0
重低音	切
ダイヤトーンHD	切
サラウンド	切
音質設定の初期化	
ヘッドホン設定	▷
ジャンル適応(音声)	切
おすすめ音量	標準
声ハッキリ	入
読み上げ設定	▷
操作・報知音量	小

<input checked="" type="checkbox"/> 入
<input type="checkbox"/> 切

- 「入」… アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。
- 「切」… 声ハッキリがオフになります。

- 4 メニューを押す

お知らせ

雑音が気になるときは、「切」に設定してください。

音声設定をする
テレビをお好みの設定にする

音声設定をする(つづき)

読み上げの設定をする

メニュー **P.72**、番組表 **P.60**、番組内容 **P.62**、予約一覧 **P.102・171**などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。また、読み上げる画面を個別に指定したり、速さと音量を変えることもできます。

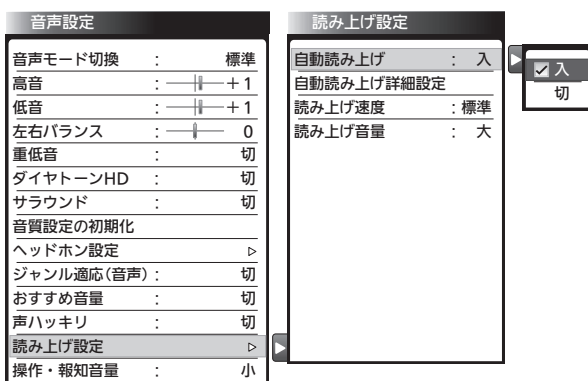
1 「音声設定」画面を表示する **P.113**

2 ▲▼で「読み上げ設定」を選び、**決定**を押す

自動で読み上げるようにするとき

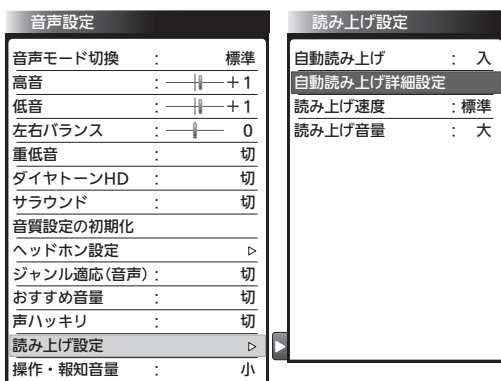
3 ▲▼で「自動読み上げ」を選び、**決定**を押す

4 ▲▼で「入」を選び、**決定**を押す

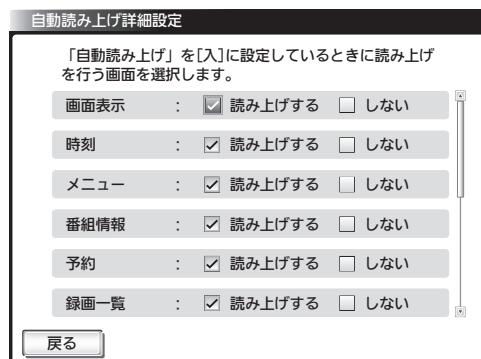


自動で読み上げる画面を選ぶとき

5 ▲▼で「自動読み上げ詳細設定」を選び、**決定**を押す



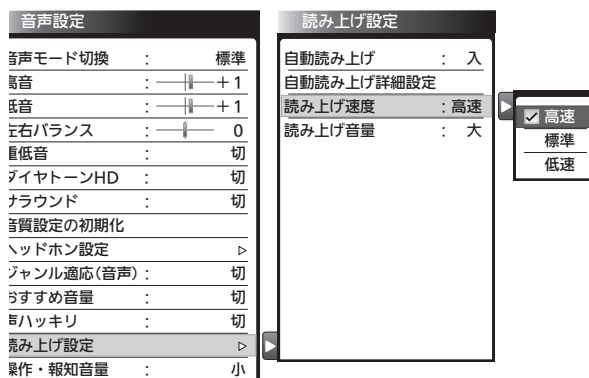
6 ▲▼で読み上げる画面を選んでから、
▲▼で設定を選び、**決定**を押す



読み上げる速さを変えるとき

7 ▲▼で「読み上げ速度」を選び、**決定**を押す

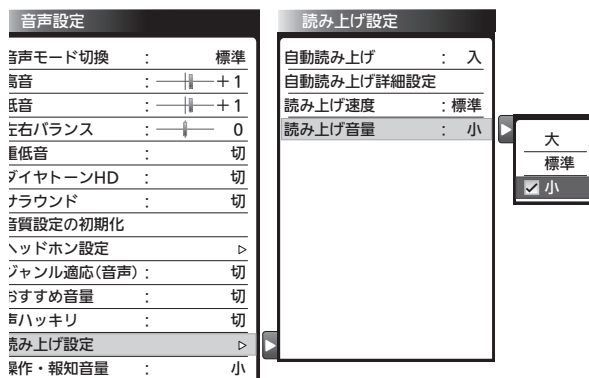
8 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す



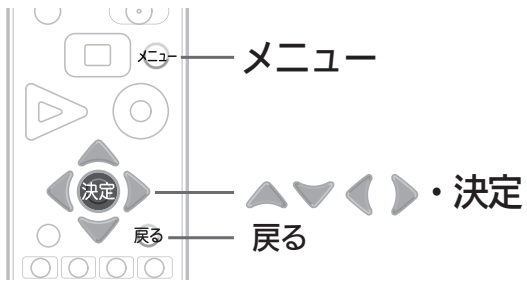
読み上げる音量を変えるとき

9 ▲▼で「読み上げ音量」を選び、**決定**を押す

10 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す



11 メニューを押す



操作音などの報知音量の設定をする

操作音などの報知音の大きさを調整できます。
音量は3段階から選べます。

- 1 「音声設定」画面を表示する **P.113**
- 2 ▲▼で「操作・報知音量」を選び、
決定を押す
- 3 ▲▼でお好みの音量を選ぶ

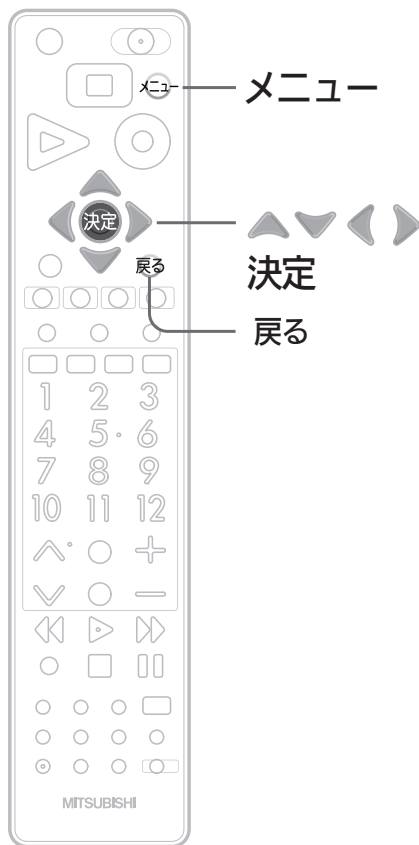


「大」「標準」「小」…… 報知音が鳴ります。
「切」…………… 報知音が鳴りません。

- 4 メニューを押す

機能設定をする

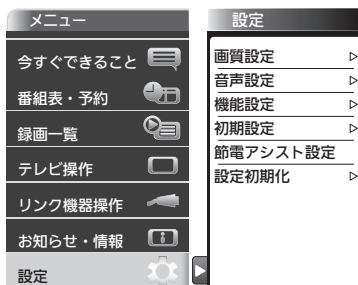
いろいろな機能を使うための設定をします。



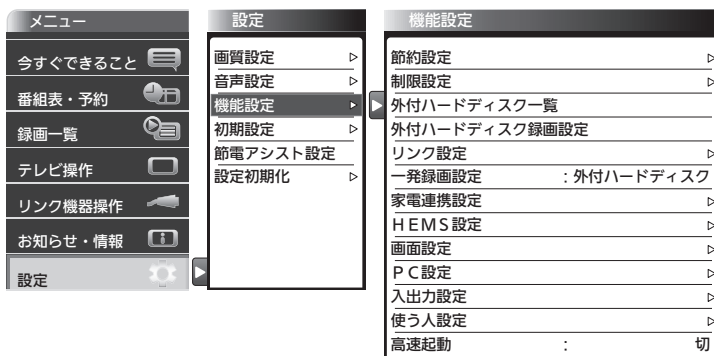
「機能設定」画面の表示のしかた

1 **メニュー** を押す

2 ▲▼で「設定」を選び、**決定**を押す



3 ▲▼で「機能設定」を選び、**決定**を押す



「機能設定」画面について

機能設定	
節約設定	▷
制限設定	▷
外付ハードディスク一覧	
外付ハードディスク録画設定	
リンク設定	▷
一発録画設定	: 外付ハードディスク
家電連携設定	▷
HEMS設定	▷
画面設定	▷
PC設定	▷
入出力設定	▷
使う人設定	▷
高速起動	: 切

節約設定 P.121

いろいろな節約の設定ができます。

制限設定 P.122

視聴許可年齢とネットワーク、本体ボタン、リモコンボタンの制限を設定します。

外付ハードディスク一覧 P.178

外付ハードディスクの登録/削除、初期化を行います。

外付ハードディスク録画設定 P.165

外付ハードディスク録画機能を使用するか設定します。

リンク設定 P.127

リアリンクに関する設定をします。

一発録画設定 P.127

一発録画で優先的に録画する機器を設定します。

家電連携設定、HEMS設定

当社ホームページ掲載本機取扱説明書「家電連携/HEMS編」P.3をご覧ください。

これらの機能を使うためには、本機の設置場所にインターネットへの接続環境が必要な場合があります。

画面設定 P.128

画面の調整と、画面サイズに関する設定ができます。

PC設定 P.129

PC入力画面を調整します。

入出力設定 P.131

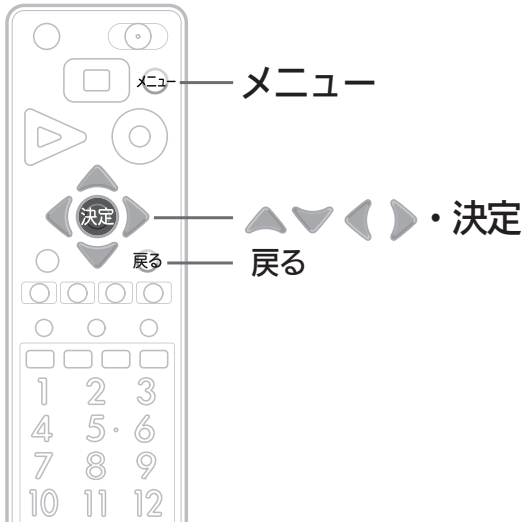
光音声出力の音声形式の設定、光音声入力を使う映像入力の切り換え、外部入力のスキップ設定、HDMI入力にパソコンをつなぐときの設定をします。

使う人設定 P.134

本機を使う人に合わせて、いろいろな機能を設定できます。

高速起動 P.133

電源を入れたときに、映像をすばやく表示するように設定できます。電源を切っているとき(電源表示灯が赤:待機状態)の消費電力が増えます。

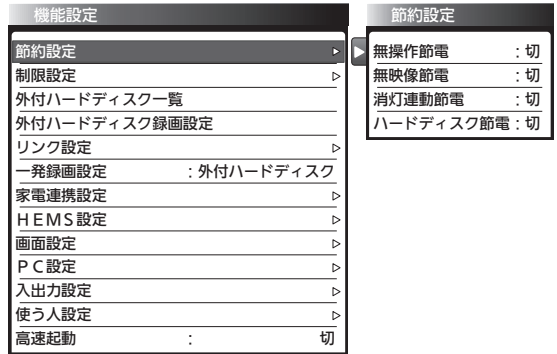


節約設定をする

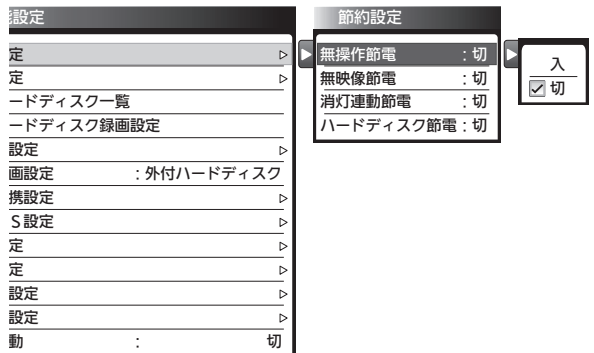
いろいろな節約の設定ができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.120

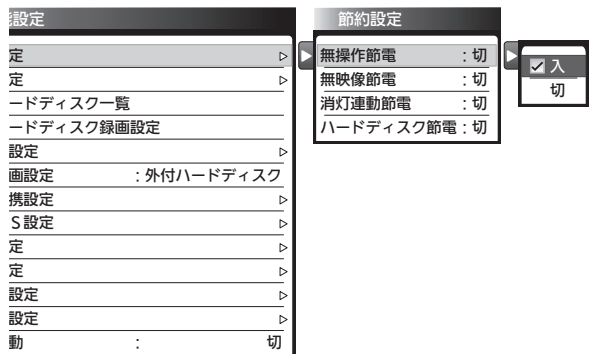
2 ▲▼で「節約設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で項目を選び、決定を押す



4 ▲▼で「入」を選び、決定を押す



5 メニューを押す

お知らせ

無操作節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無操作節電 1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無映像節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無映像節電 1分前」と表示されます。
- ビデオがブルーバックのときは、はたらきません。

消灯連動節電「入」では、

- テレビの前に人が立つなど照明をさえぎるようにすると、電源が切れることがあります。
- お部屋の明るさがゆっくりと暗くなる場合は、電源が切れません。

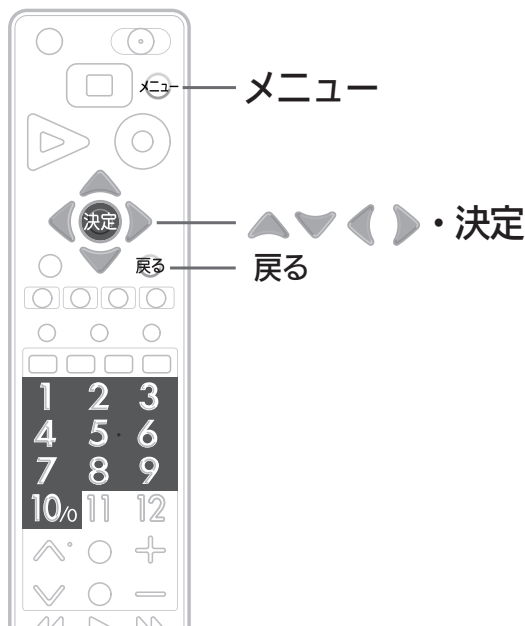
ハードディスク節電「入」では、

- 待機状態にすると、消費電力を抑えることができますが、一発録画の開始や録画一覧の表示に数十秒かかることがあります。

節約設定の項目

無操作節電	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
無映像節電	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。
消灯連動節電	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、お部屋の照明をおとすと、自動的に電源が切れます。
ハードディスク節電	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、録画・再生機能を一定時間使用していないときに、外付ハードディスクを待機状態にします。

機能設定をする(つづき)



暗証番号を登録して視聴制限を設定する

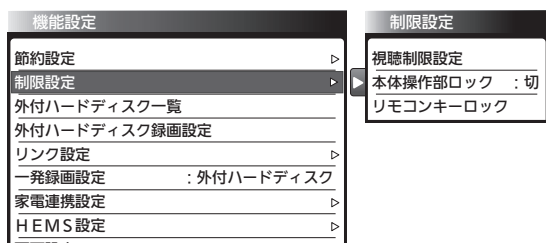
暗証番号を登録し、一定の年齢以上でないと見ることができない番組を視聴したり、「ネットワーク」P.64 を利用するときに暗証番号を入力するように設定できます。

暗証番号は、「視聴の許可年齢」と「ネットワーク利用制限」で共通の番号になります。

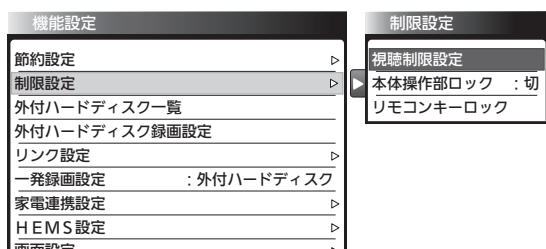
初めて視聴制限を設定するとき (暗証番号が未設定のとき)

1 「機能設定」画面を表示する P.120

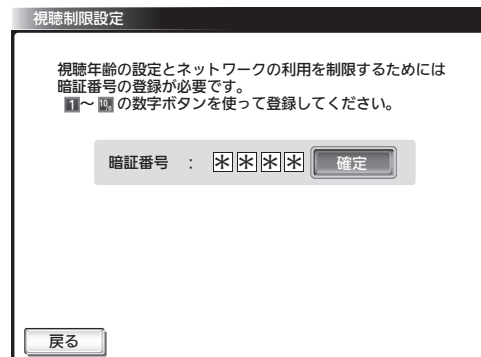
2 ▲▼で「制限設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す



4 1～10で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す



入力した数字は「*」で表示されます。

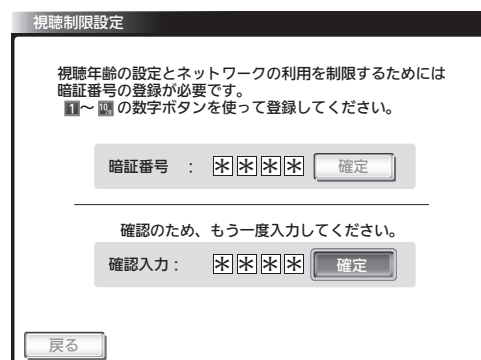
■ 「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

←を押して、1文字消すことができます

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す



■ 2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「入力した番号と異なります。再度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

お知らせ

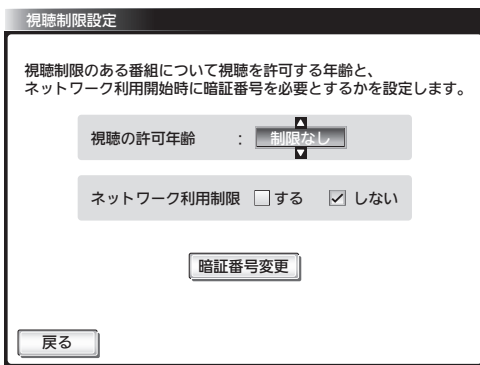
万一、暗証番号を忘れた場合には、「全情報の初期化」P.159 後に、再設定していただく必要があります。ただし、「全情報の初期化」をすると全ての設定が工場出荷状態に戻ります。

次ページへつづく

視聴の許可年齢を設定するとき

6 「視聴の許可年齢」が選ばれている状態で、**決定**を押す

7 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す

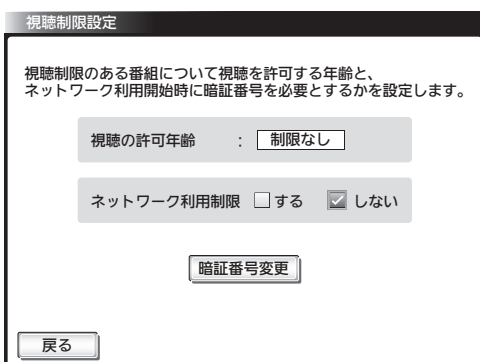


「4才以上」 …… 4才から19才まで1才単位で設定でき
～「19才以上」 …… 番組の視聴年齢制限が設定した年齢
より上の場合、例えば「15才以上」に設
定すると、番組の視聴年齢制限が「18才
以上」のときは、暗証番号を入力しないと
視聴できなくなります。
「制限なし」 …… 番組の視聴年齢制限に関係なく視聴でき
ます。

ネットワーク利用制限を設定するとき

8 ▼で「ネットワーク利用制限」を選ぶ

9 ◀▶で設定を選び、**決定**を押す



「する」 …… 「ネットワーク」を利用するとき、暗証番
号の入力が必要となります。
「しない」 …… 「ネットワーク」を利用するとき、暗証番
号の入力が不要となります。

10 設定が終わったら、**メニュー**を押す

お知らせ

視聴の許可年齢を指定したり、ネットワーク利用制限を「する」に設定すると、暗証番号の入力が必要となりますので暗証番号を忘れないようにご注意ください。万一、暗証番号を忘れた場合は、全ての設定が工場出荷状態に戻る「全情報の初期化」**P.159**を行う必要があります。

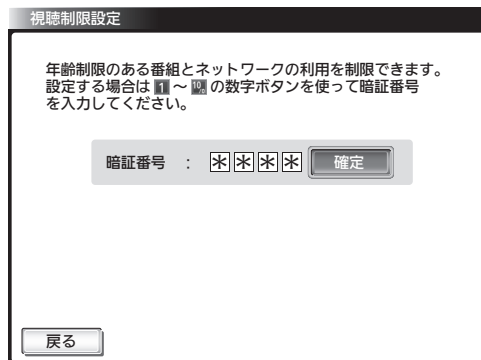
視聴制限の設定を変更するとき (暗証番号が設定済みのとき)

1 「機能設定」画面を表示する **P.120**

2 ▲▼で「制限設定」を選び、**決定**を押す

3 ▲▼で「視聴制限設定」を選び、**決定**を押す

4 1～10%で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、**決定**を押す



入力した数字は「*」で表示されます。

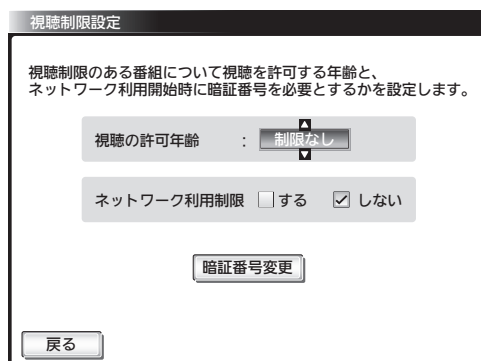
■ 「0」を入力するときは

10%を押す

■ 間違えたときは

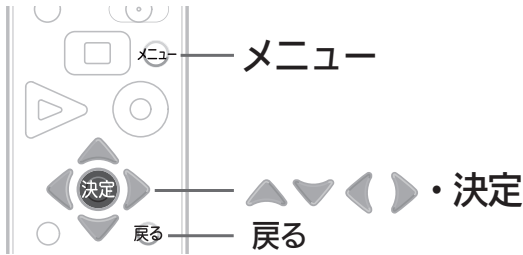
◀を押して、1文字消すことができます

5 左欄の手順6～手順9を行って設定を変更する



6 変更が終わったら、**メニュー**を押す

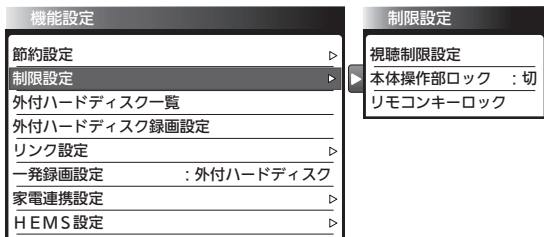
機能設定をする(つづき)



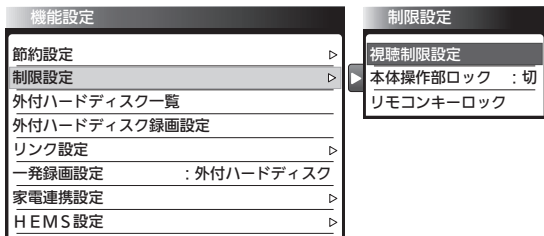
暗証番号を変更するとき

1 「機能設定」画面を表示する P.120

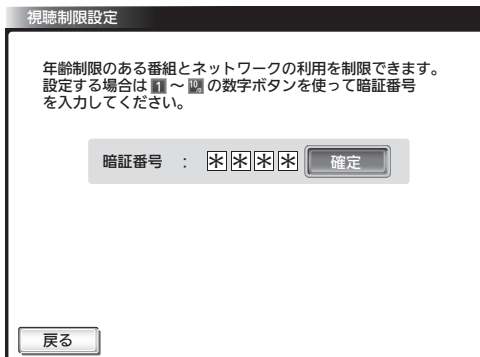
2 ▲▼で「制限設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す



4 1～10%で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す



入力した数字は「*」で表示されます。

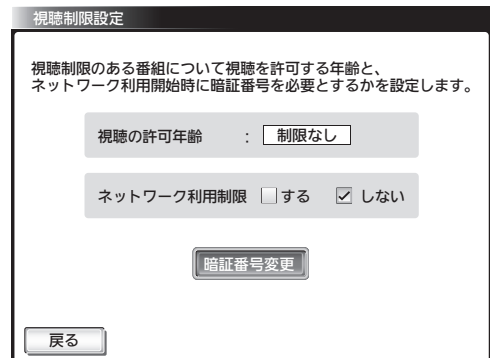
■ 「0」を入力するときは

10%を押す

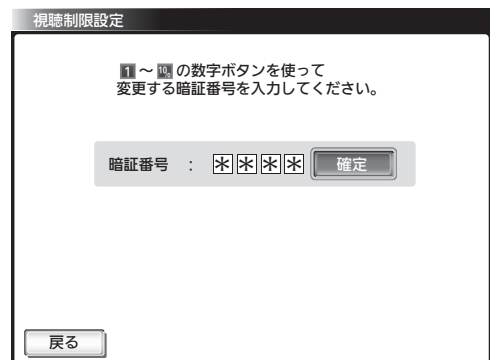
■ 間違えたときは

◀を押して、1文字消すことができます

5 ▼で「暗証番号変更」を選び、決定を押す



6 1～10%で4桁の新しい暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す



入力した数字は「*」で表示されます。

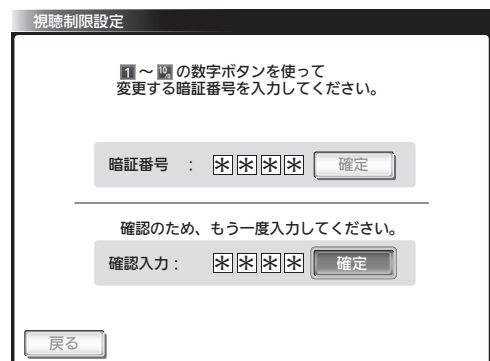
■ 「0」を入力するときは

10%を押す

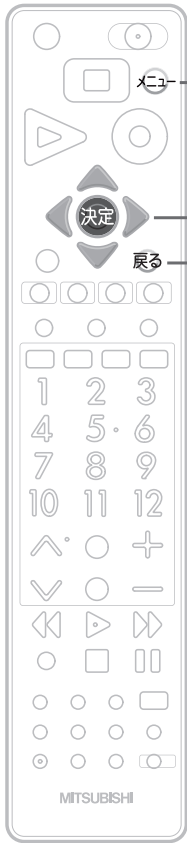
■ 間違えたときは

◀を押して、1文字消すことができます

7 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す



8 メニューを押す



メニュー

決定

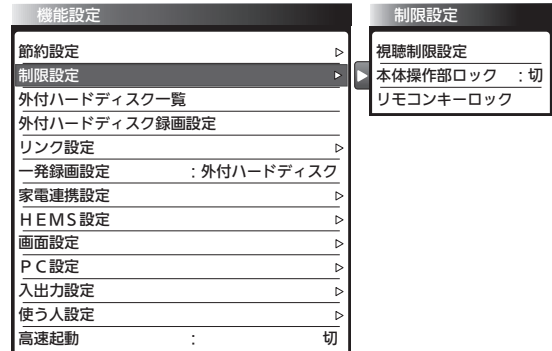
戻る

本体のボタンを無効にする(本体操作部ロック)

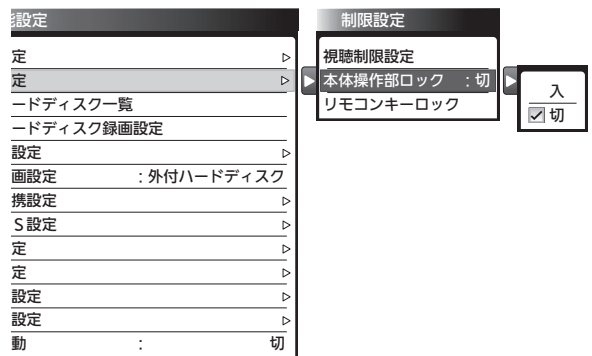
本体下側のボタン操作を無効にし、小さなお子様のいたずらを防ぎます。

1 「機能設定」画面を表示する P.120

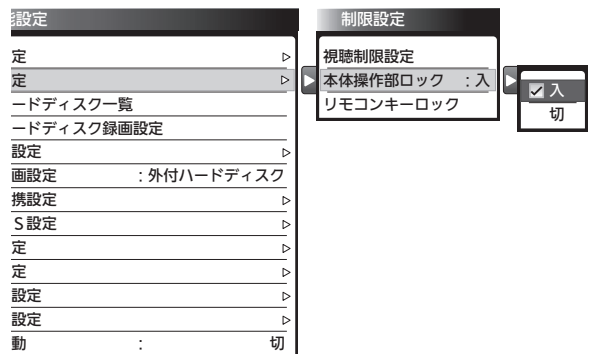
2 ▲▼で「制限設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「本体操作部ロック」を選び、決定を押す



4 ▲▼で「入」を選び、決定を押す

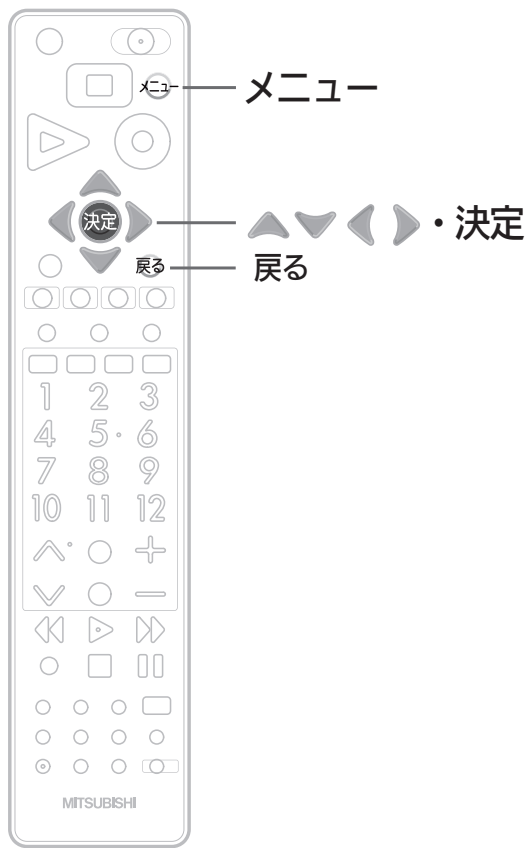


5 メニューを押す

機能設定をする

テレビをお好みの設定にする

機能設定をする(つづき)



お知らせ

- 「放送波無効設定」P.137 で無効に設定されている放送切換ボタンは、「無効にする」に固定されます。
- メニューボタンを「無効にする」に設定されていても、メニューボタンを3秒以上押すことで一時的にロックが解除され、メニュー画面を表示することができます。

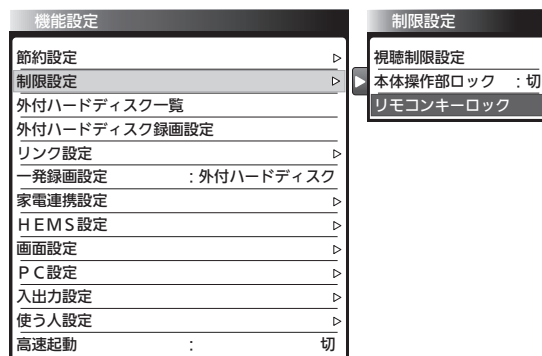
リモコンの一部のボタンを無効にする(リモコンキーロック)

リモコンの放送切換ボタン(地上アナログ、地上デジタル、BS、CSの各ボタン)とメニューボタンを無効にできます。視聴しない放送を選択したり、希望しない設定変更をしたたりする誤操作を防ぎます。

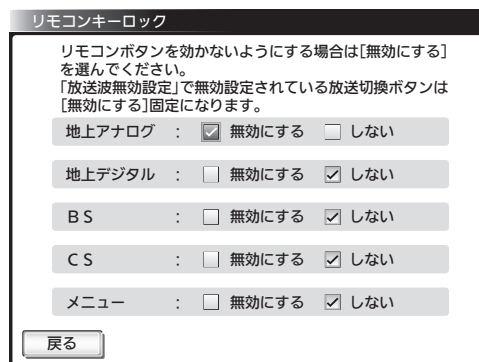
1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「制限設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「リモコンキーロック」を選び、決定を押す



4 ▲▼でリモコンボタンを選んでから、◀で「無効にする」を選び、決定を押す

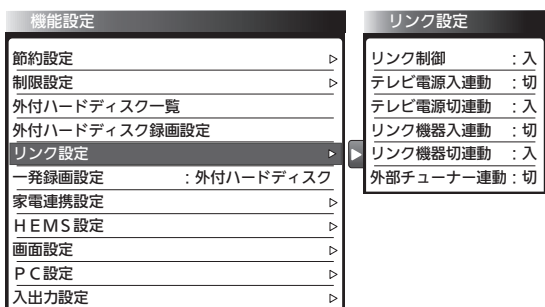


5 メニューを押す

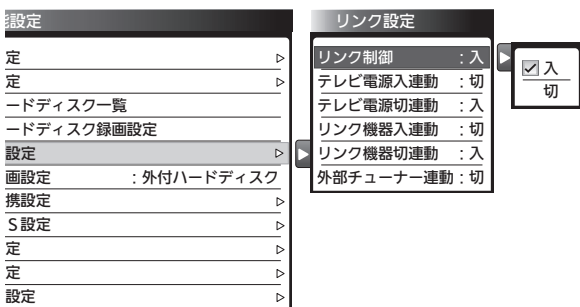
リアリンクの設定をする

1 「機能設定」画面を表示する P.120

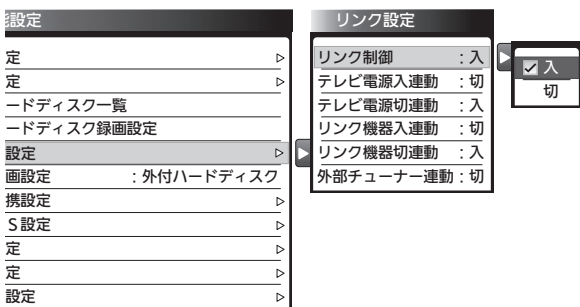
2 ▲▼で「リンク設定」を選び、
決定を押す



3 ▲▼で設定項目を選び、決定を押す



4 ▲▼で設定を選び、決定を押す



5 メニューを押す

6 本機の電源を入れ直す

お知らせ

リアリンク機能は、リアリンク対応機器にて使用可能です。機器により仕様が異なることがあります。

くわしくは、REALINK ロゴマークのある対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お願い!

リアリンク機能を中止するために「リンク制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

リンク設定の項目

リンク制御	<input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切	リアリンク対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
テレビ電源入連動	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、テレビの電源を入れると、リアリンク対応のレコーダーも連動して電源が入ります。
テレビ電源切連動	<input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切	「入」で、テレビの電源を切ると、リアリンク対応機器も連動して電源が切れます。
リンク機器入連動	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、リアリンク対応機器の「入」ボタンなどの操作をすると、テレビも連動して電源が入ります。 ※リンク機器入連動は2010年以降発売のリアリンク対応機器で有効な機能です。
リンク機器切連動	<input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切	「入」で、リアリンク対応機器の電源を切ると、テレビも連動して電源が切れます。
外部チューナー連動	<input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切	「入」で、リアリンク対応機器を視聴しているときに本機リモコンの数字ボタンとチャンネル▲▼で選局操作ができます。放送波切換はできません。

お知らせ

デジタル音声をARC P.195 で出力するときは、「リンク制御」を「入」にしてください。

ARCを使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

一発録画で録画する機器を選ぶ

リアリンクでレコーダーを接続して外付ハードディスクも接続して、両方とも録画や再生に使っている場合、一発録画でレコーダーかハードディスクかどちらに録画するのかを選択します。

1 「機能設定」画面を表示する P.120

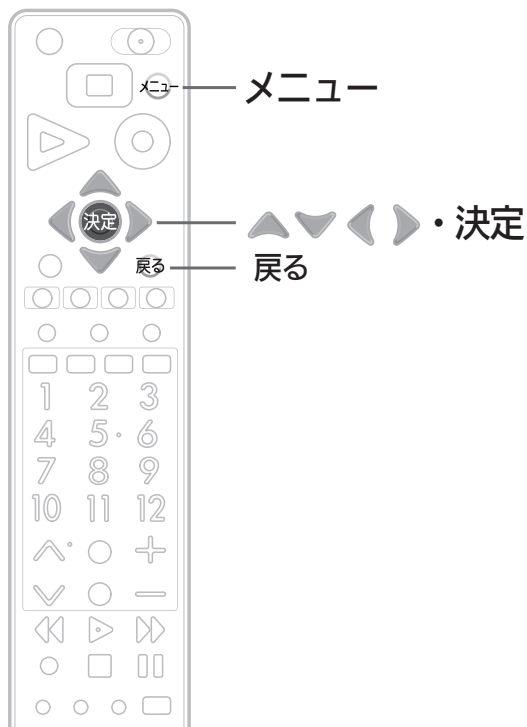
2 ▲▼で「一発録画設定」を選び、
決定を押す

3 ▲▼で一発録画する機器を選び、
決定を押す



4 決定を押す

機能設定をする(つづき)



画面の調整項目

垂直位置調整

垂直位置調整 : 0 ◀ ← 5 | | 5 → ▶

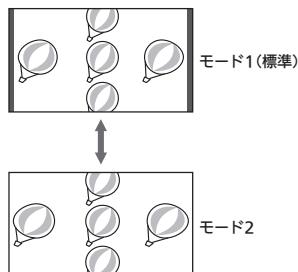
映像が
下に移動する 映像が
上に移動する



水平幅調整

水平幅調整 : モード1 (標準)

モード1 (標準)
 モード2 画面左右の幅
 が少し広くなります。



ID-1判定

ID-1判定 : 入

入
 切

「入」で、ID-1信号があるDVDなどをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。

D端子判定

D端子判定 : 入

入
 切

「入」で、D端子入力の画面サイズが自動で切り換わります。

画面の調整や画面サイズの設定をする

1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「画面設定」を選び、
決定を押す

3 ▲▼で設定項目を選び、決定を押す



4 垂直位置調整の場合

◀ ▶で調整し、決定を押す



水平幅調整、ID-1判定、D端子判定の場合

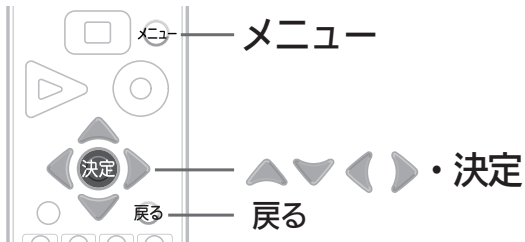
▲▼で設定を選び、決定を押す



5 メニューを押す

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面サイズごとに調整することができます。ただし、1080i、1080p、720pのフルピクセル時は、操作はできませんが無効です。
- 画面サイズについては P.54~55 をご覧ください。
- 「水平幅調整」は、480i、480pのノーマル、ダイナミック時のみ有効です。
- 「ID-1判定」は、D端子接続の映像では、はたらきません。
- 次のようなときは、「ID-1判定」を「切」に設定してください。
 - ・DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
 - ・ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面サイズが変化するの気がなるとき



お知らせ

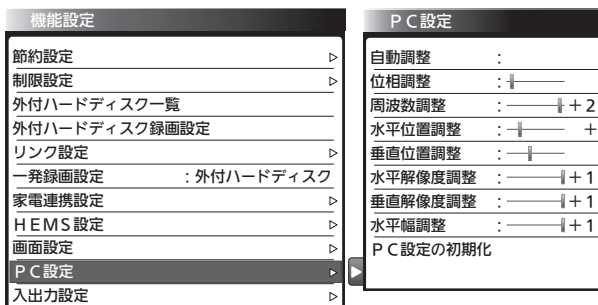
- パソコンを接続していない等、PC入力に信号がないときは、「PC設定」に入れません。
- ◀ ▶ の長押しで調整を行う場合、画面に変更が反映されるのは ◀ ▶ を離したときです。

PC入力端子につないだパソコンの画面を調整する

パソコンを接続したときに画面を表示してみて、画面の位置・大きさが適切でなかったり、文字のニジミがある場合は以下の手順で調整することができます。調整は映像モードで「PCデータ」を選んでから行ってください。 P.107

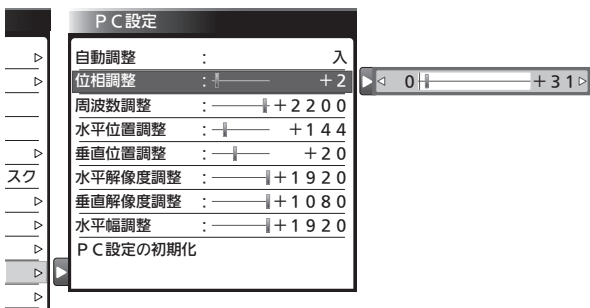
1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲ ▼ で「PC設定」を選び、決定を押す



「PC設定」は、PC入力以外では選べません。

3 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定を押す



4 ◀ ▶ で調整し、決定を押す



5 メニューを押す

PC設定の調整項目

自動調整
自動調整 : 入 入 切
位相、水平/垂直位置を自動調整します。自身で調整するときは「切」にします。

位相調整
位相調整 : +2 ◀ 0 ▶ +31▶
映像のサンプリングクロックの位相の調整です。

周波数調整
周波数調整 : +2200 ◀ +700 ▶ +2300▶
水平幅が縮む 水平幅が広がる

水平位置調整
水平位置調整 : +144 ◀ 0 ▶ +511▶
画面が左へ移動する 画面が右へ移動する

垂直位置調整
垂直位置調整 : +20 ◀ 0 ▶ +50▶
画面が下へ移動する 画面が上へ移動する

水平解像度調整
水平解像度調整 : +1920 ◀ +640 ▶ +1920▶

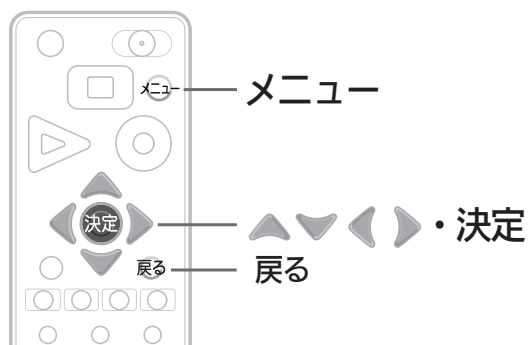
垂直解像度調整
垂直解像度調整 : +1080 ◀ +400 ▶ +1080▶

水平幅調整
水平幅調整 : +1920 ◀ +1440 ▶ +1920▶
表示可能域が縮む 表示可能域が広がる

画面の調整手順例

- ① 「水平解像度調整」、「垂直解像度調整」をパソコンの解像度(「画面のプロパティ」などをご覧ください)に合わせる表示が乱れる場合は、手順④「周波数調整」の値を大きくしてください。
- ② 「水平幅調整」を1920(液晶パネル水平方向の解像度)に調整する
- ③ 「垂直位置調整」で映像の上端が画面上端になるように調整する
- ④ 文字表示などが、映像全体でくっきりと見えるように「周波数調整」と「位相調整」をする
表示が乱れる場合は、「周波数調整」の値を大きくしてください。
- ⑤ 映像の左(または右)端が画面左(または右)端になるように「水平位置調整」をする
- ⑥ 映像が画面水平方向いっぱいに表示されるように手順④、⑤をくり返す

機能設定をする(つづき)

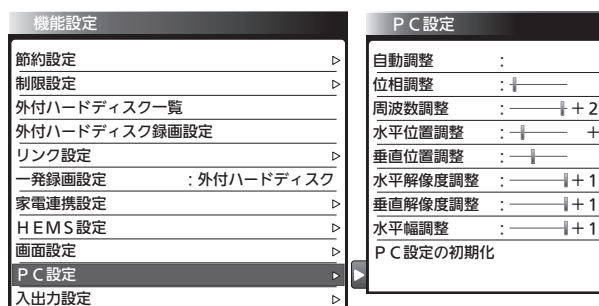


PC設定を初期化する

PC設定 P.129 の内容を工場出荷時の状態に戻します。

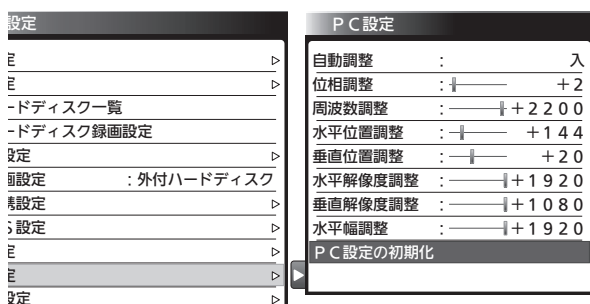
1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「PC設定」を選び、決定を押す

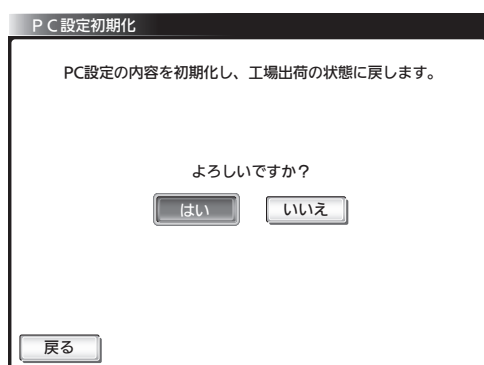


「PC設定」は、PC入力以外では選べません。

3 ▲▼で「PC設定の初期化」を選び、決定を押す



4 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す



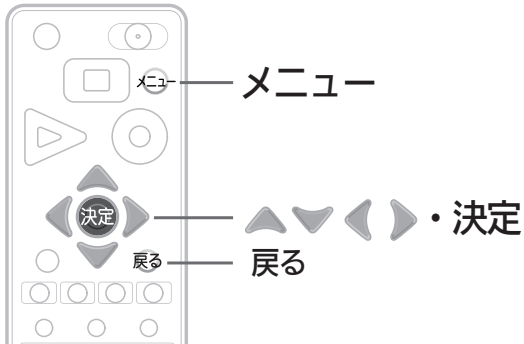
5 下の画面が表示されたら、決定を押す



6 メニューを押す

お知らせ

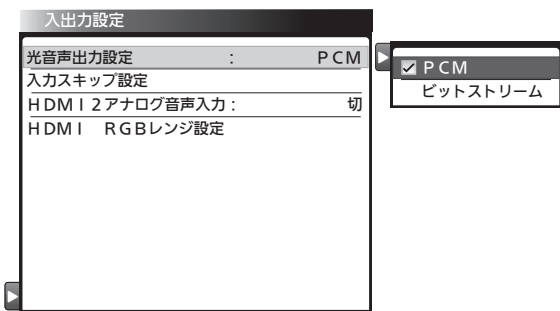
「メニュー」→「設定」→「設定初期化」→「PC設定初期化」でも同様に初期化できます。 P.158



デジタル音声出力の設定をする

本機とビットストリーム P.195 またはPCM P.195 対応のオーディオ機器を接続してデジタル音声を楽しむ場合 P.26~27 は、機器との接続後に以下の設定が必要です。デジタル音声出力(光)端子およびARC P.195 を使用したHDMI入力端子からのデジタル音声出力のフォーマットを切り換えます。ARCの音声出力フォーマットは光音声出力と同じとなります。

- 1 「機能設定」画面を表示する P.120
- 2 ▲▼で「入出力設定」を選び、決定を押す
- 3 ▲▼で「光音声出力設定」を選び、決定を押す
- 4 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「PCM」 …… ビットストリームに対応していないオーディオ機器を接続の場合に設定します。
 「ビットストリーム」 …… ビットストリームに対応しているオーディオ機器を接続の場合に設定します。

- 5 メニューを押す

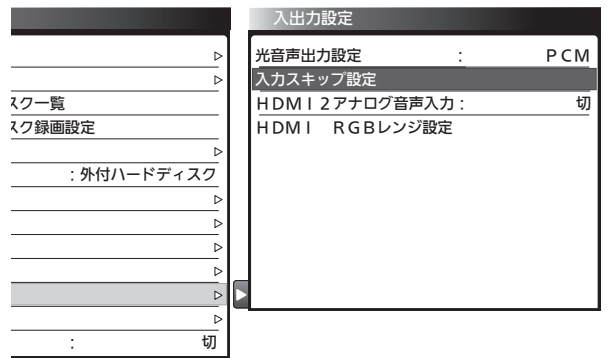
お知らせ

リアリンクに対応していない外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

外部入力のスキップ設定をする

HDMI入力に外部機器を接続していない場合は、以下の手順でスキップ「する」に設定してください。入力切替操作のときにスキップ(飛び越し)します。

- 1 「機能設定」画面を表示する P.120
- 2 ▲▼で「入出力設定」を選び、決定を押す
- 3 ▲▼で「入力スキップ設定」を選び、決定を押す



- 4 ▲▼でスキップしたい入力を選んでから、◀▶で「する」を選び、決定を押す



◀▶を押すごとに次のように切り換わります。

ビデオ、D端子のとき

オート ↔ しない

HDMI1/2、PCのとき

する ↔ しない

お知らせ

ビデオ入力やD端子入力の場合、「オート」に設定しておく、外部機器を接続していない入力だけを飛び越します。

- 5 メニューを押す

機能設定をする(つづき)

HDMI端子にパソコンをつなぐときの設定

本機とパソコンをHDMIケーブルでつなぐとき、次の設定が必要な場合があります。

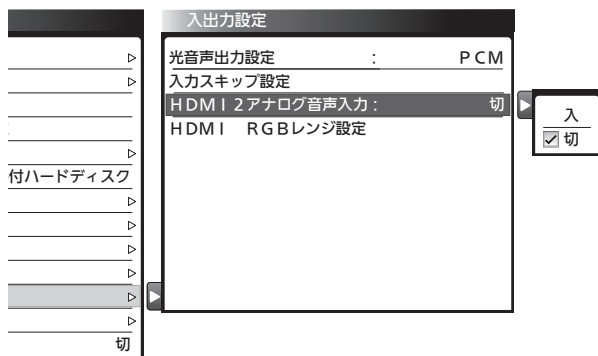
HDMI2アナログ音声入力

映像をHDMI2端子から、音声をPC入力音声端子から入力する場合、この設定を「入」にします。

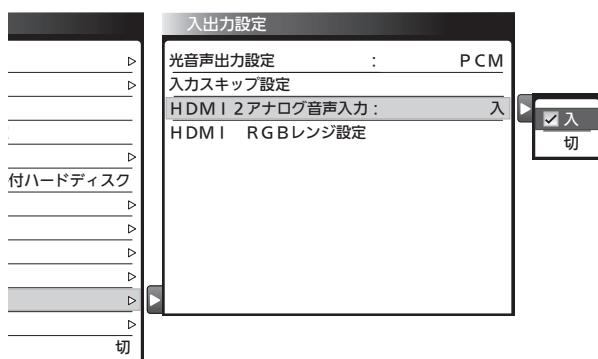
1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「入出力設定」を選び、
決定を押す

3 ▲▼で「HDMI2アナログ音声入力」を選び、
決定を押す



4 ▲▼で「入」を選び、
決定を押す



5 戻るを押す

お知らせ

HDMI出力から音声がでないパソコンをつなぐときは、必ずこの設定を「入」にしてください。パソコンのHDMI端子から音声が出力されているかどうかは、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。この設定に関係なく、PC入力の場合はアナログ音声入力に入力された音声が出力されます。

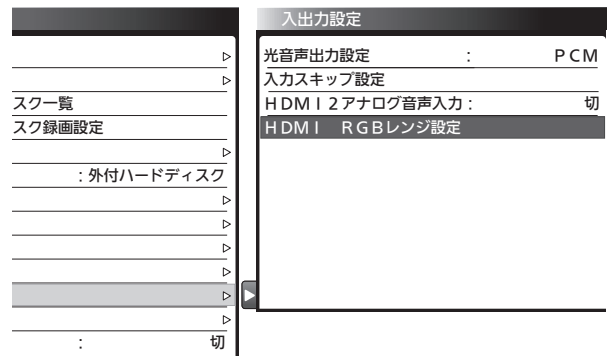
HDMI RGBレンジ設定

パソコンの画面が、黒が白っぽく、白が灰色っぽい、またはその逆に黒に近い色が黒に、白に近い色が白に見える場合に、この設定を「フルレンジ」または「リミテッド」にすると改善できる場合があります。通常は「自動設定」でご使用ください。

1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「入出力設定」を選び、
決定を押す

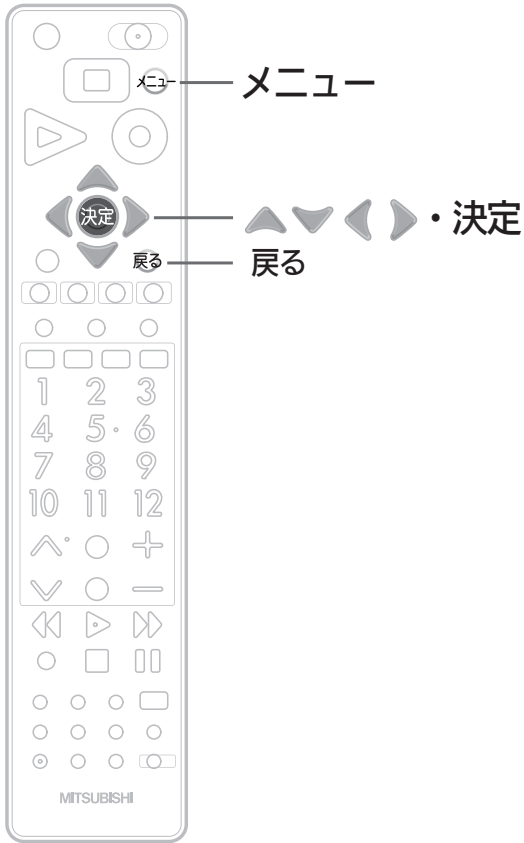
3 ▲▼で「HDMI RGBレンジ設定」を選び、
決定を押す



4 ▲▼で設定を選び、
決定を押す



5 戻るを押す



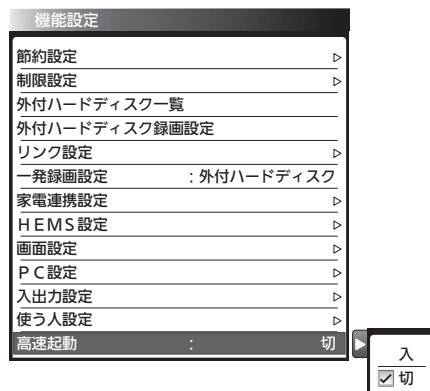
高速起動にする

この設定を「入」にすると、電源を入れてから映像が表示されるまでの時間を高速化します。

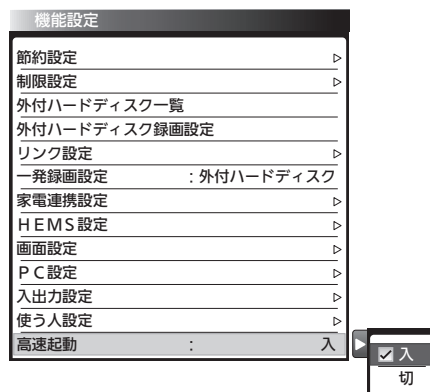
内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、電源を切っているとき(電源表示灯が赤：待機状態)の消費電力が増えます。

1 「機能設定」画面を表示する P.120

2 ▲▼で「高速起動」を選び、決定を押す

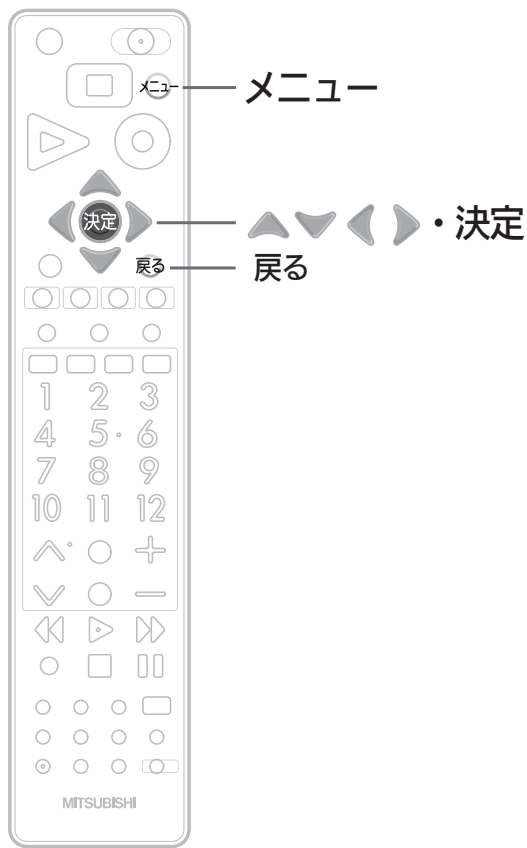


3 ▲▼で「入」を選び、決定を押す



4 メニューを押す

機能設定をする(つづき)



3つのモードと工場出荷時の設定内容

項目	工場出荷時の設定		
	標準モード	家庭モード1	家庭モード2
視聴者設定	切	シニア	ジュニア
字幕	切	切	切
声ハッキリ	切	入	切
自動読み上げ	切	入	切
操作音・報知音	小	標準	切
リモコンキーロック	すべてしない	すべてしない	すべてしない

お知らせ

「メニュー」→「テレビ操作」→「使う人切換」でも切り換えることができます。 P.83

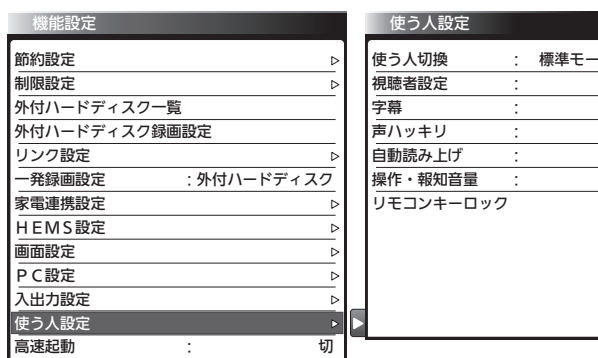
使う人設定をする

使う人に合わせた設定を3つのモードから選べます。それぞれのモードの設定内容は、お好みで変更することができます。

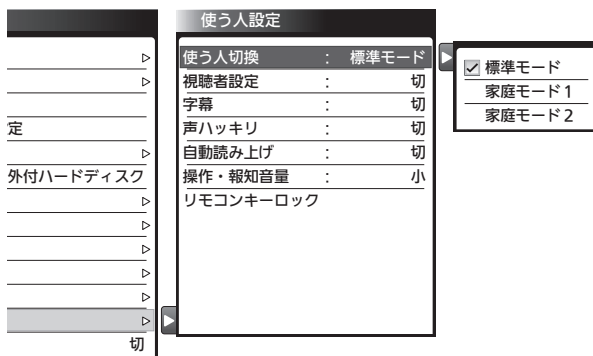
使う人のモードを切り換える

1 「機能設定」画面を表示する P.120

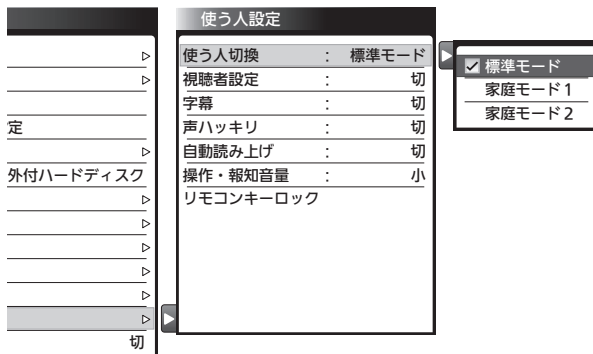
2 ▲▼で「使う人設定」を選び、
決定を押す



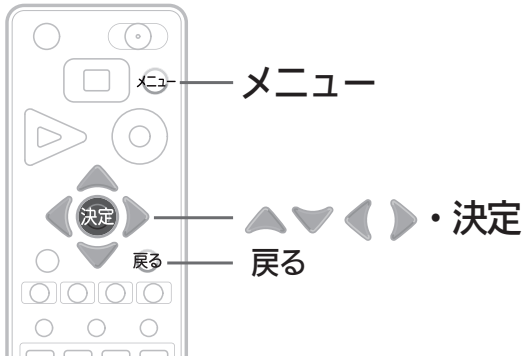
3 ▲▼で「使う人切換」を選び、
決定を押す



4 ▲▼でお好みのモードを選び、
決定を押す



5 メニューを押す



使う人設定の項目

使う人切換	<input checked="" type="checkbox"/> 標準モード <input type="checkbox"/> 家庭モード 1 <input type="checkbox"/> 家庭モード 2	以下の6つの項目を一括で切り換えます。
視聴者設定	<input type="checkbox"/> 標準 ……まぶしさをおさえつつクッキリした画面にします。 <input type="checkbox"/> ジュニア ……テレビを長時間ご覧になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。 <input type="checkbox"/> シニア ……画面全体が明るいときのまぶしさをおさえます。 <input checked="" type="checkbox"/> 切 ……視聴者設定は、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。	
字幕	<input type="checkbox"/> 第1言語 ……番組の第1言語の字幕を表示します。 <input type="checkbox"/> 第2言語 ……番組の第2言語の字幕を表示します。 <input checked="" type="checkbox"/> 切 ……字幕や文字スーパーを表示しません。	
声ハッキリ	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。雑音が気になるときは、「切」に設定してください。
自動読み上げ	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 切	「入」で、メニュー、番組表、番組内容、予約一覧などの画面で自動的に読み上げるように設定できます。
操作・報知音量	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 切	操作音などの報知音を鳴らします。報知音の音量は三段階に切り換えることができます。
リモコンキーロック	リモコンキーロック リモコンボタンを効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。「放送波無効設定」で無効設定されている放送切換ボタンは[無効にする]固定になります。 地上アナログ : <input type="checkbox"/> 無効にする <input checked="" type="checkbox"/> しない 地上デジタル : <input type="checkbox"/> 無効にする <input checked="" type="checkbox"/> しない BS : <input type="checkbox"/> 無効にする <input checked="" type="checkbox"/> しない CS : <input type="checkbox"/> 無効にする <input checked="" type="checkbox"/> しない メニュー : <input type="checkbox"/> 無効にする <input checked="" type="checkbox"/> しない <input type="button" value="戻る"/>	リモコンの放送切換ボタン(地上アナログ、地上デジタル、BS、CSの各ボタン)とメニューボタンを無効にするかどうかを設定します。

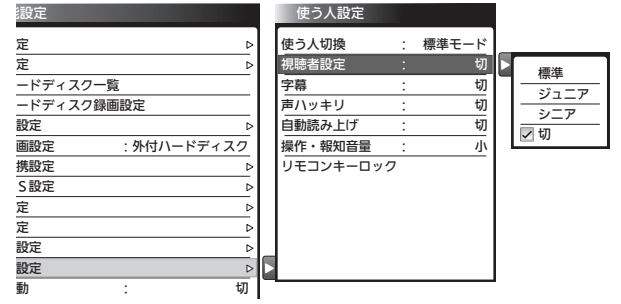
各モードの設定内容を変更する

「使う人切換」で現在選択されているモードの「視聴者設定」「字幕」「声ハッキリ」「自動読み上げ」「操作・報知音量」「リモコンキーロック」の設定をお好みで変更することができます。

1 「機能設定」画面を表示する **P.120**

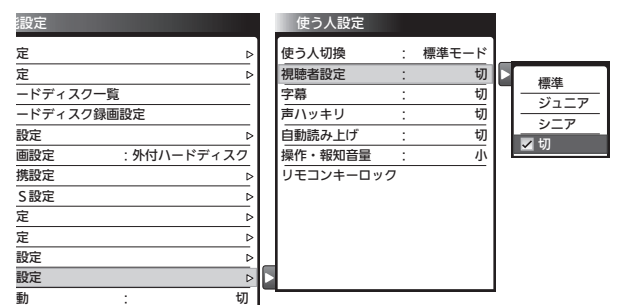
2 ▲▼で「使う人設定」を選び、**決定**を押す

3 ▲▼で変更したい項目を選び、**決定**を押す



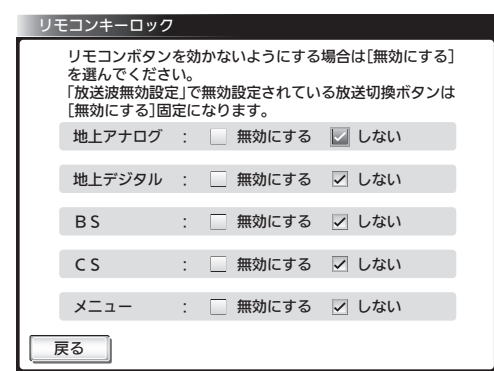
4 視聴者設定、字幕、声ハッキリ、自動読み上げ、操作・報知音量の場合

▲▼で設定を選び、**決定**を押す



リモコンキーロックの場合

▲▼でリモコンボタンを選んでから、
◀▶で設定を選び、**決定**を押す

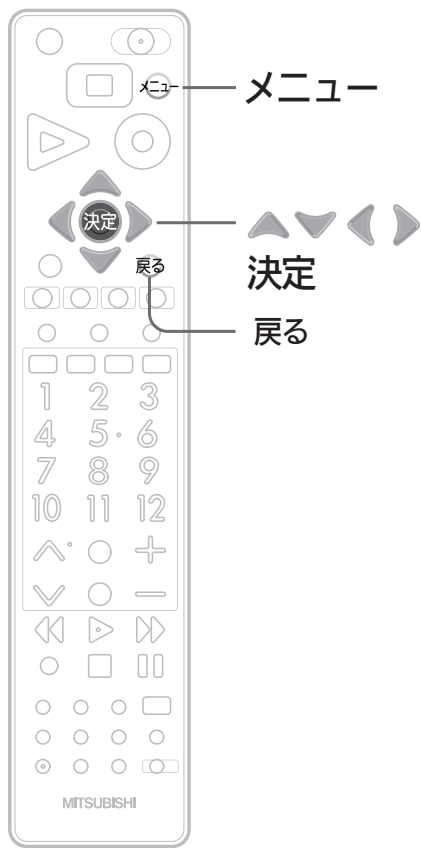


5 **メニュー**を押す

機能設定をする
テレビをお好みの設定にする

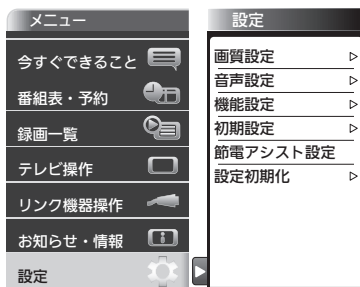
初期設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。



「初期設定」画面の表示のしかた

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **▲▼** で「設定」を選び、**決定** を押す



- 3 **▲▼** で「初期設定」を選び、**決定** を押す



「初期設定」画面について

初期設定
らくらく設定
チャンネル設定 ▶
放送波無効設定
リモコンコード切換
表示文字サイズ切換 : 標準
時刻表示 : 入
アンテナ設定
居住地域設定
郵便番号設定
通信設定
予約変更自動追従 : 入
自動ダウンロード : 入
自動チャンネル再設定 : 入

らくらく設定※ P.137
テレビを見るために必要な設定が簡単にできます。

チャンネル設定※ P.138
テレビを見るためのチャンネル設定をします。

放送波無効設定 P.137
アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルごとに視聴するかどうかを設定します。

リモコンコード切換 P.147
2台のテレビをご使用の場合、本機のリモコンで同時に動かないようにリモコンコードを切り換えることができます。

表示文字サイズ切換 P.148
チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換えます。

時刻表示 P.148
画面上に時刻を常時表示します。

アンテナ設定※ P.149
地上デジタル放送用アンテナとBS・110度CSデジタル放送用アンテナの受信レベルの確認や、BS・110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナ電源を設定します。

居住地域設定 P.151
お住まいの地域を設定します。

郵便番号設定 P.151
お住まいの地域の郵便番号を設定します。

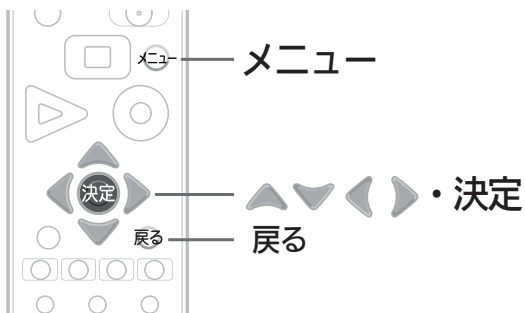
通信設定 P.152
データ放送の双方向通信やネットワークなどを、ブロードバンド回線経由で利用するのに必要な設定をします。

予約変更自動追従 P.156
予約した番組の放送時間が変更されたときに、予約の時間を修正するか、取り消すかを設定します。

自動ダウンロード P.157
電源を切っているとき(電源表示灯が赤:待機状態)に、機能アップや機能改善のためにソフトウェアを自動で書き換えるかどうかを設定します。

自動チャンネル再設定 P.156
地上デジタル放送のチャンネル更新を自動で行うかどうかを設定します。

※外付ハードディスクへ録画中にこの操作はできません。録画が終了するまで待つか、録画を中止してよい場合は **停止** を押し録画を中止してください。

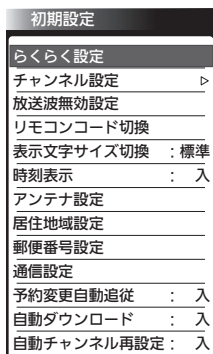


らくらく設定で再設定する

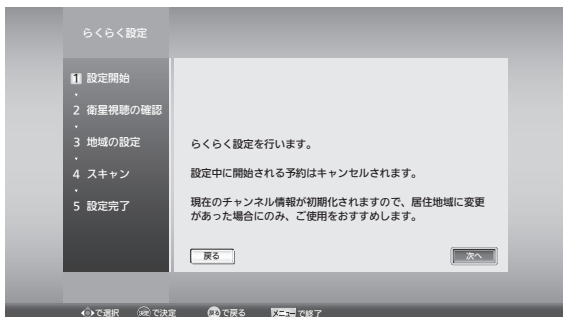
外付ハードディスクへ録画中にこの操作はできません。録画が終了するまで待つか、録画を中止してよい場合は[■]停止を押して録画を中止してください。

1 「初期設定」画面を表示する P.136▶

2 ▲▼で「らくらく設定」を選び、決定を押す



3 「次へ」が選ばれている状態で、決定を押す



4 35~38ページの設定を行う

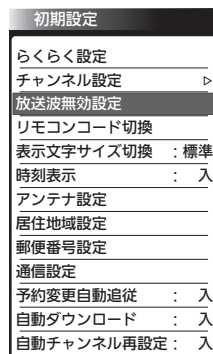
ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」 P.39▶ をご覧ください。

放送波無効設定をする

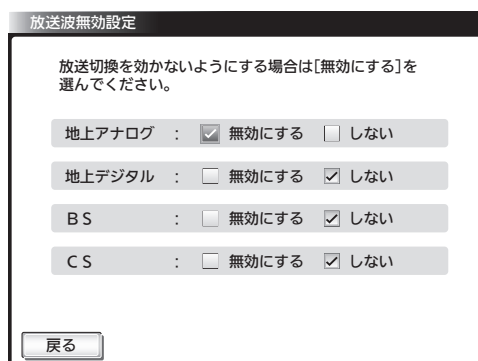
特定の放送波を無効にすることができます。「無効にする」に設定された放送波の放送切換ボタンは、効かなくなります。

1 「初期設定」画面を表示する P.136▶

2 ▲▼で「放送波無効設定」を選び、決定を押す



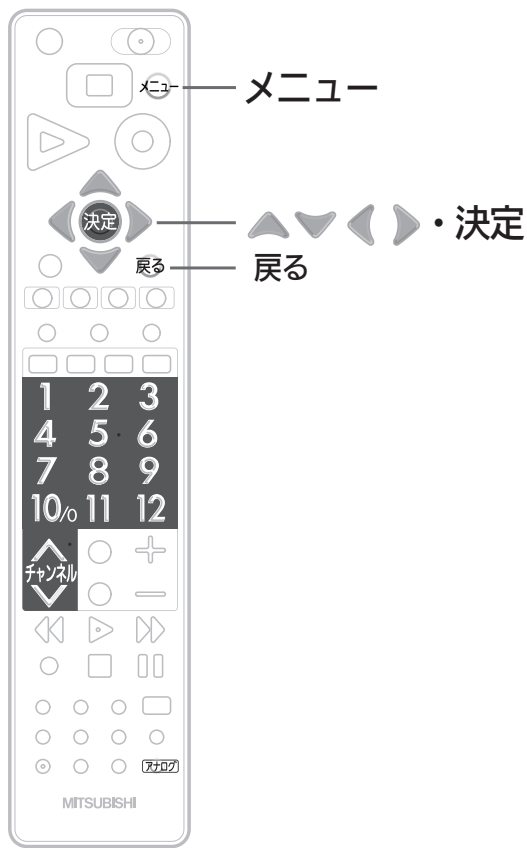
3 ▲▼で無効にしたい放送波を選んでから、◀▶で「無効にする」を選び、決定を押す



4 メニューを押す

初期設定をする
テレビをお好みの設定にする

初期設定をする(つづき)

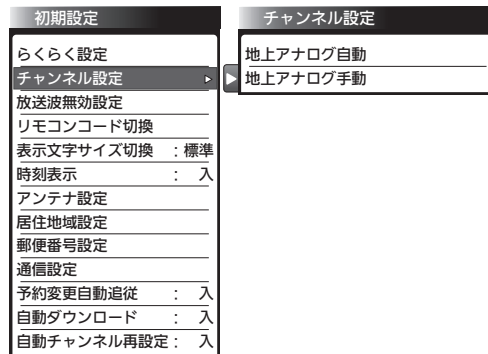


アナログ放送のチャンネル設定をする

ケーブルテレビなどのアナログ放送を見るにはチャンネル設定が必要です。お買い上げ時の「らくらく設定」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。チャンネルは、36個まで設定することができます。外付ハードディスクへ録画中にこの操作はできません。録画が終了するまで待つか、録画を中止してよい場合は **■** 停止 を押し録画を中止してください。

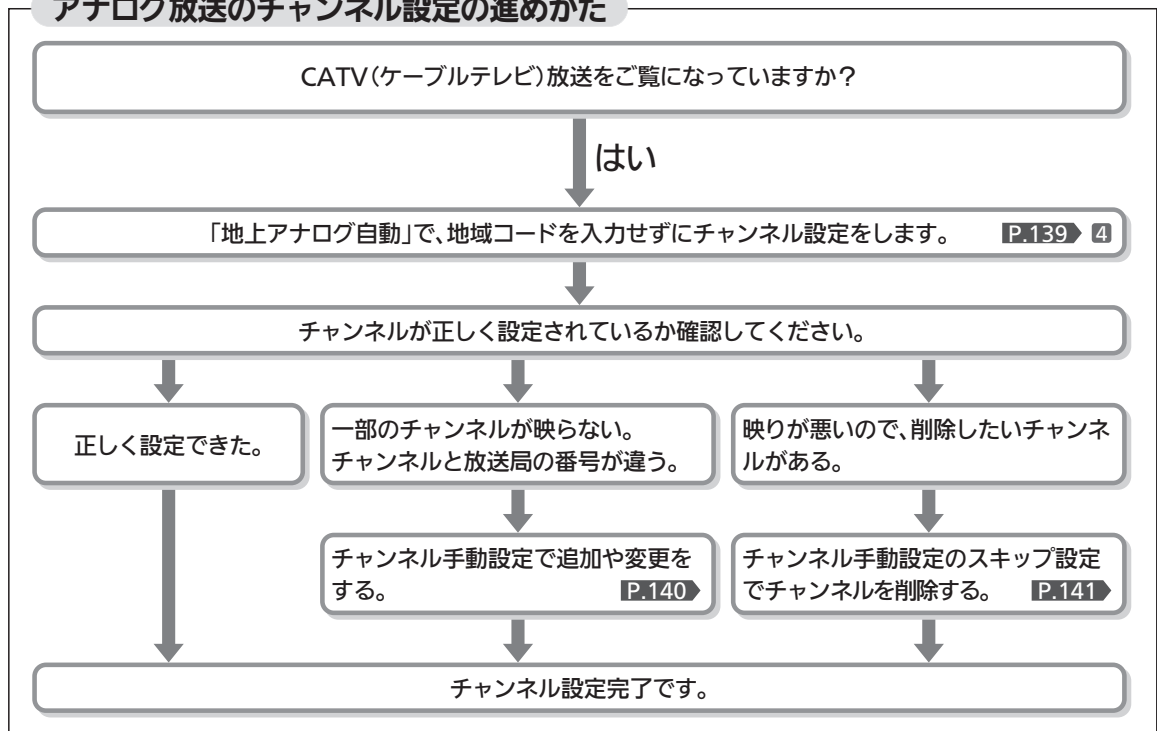
「地上アナログ自動」で設定する

- 1 **アナログ** を押してアナログ放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する **P.136**
- 2 **▲▼** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

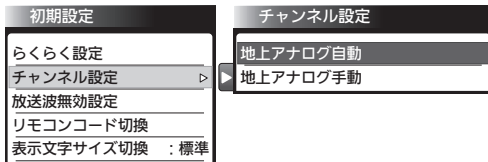


次ページへつづく

アナログ放送のチャンネル設定の進めかた

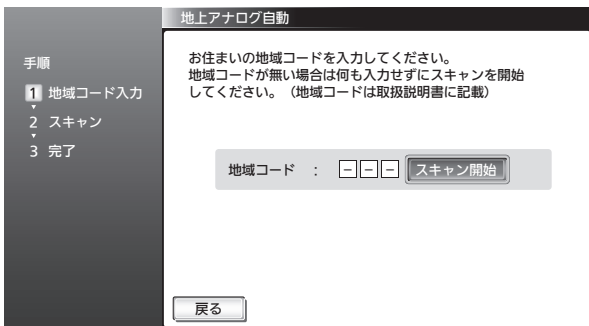


3 ▲▼で「地上アナログ自動」を選び、 決定を押す



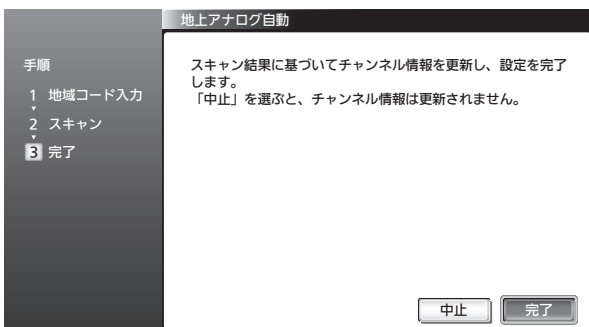
4 「地域コード」を入力せずに(「----」の ままで)、決定を2度押す

入力してしまったときは、◀でカーソルを1ケタ目に戻してから **II** を押すと、「----」になります。



- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

5 自動設定が終わって下の画面が表示されたら、決定を押す



6 チャンネルボタン **1** ~ **12** やチャンネル ▲▼を押してみて、正しく設定され たかどうかを確認する

正しく設定できなかった場合

- 受信できないチャンネルがある場合
 - 画面表示をリモコンのチャンネルボタンに合わせたいとき
 - 映りが悪いので受信したくないチャンネルがある場合
- 「地上アナログ手動」で変更してください。 **P.140**

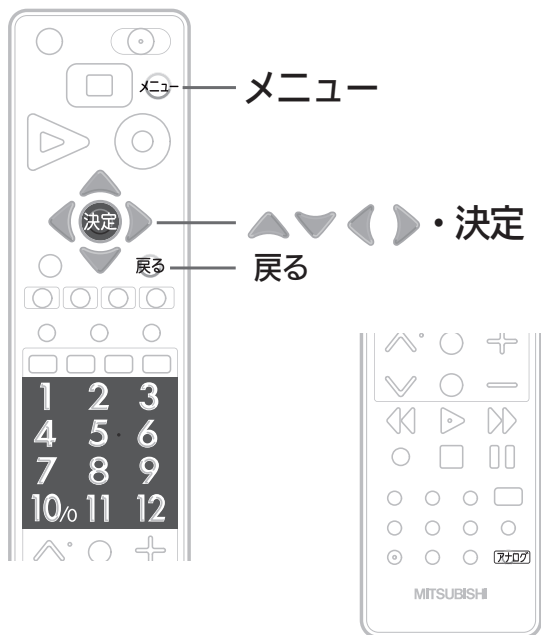
お知らせ

- スキャン中はざらざらした画面(ノイズ)になることがあります。設定が終わるまで、しばらくお待ちください。

「地上アナログ自動」設定の終了後、

- 設定したチャンネルは、**1** ~ **12** またはチャンネル▲▼(順・逆)で選局できます。
- お好みのチャンネルボタンに設定し直したいときや、画面表示をリモコンのチャンネルボタンに合わせたいときは、「地上アナログ手動」で変更してください。 **P.140**

初期設定をする(つづき)

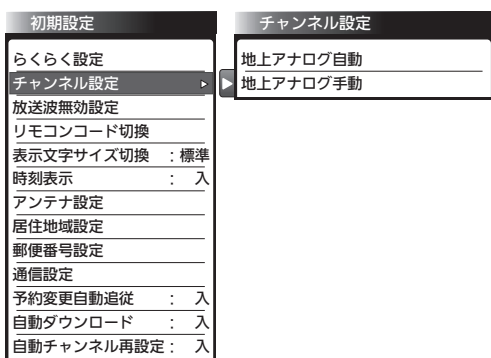


「地上アナログ手動」で設定する

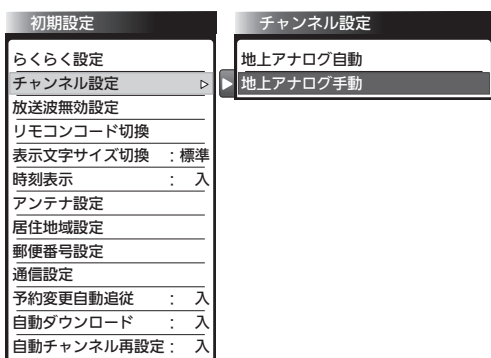
アナログ放送のチャンネルの追加や変更などができます。

1 **[アナログ]** を押してアナログ放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.136

2 **▲▼** で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



3 **▲▼** で「地上アナログ手動」を選び、**決定** を押す



チャンネルの追加や変更をしたいとき

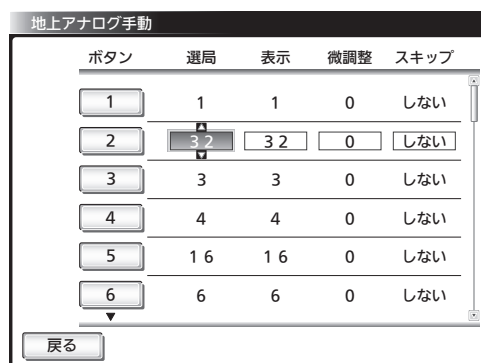
例：リモコンのチャンネルボタン**2**を押したときに、UHF放送の32チャンネルが映るようにする

4 **▲▼** で「ボタン2」を選ぶ



●CATV放送のチャンネル設定をするときや、表示されているボタンに空き番号がないときは、**▼** を押しとスクロールします。チャンネルは36個まで設定できます。

5 **▶** で「選局」を選んでから、**▲▼** で「32」を選ぶ



●「表示」の番号もいっしょに切り換わります。

「選局」と「表示」の番号の選びかた

▲ を押しと次のように切り換わります。

1 → … → 62 → C13 → … → C63

▼ を押しと次のように切り換わります

C63 → … → C13 → 62 → … → 1

次ページへつづく

画面表示をリモコンのチャンネルボタンと合わせたいとき

手順5で表示させた番号と同じでよい場合は、手順6は行いません。

- 6** ▶で「表示」を選んでから、
▲▼で「2」を選ぶ



放送局、中継局の送信周波数がずれているとき 周波数をずらして見やすくするとき

通常は手順7は行いません。色が消えたり、しま模様が出ていたり映像が不安定なときは、見やすくなる場合があります。

- 7** ▶で「微調整」を選んでから、▲▼で
見やすい画面になるように調整する



放送のないチャンネルを飛び越し(スキップ)するとき

「スキップ」を「する」に設定したチャンネルは、チャンネル▲▼で選局するときに飛び越します。

ボタン13~36は、工場出荷時にスキップされています。

例：チャンネルボタン10%をスキップする

- 8** ◀▶で「ボタン」を選んでから、
▲▼で「10」を選ぶ



- 9** ▶で「スキップ」を選んでから、
▲▼で「する」を選ぶ

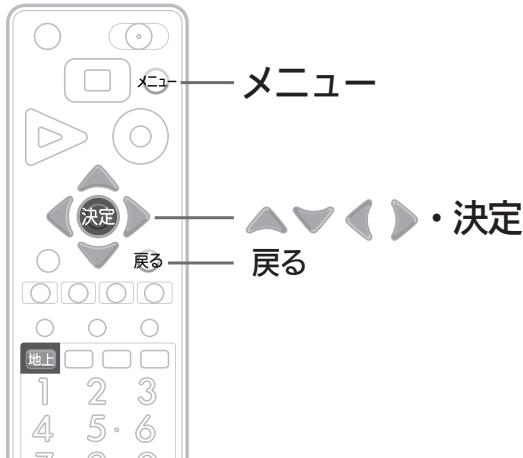


- 10** メニューを押す

初期設定をする

テレビをお好みの設定にする

初期設定をする(つづき)



地上デジタル放送のチャンネル設定をする

転居された場合や、お住まいの地域で放送局の開局・変更があった場合には、チャンネル設定が必要です。地上デジタル放送を見るための、お住まいの地域の情報を取得します。

転居された場合は、「初期スキャン」を行ってください。

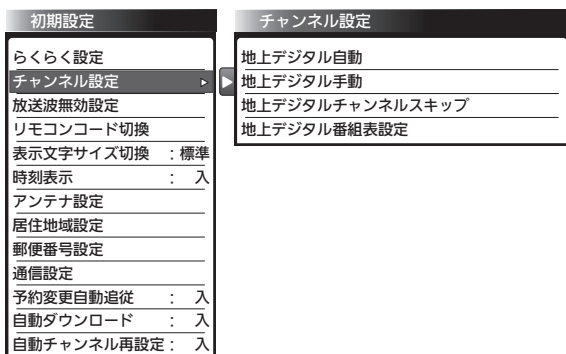
居住地域設定や隣接地域設定で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、テレビからのお知らせ **P.86** でお知らせします。この場合、「再スキャン」を行ってください。自動チャンネル再設定 **P.155** を「入」にしておくと、電源を切っているとき(電源表示灯が赤：待機状態)に本機が自動で「再スキャン」を行います。

外付ハードディスクへ録画中にこの操作はできません。録画が終了するまで待つか、録画を中止してよい場合は **■** 停止 を押し録画を中止してください。

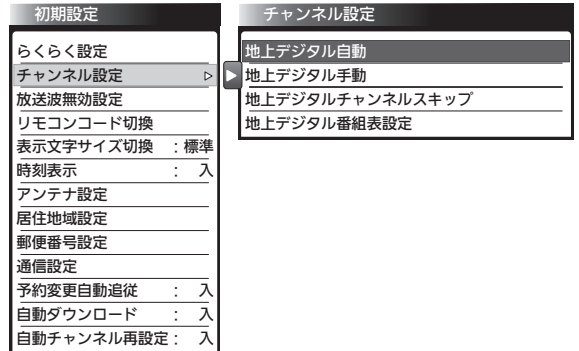
転居したときや、お住まいの地域で放送局の開局・変更があったとき

1 **地上** を押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する **P.136**

2 **決定** を押す



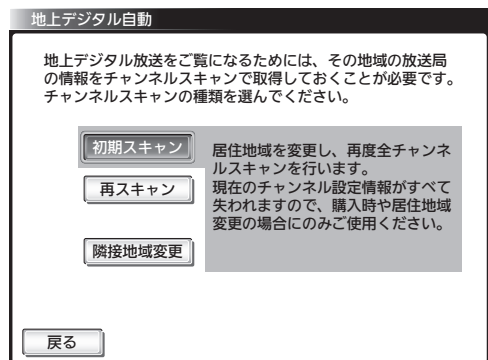
3 **決定** を押す



転居したとき

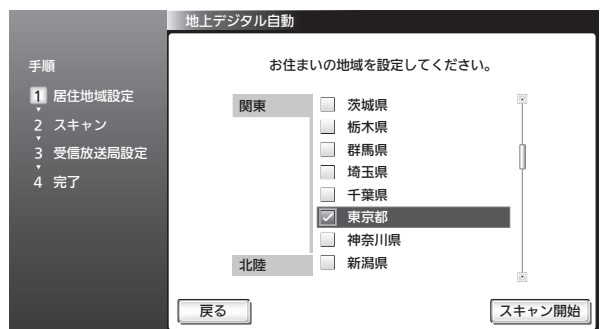
放送局の開局・変更があったときは、手順**4**~**6**は必要ありません。手順**7**に進んでください。

4 **決定** を押す



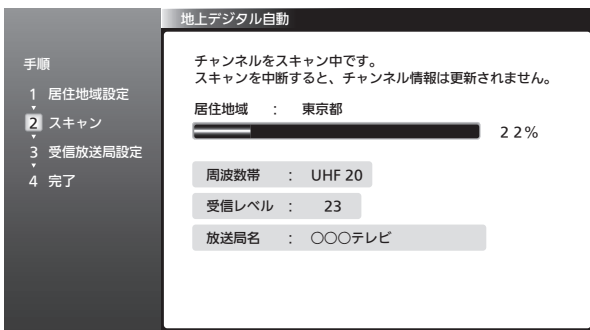
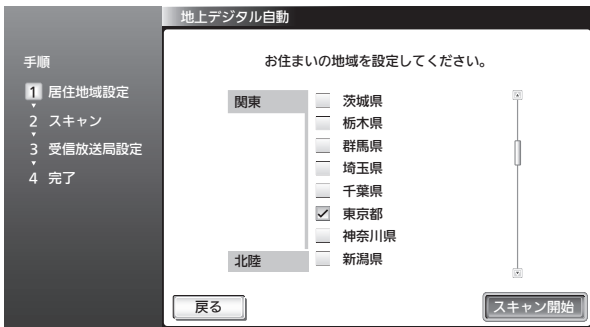
「全情報の初期化」**P.159** をしたあとには、「居住地域を設定し、全チャンネルスキャンを行います」と表示されます。

5 **決定** を押す



次ページへつづく

6 ▶ で「スキャン開始」を選び、決定を押す

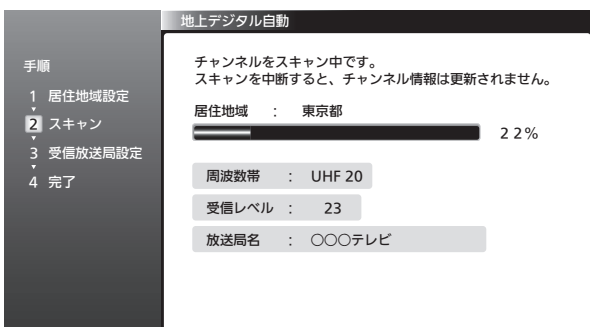
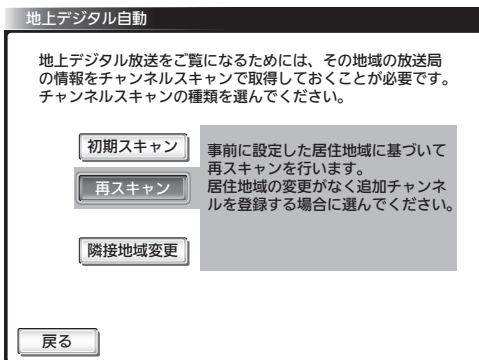


- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

放送局の開局・変更があったとき

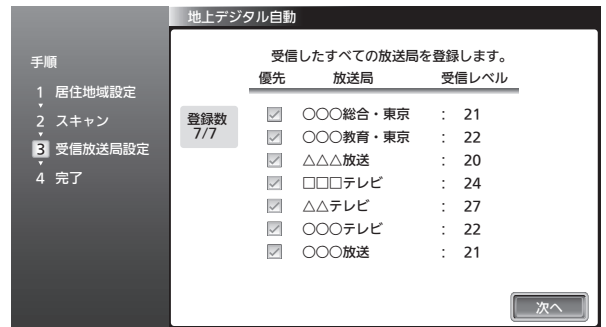
手順4～6を行った場合、手順7は必要ありません。

7 ▲ ▼ で「再スキャン」を選び、決定を押す

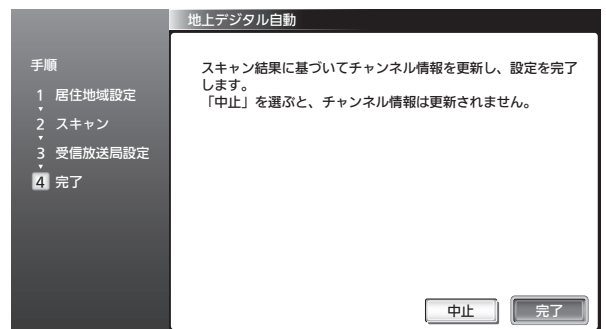


- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

8 受信した放送局を確認し、決定を押す



9 「完了」が選ばれていることを確認し、決定を押す



- 決定を押すと、手順3の画面に戻ります。

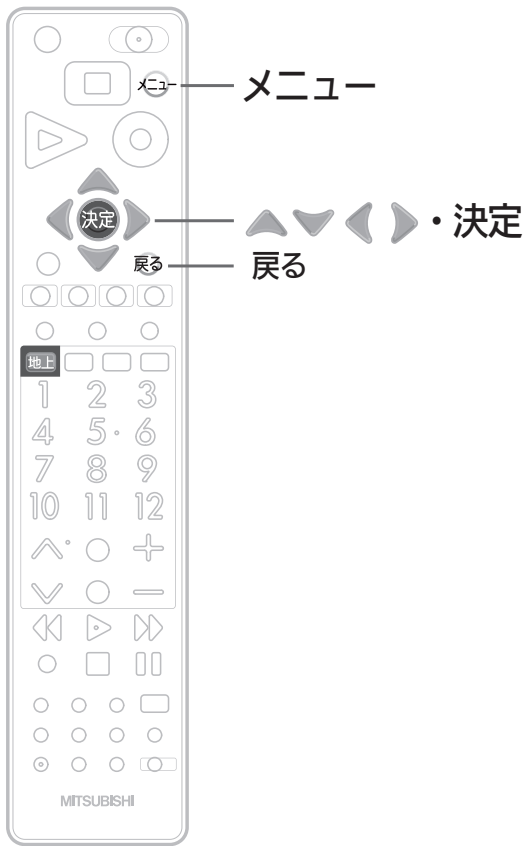
10 メニューを押す

お知らせ

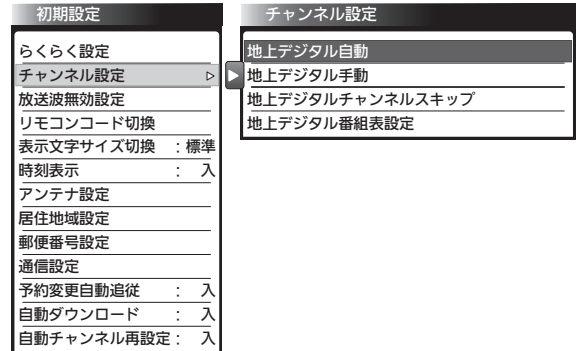
- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、
 - アンテナが正しく接続されていない
 - 受信レベルが小さい
 の可能性があります。アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の電波状況をご確認ください。
- 放送のない時間帯に設定を行うとチャンネルが登録されませんので、放送のある時間帯に行ってください。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」
P.39 をご覧ください。

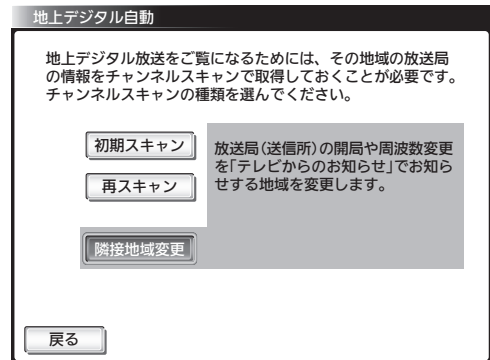
初期設定をする(つづき)



3 ▲▼で「地上デジタル自動」を選び、**決定**を押す



4 ▲▼で「隣接地域変更」を選び、**決定**を押す

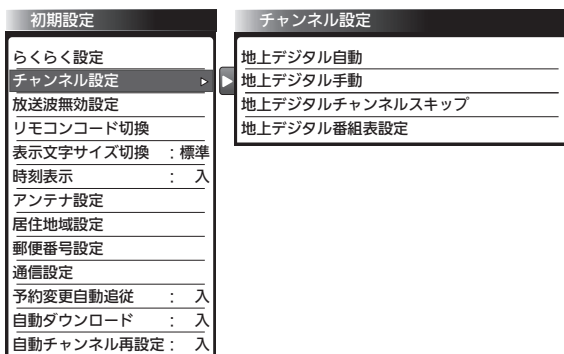


隣接地域を変更したいとき

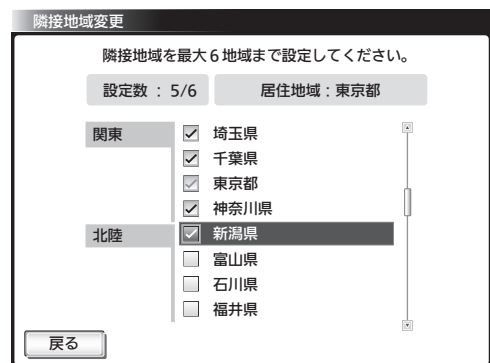
隣接地域に指定すると、開局・変更情報がテレビからのお知らせで受け取れるようになります。隣接地域は、「らくらく設定」や「初期スキャン」で居住地域を設定したときに自動的に選ばれますが、お住まいの地域に合わせ変更することもできます。

1 **地上**を押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する **P.136**

2 ▲▼で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す



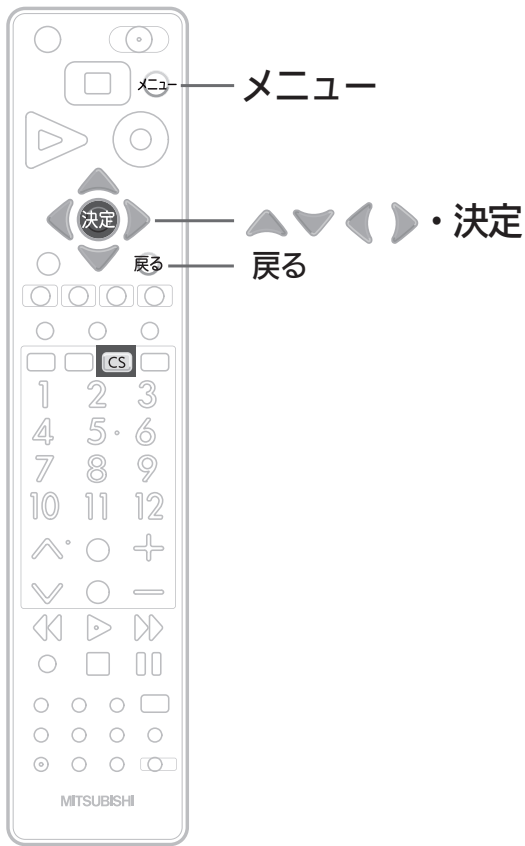
5 ▲▼で隣接地域を選んでから、**決定**を押して、をつける



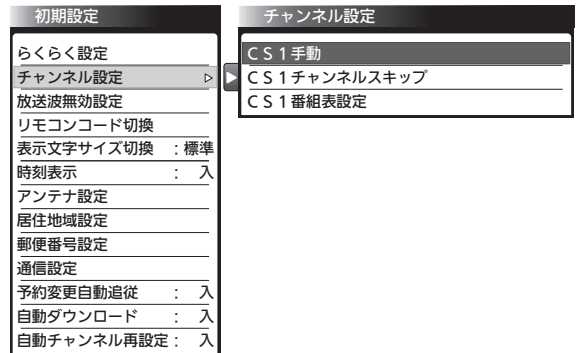
設定できる地域は、最大6地域までです。

■ 設定されている地域を削除したいときは ▲▼で削除したい地域を選んでから、**決定**を押して、をはずす

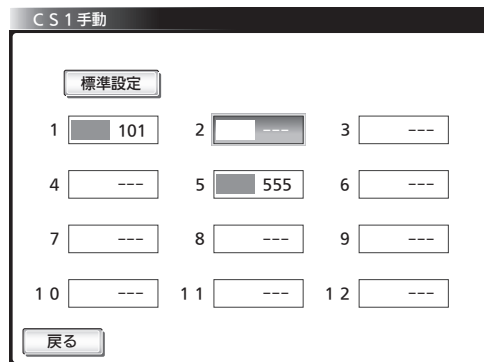
6 **メニュー**を押す



3 ▲▼で「CS1手動(またはCS2手動)」を選び、決定を押す

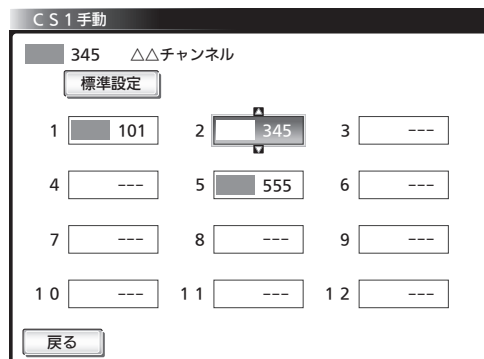


4 ▲▼◀▶で設定したいリモコン番号を選び、決定を押す



- 「—」のボタンが、チャンネルが設定されていないボタンです。
- ▲▼◀▶で「標準設定」を選んで決定を押すと、本機が自動で設定する状態に戻ります。

5 ▲▼で追加したいチャンネルを選び、決定を押す



6 設定が終わったら、メニューを押す

リモコンにデジタル放送のチャンネルを追加する

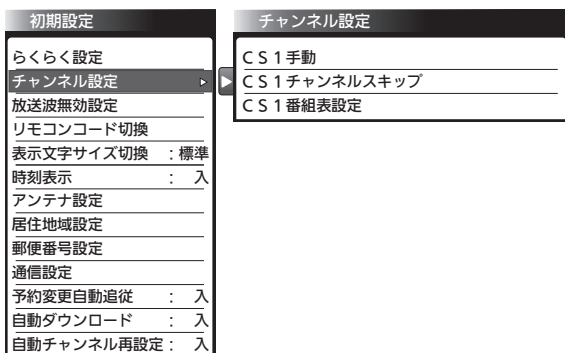
リモコンの1～12ボタンにチャンネルが設定されていないボタンがあるとき、チャンネルを追加することができます。

また、設定されているチャンネルを、お好みで別のチャンネルに変更できます。

例：110度CSデジタル放送のチャンネルを追加するとき

1 [CS]を押してCS1またはCS2を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す



初期設定をする
テレビをお好みの設定にする

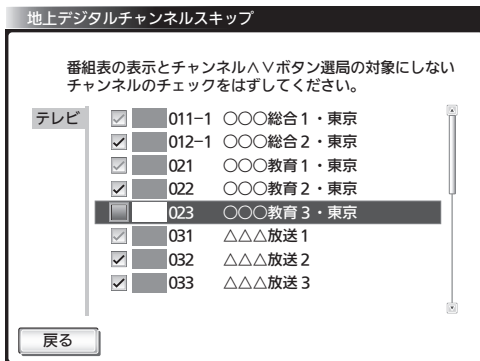
初期設定をする(つづき)

チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する

デジタル放送の視聴しないチャンネルや同じ内容のチャンネルをチャンネル \blacktriangle \blacktriangledown ボタンで選局するときに飛び越し(スキップ)したり、番組表から削除できます。

例：地上デジタル放送のチャンネルをスキップするとき

- 1 **地上** を押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.136
- 2 \blacktriangle \blacktriangledown で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す
- 3 \blacktriangle \blacktriangledown で「地上デジタルチャンネルスキップ」を選び、**決定** を押す
- 4 \blacktriangle \blacktriangledown でスキップしたいチャンネルを選んでから、**決定** を押して をはずす



- チャンネルをスキップすると、 が に変わります。
- がついていないチャンネルは、チャンネル \blacktriangle \blacktriangledown ボタンで選局するときにスキップされ、番組表から削除されます。
- 1～12 に設定されているチャンネルはスキップできません。
- がグレーのチャンネルは、1～12 ボタンにも設定されているチャンネルです。
- が黄色のチャンネルは、1～12 ボタンには設定されていないチャンネルです。

5 **メニュー** を押す

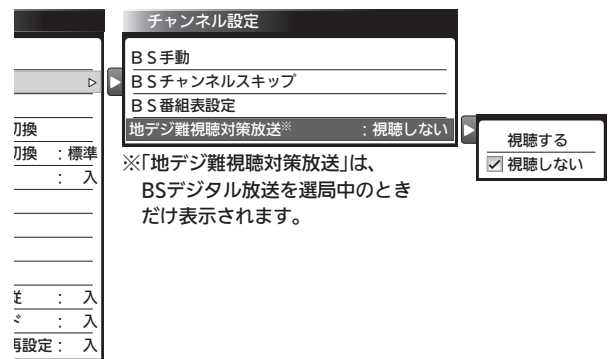
お知らせ

- 同じチャンネルでは、チャンネル \blacktriangle \blacktriangledown ボタンのスキップ設定と番組表の表示設定を異なる設定にはできません。
- 放送局によっては、時間帯ごとに複数(2～3程度)のチャンネルで同一の内容を放送したり、それぞれのチャンネルで別の内容を放送する場合があります。スキップ設定する場合は、番組表などで放送内容を確認してから行ってください。
- 複数チャンネルで同一の内容を放送している場合は、自動的にスキップされます。

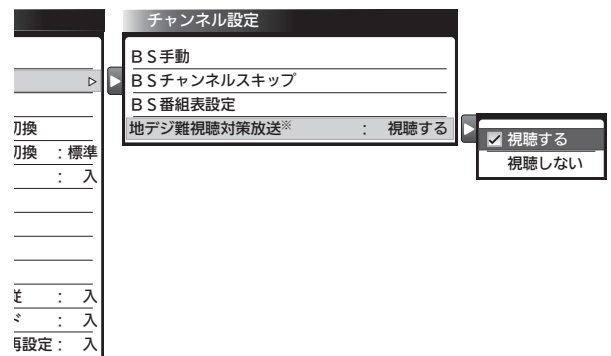
地デジ難視聴対策衛星放送を選局対象にする

地デジ難視聴対策衛星放送の利用対象地区にお住まいの場合、地デジ難視聴対策衛星放送を視聴するには、利用申込みと下記設定が必要です。

- 1 **BS** を押してBSデジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.136
- 2 \blacktriangle \blacktriangledown で「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す
- 3 \blacktriangle \blacktriangledown で「地デジ難視聴対策放送」を選び、**決定** を押す



- 4 \blacktriangle \blacktriangledown で「視聴する」を選び、**決定** を押す



- チャンネル \blacktriangle \blacktriangledown ボタン、番組表、ジャンル検索などの選択対象となります。

5 **メニュー** を押す

リモコンコードを切り換える

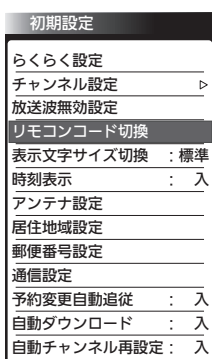
本機の近くに他の当社製テレビを設置している場合は、リモコンコードを切り換えるとリモコンの誤動作を防げます。

工場出荷時は「リモコン1」に設定されています。

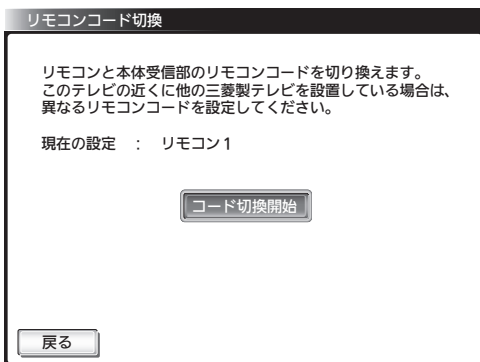
例：リモコン1からリモコン2に切り換えるとき

1 「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「リモコンコード切替」を選び、決定を押す

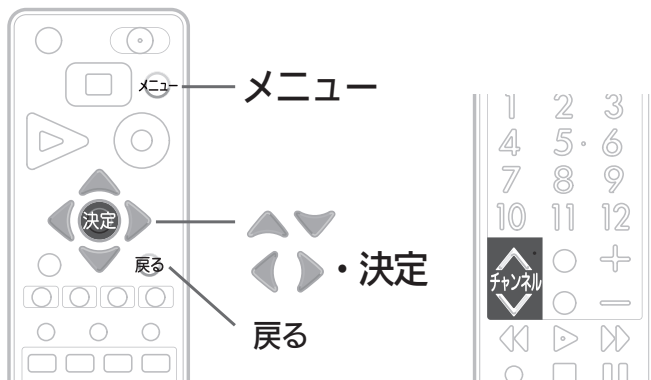
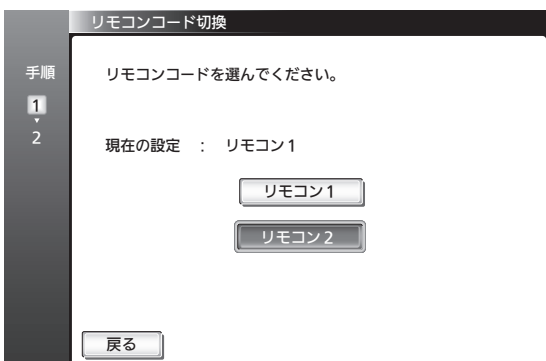


3 「コード切替開始」が選ばれていることを確認し、決定を押す



4 ▲▼で「リモコン2」を選び、決定を押す

- テレビ側がリモコン2に設定されます。



5 チャンネル▼と決定を同時に押してリモコン側もリモコン2に設定する

- リモコン側のコード切替方法は、リモコン背面にも記載しています。

[コードの切り換え方法]

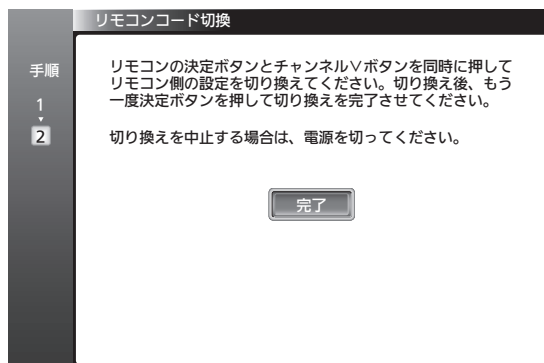
次のボタンと決定を同時に3秒以上押す。

リモコン1・・・チャンネル▲

リモコン2・・・チャンネル▼

- 同時押しは、しっかり3秒以上の長押しを行ってください。時計を見ずに感覚で秒数を数える場合は実際の時間より短くなることがありますので、十分余裕を持って押し続けてください。

6 もう一度決定を押す



- リモコンコードが変更されると、手順2の画面に戻ります。画面が切り換わらない場合は、再度手順5の操作をしてください。

- リモコンコード切替を中止したいときは、決定を押さずに、本体側面にある電源ボタンで電源を入れ直してください。

手順5を行った後の場合は、チャンネル▲と決定を同時に押してリモコン側のコードを元に戻します。

7 メニューを押す

お知らせ

テレビ側とリモコン側でリモコン1、リモコン2が一致していないと、リモコンでの操作はできません。その場合は画面右下にテレビ側で設定されているコードを示すアイコン P.194 が表示されますので、それに合わせてリモコン側の設定を変更してください。

初期設定をする(つづき)

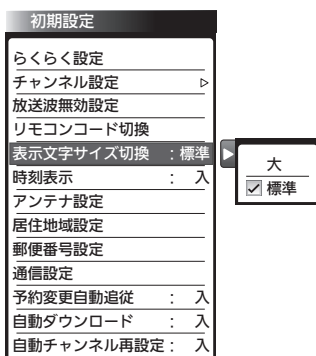
チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える

番組のチャンネル番号、映像や音声の種類、現在時刻などの文字サイズを切り換えることができます。

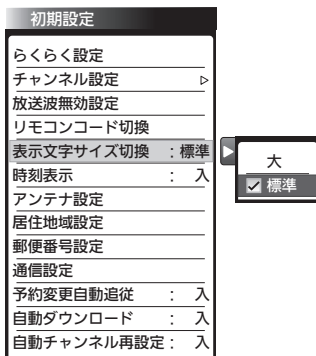
外付ハードディスクへ録画中にこの操作はできません。録画が終了するまで待つか、録画を中止してよい場合は、**停止**を押して録画を中止してください。

1 「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「表示文字サイズ切替」を選び、**決定**を押す



3 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す



4 **メニュー**を押す

お知らせ

画面表示ボタン **P.52** を押したときに表示される次の表示については、文字サイズを切り換えられません。

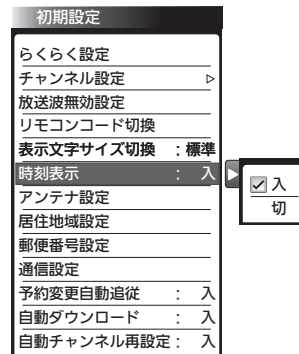
- ・ 節電メーター
- ・ 画面サイズ
- ・ 明るさセンサー
- ・ 未読のお知らせの有無
- ・ オンタイマー

時刻を常時表示する

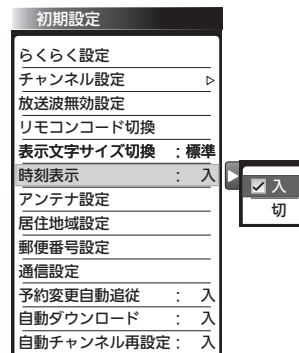
画面上に時刻を常時表示します。

1 「初期設定」画面を表示する P.136

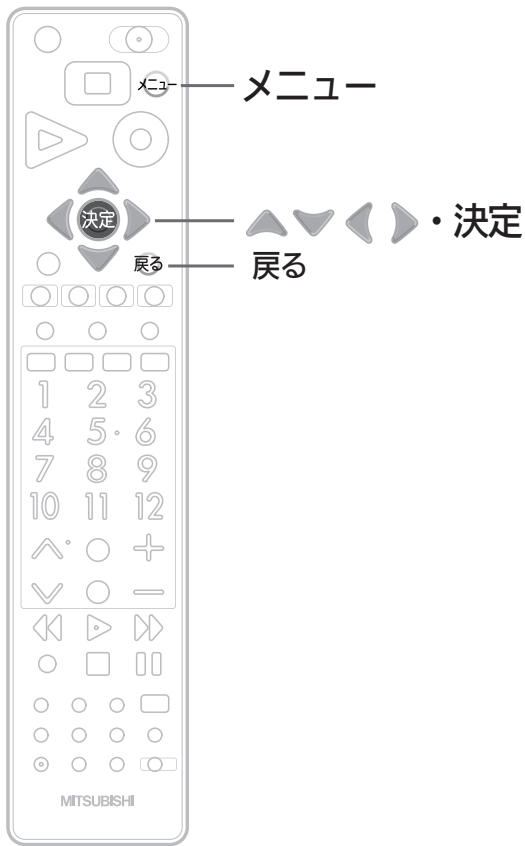
2 ▲▼で「時刻表示」を選び、**決定**を押す



3 ▲▼で設定を選び、**決定**を押す



4 **メニュー**を押す



アンテナ設定をする

デジタル放送用のアンテナを最初に設置するときや転居したときなどは、受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。また、BS・110度CSアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定が必要です。

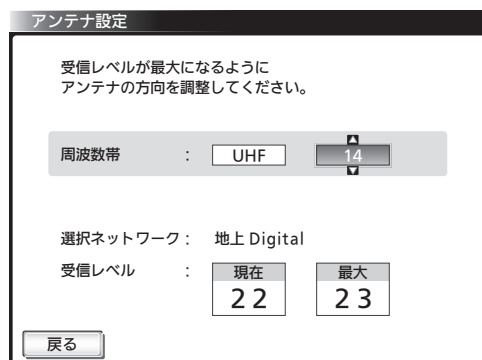
地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき

- 1 **地上** を押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.136
- 2 **▲▼** で「アンテナ設定」を選び、**決定** を押す



受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

- 3 受信レベルを確認する



- 4 **メニュー** を押す

お知らせ

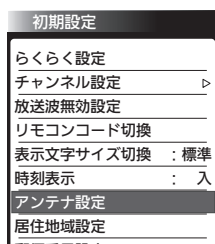
受信レベルで表示される数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きく外れることがあります。地上デジタル放送の受信可能地域については、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター P.180 へお問い合わせください。

初期設定をする(つづき)

BS・110度CSアンテナを接続したとき

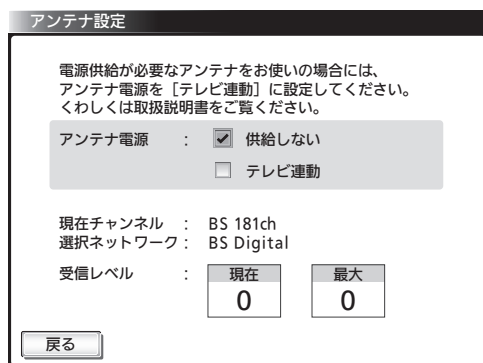
1 **[BS]** を押してBSデジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する **P.136**

2 ▲▼で「アンテナ設定」を選び、**決定**を押す



BS・110度CSアンテナの接続先によって、アンテナ電源の設定を選びます。

3 ▲または▼で設定を選び、**決定**を押す



供給しない

他の機器からBS・110度CSアンテナへの電源供給をしている場合や、マンションなどで共同受信している場合を選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給しません。

テレビ連動

BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合を選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機の電源と連動して本機から供給します。

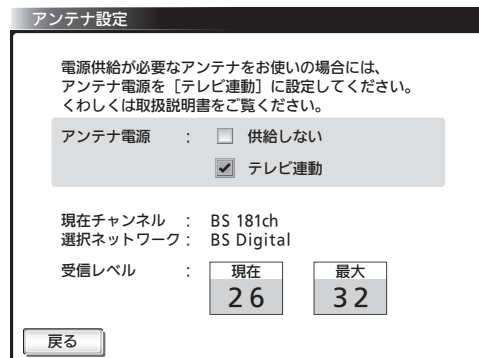
BS・110度CSデジタル放送をレコーダーで録画される場合は、「テレビ連動」にしないでください。本機が電源「切」のとき録画ができなくなります。

お知らせ

- アンテナ電源の設定を「テレビ連動」にした場合でも、電源を切っているとき(電源表示灯が赤:待機状態)は、本機からアンテナ電源を供給しません。内部処理のためアンテナ電源が維持されることがありますが一時的なものです。
- 受信レベルは天候などの影響を受け、上下することがあります。
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。

受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

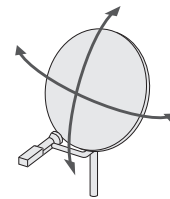
4 受信レベルを確認する



最大

受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。受信レベルが26以上になると、表示が緑色に変わります。これを目安にしてアンテナの方向を決めます。

最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

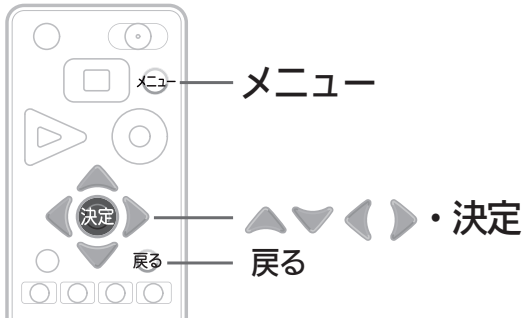


現在

この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。

5 **メニュー**を押す

- アンテナ線の芯線と編組線およびそれらにつながる部分が接触すると、アンテナ電源を「テレビ連動」に設定しても自動的に「供給しない」に切り換わり、アンテナ電源を「テレビ連動」に設定できなくなります。電源プラグを抜いて、アンテナ線を確認してください。 **P.189** 「BS・110度CSデジタル放送が映らない」電源プラグを差し直すと、アンテナ電源の設定を行うことができます。



居住地と郵便番号を設定する

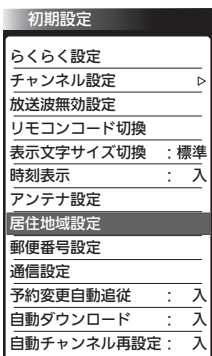
デジタル放送の文字スーパーやデータ放送による臨時放送は、地域によって放送される内容が異なります。お住まいの地域の情報を受信するために、居住地と郵便番号を設定してください。

郵便番号は、お買い上げ時の「らくらく設定」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。

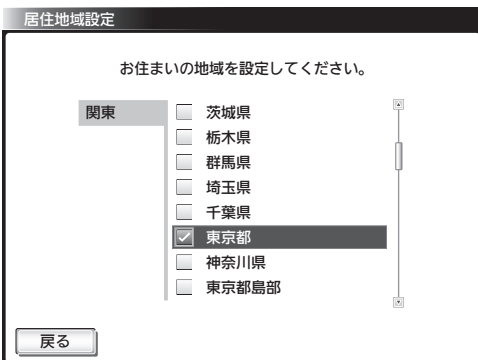
1 「初期設定」画面を表示する P.136

居住地設定

2 ▲▼で「居住地設定」を選び、決定を押す



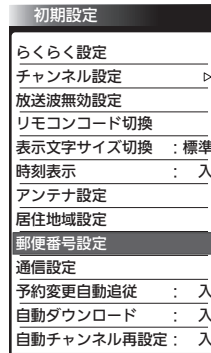
3 ▲▼でお住まいの地域を選び、決定を押す



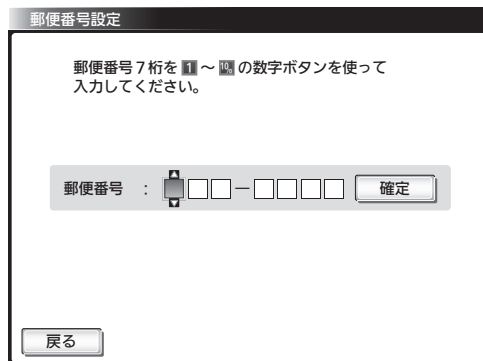
4 戻るを押す

郵便番号設定

5 ▲▼で「郵便番号設定」を選び、決定を押す



6 1 ~ 10%でお住まいの地域の郵便番号を入力する



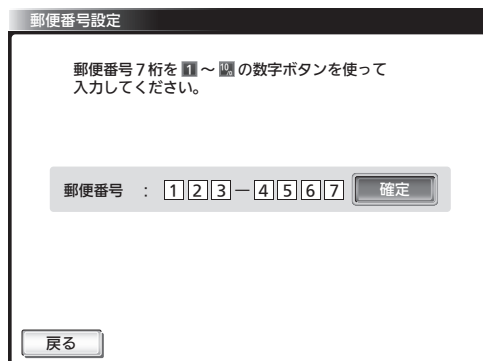
■ 「0」を入力するときは

10%を押す

■ 間違えたときは

◀で戻って、入力し直してください

7 「確定」が選ばれていることを確認し、決定を押す



8 設定が終わったら、メニューを押す

初期設定をする
テレビをお好みの設定にする

初期設定をする(つづき)

LAN端子を使用するときの設定(通信設定)

データ放送の双方向通信や「ネットワーク」などを、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。プロバイダや回線事業者との契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

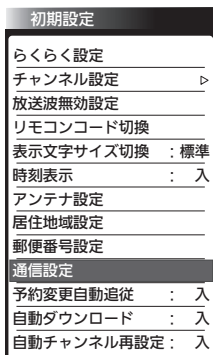
設定内容はプロバイダや回線事業者の提供するサービス内容やお使いになっている機器によりますので、わからない場合はプロバイダや回線事業者へまずお問い合わせください。

DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

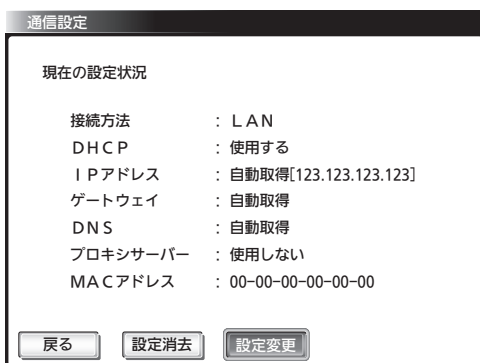
家庭内ネットワーク対応のサーバ機器を直接つなぐ場合 **P.31** は、この設定をします。

1 「初期設定」画面を表示する **P.136**

2 ▲▼で「通信設定」を選び、**決定**を押す



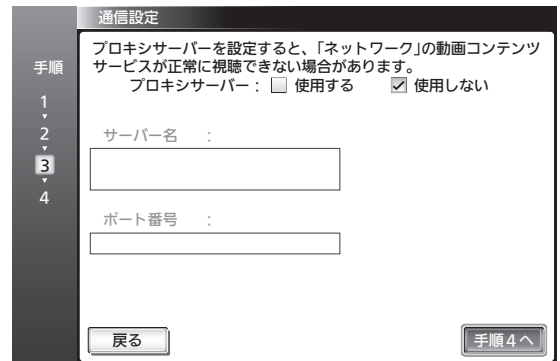
3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、**決定**を押す



4 「使用する」にチェックマークがあることを確認して、▼で「手順3へ」を選び、**決定**を押す



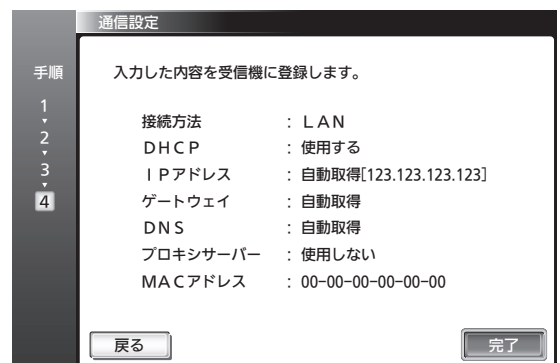
5 ▼で「手順4へ」を選び、**決定**を押す



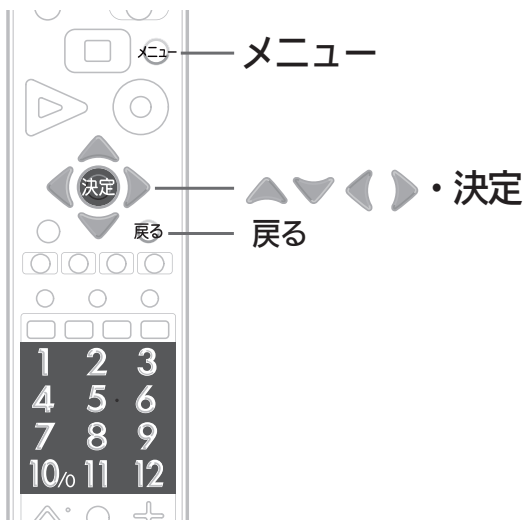
お知らせ

- プロバイダや回線事業者よりプロキシサーバーの指定がある場合は、**P.155** をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。

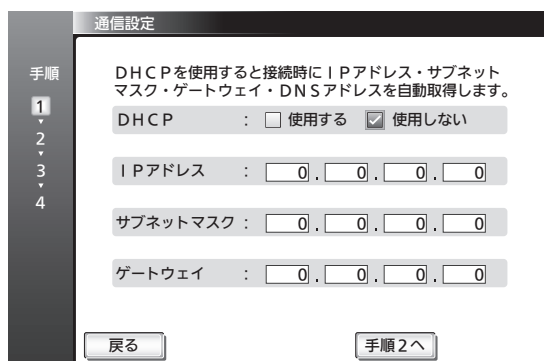
6 「完了」が選ばれていることを確認して、**決定**を押す



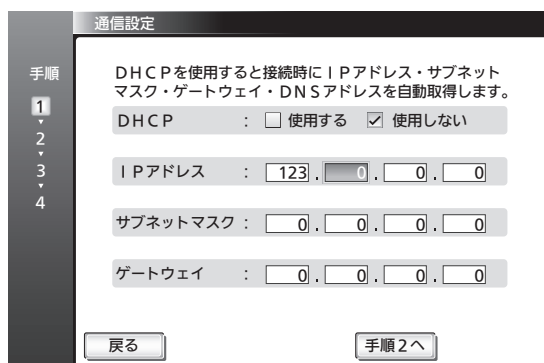
7 **メニュー**を押す



4 ▶ で「使用しない」を選び、決定を押す



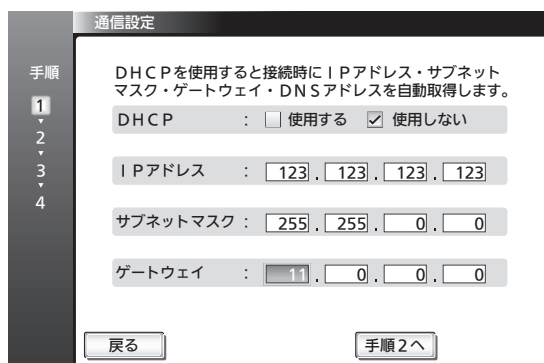
5 ▼ で「IPアドレス」を選び、1 ~ 10%の数字ボタンで入力する



■ 間違えたときは

◀ で戻って、入力し直してください

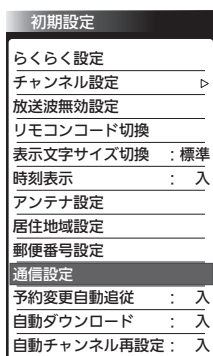
6 同様に「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」にも、必要に応じて入力する



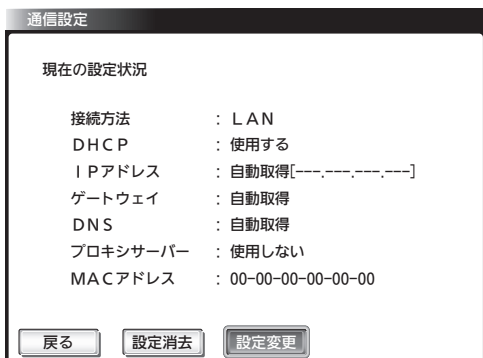
必要な情報を手動で入力する場合

1 「初期設定」画面を表示する P.136▶

2 ▲▼ で「通信設定」を選び、決定を押す



3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定を押す



初期設定をする
テレビをお好みの設定にする

▶ 次ページへつづく

初期設定をする(つづき)

7 ▼で「手順2へ」を選び、決定を押す

通信設定

手順

DHCPを使用すると接続時にIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。

DHCP : 使用する 使用しない

IPアドレス : 123 . 123 . 123 . 123

サブネットマスク : 255 . 255 . 0 . 0

ゲートウェイ : 111 . 222 . 111 . 222

戻る 手順2へ

10 ▼で「手順3へ」を選び、決定を押す

通信設定

手順

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : 使用する 使用しない

DNSアドレスプライマリ : 123 . 1 . 1 . 123

DNSアドレスセカンダリ : 12 . 123 . 123 . 123

戻る 手順3へ

8 DNS設定が必要な場合、 ◀で「使用する」を選び、決定を押す

通信設定

手順

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : 使用する 使用しない

DNSアドレスプライマリ : 0 . 0 . 0 . 0

DNSアドレスセカンダリ : 0 . 0 . 0 . 0

戻る 手順3へ

11 ▼で「手順4へ」を選び、決定を押す

通信設定

手順

プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。
プロキシサーバー : 使用する 使用しない

サーバー名 :

ポート番号 :

戻る 手順4へ

9 ▼で「DNSアドレス」を選び、 1 ~10%の数字ボタンで入力する

通信設定

手順

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : 使用する 使用しない

DNSアドレスプライマリ : 123 . 0 . 0 . 0

DNSアドレスセカンダリ : 0 . 0 . 0 . 0

戻る 手順3へ

■ 間違えたときは
◀で戻って、入力し直してください

お知らせ

- プロバイダや回線事業者よりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.155をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。

12 「完了」が選ばれていることを確認して、 決定を押す

通信設定

手順

入力した内容を受信機に登録します。

接続方法 : LAN

DHCP : 使用しない

IPアドレス : 123.123.123.123(255.255. 0. 0)

ゲートウェイ : 111.222.111.222

DNS : 123. 1. 1.123 12.123.123.123

プロキシサーバー : 使用しない

MACアドレス : 00-00-00-00-00-00

戻る 完了

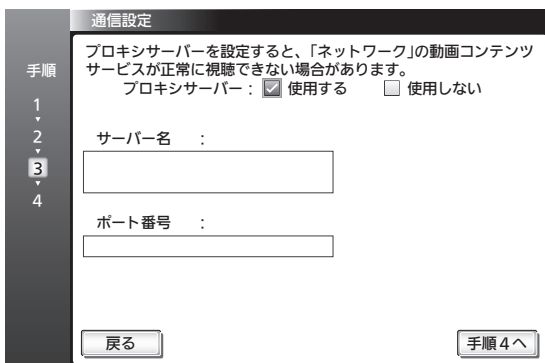
13 メニューを押す

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

お知らせ

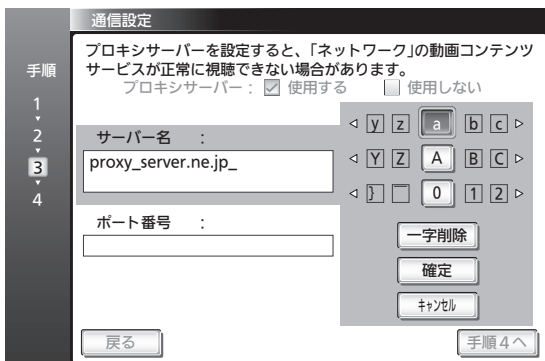
プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。

1 152ページ手順5、または154ページ手順11のとき、◀で「使用する」を選び、決定を押す



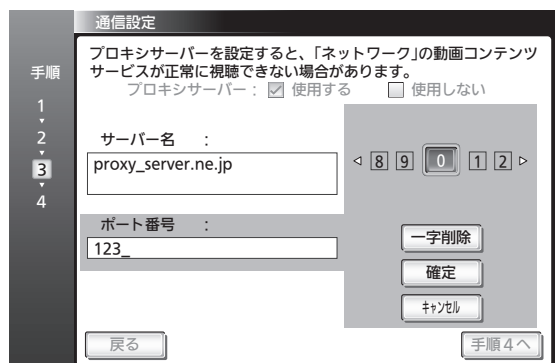
2 「サーバー名」を入力する

- ▼で「サーバー名」を選び、決定を押す
- ▲▼で「ローマ字(小文字)」「ローマ字(大文字)」「数字/記号」を選ぶ
- ◀▶で文字(数字)を選び、決定を押す
 - ②～③をくり返して入力します。
 - 数字は1～10の数字ボタンでも入力できます。
 - 間違えたときは▲▼◀▶で「一字削除」または「キャンセル」を選び決定を押して、入力し直してください。
- ▼で「確定」を選び、決定を押す

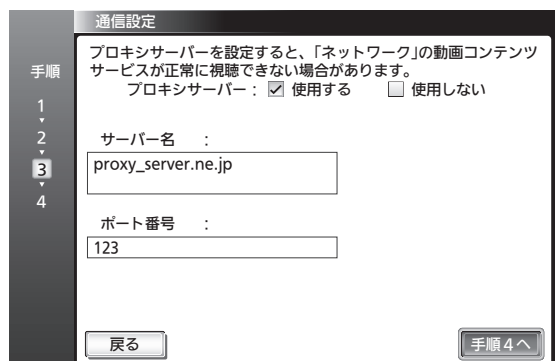


3 「ポート番号」を入力する

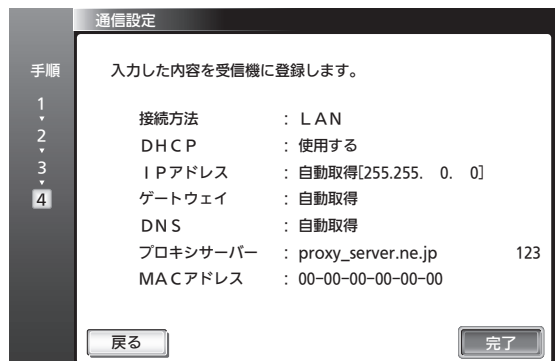
- ▼で「ポート番号」を選び、決定を押す
- ◀▶で数字を選び、決定を押す
 - 1～10の数字ボタンでも入力できます。
 - 間違えたときは▲▼◀▶で「キャンセル」を選び決定を押して、入力し直してください。
- ▼で「確定」を選び、決定を押す



4 ▼で「手順4へ」を選び、決定を押す



5 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す



6 メニューを押す

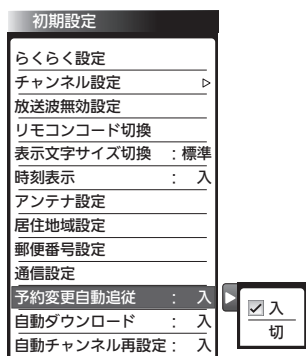
初期設定をする(つづき)

放送時刻の変更に対応する(予約変更自動追従)

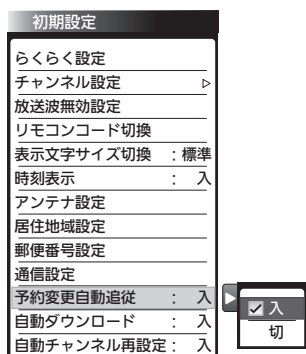
スポーツ番組の延長などで、予約していた番組の放送開始時刻が繰り下がったときに、自動的に視聴予約の開始時刻を修正するように設定できます。

1 「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「予約変更自動追従」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「入」… 予約開始時刻を自動で修正します。
「切」… 予約を取り消します。

4 メニューを押す

お知らせ

- 放送局が送信する放映時刻情報を受信して、3時間以内の繰り下げであれば対応します。
- 番組によっては、放映時刻情報がない場合があります。その場合は予約開始時刻を修正できません。
- 予約開始時刻が自動的に修正されることで、他の予約と重複することがあります。
- リアリンクでの録画予約はレコーダーの設定によります。

地上デジタル放送のチャンネル再設定を変更する

受信障害を解消することを目的に地デジ放送チャンネルの変更が行われます。

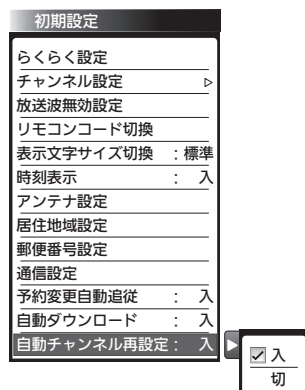
変更にあわせチャンネル設定を自動で追従変更するかどうかの設定ができます。

「切」にすると、チャンネル変更が行われたときに手動で設定を変更 P.142 する必要があります。

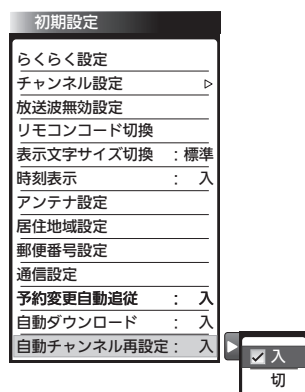
地デジ放送チャンネルの変更についての詳しい情報は、総務省テレビ受信者支援センター <http://digisuppo.jp/index/repack/> をご覧ください。

1 「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「自動チャンネル再設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「入」… 自動で変更します。
「切」… 自動で変更しません。

4 メニューを押す

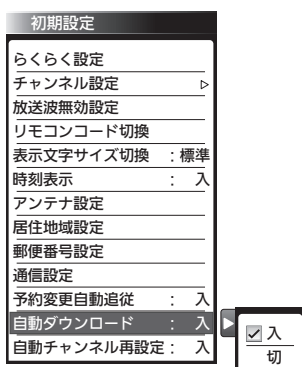
ダウンロード設定をする

ダウンロードとは、電源を切っているとき(電源表示灯が赤:待機状態)に、デジタル放送電波を使ってソフトウェアを自動的に書き換える機能です。この機能により、新しい放送環境に合わせて機能アップや機能改善を行うことができます。

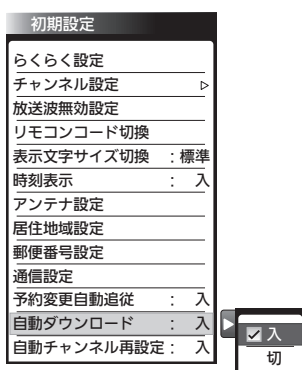
工場出荷時は、自動でダウンロードを行う設定になっていますので、お客さまによる操作や設定は不要です。

1 「初期設定」画面を表示する P.136

2 ▲▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す



3 ▲▼で設定を選び、決定を押す



「入」… 本機の制御プログラムを最新の内容に自動で書き換えます。

「切」… 本機の制御プログラムを書き換えません。

4 メニューを押す

ダウンロードについて

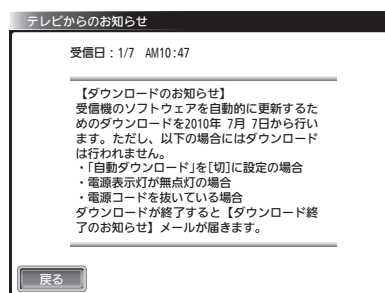
ダウンロードはいつ行われるの？

ダウンロードは、製品出荷後、適時実施してまいります。お客さまにダウンロード実施時期および期間はお知らせしておりません。本機をご使用になっていない場合にも、電源表示灯が赤の状態(待機状態)にさせていただくことをおすすめします。ケーブルテレビ(CATV)でもダウンロードは行われます。同じようにお使いください。

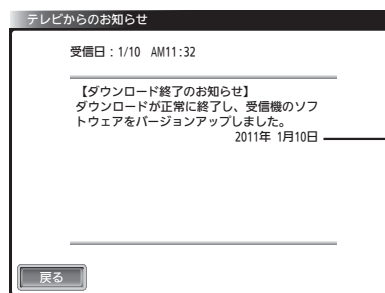
ダウンロードが行われるとき

- 「ダウンロードのお知らせ」が届きます。お知らせが届くと本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「未読あり」と表示されます。

※お知らせの見かたについては P.90 をご覧ください。



- ダウンロード実施期間中に、デジタル放送電波を使って、1日に数回、数分間程度のソフトウェアが送信されます。ダウンロードは本機が電源スタンバイ中に、そのソフトウェアを受信して自動的に書き換えます。
- ダウンロードが成功すると「ダウンロード終了のお知らせ」が届きます。



ダウンロードの実施日

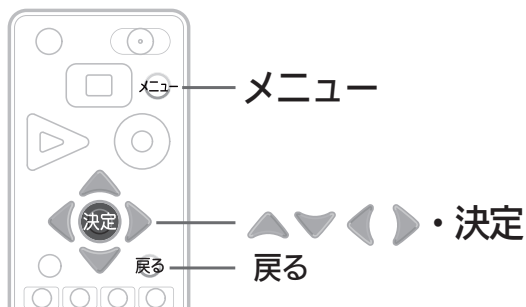
以下のような場合にはダウンロードが行われません

- 電源プラグが抜かれたり、本体の電源ボタンで「切」になっている(電源表示灯が無点灯)
- アンテナの受信レベルが20以下になっている P.90
- 「自動ダウンロード」の設定が「切」になっている
- 電源が「入」(電源表示灯が緑)のとき

■ ダウンロードによって、本機のソフトウェアが更新されたとき、この取扱説明書に記載されている画面や文言と本機が一致しなくなることがあります。

設定を初期化する

一部の設定または全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。



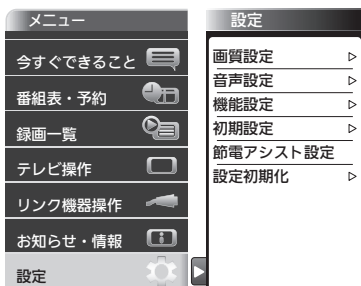
一部の設定を初期化する

画質設定、音質設定、ヘッドホンの音質設定、PC設定、「ネットワーク」に関する内容を、別々に工場出荷時の状態に戻します。

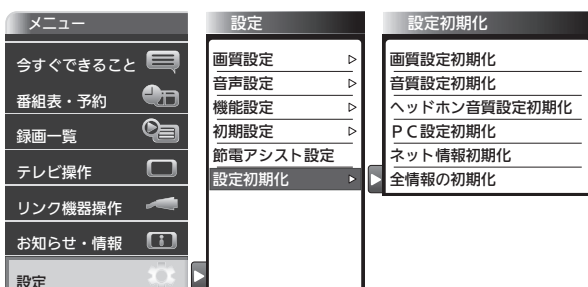
例：「ネットワーク」に関する内容を初期化するとき

1 **メニュー** を押す

2 **▲▼** で「設定」を選び、**決定** を押す



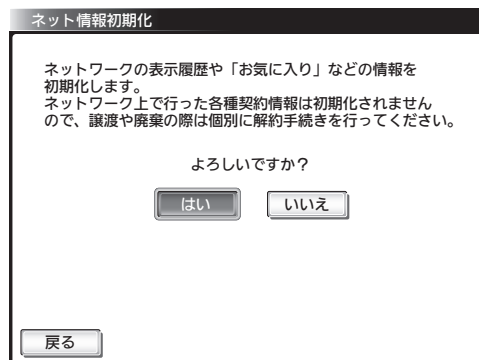
3 **▲▼** で「設定初期化」を選び、**決定** を押す



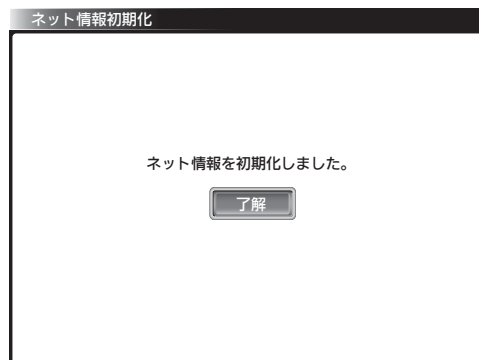
4 **▲▼** で「ネット情報初期化」を選び、**決定** を押す



5 **◀▶** で「はい」を選び、**決定** を押す



6 下の画面が表示されたら、**決定** を押す

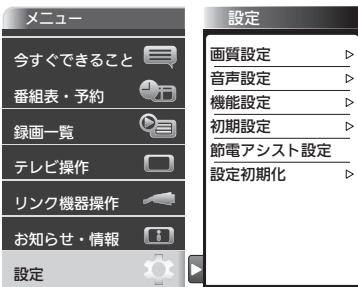


7 **メニュー** を押す

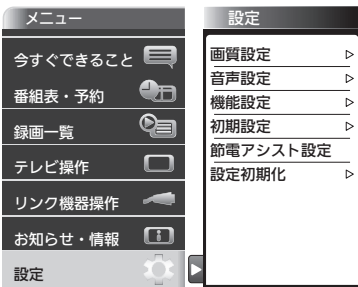
すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、工場出荷時の状態に戻します。本機を譲渡するときや廃棄するとき以外には、実行しないでください。

1 メニューを押す



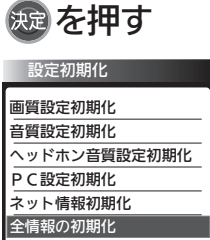
2 ▲▼で「設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「設定初期化」を選び、決定を押す



4 ▲▼で「全情報の初期化」を選び、決定を押す



5 ▲▼で「すべての設定を初期化」を選び、決定を押す

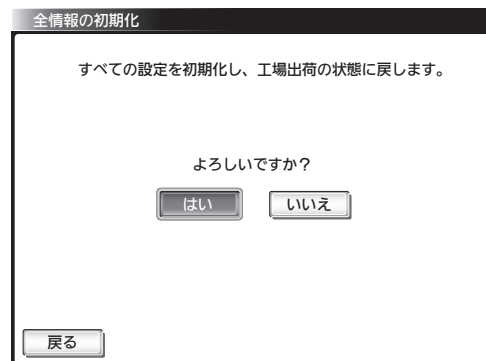
「すべての設定を初期化」… すべての設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。外付ハードディスクの登録情報 **P.164** も初期化(消去)されます。登録情報を初期化すると登録済みのハードディスク内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。

「ハードディスク登録情報を残して初期化」… 登録したハードディスクの再生をできるようにして工場出荷状態に戻すときに選びます。

「初期化しない」… 初期化しないときに選びます。

- ご注意
- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」をすることをおすすめします。
 - データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

6 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す



- 約1分で初期化が完了します。
- 完了すると「らくらく設定」画面になります。
 - ・引き続き放送をご覧になるには、そのまま「らくらく設定」**P.35**を行ってください。
 - ・本機をご使用にならない場合は、そのまま電源をお切りください。

お知らせ

リモコンコードをリモコン2に設定 **P.147** されている場合、テレビ側の設定はこの操作によりリモコン1になりますので、リモコンでの操作ができなくなります。リモコンのチャンネル **■** と同時に決定ボタンを押して、リモコン側もリモコン1にすると操作ができます。

設定を初期化をする
テレビをお好みの設定にする

外付ハードディスクをつないで録画を楽しむ

外付ハードディスクをご使用になる際は、以下をお読みになり十分ご理解いただいた上でご使用ください。

- 本機は、裏録(外付ハードディスクへの録画中に他の放送を見ること)はできません。
- 外付ハードディスク録画を使用すると、視聴予約はできなくなります。 **P.165**

外付ハードディスクについて

- 本機で使用可能なハードディスクは、容量が2TBまでです。
- ハードディスクをお使いになるには、本機に登録 **P.164** が必要です。
登録の際ハードディスクに保存されたデータはすべて消去されます。
- 本機に登録できるハードディスクは8台までです。
- 本機で録画した番組とパソコンのデータを共存させることはできません。
本機で番組を録画したハードディスクをパソコンで、またはパソコンでデータを保存したハードディスクを本機でお使いになる際は、初期化が行われ録画した番組や保存したデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- ハードディスクは非常に精密な機器です。丁寧にお取り扱いください。
- ハードディスクは録画内容の恒久的な保管場所ではありません。
一時的な保管場所としてお使いください。万一録画内容が失われましても当社は補償いたしません。
大切な番組の録画には、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなど、他の機器にも録画することをおすすめします。
 - ハードディスクは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
 - ハードディスクに異常が発生した場合、ハードディスクの録画内容は失われます。
 - 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、ハードディスクが寿命近くになっています。
 - ・再生できない、再生一時停止をくり返す
 - ・ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する
 - ・映像が乱れる
- 本機と接続試験を行ったハードディスクは当社ホームページ(http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/ctv/feature/external_hdd.html)をご覧ください。
接続試験を行ったハードディスクでも、設定により録画・再生ができない場合があります。
- USBハブ(ひとつのUSB端子を複数のUSB端子に変換する機器)は使用できません。
- 本機で録画した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では視聴できません。万一本機が故障し主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合でもハードディスクに録画した番組は見られなくなりますのでご了承ください。
- 万一何らかの不具合により正常に録画されなかった場合や、録画内容を正常に再生できなくなった場合などの録画内容の補償はできません。

■ 次のようなことは行わないでください。

- ハードディスクが動作中にUSBケーブルを抜かない。
- ハードディスクが動作中に本体の電源ボタンで「切」にしたり、本機の電源コードを抜かない。

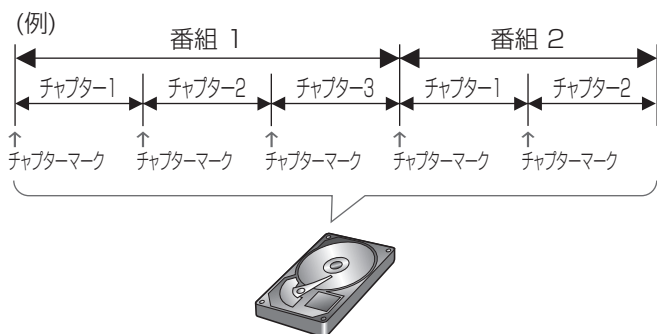
ハードディスクの故障やデータが消失する恐れがあります。

- 「ハードディスクの取外し」については、 **P.179** をご覧ください。

ハードディスクは、ハードディスクに付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

ハードディスクに録画された番組の構成

「番組」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。



チャプターは10分毎に作成されます。追加・削除はできません。

およその録画時間(目安)

500GBのハードディスクの場合

地上デジタル(HD放送)	約60時間
BSデジタル(HD放送)	約43時間
BSデジタル(SD放送)	約86時間

- 録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。
- 映りの悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画した場合、実際に録画できる時間は短くなります。
- 本機に接続できるハードディスクは、容量2TBまでです。(1TB=1000GB)

同時操作について

テレビを見ているときに予約録画の時間になると

- 放送視聴中のとき _____ 録画する番組に切り換わり、録画が始まります。録画が終わるまで他の番組に切り換えることはできません。
- 外部入力視聴中のとき _____ そのままで、録画が始まります。
- ハードディスクの再生中のとき _____
- ネットワークのホームページ / 動画視聴中のとき _____ 今やっていることは終了し、元の外部入力や録画する番組に切り換わり、録画が始まります。
- 家庭内ネットワークの静止画 / 動画表示中のとき _____ 録画する番組に切り換わった場合、録画が終わるまで他の番組に切り換えることはできません。
- SDカードの静止画 / 動画表示中のとき _____

ハードディスクに録画しているときにテレビを見ると

- デジタル放送視聴 _____ 録画している番組だけが見られます。
- 外部入力視聴 _____ 見られません。
- アナログ放送視聴 _____ これらの画面には切り換えられません。
- ネットワークのホームページ / 動画表示 _____
- 家庭内ネットワークの静止画 / 動画表示 _____
- SDカードの静止画 / 動画表示 _____

ハードディスクに録画しているときにハードディスクを操作すると

- ハードディスクの再生 _____ できます。
- ハードディスクの追っかけ再生 _____
- ハードディスクへの一発録画 _____ できません。
- ハードディスクへの予約録画 _____

ハードディスクをつないでできる録画

本機に外付ハードディスクを接続することで、デジタル放送のテレビ番組が録画できます。

お願い!

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

私的目的で録画したもので、著作権者等に無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。

■ 次の番組、映像や音声は録画できません。

- データ放送、ラジオ放送
- 外部入力
- ネットワーク(動画配信サービス)
- SDカードに記録されたもの

ケーブルテレビ(CATV)をご利用の場合、パススルー方式(本機のアンテナ端子につないで視聴)であれば録画できます。HDMI端子、ビデオ端子など外部入力につないで視聴されている場合は録画できません。

録画の種類

一発録画：今見ている番組を簡単に録画する **P.166**
リアリンクで録画機器がつながっているときは、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「一発録画設定」を「外付ハードディスク」にしておいてください。 **P.127**

予約録画：番組表や番組検索から予約する
(番組指定予約) **P.167**
録画する時刻を指定して予約する
(時刻指定予約) **P.169**
予約が重なったとき優先して録画される予約
(優先予約) **P.168**

録画中にできないこと

- 別番組の録画(一発録画、予約録画共)
…優先予約の録画が開始される場合は、録画を中断して優先予約を実行します。
- ネットワーク(動画配信サービス)

録画についての制限事項

- 8時間を越える録画はできません。
- 500番組を超える録画はできません。
- コピー制限のある番組は録画できません。
※コピー制限のある番組は、番組内容を表示 **P.62** して「録画不可」と表示のある番組です。

予約についての制限事項

- 番組指定予約、時刻指定予約を合わせて、32件を超える予約はできません。

予約をしたときの本機の動き

■ 予約があるときは

本体の電源ボタンで「切」にしたり電源コードを抜いたりしないでください。また、電源スイッチのあるハードディスクをご使用の場合は、ハードディスクの電源も切らないようにしてください。

■ 予約録画を開始するとき

約3分前…… ハードディスクが動作を開始します。
稼働音やインジケーターが点灯する場合があります。
約10秒前 … 視聴中は録画準備中の表示が出て、しばらくすると録画を開始します。

■ 予約録画を終了するとき

視聴中は「録画終了」の表示がでます。

■ 録画中は

電源表示灯が緑と赤に交互点灯します。電源が「入」のときと「スタンバイ」のときで点灯する間隔が異なります。

予約が重なった場合

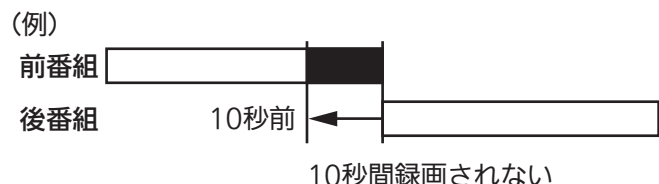
予約が重なっている場合は、予約一覧画面 **P.171** で重なっている予約に**重複**が表示されます。(前番組の予約の終了時刻と後番組の予約の開始時刻が同じ場合を除く)

下図の **■**、**▨** 部分は録画されません。

連続予約(重複なし)

■ 前番組の予約終了時刻と後番組の予約開始時刻が同じ場合

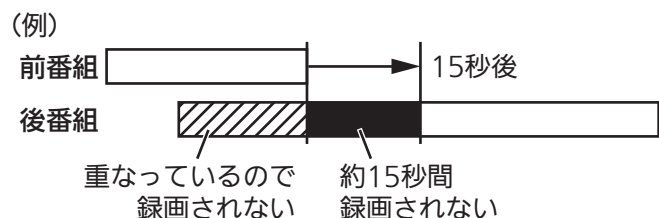
- 前番組の終了10秒前になったら前番組の予約を終了し後番組の予約を開始します。
- 前番組の終了10秒前から終了までの部分は録画されません。



重複予約(通常予約同士)

■ 前番組の予約終了時刻が後番組の予約開始時刻より遅い場合

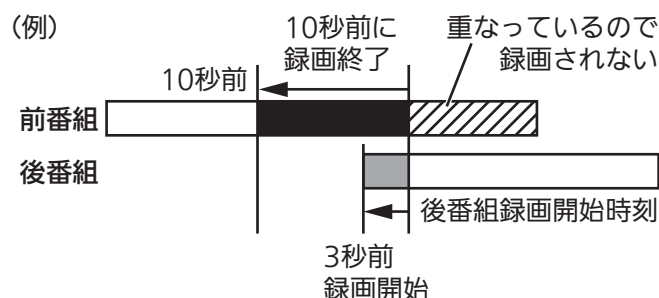
- 前番組の終了後、後番組の予約準備を行います。前番組終了から15秒後、後番組の予約を開始します。
- 前番組の終了後、約15秒間後番組は録画されません。



重複予約(優先予約)

■ 前番組の予約終了時刻が後の優先予約番組の予約開始時刻より遅い場合

- 後の優先予約番組の開始時刻10秒前に前番組の録画を終了し録画準備を開始します。
- 後の優先予約番組の開始時刻3秒前から録画を開始します。
- 前番組は、後番組開始時刻10秒前以降録画されません。



お知らせ

視聴予約と録画予約は重複しません。ハードディスク録画機能を使用中は視聴予約はできません。

複数のハードディスク録画予約の優先順位

- ① 優先予約番組
- ② 開始時間の早い番組
- ③ 番組指定予約の番組
- ④ 予約種別が、指定日>毎週>毎日の番組
- ⑤ CS1>CS2>BS>地上の番組
- ⑥ CS1、CS2、BSで、3桁のチャンネル番号が小さい番組または、地上の番組表表示順で左側の番組

※ハードディスクへの一発録画と録画予約の優先度は同一です。

予約がキャンセルされる時

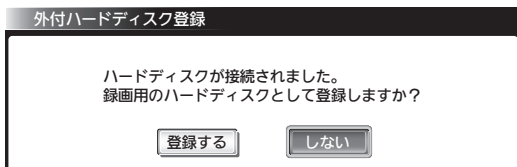
- ハードディスク未フォーマット状態またはハードディスク未接続のとき
- 停電があって、停電復帰時刻が予約終了時刻を過ぎていた場合(予約終了時刻前に復帰した場合は、そこから予約開始し、予約終了時刻まで録画されます。)
- 予約番組開始時刻変更
 - …録画番組の予約変更自動追従 **P.156** が「切」で、
 - ① 番組開始時刻が変更されたとき
 - ② 番組が消滅したとき
- 予約番組開始時刻変更
 - …録画番組の予約変更自動追従 **P.156** が「入」で、
 - ① 予約番組が消滅したとき
 - ② 開始時刻が3時間以上延びたとき
- 受信障害(BSでの降雨状態など)

※予約がキャンセルされたときは、テレビからのお知らせでお知らせします。 **P.86**

ハードディスクを登録する

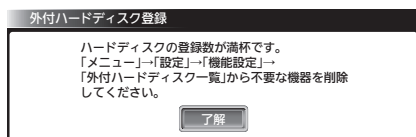
1 ハードディスクをUSBケーブルで本体側面にある専用のUSB端子に接続する P.32

外付ハードディスク登録画面が表示されます。

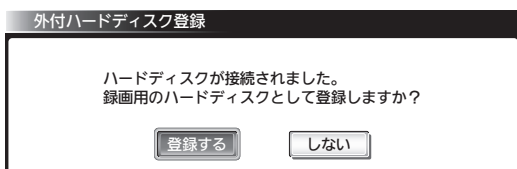


登録すると本機でしか使えなくなります。同一形名の当社モデルでも登録(初期化-録画された番組の消失)し直さないと使用できません。

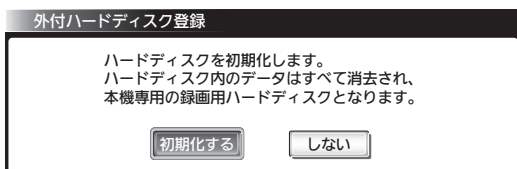
- しばらく設定中やネットワーク画面表示中にハードディスクを接続した場合は、すぐに登録画面は出ませんが、しばらく設定などを終了したあとで登録画面が表示されます。
- すでに登録済みのハードディスクをつなぎ直したときは、登録画面は表示されません。
- すでに登録数が8つの状態で9つ目の登録となる場合は、下の画面が表示されます。決定を押したあと、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「外付ハードディスク一覧」で不要な機器を削除してください。 P.178



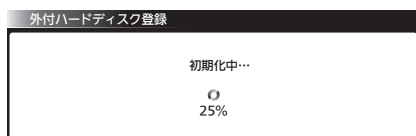
2 ◀で「登録する」を選び、決定を押す



3 ◀で「初期化する」を選び、決定を押す

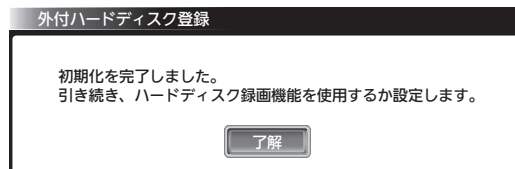


- ハードディスクの初期化が始まり、下の画面が表示されます。



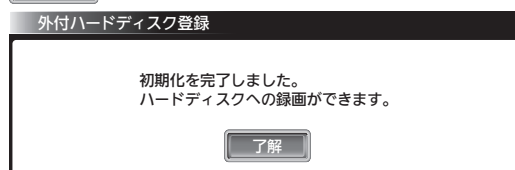
4 下の画面が表示されたら、決定を押す

初めてハードディスクをつなぐとき(「外付ハードディスク録画設定」P.165が「使用しない」の場合)



次のページの手順5へ

すでに「外付ハードディスク録画設定」P.165が「使用する」の場合



元の画面に戻ります。

お知らせ

- リモコンが使えないときに登録画面が表示された場合は、リモコンの▲▼◀▶、決定の代わりに本体側面の入力切替、チャンネル、音量ボタンで操作することができます。

ハードディスクへの録画機能を使用する

ハードディスクへ録画するには必ずこの設定を行う必要があります。

ハードディスクへの録画機能を「使用する」に設定すると視聴予約は使用できなくなり、視聴予約が全て取り消されます。逆に「使用しない」に設定すると視聴予約が使用できるようになりますが、ハードディスクへの録画はできなくなり録画予約が全て取り消されます。

1 を押す

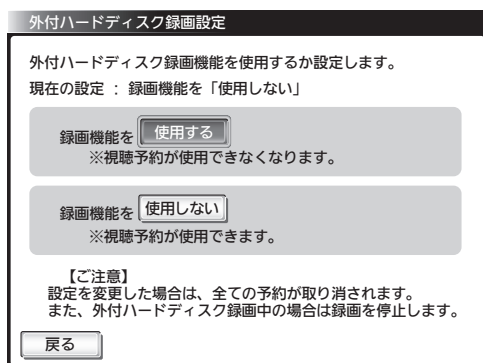
2 で「設定」を選び、 を押す

3 で「機能設定」を選び、 を押す

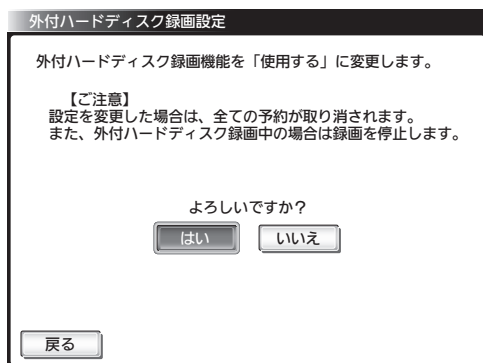
4 で「外付ハードディスク録画設定」を選び、 を押す

例：録画機能を「使用しない」から「使用する」に設定する場合
視聴予約が全て取り消されます。

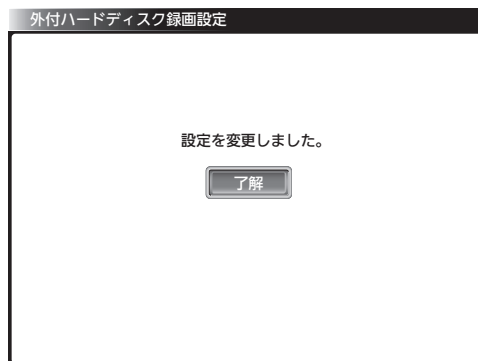
5 で「使用する」を選び、 を押す



6 で「はい」を選び、 を押す



7 を押す



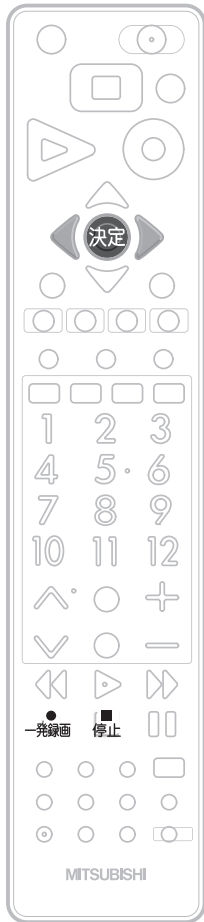
元の画面に戻ります。

ハードディスクへの録画機能を使用する
ハードディスクを登録する

外付ハード
ディスクを使う

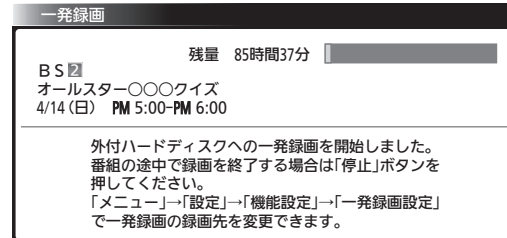
ハードディスクに一発録画をする

視聴中の番組を、今すぐ録画できます。



1 一発録画を押す

下の画面が表示され、一発録画を開始します。



一発録画中の番組が終了すると自動的に録画を停止します。

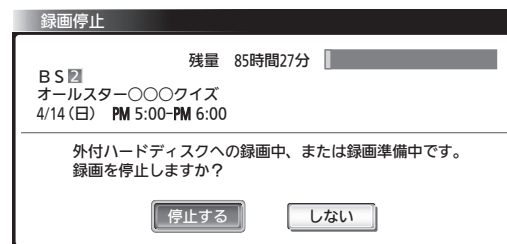
- 「メニュー」→「リンク機器操作」→「一発録画」は使えません。
- リアリンクで録画機器が繋がっているときは、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「一発録画設定」を「外付ハードディスク」にしておいてください。 [P.127](#)

録画を停止したいときは

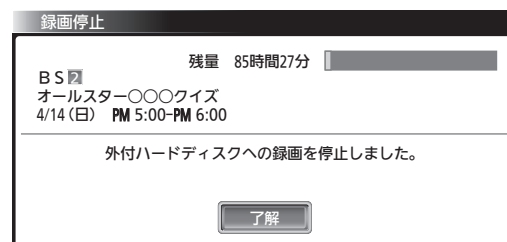
一発録画に限らず録画を停止します。

2 放送を視聴している状態で、停止を押す

3 ◀で「停止する」を選び、決定を押す



4 決定を押す

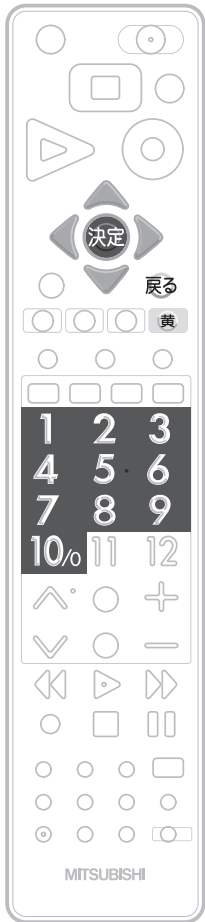


お知らせ

- 家庭用電源につなぐタイプのハードディスクで電源スイッチがあるものをご使用の場合、デジタル放送をご覧になるときは、一発録画機能をいつでもすぐにご利用いただけるように、ハードディスクの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
- 本機の番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組情報を受信してからご使用ください。 [P.77](#)
- リアリンク対応レコーダーへの一発録画については、 [P.94](#) をご覧ください。

ハードディスクに予約録画をする

予約数は、番組指定予約と時刻指定予約を合わせて32件までです。



番組表やジャンル検索から予約する

番組表やジャンル検索から番組を選んで、視聴予約や録画予約ができます。(「録画」は、本機にHDMI接続したレコーダーやUSB接続したハードディスクに録画する機能です。本機のみでは録画できません。)

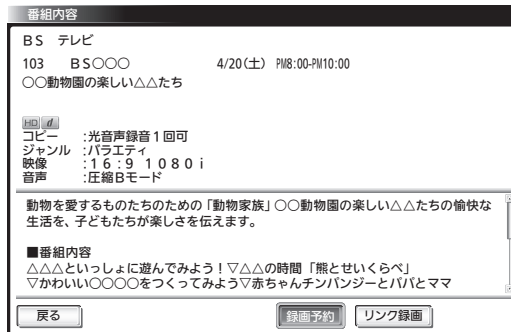
準備 番組表 P.60 または
ジャンル検索(検索後)画面 P.80 を表示する

1 番組表から予約する場合 ▲ ▼ ◀ ▶ で録画したい番組を選び、決定 を押す



その番組の「番組内容画面」が表示されます。

2 ◀ ▶ で「録画予約」を選び、決定 を押す



- 黄 を押すと、次の内容を読み上げます。
 - 1 放送局名、番組名、放送日、開始・終了時刻
 - 2 詳細な番組内容
 - ①を読み上げ中に 黄 を押すと、中断して②の読み上げを始めます。
 - ②を読み上げ中に 黄 を押すと、次の項目を読み上げます。最後の項目を読み上げ中に 黄 を押すと、読み上げを終了します。

■ 視聴年齢制限のある番組を選んだときは

1 ~ 10% で暗証番号の入力が必要です。 P.122

■ 予約が時間的に重なっているときは

「予約が重複しています」と表示されます。

◀ で「はい」を選び、決定 を押して予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。 P.171

■ 現在放送中の番組を予約したときは、ここで録画が始まります。予約を編集したい場合は、予約一覧より行ってください。

お知らせ

- 予約した番組の放送時刻の変更に録画時刻を追従させるには、「予約変更自動追従」P.156 を「入」に設定します。
- イベントリレー P.41 でチャンネルを変えて続きが放送される場合は、自動で追従します。イベントリレーで予約が重なったときは、P.163 の例にしたがって録画されます。
- 視聴年齢制限のない番組が予約後に視聴年齢制限ありになった場合は、その予約は実行されません。
- 読み上げ機能について
人名、地名などで複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。

ハードディスクに予約録画をする

外付ハードディスクを使う

ハードディスクに予約録画をする(つづき)

繰り返し録画や優先予約を設定する場合

毎週録画や毎日録画の設定や、他の予約と重複した場合に優先的に予約を実行するかどうかの設定ができます。

繰り返し録画や優先予約を設定しない場合は、手順3~5は必要ありません。手順6に進んでください。

3 ▶ で「予約編集」を選び、決定を押す

予約登録

BS テレビ
103 BS〇〇〇 4/20(土) PM8:00-PM10:00
〇〇動物園の楽しい△△たち

HD 録画予約あり
コピー : 光音声録音1回可
ジャンル : パラエディ
映像 : 16:9 1080i
音声 : 圧縮Bモード

予約登録が完了しました。

予約内容は予約一覧で確認できます。
毎週、毎日録画に変更する場合は予約編集を行ってください。

了解 予約編集

4 ▲▼◀▶ で設定を選び、決定を押す

予約編集

103 4/20(土) PM8:00-PM10:00
BS〇〇〇 録画予約あり
〇〇動物園の楽しい△△たち

録画予約の変更をすることができます。

繰り返し録画
 一回のみ
 毎週録画する
 毎日録画する

他の予約と重複した場合
 優先する
 優先しない

終了

5 ▲▼◀▶ で「終了」を選び、決定を押す

予約編集

103 4/20(土) PM8:00-PM10:00
BS〇〇〇 録画予約あり
〇〇動物園の楽しい△△たち

録画予約の変更をすることができます。

繰り返し録画
 一回のみ
 毎週録画する
 毎日録画する

他の予約と重複した場合
 優先する
 優先しない

終了

繰り返し録画や優先予約を設定しない場合

手順3~5を行った場合は手順6の画面は表示されません。手順7に進んでください。

6 決定を押す

予約登録

BS テレビ
103 BS〇〇〇 4/20(土) PM8:00-PM10:00
〇〇動物園の楽しい△△たち

HD 録画予約あり
コピー : 光音声録音1回可
ジャンル : パラエディ
映像 : 16:9 1080i
音声 : 圧縮Bモード

予約登録が完了しました。

予約内容は予約一覧で確認できます。
毎週、毎日録画に変更する場合は予約編集を行ってください。

了解 予約編集

予約登録を完了し、番組表またはジャンル検索の画面に戻ります。

7 戻るを押す

予約録画を停止したいときは

- ① 放送を視聴している状態で、停止を押す
- ② ◀ で「はい」を選び、決定を押す

録画停止

残量 85時間27分

BS 1
オールスター〇〇〇クイズ
4/14(日) PM 5:00-PM 6:00

外付ハードディスクへの録画中、または録画準備中です。
録画を停止しますか?

停止する しない

- ③ 決定を押す

録画停止

残量 85時間27分

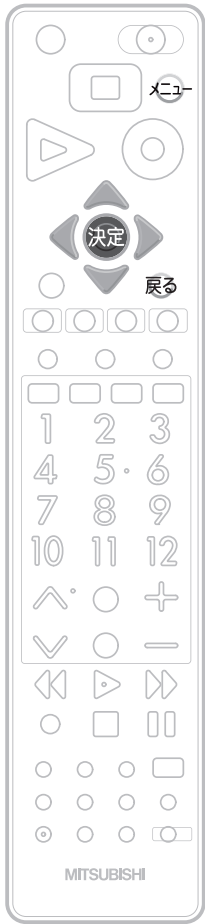
BS 1
オールスター〇〇〇クイズ
4/14(日) PM 5:00-PM 6:00

外付ハードディスクへの録画を停止しました。

了解

お願い!

ハードディスクへ録画予約したときは、本体の電源ボタンで「切」にしたり電源コードを抜いたりしないでください。



時刻を指定して予約する(時刻指定予約)

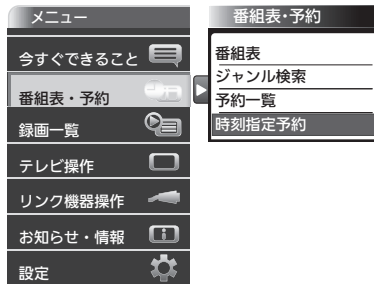
時刻とチャンネルを指定して、視聴予約や録画予約ができます。
 (「録画」は、本機にHDMI接続したレコーダーやUSB接続したハードディスクに録画する機能です。本機のみでは録画できません。)

1 **メニュー** を押す

2 ▲▼ で「番組表・予約」を選び、**決定** を押す

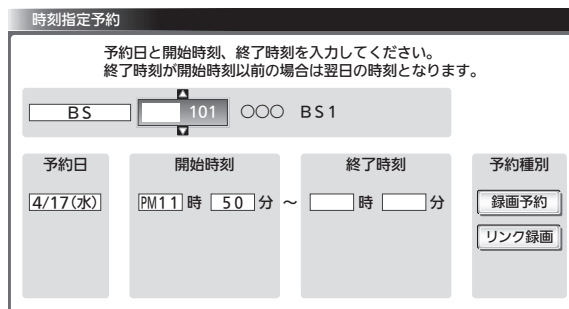


3 ▲▼ で「時刻指定予約」を選び、**決定** を押す



4 もう一度 **決定** を押す

5 ◀▶ で項目を移動し、▲▼ で入力する



●項目は、放送波 ↔ チャンネル ↔ 予約日 ↔ 開始時刻 ↔ 終了時刻
 ↔ 予約種別 と移動できます。

お知らせ

- 時刻指定予約は、「予約変更自動追従」
P.156 の設定に依らず自動追従はしません。
- 時刻指定予約は、イベントリレー
P.41 には追従しません。
- 時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
- 予約登録完了後、「予約一覧」画面 **P.171**
 で正しく予約できているかどうかを確認してください。
 予約の変更や取り消しも「予約一覧」画面で行ってください。
- 「予約一覧」画面からも時刻指定予約ができます。
 「予約一覧」画面表示中に「メニュー」→
 「今すぐできること」→「時刻指定予約」で
 手順**4**から操作してください。

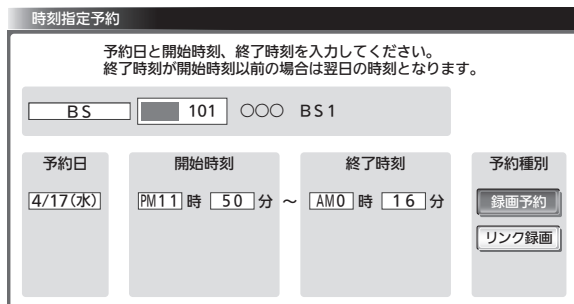
次ページへつづく

ハードディスクに予約録画をする

外付ハード
ディスクを使う

ハードディスクに予約録画をする(つづき)

- 6 ▶ でカーソルを「予約種別」へ動かし、
▲▼で「録画予約」を選び、決定を押す



時刻指定予約

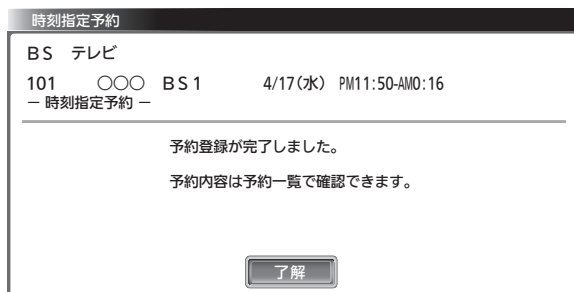
予約日と開始時刻、終了時刻を入力してください。
終了時刻が開始時刻以前の場合は翌日の時刻となります。

BS 101 〇〇〇 BS 1

予約日	開始時刻	終了時刻	予約種別
4/17(水)	PM11時 50分	AM0時 16分	録画予約 リンク録画

- 現在放送中の番組を予約したときは、ここで録画が始まります。

- 7 下の画面が表示されたら、決定を押す



時刻指定予約

BS テレビ
101 〇〇〇 BS 1 4/17(水) PM11:50-AM0:16
- 時刻指定予約 -

予約登録が完了しました。
予約内容は予約一覧で確認できます。

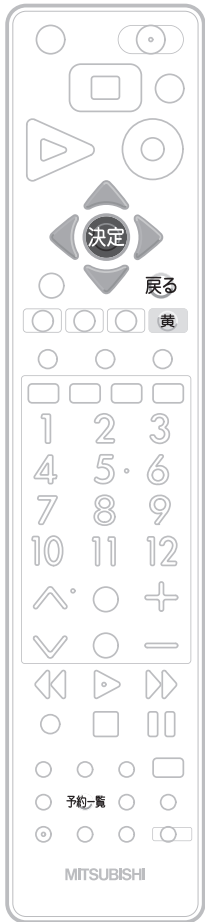
了解

- 予約登録を完了し、手順5の画面に戻ります。
読み上げ中に押すと、読み上げが終了して、予約登録を完了し、手順5の画面に戻ります。

- 8 戻るを押す

🗣️ お願い!

- ハードディスクへ録画予約したときは、本体の電源ボタンで「切」にしたり電源コードを抜いたりしないでください。
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで「予約一覧」画面を見て確認してください。P.171▶



予約を確認する/取り消す/編集する

予約登録内容は、予約一覧画面で確認できます。
 予約が重複したり連続しているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり削除したりできます。
 番組指定予約を毎週予約にするなど予約内容の編集もできます。

1 予約一覧を押す

2 予約を確認する

予約一覧		残量 40時間32分	登録数 11件
BS	101 BSニュース△△△△	毎日	4/18(木) PM 2:30~PM 3:00
BS	101 ビックアップ△△「会議内容で社員自身が...	優先	PM 3:00~PM 4:00
地上デジタル	051 映画「テツオの庭」	優先	PM 3:30~PM 6:30
BS	101 ○○○サスペンス劇場「○○○の□□シリ...	優先	PM 9:30~PM11:30
地上デジタル	052 アニメ「□□□□□□□□」⑤	毎週	PM11:30~PM11:40
BS	103 △△△△カップ20XX 日本VS○○○○...	優先	4/19(金) PM 8:30~PM 9:30
BS	101 □□□ドラマ どっこいしょ (133)	重複! 毎日	PM 9:30~PM10:30
CS 1	002 プロ野球「○○○○○×□□□□□□」...	重複!	PM 9:35~PM11:30

予約の種類によってアイコン **P.194** が表示されます。

ハードディスクへの録画予約が時間的に重なっていると、**重複!**が表示されます。
 リンク録画予約では表示されません。

- **黄** を押すと、次の内容を読み上げます。
 放送局名、番組名(番組指定予約時のみ)、放送日、開始・終了時刻
 ・読み上げ中に **黄** を押すと、読み上げを終了します。

次ページへつづく

ハードディスクに予約録画をする

外付ハードディスクを使う

予約一覧画面の見かた

予約一覧		残量 40時間32分	登録数 11件
BS	101 BSニュース△△△△	毎日	4/18(木) PM 2:30~PM 3:00
BS	101 ビックアップ△△「会議内容で社員自身が...	優先	PM 3:00~PM 4:00
地上デジタル	051 映画「テツオの庭」	優先	PM 3:30~PM 6:30
BS	101 ○○○サスペンス劇場「○○○の□□シリ...	優先	PM 9:30~PM11:30
地上デジタル	052 アニメ「□□□□□□□□」⑤	毎週	PM11:30~PM11:40
BS	103 △△△△カップ20XX 日本VS○○○○...	優先	4/19(金) PM 8:30~PM 9:30
BS	101 □□□ドラマ どっこいしょ (133)	重複! 毎日	PM 9:30~PM10:30
CS 1	002 プロ野球「○○○○○×□□□□□□」...	重複!	PM 9:35~PM11:30

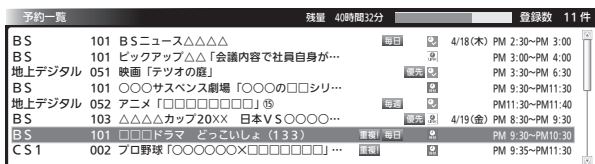
- ① 残量表示
- ② 選択中の予約
- ③ 重複している予約
- ④ 毎日/毎週の予約
- ⑤ 優先予約
- ⑥ 予約種類

ハードディスクに予約録画をする(つづき)

録画予約を取り消す場合

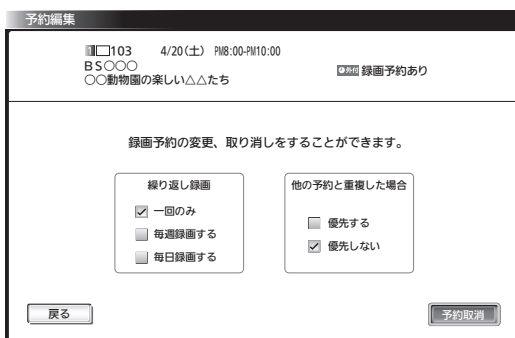
確認だけして通常画面に戻る場合は、手順3~6は必要ありません。手順7に進んでください。

3 ▲▼で取り消す番組を選び、決定を押す

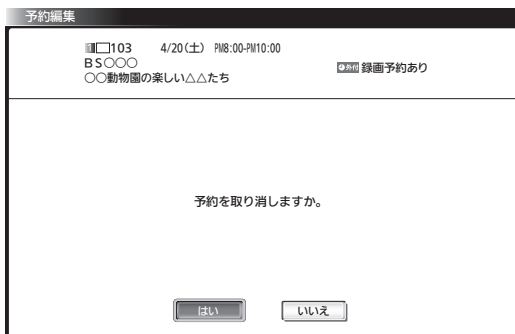


●録画開始後の予約の削除はできません。

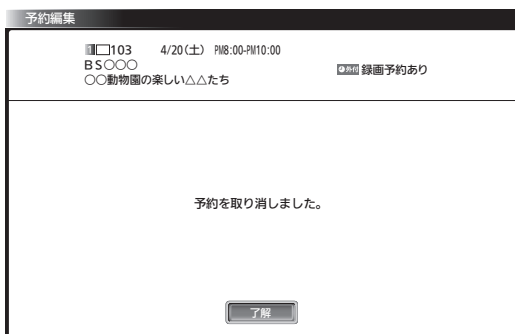
4 ▲▼◀▶で「予約取消」を選び、決定を押す



5 ◀で「はい」を選び、決定を押す



6 決定を押す

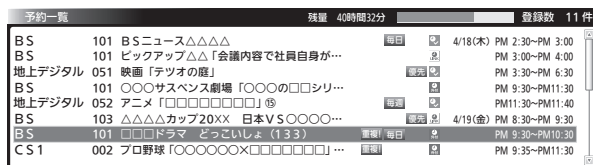


7 予約一覧または戻るを押す

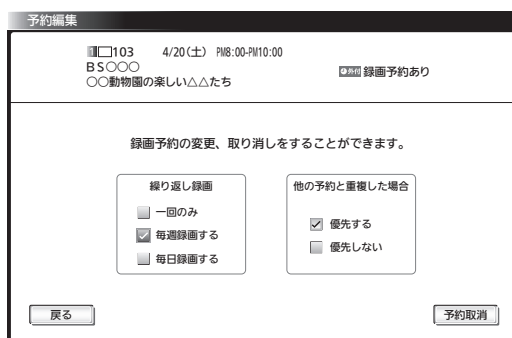
元の画面に戻ります。

予約内容を編集する場合

8 ▲▼で内容を編集する番組を選び、決定を押す



9 ▲▼◀▶で設定を選び、決定を押す



10 ▲▼◀▶で「戻る」を選び、決定を押す

11 予約一覧または戻るを押す

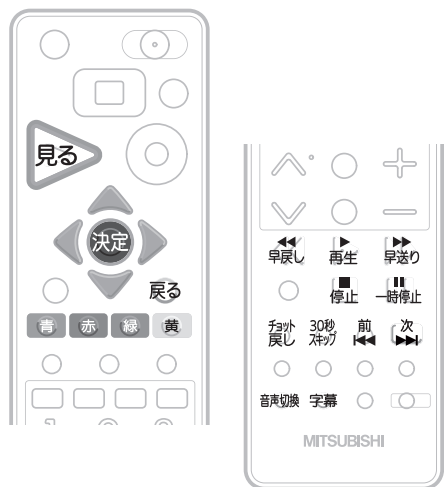
元の画面に戻ります。

お知らせ

- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間に変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。予約変更自動追従を「入」にしておくと時刻変更にも追従します。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。 **P.163**
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く(約10秒)終了し、正しく録画されません。この場合は「予約一覧」画面に「重複」と表示されませんので、ご注意ください。
- 「今すぐできること」からも予約を取り消したり編集したりできます。「予約一覧」の取り消す番組を選び、「メニュー」→「今すぐできること」→「予約取り消し/編集」で手順4または9から操作してください。
- 読み上げ機能について
人名、地名などで複数の読み方がある場合や特殊な読み方をする場合に、本来の読みと異なる読みをすることがあります。

ハードディスクに録画した番組を見る(再生する)

本機で外付ハードディスクに録画した番組を見るときは、画面に録画一覧を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

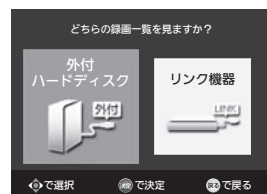


通常の再生

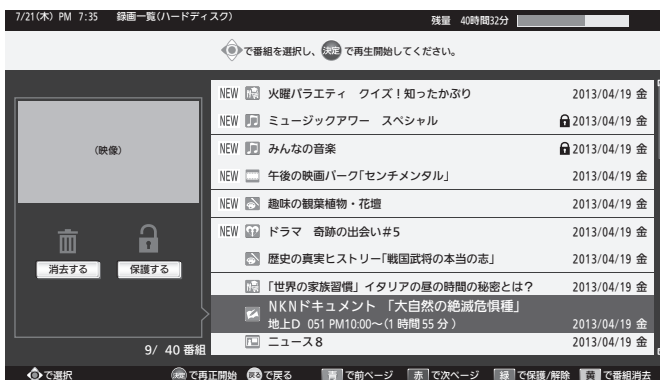
1 見る を押す

●録画一覧(ハードディスク)画面が表示されます。

■外付ハードディスク/リンク機器の選択画面が表示される場合は「外付ハードディスク」が選ばれているので、そのまま決定を押す



2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ



青 ……前のページに移動
赤 ……次のページに移動

次ページへつづく

お知らせ

- 録画日付の新しい順に上から表示します。
- 録画一覧で読み上げをする設定 P.118 になっている場合は、選択中の番組名や録画時間、ハードディスク残量不足の警告などを読み上げます。
- 再生中にSDカードを入れると、再生が停止し、SDカードの内容を見るための画面が表示されます。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画面になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 録画一覧から番組を再生したときは、その番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧画面に戻ります。

録画一覧画面の見かた



- ① 現在の日時
- ② 残量表示
- ③ 操作説明
- ④ 番組を消去するとき
- ⑤ 番組の保護設定をするとき
- ⑥ 番組数
- ⑦ まだ一度も見っていない番組
- ⑧ 番組のジャンルをアイコンで表示
- ⑨ 保護されている番組
- ⑩ ガイド表示

番組数が多い場合は、「メニュー」→「今すぐできること」→「絞り込み」で表示する番組を絞り込むことができます。

- 見ていない番組のみ：「NEW」の表示があるまだ再生していない番組のみ表示
- 保護している番組のみ：番組保護をしてマークがある番組のみ表示
- この番組と同じジャンル：選んでいる番組とジャンルアイコンが同じ番組のみ表示
- すべての番組：絞り込みを止めて全録画番組を表示

ハードディスクに録画した番組を見る


外付ハードディスクを使う

ハードディスクに録画した番組を見る(つづき)

3 再生 または を押して、再生を始める

再生を停止したいときは


4 を押す



- 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。(停止位置が記憶されます。)
- 再生停止後、 を押すと通常画面に戻ります。

いろいろな見かた

つづきから再生

通常再生を停止するとつづき再生の停止状態になり、番組ごとに停止位置が記憶されます。

- 録画番組を再生していないときに  を押す
電源オンから電源オフまでの間で、最後に再生した番組を、停止した位置から再生します。




- 録画一覧画面表示中に  または  を押す
または「メニュー」→「今すぐできること」→「続きから再生」を選ぶ
選択した番組の停止した位置から再生します。
最初から再生するときは「最初から再生」を選びます。

お知らせ




つづき再生が始まる位置は、番組により多少ずれることがあります。

再生速度を変えて見る





早送り/早戻し

- 再生中に   を押す
押すごとに4段階で速度が変わります。
 を押すと通常速度に戻ります。



再生を一時止める

- 再生中に  を押す
 または  を押すと、解除されます。

見たいところまで飛ばす

-   を押す
押すごとにチャプターに飛びます。チャプターは、10分ごとに自動で記録されています。
-  を押す
15秒戻ります。
-  を押す
30秒進みます。




繰り返し

- 再生中に「メニュー」→「今すぐできること」→「繰り返し再生」→「入」を選ぶ
その番組を繰り返し再生します。
  を押すなど再生を停止する操作をすれば、解除されます。

追っかけ再生

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見るができます。

1 録画中に、 を押す

- ## 2 選択画面が表示されたときは
-   で「外付ハードディスク」を選び、
 を押す

- ハードディスクの録画一覧画面が表示されます。

3 で録画中の番組を選ぶ

4 を押して、追っかけ再生を始める

追っかけ再生をやめるときは

5 または を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

- このあと、録画も停止させるときは **P.166** をご覧ください。

お知らせ

- 録画開始後、録画一覧画面の子画面に「準備中」と表示されている間は、追っかけ再生はできません。
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いつく前に、通常再生に切り換わります。
- 追っかけ再生中にスキップなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。

音声の切り換え

- 再生中に、音声切換を押す
押すごとに音声切り換わります。


お知らせ

音声切換は、番組ごとに設定が必要です。

字幕の切り換え

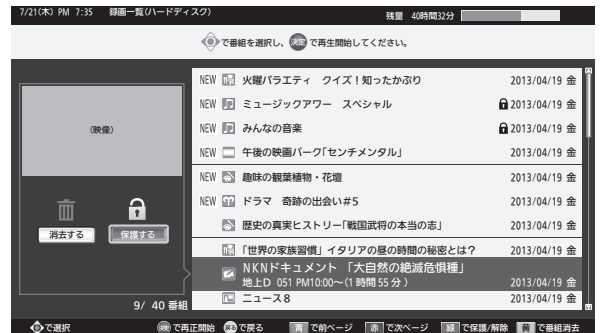
- 再生中に、字幕を押す
押すごとに字幕言語が切り換わります。

再生位置変更

- 1 再生中に、メニューを押す
- 2 ▲▼で「今すぐできること」を選び、決定を押す
- 3 ▲▼で「再生位置変更」を選び、決定を押す
 - 画面右上にタイムサーチバーが表示されます。
- 4 ◀ ▶で再生位置を選ぶ
- 5 決定を押す
 - 指定した時間から再生が始まります。

番組を保護する・保護を解除する

- 1 見 ▶ を押して録画一覧画面を表示する
- 2 ▲▼で保護または保護を解除する番組を選ぶ
- 3 ◀ で「保護する」または「解除する」を選び、決定を押す



緑 を押して、保護または保護を解除することもできます。

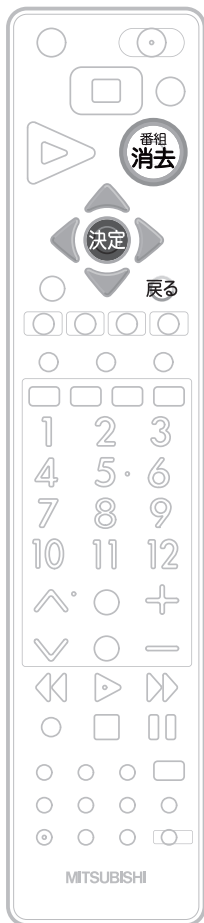
- 番組を保護すると、録画一覧画面の番組名にロックマークが表示されます。

- 4 確認メッセージが出たら、決定を押す

お知らせ

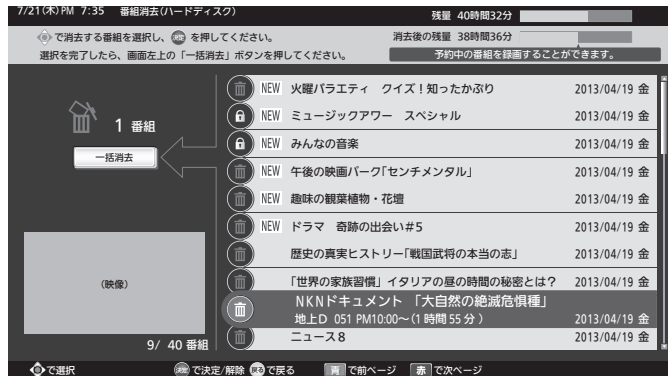
メニューの「今すぐできること」でも設定できます。
手順 2 のあと、「メニュー」→「今すぐできること」を選んでから、「この番組を保護」または「保護解除」を選びます。

番組を消去する



1 **番組消去** を押して番組消去画面を表示する

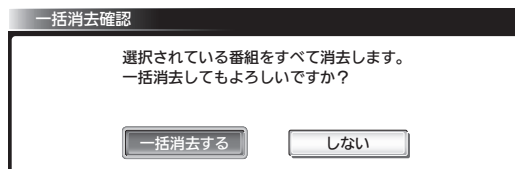
2 **▲▼** で消去する番組を選び、**決定** を押す



- 複数の番組を消去対象にして、一括で消去することができます。
- 番組を消去対象にすると、**■**マークが**■**(赤色)に変わります。
- 消去対象から外したい場合は、外したい番組を選び**決定**ボタンを押します。
- 保護されている番組も、保護を解除して一括消去の対象にすることができます。
- 一度に一括消去の対象にできるのは、20番組までです。

3 **←** で「一括消去」を選び、**決定** を押す

4 **←** で「一括消去する」を選び、**決定** を押す



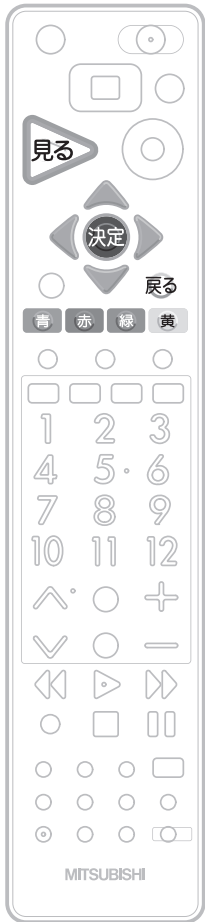
- 番組が消去されます。

5 もう一度**決定**を押す

6 消去が終わったら
戻るを押す

番組消去画面の見かた

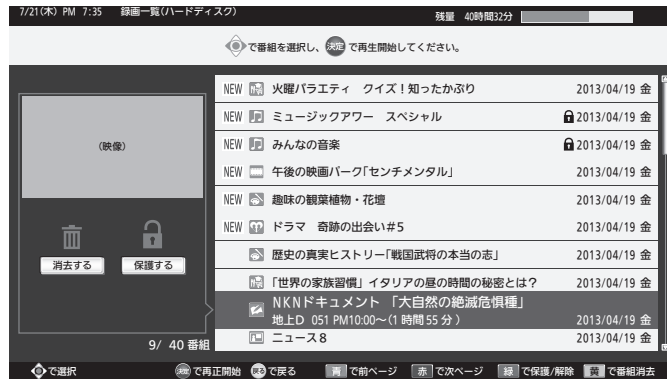
番号	説明
1	現在の日時
2	残量表示
3	番組消去後の残量 消去対象になった番組を消したときにできる空き容量を橙で表示します。
4	操作説明
5	まとめて消去するとき
6	番組数
7	消去する番組 ■
8	保護されている番組 ■
9	ガイド表示



録画一覧画面で消去する

1 **見る** を押して録画一覧画面を表示する

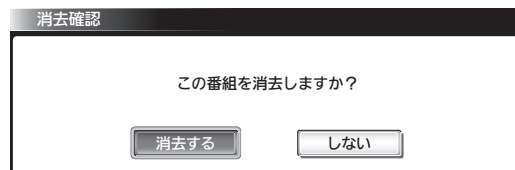
2 **▲▼** で消去する番組を選ぶ



3 **◀** で「消去する」を選び、**決定** を押す

- 保護されている番組 (🔒マークのある番組) は、消去できません。どうしても消去したい場合は、保護を解除 [P.175](#) してから消去してください。

4 **◀** で「消去する」を選び、**決定** を押す



- 番組が消去されます。

5 もう一度 **決定** を押す

6 消去が終わったら **戻る** を押す

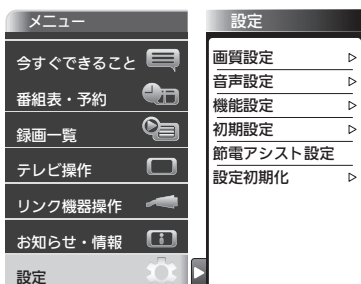
ハードディスクを初期化する/登録を削除する

外付ハードディスク一覧では、接続中のハードディスクの初期化と、接続していないハードディスクの登録を削除できます。初期化や登録削除を行うと、そのハードディスク内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。

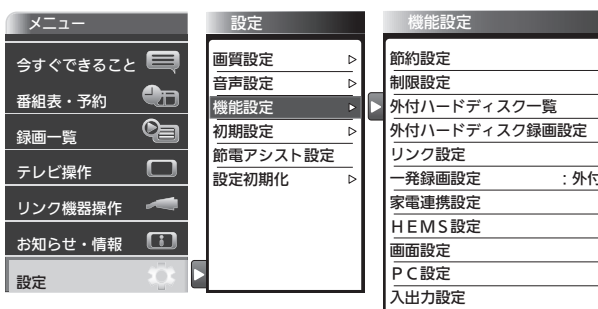
例：接続中のハードディスクを初期化するとき

1 **メニュー** を押す

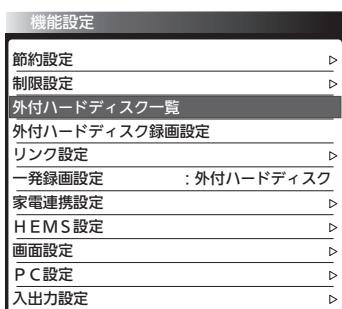
2 ▲▼で「設定」を選び、**決定** を押す



3 ▲▼で「機能設定」を選び、**決定** を押す



4 ▲▼で「外付ハードディスク一覧」を選び、**決定** を押す



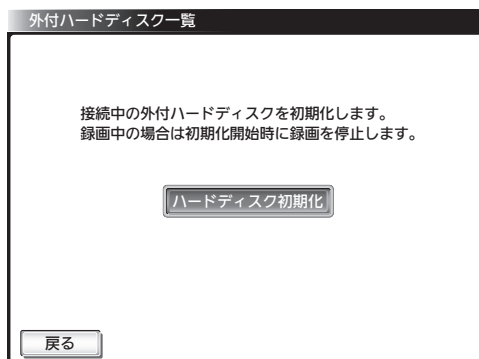
5 ▲▼で接続中のハードディスクを選び、**決定** を押す

接続状態	名称	登録日時	容量
接続中	ハードディスク 1	2011/ 7/12 16:22	1 TB
接続なし	ハードディスク 2	2011/ 7/12 16:22	2 TB
接続なし	ハードディスク 3	2011/ 7/12 16:22	500 GB
接続なし	ハードディスク 4	2011/ 7/12 16:22	500 GB
接続なし	ハードディスク 5	2011/ 7/12 16:22	500 GB
接続なし	ハードディスク 6	2011/ 7/12 16:22	1.5 TB
接続なし	ハードディスク 7	2011/ 7/12 16:22	300 GB
接続なし	ハードディスク 8	2011/ 7/12 16:22	750 GB

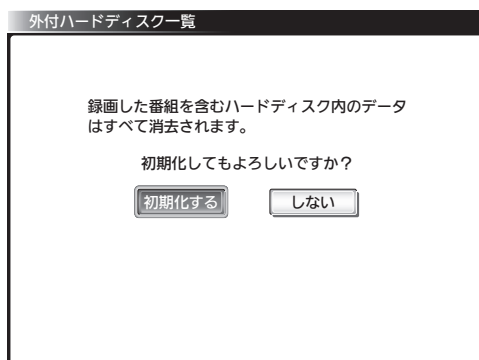
戻る

●「接続なし」のハードディスクは初期化できません。また、「接続中」のハードディスクの登録削除はできません。

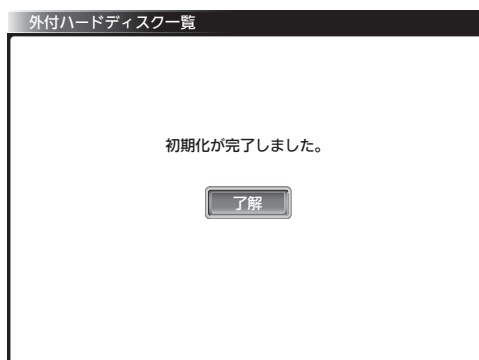
6 ▲で「ハードディスク初期化」を選び、**決定** を押す



7 ◀で「初期化する」を選び、**決定** を押す



8 初期化が完了して下の画面が表示されたら、**決定** を押す



9 **メニュー** を押す

●登録を削除するときは、5で削除したいハードディスクを選び、**決定** を押します。その後は初期化と同様の画面が出ますので6～9の操作をしてください。削除したいハードディスクを接続していないときに行ってください。

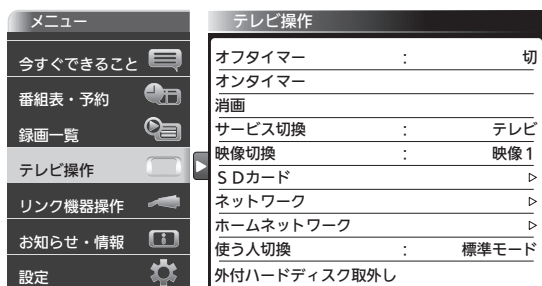
ハードディスクを取り外す

本機が電源「入」の状態で見出し中のハードディスクを取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。

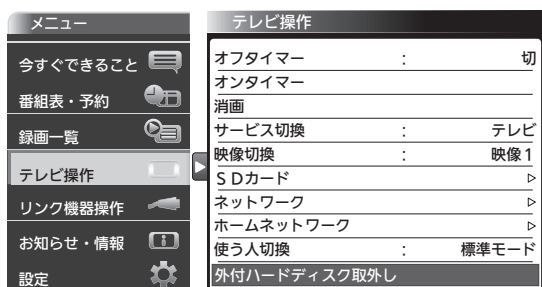
1 ハードディスクへの録画中でないことを確認する

2 **メニュー** を押す

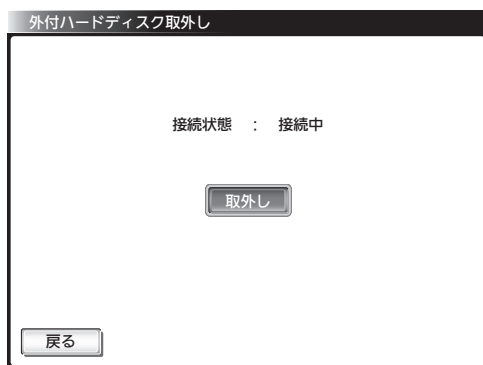
3 **▲▼** で「テレビ操作」を選び、**決定** を押す



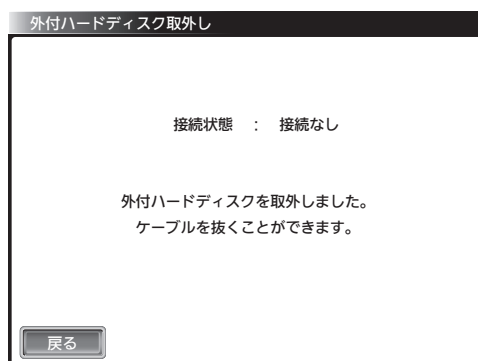
4 **▲▼** で「外付ハードディスク取外し」を選び、**決定** を押す



5 **▲** で「取外し」を選び、**決定** を押す



6 下の画面が表示されたら、**決定** を押す



7 **メニュー** を押す

8 側面のUSB端子からUSBケーブルを抜く

ハードディスクを初期化する／登録を削除する

外付ハードディスクを使う

B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、^{ビーキャス}B-CASカードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2008年7月から「ダビング10」**P.194**の運用が開始されましたが、運用開始後も全ての番組が「ダビング10」になるものではありません。

● 限定受信システム(CAS : Conditional Access Systems)とは

限定受信システム(CAS)とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル(放送内容をわからなくする技術)を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

● (株)B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するため設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。

^{ビーキャス}B-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。

付属のB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは(2014年8月現在)

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250 (IP電話からの場合は045-680-2868)
受付時間 10:00~20:00 (年中無休)
<http://www.b-cas.co.jp/>

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。

UHFアンテナ(地上デジタル対応)や衛星アンテナ(110度CS対応)を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

- デジタル放送全般については、一般社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa) <http://www.dpa.or.jp/> をご覧ください。

地上デジタル放送

- 受信可能放送局など、地上デジタルテレビ放送の受信に関するご相談・お問い合わせは、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター 0570-07-0101 (IP電話: 03-4334-1111)へ。
受付時間 午前9時~午後6時(12月29日~1月3日は休業)
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ(CATV)でも受信できます。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。くわしくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。
本機はすべての周波数(VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯)に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

デジタル放送について(つづき)

BSデジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」お客さまサポート(2014年8月現在)

TEL: フリーダイヤル 0120-580-807
受付時間 9:00~20:00(年中無休)
<http://www.wowow.co.jp/>

■「スター・チャンネル」お問い合わせ(2014年8月現在)

TEL: 0570-013-111
または、045-650-4724
受付時間 10:00~18:00(年中無休)
<http://www.star-ch.jp/>

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星(Communication Satellite)を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

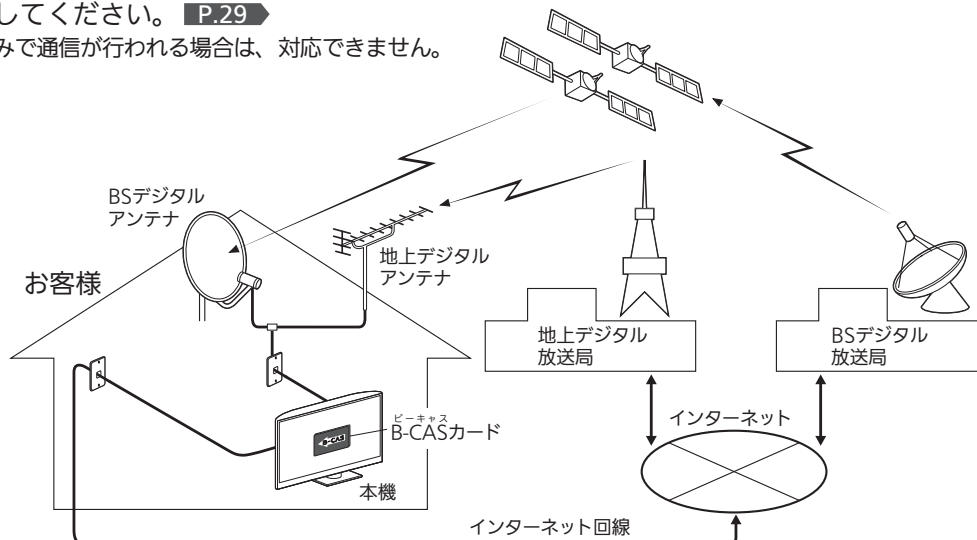
■スカパー！カスタマーセンター(総合窓口)(2014年8月現在)

TEL: 0120-039-888
受付時間 10:00~20:00(年中無休)
<http://www.skyperfectv.co.jp/>

● 双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。 **P.29**

※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。



地上デジタル放送のチャンネル一覧表

●らくらく設定 P.35-137 や地上デジタル自動 P.142 でお住まいの地域を設定すると、チャンネル1～12の数字ボタンに下記の地上デジタルの放送局が割り当てられます。(2014年8月現在)

お知らせ

お住まいの地域によっては、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の数字ボタンに割り当てます。

都道府県	放送局名																	
北海道(札幌)	3	NHK総合・札幌	2	NHKEテレ札幌	1	HBC札幌	5	STV札幌	6	HTB札幌	8	UHB札幌	7	TVH札幌				
北海道(函館)	3	NHK総合・函館	2	NHKEテレ函館	1	HBC函館	5	STV函館	6	HTB函館	8	UHB函館	7	TVH函館				
北海道(旭川)	3	NHK総合・旭川	2	NHKEテレ旭川	1	HBC旭川	5	STV旭川	6	HTB旭川	8	UHB旭川	7	TVH旭川				
北海道(帯広)	3	NHK総合・帯広	2	NHKEテレ帯広	1	HBC帯広	5	STV帯広	6	HTB帯広	8	UHB帯広	7	TVH帯広				
北海道(釧路)	3	NHK総合・釧路	2	NHKEテレ釧路	1	HBC釧路	5	STV釧路	6	HTB釧路	8	UHB釧路	7	TVH釧路				
北海道(北見)	3	NHK総合・北見	2	NHKEテレ北見	1	HBC北見	5	STV北見	6	HTB北見	8	UHB北見	7	TVH北見				
北海道(室蘭)	3	NHK総合・室蘭	2	NHKEテレ室蘭	1	HBC室蘭	5	STV室蘭	6	HTB室蘭	8	UHB室蘭	7	TVH室蘭				
宮城	3	NHK総合・仙台	2	NHKEテレ仙台	1	TBCテレビ	8	仙台放送	4	ミヤギテレビ	5	KHB東日本放送						
秋田	1	NHK総合・秋田	2	NHKEテレ秋田	4	ABS秋田放送	8	AKT秋田テレビ	5	AAB秋田朝日放送								
山形	1	NHK総合・山形	2	NHKEテレ山形	4	YBC山形放送	5	YTS山形テレビ	6	テレビユー山形	8	さくらんぼテレビ						
岩手	1	NHK総合・盛岡	2	NHKEテレ盛岡	6	IBCテレビ	4	テレビ岩手	8	めんこいテレビ	5	岩手朝日テレビ						
福島	1	NHK総合・福島	2	NHKEテレ福島	8	福島テレビ	4	福島中央テレビ	5	KFB福島放送	6	テレビユー福島						
青森	3	NHK総合・青森	2	NHKEテレ青森	1	RAB青森放送	6	ATV青森テレビ	5	青森朝日放送								
東京	1	NHK総合・東京	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	9	東京MXテレビ	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合・東京	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	3	TVKテレビ	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・前橋	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	3	群馬テレビ	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	12	放送大学		
千葉	1	NHK総合・東京	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	3	チバテレビ	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・宇都宮	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	3	とちぎテレビ	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合・東京	2	NHKEテレ東京	4	日本テレビ	6	TBS	8	フジテレビジョン	5	テレビ朝日	7	テレビ東京	3	テレ玉	12	放送大学
長野	1	NHK総合・長野	2	NHKEテレ長野	4	テレビ信州	5	abn長野朝日放送	6	SBC信越放送	8	NBS長野放送						
新潟	1	NHK総合・新潟	2	NHKEテレ新潟	6	BSN	8	NST	4	TeNYテレビ新潟	5	新潟テレビ21						
山梨	1	NHK総合・甲府	2	NHKEテレ甲府	4	YBS山梨放送	6	UTY										
大阪	1	NHK総合・大阪	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	7	テレビ大阪				
京都	1	NHK総合・京都	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	5	KBS京都				
兵庫	1	NHK総合・神戸	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	3	サンテレビ				
和歌山	1	NHK総合・和歌山	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	5	テレビ和歌山				
奈良	1	NHK総合・奈良	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	9	奈良テレビ				
滋賀	1	NHK総合・大津	2	NHKEテレ大阪	4	MBS毎日放送	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	10	よみうりテレビ	3	BBCびわ湖放送				
広島	1	NHK総合・広島	2	NHKEテレ広島	3	RCCテレビ	4	広島テレビ	5	広島ホームテレビ	8	TSS						
岡山	1	NHK総合・岡山	2	NHKEテレ岡山	4	RNC西日本テレビ	5	KSB瀬戸内海放送	6	RSKテレビ	7	テレビせとうち	8	OHKテレビ				
香川	1	NHK総合・高松	2	NHKEテレ高松	4	RNC西日本テレビ	5	KSB瀬戸内海放送	6	RSKテレビ	7	テレビせとうち	8	OHKテレビ				
島根	3	NHK総合・松江	2	NHKEテレ松江	8	山陰中央テレビ	6	BSSテレビ	1	日本海テレビ								
鳥取	3	NHK総合・鳥取	2	NHKEテレ鳥取	8	山陰中央テレビ	6	BSSテレビ	1	日本海テレビ								
山口	1	NHK総合・山口	2	NHKEテレ山口	4	KRY山口放送	3	tysテレビ山口	5	yab山口朝日								
愛知	3	NHK総合・名古屋	2	NHKEテレ名古屋	1	東海テレビ	5	CBC	6	メ〜テレ	4	中京テレビ	10	テレビ愛知				
三重	3	NHK総合・津	2	NHKEテレ名古屋	1	東海テレビ	5	CBC	6	メ〜テレ	4	中京テレビ	7	三重テレビ				
岐阜	3	NHK総合・岐阜	2	NHKEテレ名古屋	1	東海テレビ	5	CBC	6	メ〜テレ	4	中京テレビ	8	ぎふチャン				
石川	1	NHK総合・金沢	2	NHKEテレ金沢	4	テレビ金沢	5	北陸朝日放送	6	MRO	8	石川テレビ						
静岡	1	NHK総合・静岡	2	NHKEテレ静岡	6	SBS	8	テレビ静岡	4	静岡第一テレビ	5	静岡朝日テレビ						
福井	1	NHK総合・福井	2	NHKEテレ福井	7	FBC	8	福井テレビ										
富山	3	NHK総合・富山	2	NHKEテレ富山	1	KNB北日本放送	8	BBT富山テレビ	6	チューリップテレビ								
愛媛	1	NHK総合・松山	2	NHKEテレ松山	4	南海放送	5	愛媛朝日	6	あいテレビ	8	テレビ愛媛						
徳島	3	NHK総合・徳島	2	NHKEテレ徳島	1	四国放送												
高知	1	NHK総合・高知	2	NHKEテレ高知	4	高知放送	6	テレビ高知	8	さんさんテレビ								
福岡	3	NHK総合・福岡	3	NHKE総合・北九州	2	NHKEテレ・福岡	2	NHKEテレ・北九州	1	KBC九州朝日放送	4	RKB毎日放送	5	FBS福岡放送	7	TVQ九州放送	8	TNCテレビ西日本
熊本	1	NHK総合・熊本	2	NHKE熊本放送	3	RKK熊本放送	8	TKUテレビ熊本	4	KKTくまもと県民	5	KAB熊本朝日放送						
長崎	1	NHK総合・長崎	2	NHKE長崎放送	3	NBC長崎放送	8	KTNテレビ長崎	5	NCC長崎文化放送	4	NIB長崎国際テレビ						
鹿児島	3	NHK総合・鹿児島	2	NHKE鹿児島放送	1	MBC南日本放送	8	KTS鹿児島テレビ	5	KKB鹿児島放送	4	KYT鹿児島読売TV						
宮崎	1	NHK総合・宮崎	2	NHKE宮崎放送	6	MRT宮崎放送	3	UMKテレビ宮崎										
大分	1	NHK総合・大分	2	NHKE大分放送	3	OBS大分放送	4	TOSテレビ大分	5	OAB大分朝日放送								
佐賀	1	NHK総合・佐賀	2	NHKE佐賀放送	3	STSサガテレビ												
沖縄	1	NHK総合・沖縄	2	NHKE琉球朝日放送	3	RBCテレビ	5	QAB琉球朝日放送	8	沖縄テレビ(OTV)								

●この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

仕様

形名	LCD-65LBW6H	
種類	液晶カラーテレビ	
電源	AC100 V 50/60 Hz	
消費電力	175 W	
	リモコン待機時 0.2 W(高速起動「入」設定時 約14 W)	
年間消費電力量※1	167 kWh/年 [標準※2時]	
	区分名※3 : DG(FHD、液晶倍速、付加機能なし)	
	受信機型サイズ : 65 V	
音声	実用最大出力 JEITA	10 W+10 W
	スピーカー	(11.2 cm×4.3 cm) ×2
アンテナ入力	VHF/UHF 1軸 75 Ω不平衡形(CATVパススルー対応)	
BS・110度CSアンテナ入力	75 Ω不平衡形(C15形) 兼コンバーター用電源(DC 15V)出力	
受信チャンネル	地上デジタル : 000~999ch BSデジタル : 000~999ch 110度CSデジタル : 000~999ch VHF : 1~12ch UHF : 13~62ch CATV : C13~C63ch	
液晶パネル	液晶パネル	65V型カラーTFT液晶
	表示画素数	1920ドット×1080ライン
	バックライトの種類	LED
	有効表示領域	幅142.8×高さ80.4/対角163.9 cm
ヘッドホン	φ3.5ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子	(映像) 1.0 V(P-P) 75 Ω(同期負極性) (音声) 150 mV(rms) ハイインピーダンス	
D4映像端子	対応水平周波数15.75 kHz, 31.5 kHz, 33.75 kHz, 45 kHz	
	Y 1.0 V(P-P) 75 Ω(同期負極性) Cb/Pb, Cr/Pr ±350 mV 75 Ω	
HDMI入力端子	2系統 2端子 ARC対応※4	
PC入力端子	(映像) ミニD-SUB15ピン (音声) φ3.5ステレオミニジャック	
HDMIアナログ音声入力端子	φ3.5ステレオミニジャック※5	
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX	
SDメモリーカード挿入口	SDカード、SDHCカード対応(miniSDカード、microSDカードはアダプター装着)	
USB端子	ハイスピードUSB(USB2.0 準拠) Type A DC5V(外付ハードディスク録画専用)	
デジタル音声(光)出力端子	角型	
寸外法形	スタンドあり	幅146.6×高さ90.7×奥行33.2 cm
	スタンドなし	幅146.6×高さ85.3×奥行11.1 cm
質量	スタンドあり	29.3 kg
	スタンドなし	27.0 kg
キャビネット材質	前 : アルミ 後 : PS樹脂	
使用周囲温度	0℃~40℃	
リモコン	形名	RL20503
	電源	DC 3 V 単4形乾電池2個
	質量	約110 g (乾電池含む)

- テレビのV型(65V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2 適合品 : 「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部 : 限度値—高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

- ※1 : 省エネ法(目標年度 : 平成24年度)に基づいて、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- ※2 : 一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダード、視聴者設定=標準、バックライト補正=入、明るさ順応補正=中をおすすめしています。
- ※3 : 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。
- ※4 : HDMI1のみ対応。
- ※5 : HDMI2のみ対応。PC入力端子兼用。

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」P.185~191 にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は
 - ・修理に際しましては、保証書をご提示ください。
 - ・保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
 - 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
 - 点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金は
 - 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 据付(接続・調整・取扱説明等)を依頼されると有料となることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

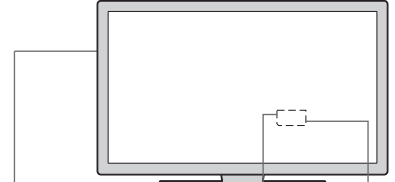
●ご連絡いただきたい内容

- 品名 三菱液晶カラーテレビ
- 形名 テレビ本体の形名表示位置をご覧ください。
- 製造番号 テレビ本体の製造番号表示位置をご覧ください。
- お買上げ日 年 月 日
- 故障の状況 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (付近の目印なども)
- お名前・電話番号・訪問希望日
- サービス専用形名
テレビ本体のサービス専用形名表示位置をご覧ください。

リモコン

形名表示位置
RL20503

テレビ本体

製造番号表示位置(側面)
※サービス専用形名(上段) /
製造番号(下段)形名表示位置
(後面)製造番号表示位置
(後面)

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この液晶カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■部品について

- 修理の際、当社の品質基準に適合した再生・再利用した部品と交換することがあります。
- 交換した部品は、お申し出のない場合、引き取らせていただきます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日



0120-139-365 (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
FAX (03) 3413-4049 (有料) (03) 3414-9655 (有料)

■ご相談対応 平日 9:00~19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル



インターネット



携帯電話サイト



0120-56-8634 (無料)

www.melsc.co.jp

空メールの送り先: fc8634@melsc.jp
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。



携帯電話・PHS・IP電話の場合

北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115 (有料)	(03) 3424-1111 (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900 (有料)	(06) 6454-3901 (有料)

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

故障かな?と思ったら

困ったときは

接続や操作方法がわからないときは、

まず、「故障かな?と思ったら」と「メッセージ表示一覧」でお調べください。P.185~192

それでも解決しない場合は使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから

「ご相談窓口」へ

■全国どこからでも、おかけいただけるフリーコール



0120-139-365 (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合

(03)3414-9655 (有料)

ご相談内容により

「修理窓口」P.184を

ご紹介いたします。

- ホームページ「よくあるご質問」もご活用ください。
<http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/40>
- 「修理窓口」では、取扱いや据付・設置・基本設定の方法がわからない場合や、故障かどうか判断がつかない場合に、ご自宅へ訪問する出張サポートの受付も行っております。

出張サポート(有料)のご案内

出張サポートは、本書 P.184 に記載の「三菱電機 修理窓口」または上記「ご相談窓口」のフリーコールの音声ガイダンス「修理のご依頼 * 2」で受付けております。

料金についてはお見積もりいたしますので、上記の窓口で受付時にご相談ください。

※保証期間中の製品故障の場合は、保証書の規定に従って無償で修理させていただきます。

電 源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	●電源プラグが抜けていませんか。	34
電源が入らない。 電源表示灯が赤点滅する、 または点灯しない。	●電源表示灯(赤色)が点滅している場合は、電源プラグを抜き、しばらくおいてから電源プラグを差し直してください。 それでも電源が入らず表示灯が点滅する場合は、 ●安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	

故障かな?と思ったら
保証とアフターサービス

困ったとき

故障かな？と思ったら(つづき)

■ 電 源(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の電源ボタンで電源を「切」にすると電源表示灯が消灯し、その後リモコンの電源ボタンでは電源を「入」にできません。 →電源表示灯が無点灯のときは、本体の電源ボタンを押し一旦電源を「入」にしてからリモコンで操作してください。 ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の⊕●が逆に入っていませんか。 ● テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ● テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ● リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に PR1 または PR2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PR1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル▲と 決定 を同時に押す ・ PR2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル▼と 決定 を同時に押す 	13 20 17 147
急に電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none"> ● 無操作節電、無映像節電が「入」になっていませんか。 ● オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起らないか確認してください。 ● オンタイマーや視聴予約で電源が「入」になったときは、一定時間後に電源が「切」になります。 ● 消灯連動節電が「入」になっていませんか。お部屋の照明が落ちると電源をオフします。 	121 47 121
テレビの電源を入れるとHDMIケーブルでつないだレコーダーの電源が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リンク制御」が「入」、「テレビ電源入連動」が「入」になっていませんか。 →リアリンク機能をより有効にお使いいただくには「テレビ電源入連動」を「入」にしておくことをおすすめします。 HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 	127
リモコンで電源を切った後、しばらくして「カチッ」と音がした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切った後もデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に「カチッ」と音がします。 故障ではありません。 電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 	
電源を切っているときに「カチッ」と音がした。	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル放送のデータ取得のための動作に入るとき、抜けるときの音です。 故障ではありません。 	

■ リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の⊕●が逆に入っていませんか。 ● テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ● テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 ● デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1 ~ 12 ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル▲▼や番組表でチャンネル切換えをしてください。 ● リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に PR1 または PR2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PR1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル▲と 決定 を同時に押す ・ PR2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル▼と 決定 を同時に押す 	20 17 147
チャンネル▲▼で、特定のチャンネルだけ選べない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スキップされていませんか。 →選みたいチャンネルのスキップを解除してください。 	146

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンや電源以外の本体ボタンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の電源ボタンで電源を切り、しばらくしてから再度本体の電源ボタンで電源を入れてください。 <p>本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。本体の電源ボタンで電源を入れ直す(リセットする)ことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。まれに、戻らないことがあります。その場合は電源プラグを抜き、しばらくおいてから電源プラグを差し直してください。</p>	
映像も音も出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ線が外れていませんか。 ● 入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。 ● 外部機器の接続コードが外れていませんか。 	21~23 44 24~28
映像は出るが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。 ● ビデオなどの入力端子が外れていませんか。 ● ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。 <p>→「スピーカー同時出力」を「入」にすると、ヘッドホンとスピーカーの両方から音を出すことができるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HDMI端子につないでいるとき、HDMI2アナログ音声入力 P.132 が「入」になっていませんか。 ● パソコンをHDMI端子につないでいるとき、HDMIで音声を出力できないパソコンではありませんか。パソコンによってはHDMIで音声を出力できないものがあります。 <p>→映像はHDMI2端子に、音声はパソコンのアナログ音声出力と本機のPC音声入力につなぎ、HDMI2アナログ音声入力 P.132 を「入」にする。 パソコンの設定で出させるようになるものもあります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンをPC入力端子につないでいるとき、HDMI2アナログ音声入力 P.132 を「入」になっていませんか。 	17 24~28 13
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ入力やD端子入力の音声端子の接続コードが外れていないか調べてください。 	24
ステレオ放送がモノラルになる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「モノラルオン」になっていませんか。 	44
音がつまったような感じがする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じる場合があります。 	117
音の大きさが変化する。人の声に変化する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。 	117
音声に異音が入ったり映像にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビや接続機器の近くで無線機を使用したり、携帯電話の通話などを行っていませんか。 <p>→無線機などを離して使用してください。</p>	
文字がおかしい、ぶれる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 倍速ピクチャーを設定している場合には、映像内容によっては静止文字や流れる文字がぶれて見えることがあります。 <p>→倍速ピクチャーの設定を「切」にしてください。</p>	112
映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ接続コネクタへのつなぎかたを確認してください。 ● アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ● アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ● アンテナは正しい方向に向いていますか。 ● 自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 <p>→アンテナを原因となるものから離してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コントラストの調節を確認してください。 ● チャンネルの設定をやり直してください。 	21~23 108 138~143

故障かな？と思ったら(つづき)

■ テレビを見ているとき(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
色が見つからない。 色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ●色の濃さの調節をしてください。 ●色あいの調節をしてください。 ●D端子の場合、接続不良がないか確認してください。 	108 108 24
画面の横幅が圧縮されて、 左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ●画面サイズが「ノーマル」になっていませんか。 →「メニュー」→「今すぐできること」→「画面サイズ」で、映像に合った画面サイズを選んでください。 	54~55
「ダイナミック」を選んでいるのに、 左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。 	54~55
字幕が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●画面サイズによっては切れる場合があります。 →メニュー機能で画面の上下の位置(垂直位置)を調整してください。 	128
画面が暗い。 夜になると画面が暗くなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●明るさ順応補正が設定されていませんか。 ●明るさセンサー/視聴者設定が設定されていませんか。 ●映像モードが変更されていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●「節電画質設定」を強く設定していませんか。 	112 111 107 108 49
リモコンのチャンネルボタンの 番号と画面の表示がちがう。	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ放送の場合、「地上アナログ手動」で表示を合わせることができます。 	140~141
外部入力の画面が 選べない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ、D端子の場合、接続線が外れていませんか。 ●HDMI1~2、PCの場合、「入カスキップ設定」が「する」に設定されていませんか。 	24 131
テレビの上部や液晶パネル 面、アンテナ接続部の温度 が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体上面や液晶パネル面、アンテナ接続部の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。 (本体の通風孔をふさがないように、お使いください。) 	
本体ボタンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●「本体操作部ロック」が「入」になっていませんか。 	125
テレビからときどき 「ピシッ」と音がる。	<ul style="list-style-type: none"> ●室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。 	

■ デジタル放送のとき(共通)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。 	20
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1~12 ボタンがデータ操作に使われる場合があります、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル▲▼や番組表でチャンネル切換えをしてください。 	
字幕や文字スーパーが 出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●「字幕」が「切」に設定されていませんか。 →「第一言語」または「第二言語」に設定してください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕や文字スーパーのある番組では、選局後、画面右上に「字幕あり」が表示されます。 	46

■ デジタル放送のとき(共通)(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送のリンク録画がうまくできない。	<ul style="list-style-type: none"> レコーダー側の予約設定は、正しく設定されていますか。 レコーダー側の番組表が利用できる状態ですか。 →番組データが十分に取得されていないと録画番組が特定できず、動作ができないことがあります。レコーダーで番組データを受信してください。 	
番組表に表示されないチャンネルがある。	<ul style="list-style-type: none"> 代表チャンネル表示や飛び越し(スキップ)設定になっていませんか。 	77・146

■ 地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 ブースターをお使いの場合、増幅量は適切ですか。強すぎても映りが悪くなります。 「地デジ難視対策衛星放送」の利用対象地区ではありませんか。 	39 39 146
映像や音が出ない、またはときどき出なくなる。 映像が静止する、またはときどき静止する。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →受信レベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。 	90
番組表が表示されない。 番組表に表示されない番組がある。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。「番組情報取得」をすると、番組情報を取り直します。 電源を「入」にして最初に番組表を表示するときは、番組情報受信に時間がかかります。 	77
地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 	

■ BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> 「アンテナ設定」のアンテナ電源で「テレビ連動」を選んでいませんか。 BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 BS・110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されていますか。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。 	150 90
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。 	90
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り変わった。	<ul style="list-style-type: none"> データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの 1 ~ 12 ボタンを押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。 	

故障かな？と思ったら(つづき)

■ BS・110度CSデジタル放送のとき(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
特定のチャンネルの映像や音声がなくなったり、または時々出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないですか。 →BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声がなくなることがあります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	
有料放送の視聴ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 ●B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。 ●有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。	20 180
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 ●ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 ●契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ●110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 	
急に画像や音質が少し悪くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ●降雨対応放送に切り変わった可能性があります。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	193

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

■ 動画配信サービス

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「ネットワーク」が利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。また、「動画配信サービス」を利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。 ●ネットワークの接続と設定は正しいですか。 ●「通信設定」画面の「プロキシ」が「使用する」に設定されている場合は、「動画配信サービス」が利用できないことがあります。 ●利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。 	29~31 152~155 155

■ 家庭内ネットワーク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「デコードエラーのため表示できません。」と表示され番組を視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●サーバー機器が本機で視聴できない状態になっています。 詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。	70

■ 外付ハードディスク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「録画禁止」番組を録画していませんか。 ● ハードディスクの容量や番組数がいっぱいになっていませんか。 → 不要な番組を消去するか、別の外付ハードディスクに録画してください。 ● ハードディスクの電源が切れていませんか。家庭用電源につなぐタイプのハードディスクには電源スイッチがあるものがあります。 ● USBケーブルは、しっかり接続されていますか。 ● 外付ハードディスク録画設定が「使用しない」になっていませんか。 	162 32 165
録画予約できない。 録画予約した番組が録画されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電があったときは、正しく録画されません。（「テレビからのお知らせ」で確認できます。） ● 初期化（フォーマット）、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 ● 通常の予約と優先予約 P.168 が重なったときは、優先予約が録画されます。 ● 本体の電源ボタンで「切」にしたり電源コードを抜いたりしていませんか。電源表示灯が点灯していないときは録画できません。 本体の電源ボタンで「切」にしたり電源コードを抜いたりするときは、録画予約がないことを予約一覧で確認してから行ってください。 ● ハードディスクの電源が切れていませんか。家庭用電源につなぐタイプのハードディスクには電源スイッチがあるものがあります。 	171
番組の最初から再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● つづき再生になっていませんか。 	174
番組の削除ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組が保護されている場合は、消去はできません。 → 番組やディスクの保護設定を解除してください。 ● 録画中の番組は削除できません。 	175
削除番組を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 削除された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、削除してください。 	
初期化（再フォーマット）した内容を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期化（再フォーマット）して消去された内容は、元に戻すことはできません。 録画内容をよく確認してから、初期化してください。 	

メッセージ表示一覧

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。

メッセージ

お手入れ

コード番号	メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
E209	アンテナ電源を確認してください。 くわしくは取扱説明書をご覧ください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線の芯線と編組線が接触していないか、アンテナ設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。	21~23・ 90・ 149~150
—	B-CASカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。	20
E204	このチャンネルでの放送はありません。	●チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。	40
—	地上デジタル放送を受信するためにはチャンネルスキャンを行う必要があります。「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」より「地上デジタル自動」を行ってください。	●地上デジタル放送を受信するために、「地上デジタル自動」で、「初期スキャン」を行ってください。	142~143
E202	放送を受信できません。 放送局(送信所)が変更されている可能性があります。「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」より「地上デジタル自動」を行うことをおすすめします。	●地上デジタル放送の「地上デジタル自動」で、「再スキャン」を行ってください。	142~143
E202	放送を受信できません。 悪天候やアンテナ設置に問題がある場合もあります。	●受信レベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。 また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	90・ 142~143
E201	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換わりました。	●雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。	194
A103	この番組を視聴するには契約が必要です。契約に関する詳細はご覧のチャンネルの顧客センターにお問い合わせください。	●未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。	181
—	このデータ放送は視聴条件により視聴できません。	●データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。	
A1FF A102 A104 A105 A106 A107	このB-CASカードは使用できません。ご覧のチャンネルの顧客センターへ連絡してください。	●使用できないカードが挿入されています。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。	20
—	B-CASカードに正しくアクセスできません。B-CASカードを挿し直しても直らない場合はご覧のチャンネルの顧客センターへ連絡してください。	●カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグを抜いて行ってください。	20・180
—	録画中のチャンネルで起動しました。	●電源が「切」の間に、録画のため選局を行いました。	

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
 - 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
 - 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
 - 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
- ※表面は傷つきやすいので硬いもので押しったりこすったり、たいたたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。
- 画面についたキズは修理できません。
- ※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。



【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネ拭きなどの柔らかい布で拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。



内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったらそのまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

アイコン一覧

デジタル放送では、アイコン(機能表示のシンボルマーク)によって画面表示の情報をお知らせします。放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

用語の説明
アイコン

番組表・番組内容

アイコン	アイコンの意味
	デジタルハイビジョン放送
	標準テレビ放送
	データ放送 (テレビ・BSラジオに連動)
	サラウンド放送
	字幕あり放送
	マルチビュー放送
	視聴年齢制限番組
	二重音声放送
	録画予約済み番組 (リンク録画)
	録画予約済み番組 (外付ハードディスク)
	視聴予約済み番組

番組表のジャンルアイコン

アイコン	アイコンの意味
	ドラマ番組
	映画番組
	音楽番組
	スポーツ番組

テレビ視聴中

アイコン	アイコンの意味
	データ放送画面が すぐに表示できない状態

リモコン操作時

アイコン	アイコンの意味
	リモコンコードが、テレビ側と リモコン側とで食い違っているときの、
	テレビ側のリモコンコード

用語の説明

降雨対応放送

衛星放送では、雨の影響で電波が弱くなったとき急激に画質が劣化することがあります。

BSデジタル放送では、最低限必要な情報は電波が弱くなくても受信できるようなデータを送ることができます。

降雨対応放送が行われている場合、電波が弱くなると引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。降雨対応放送では少し画質、音質が悪くなり、番組情報などのデータも表示されない場合もあります。

サラウンド

デジタル放送では、AAC方式の最大5.1チャンネルサラウンド音声の番組も行われ、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
[5.1チャンネル:5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル]

「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回) 番組

2008年7月から運用が開始された、著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組。ハードディスクに録画されたデジタル放送番組のみ動作可能であり、「ダビング10」番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「ムーブ(移動)」になります。デジタル放送の全ての番組がダビング10になるというものではありません。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様の住んでいる所の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

その他に、通信回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

用語の説明(つづき)

デジタル放送

デジタル放送の特長

- ・高画質・高音質
- ・1つの放送電波に複数のチャンネルを送ることができる
- ・映像や音声だけでなく、文字や図形なども送ることができる

デジタル放送の方式

このテレビは、次のデジタル放送の方式に対応しています。

映像フォーマット	有効走査線数	総走査線数	走査方式
480i(525i)	480本	525本	インターレース(飛び越し走査)
480p(525p)	480本	525本	プログレッシブ(順次走査)
1080i(1125i)	1080本	1125本	インターレース(飛び越し走査)
720p(750p)	720本	750本	プログレッシブ(順次走査)

電子番組ガイド(EPG : Electronic Program Guide)

番組表のことをいいます。8日分の番組情報が送られてくるので、番組表から番組を選んだり、番組の詳細情報を見ることができます。

ビットストリーム

圧縮されて、デジタル信号に置き換えられた信号です。サラウンド音声信号の入出力に使用されます。

マルチビュー放送

マルチビュー放送では、1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送を行う、などが考えられます。

リアリンク(REALINK)

HDMIの制御信号規格(CEC : Consumer Electronics Control)に基づき、HDMIケーブルで接続された当社機器相互で操作を行うことを「リアリンク(REALINK)」と称しています。

リアリンク対応機器には、 REALINK ロゴマークが付いています。

ADSLモデム

本機やパソコンなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換機です。公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサネットの信号に変換したり、その逆を行います。

ARC(オーディオリターンチャンネル)

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

AVCHD(エーブイシーエイチディー)

ハイビジョン画質の映像を、ハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに撮影できるように開発された規格です。

CATVパススルー対応

ケーブルテレビ(CATV)で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、UHF以外の周波数帯域に変換して伝送する方式があります。これを周波数変換パススルー方式と呼びます。この方式での地上デジタル放送を受信するためには【CATVパススルー対応】の受信機が必要です。

本機はCATVパススルーに対応しています。

D端子

映像信号を輝度、青系統、赤系統の3つの信号に分けて接続するコンポーネント接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と走査方式などの制御信号を1本のケーブルで接続できます。

D4映像

コンポーネント映像の480i(525i)、480p(525p)、1080i(1125i)、720p(750p)に対応し、制御信号により信号フォーマット、画面サイズを識別できます。

このテレビにはD4映像端子が搭載されており、次の映像フォーマットに対応しています。

- ・480i(525i)
有効走査線数480本(総走査線数525本)の飛び越し走査
- ・480p(525p)
有効走査線数480本(総走査線数525本)の順次走査
- ・1080i(1125i)
有効走査線数1080本(総走査線数1125本)の飛び越し走査
- ・720p(750p)
有効走査線数720本(総走査線数750本)の順次走査

画面サイズ制御信号があるときは、自動的に画面サイズが切り換わります。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)

ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

MPEG-2 AAC

MPEGは、Moving Picture Experts Groupの略称です。MPEG-2は、通信・放送・コンピュータ業界で汎用的に使えることをめざして1994年11月に制定され、動画のコマ間の情報差だけを記録する方式で大幅なデータ圧縮を実現しています。

AACは、Advanced Audio Codingの略称で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5ch+低域強調チャンネル(ウーハー)のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

PCM

Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われているデジタル信号です。




著作権等について

■商標・登録商標について

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。

© 2012-2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。



Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

■ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Playerを搭載しています。

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn を使用しています。Advanced Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2009 All Rights Reserved.

- 本製品は、以下のソフトウェアを使用しています。

camellia.h ver 1.2.0

camellia.c ver 1.2.0

Copyright (c) 2006,2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation) . All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,

DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved.

- 本製品は、OpenSSLを使用しています。OpenSSL License This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

- 本製品は、ntupdateを使用しています。Copyright (c) University of Delaware 1992-2009

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2を使用しています。libxml2 is free software available under the MIT License. The MIT License

Copyright (c) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the

- The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

- "AVCHD" および"AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

- 「DIATONE」ロゴは三菱電機株式会社の登録商標です。

- 「DIATONE」および「ダイヤトーン」は三菱電機株式会社の商標です。

- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、libupnpを使用しています。

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License(以下、GPL)に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License(以下、LGPL)に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェアは、以下の[ソフトウェア情報]に記載のGPLおよびLGPLの条件によりソースコードの入手、再配布の権利があります。

組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードに関するお問い合わせは下記メールアドレスからお願いいたします。

av-dvropen.al@rj.MitsubishiElectric.co.jp

このお問い合わせ先は、オープンソースに関するお問い合わせ専用の窓口です。

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run,

you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any

著作権等について(つづき)

particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared

library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose

that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user

著作権等について(つづき)

who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and this section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

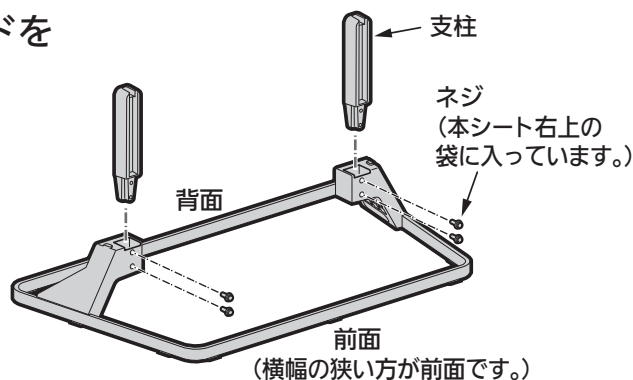
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

スタンドの取り付けかた

1 付属のネジ(4個)で、支柱(2個)とスタンドを しっかりネジ止めしてください。

- ※ ドライバーはネジのサイズに合ったもの(No.2)をご使用ください。
- ※ ネジの取り扱いにはご注意ください。
(お子様が飲み込むと危険です。)
- ※ 支柱とスタンドをネジ止めした後は
すみやかに本体を差し込んでください。
(床に放置すると、支柱が突起している為危険です。)

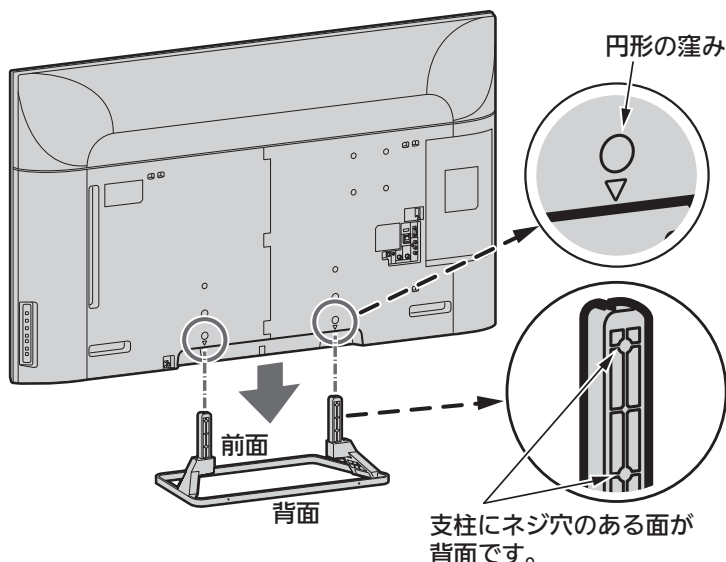


2 液晶画面を直接持たないように、本体を取り出してください。

- ※ 液晶画面前面のダンボールシートはスタンド取り付け作業が完了するまではがさないでください。

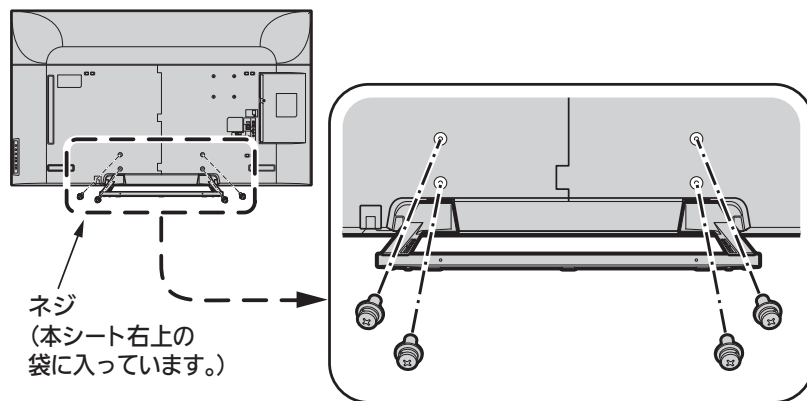
3 本体の円形の窪みの中心と支柱の 中心をあわせ、本体を差し込んで ください。

- ※ スタンドと本体の向きがあっていないと差し込めませんのでご注意ください。
- ※ 指をはさまないように、ご注意ください。
- ※ 液晶画面には、さわらないでください。
(画面に傷や汚れがつく場合があります。)



4 付属のネジ(4個)で、 本体とスタンドをしっかりとネジ止め してください。

- ※ ドライバーはネジのサイズに合ったもの(No.2)をご使用ください。
- ※ ネジ止めの後、画面の傾きが気になる場合は、締め付けた4本のネジを少しゆるめて傾きを調整の上、ネジを締め直してください。
- ※ ネジの取り扱いにはご注意ください。
(お子様が飲み込むと危険です。)



スタンドの取り付けかた
著作権等について

設置後は、必ず転倒防止の処置をしてください。くわしくは、P.11をご覧ください。

困ったとき

索引

あ

アイコン194
明るさ順応補正112
明るさセンサー111
明るさセンサー受光部12
アクトビラ64
アナログ放送42
アナログボタン17, 42
暗証番号122~124
アンテナ設定90, 149~150
アンテナ電源90, 149
アンテナの接続21~23
位相調整129
一時停止ボタン17
一発録画(ボタン)17, 94, 166
一発録画設定127
イベントリレー41
今すぐできること(メニュー)72~73
色あい108
色温度108
色にじみ補正109
色の濃さ108
色補正109
色ボタン16
映像切換82
映像モード(切換)107
映像輪郭補正109
お気に入り66
お知らせ・情報(メニュー)
.....72~73, 86~90
おすすめ音量117
オフタイマー(ボタン)17, 47
音質設定の初期化115, 158
音声切換(ボタン)17, 45
音声設定113~119
音声モード切換114
オンタイマー84~85
音量(ボタン)13, 16, 40, 42

か

家庭内ネットワーク31, 70~71
家電連携3
画質設定106~112
画質設定の初期化110, 158
画面サイズ(ボタン)16, 54~55
画面設定128
画面表示(ボタン)17, 52~53
ガンマ補正109
機能設定120~135
居住地域設定151
クランパ15, 27
黒レベル108
ゲームモード75
決定ボタン16, 72
現在時刻52
降雨対応放送194



高音114
高速起動133
声ハッキリ117, 135
故障かな?と思ったら185~191
コントラスト108
コントラスト補正109
コントロール部12~13
コンポーネント映像24, 195

さ

サービス切換43
再スキャン142~143
再生ボタン17
左右バランス114
サラウンド(ボタン)16, 75, 194
時刻指定予約99~101, 169~170
時刻(ボタン)17, 47
時刻表示148
視聴者設定111, 135
視聴制限設定122~124
視聴予約95, 98, 101, 103
自動ダウンロード156
自動チャンネル再設定155
自動調整129
自動読み上げ118, 135
自動読み上げ詳細設定118
字幕(ボタン)17, 46, 135
シャープネス108
ジャンル検索79~80
ジャンル検索からの予約96~98,
167~168
ジャンル適応110, 115
重低音114
周波数調整129
受信レベル90, 149~150
消音(ボタン)17
消画(ボタン)16, 81
初期スキャン142~143
初期設定136~157
白バランス109
垂直位置調整(画面設定の)128
垂直位置調整(PC設定の)129
垂直解像度調整129
水平位置調整129
水平解像度調整129
水平幅調整(画面設定の)128
水平幅調整(PC設定の)129
数字ボタン16, 40~42
スキップ(外部入力)131
スキップ(アナログ放送)140~141
スキップ(デジタル放送)146
スタンドの取り付けかた201
スピーカー音声同時出力116
スライドショー(SDカードの)58
制限設定122~126
設定(メニュー)72~73, 106~159
設定初期化158~159

節電アシスト48
節電画質設定38, 49
節電ボタン17, 48
節電メーター52~53
節電モニター50~51
節約設定121
消灯連動節電48, 121
全情報の初期化159
操作パネル91, 105
操作・報知音量119, 135
側面端子部13
外付ハードディスク一覧178
外付けハードディスク取外し179
外付ハードディスク録画設定165

た

ダイヤトーンHD114
ダイヤモンドHD109
ダウンロード157
地上アナログ自動138~139
地上アナログ手動140~141
地上デジタル/アナログアンテナ入力端子
.....14, 21~23
地上デジタル自動142~144
地上デジタル手動145
地上デジタル放送40, 180
地上デジタルボタン16, 40
地デジ難視聴対策放送146
チャンネル  ボタン
.....13, 16, 42
チャンネル一覧表(地上デジタル放送の)
.....182
チャンネル再設定(地上デジタル放送の)
.....142~143
チャンネルスキップ146
チャンネル設定142~146
チョット戻しボタン17
通信設定152~154
使う人切換83, 134~135
使う人設定134~135
次  ボタン17
データ放送43, 194
低音114
停止ボタン17
デジタル音声(光)出力端子14, 27
デジタルシネマ109
デジタル放送180~181, 195
テレビからのお知らせ86
テレビ操作(メニュー)72~73
電源(ボタン)(本体)12
電源(ボタン)(リモコン)16, 40, 42
電源表示灯12, 40, 42
電子番組ガイド(EPG)195

な

入出力設定131~132

入力切換(ボタン)13, 16, 45
入カスキップ設定.....131
ネットワーク(ボタン)17, 64
ネット情報初期化.....158

は

倍速ピクチャー.....112
ハードディスク節電48,121
バックライト.....108
バックライト補正.....109
早送りボタン.....17
早戻しボタン.....17
番組消去ボタン.....16
番組情報取得.....77
番組内容.....62~63
番組表(ボタン) ...17, 60~61, 76~77
番組表からの予約...96~98,167~168
番組表・予約(メニュー)72~73
番号入力ボタン.....16, 40, 42
光音声出力設定.....131
ビットストリーム.....27, 131, 195
ビデオ入力端子.....14, 24
表示文字サイズ切換.....148
付属品.....19
プロ調整.....109
ブロックノイズNR.....109
ヘッドホン音質設定の初期化...116, 158
ヘッドホン音量.....74
ヘッドホン端子.....13
ヘッドホン設定.....116
便利機能.....66
ホームネットワーク70~71
ボード(CS).....88
放送局からのお知らせ.....86
放送波無効設定.....137
本体操作部ロック.....125

ま

前◀◀ボタン.....17
マルチビュー放送.....82, 195
見るボタン.....16
無映像節電.....48, 121
無操作節電.....48, 121
メニュー(ボタン).....13, 16, 72
戻るボタン.....16, 72

や

郵便番号設定.....151
読み上げ.....34~35, 61, 63,
72~73, 96~103
読み上げ音量.....118
読み上げ設定.....118
読み上げ速度.....118
予約.....95~103,162~163,
167~172
予約一覧.....102~103,171~172
予約一覧ボタン.....17
予約/番組表ボタン.....16
予約変更自動追従.....156

ら

らくらく設定.....35~38, 137
リアリンク(REALINK)
.....25, 91~97,
99~100, 102~105, 127, 195
リモコンキーロック.....126, 135
リモコンコード切換.....147
リモコン受光部.....12, 17
リモコンの準備.....20
リンク機器操作(メニュー).....73, 91~93
リンク設定.....127
リンク録画.....96~97, 99~100
隣接地域変更.....144
録画一覧(メニュー).....73,173~175
録画予約(リアリンク).....95~103
録画予約(外付ハードディスクの)
.....162~163,167~172
録画リスト.....104

A、B、C...

AAC(MPEG-2 AAC).....195
acTVila(アクトビラ).....64
ADSLモデム.....29, 195
ARC(オーディオリターンチャンネル)
.....26, 195
AVCHD(エーブイシーエイチディー)
.....56, 70, 195
B-CASカード.....15, 20, 181
B-CASカード情報.....89
BS・110度CS-IF入力端子.....14, 22

BSデジタル放送.....40~41, 180
BSボタン.....16, 40~41
BSラジオ放送.....43
CATV(ケーブルテレビ)放送.....23, 42
CATVパススルー対応.....195
CSボタン.....16, 40~41
CS1手動/CS2手動.....145
D端子.....195
D端子入力.....14, 24
D端子判定.....128
dデータボタン.....16, 43
D4映像.....195
EPG(電子番組ガイド).....195
FTTH回線終端装置.....29~30
HDMI.....195
HDMI RGBレンジ設定.....132
HDMI2アナログ音声入力.....132
HDMI映像・音声入力端子
.....13~14, 25~26, 28
HEMS.....3
ID-1判定.....128
LAN端子.....14, 29~31
MPEG-2 AAC.....195
MPEG NR.....109
PC設定.....129
PC設定の初期化.....130
PC入力端子.....13, 28
PCM.....27, 131, 195
REALINK(リアリンク)
.....25, 91~97,
99~100, 102~105, 127, 195
SDカード.....13, 56~59, 78
TSUTAYA TV.....64

1、2、3...

110度CSデジタル放送
.....40~41, 181
3次元NR.....109
30秒スキップボタン.....17

記号

▲▼◀▶ボタン.....16, 72

この取扱説明書について

- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。

「困ったとき」もくじ

故障かな?と
思ったら **185**

メッセージ
表示一覧 **192**

お手入れの
しかた **193**

アイコン一覧/
用語の説明 **194**

索引 **202**

保証と
アフターサービス **184**

テレビの上手な使いかた

キャビネットを
傷めないために

ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質する原因となります。

持ち運ぶときは

硬いもの(ズボンのベルト金属部、ジャンパーのファスナー、ボタンなど)が触れると傷が付きますので、注意してください。

上手な見かた

お部屋の明るさに応じて、メニューで画面の「コントラスト」調整を行ってください。

- テレビからの距離は画面の高さの3~4倍で、また部屋の明るさは新聞が読める程度で見ると見やすく疲れません。
- 暗い部屋は目が疲れます。また連続して長い時間画面を見ていると目が疲れます。
- 画面に直接光が差込まない場所に設置してください。

液晶パネルは強く押さない

強く押すと、干渉しماが発生するなどの不具合が起きることがあります。



また、液晶パネル面に圧力を加えたままにすると、液晶の劣化やパネルの破損などの原因になります。

液晶テレビの一部や
付属品を廃棄する場合

本機の破片、付属品・電池などを廃棄する際は法令・規則に従ってください。くわしくは、所在の地方自治体にお問い合わせください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客さま便利メモ

このテレビの形名は LCD-65LBW6H です。

ご購入年月日

年 月 日

ご購入店名

電 話 ()

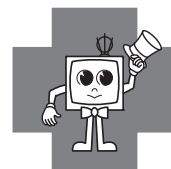
製造番号

保証書および本体後面の銘板部に記載しています。

カードID (B-CASカード番号)

89ページに記載の「B-CASカード情報」で確認できる「カードID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



愛情点検

●長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。



本製品は「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク表示ガイドライン」に基づく、グリーンマークを表示しています。J-Moss (JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づき、特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイト <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/ctv/> をご覧ください。

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地

Printed in China
A488AJH
2EMN00242B★★★